直方市のまちづくりのための市民意識調査

－　報告書　－

平成２７年３月

福岡県　直方市

～ 目 次 ～

Ⅰ 調査の概要 1
Ⅱ 回答者の属性 4
１．性別構成 4
２．年齢別構成 4
３．職業別構成 5
４．家族構成 7
５．通勤・通学先 11
６．居住年数 13
Ⅲ 調査結果 15
【１】日常生活の状況等について 15
１．子育て環境の評価 15
２．文化活動参加状況 16
３．スポーツ・レクリエーション活動参加状況 17
４．家庭のインターネット利用環境 18
【２】日頃からの「健康づくり」について 20
１．健康づくりの有無 20
２．医療体制の評価 21
３．検診の認知度 22
４．健康に関する情報の収集状況 23
５．かかりつけ医の有無 24
【３】市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策について 26
１．定住意向 26
２．定住理由 28
３．非定住理由 29
４．最も力を入れてほしい行政施策 30
【４】市の施策評価について 33
１．施策の満足度・重要度 33
２．満足度と重要度の相関図による分析 48
【５】施策ごとの評価について 71
１．市民主体の地域づくりの促進 71
２．地域づくりを推進する人材の発掘と育成 73
３．市民参加の推進 75
４．効率的な行政運営の推進 77
５．窓口サービスにおける市民サービスの向上 79
６．健全な財政運営の推進 81
７．自然と都市が調和し快適に暮らすまちを目指した秩序ある土地利用の推進 83
８．都市機能の整備 85
９．公園の適正な配置と管理 87

10. 良好な住環境整備 89
11. 交通網の充実 91
12. 安全・良好な水道水の安定供給 93
13. 下水道の整備 95
14. 環境保全の推進 97
15. 循環型社会の推進 99
16. 災害対策の推進 101
17. 消防・救急の充実 103
18. 交通安全・防犯対策の推進 105
19. 保健事業の充実 107
20. 地域医療体制の維持と確保 109
21. 障がい者福祉の充実 111
22. 高齢者福祉の充実 113
23. 社会福祉と公的医療保険制度の充実 115
24. 各種相談業務の充実 117
25. 地域における子育て環境の充実 119
26. 子育てにおける公的支援の充実 121
27. 知・徳・体を育む教育の充実 123
28. 教育環境の充実・強化 125
29. 学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成 127
30. 生涯学習の推進 129
31. 文化の振興 131
32. スポーツ・レクリエーションの振興 133
33. 人権尊重の教育・啓発の推進 135
34. 男女共同参画社会の推進 137
35. 時代をリードし成長する工業 139
36. 市民の暮らしの担い手となる商業とサービス産業 141
37. 未来に夢を持つ農業 143
38. 魅力あふれる観光 145
【６】自由回答の概要（これからのまちづくりに対する考え・意見） 147
１．回答状況 147
２．分野別回答内容 148
資料／調査票 162

Ⅰ 調査の概要

【調査の目的】

本市の基本的なまちづくりの方向性を示す長期的計画である「第５次直方市総合計画」の実行にあたって、市民の、市政に対する意見や要望及び計画に基づき実施している施策等の満足度及び重要度などの評価を把握し、行政サービスの向上及び各施策展開における基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

20 歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査時期】

平成 26 年（2012 年） 9 月

【回収結果】

発送数 ----------2,000 件
回収数 ----------623 件
有効回収数 ---------623 件
有効回収率 ---------31.2%

◆小学校区別回収状況◆　　（上段:回答件数、下段:構成比%）

全体	南小学校区	北小学校区	西小学校区	東小学校区	新入小学校区	感田小学校区
623	30	46	40	50	70	119
100.0	4.8	7.4	6.4	8.0	11.2	19.1

上頓野小学校区	下境小学校区	福地小学校区	中泉小学校区	植木小学校区	無回答
67	49	26	16	67	43
10.8	7.9	4.2	2.6	10.8	6.9

【調査結果の信頼性】

統計分析を行う上で、信頼度 95 %のもとで母比率または母平均が存在すると確信できる信頼区間は，標本比率 p または標本平均 $\bar{x}$ を中心として両側に標準誤差の 1.96 倍の幅を設けた次の範囲である。

■母比率の信頼区間（信頼度 95%）

$$p-1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\frac{p(1-p)}{n}} < P < p+1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\frac{p(1-p)}{n}}$$

※標本の分散を s^2，母集団の大きさを N ， 標本の大きさを n とする。

この公式を用い、今回調査の有効票数の信頼性を検証する。

N(母集団)
58,087 ←直方市の総人口（平成26年8月末現在）

n(実調査数)	誤差幅	N(母集団)	P(標本比率)	N−1	N−n	100−P
379	5.02	58,087	50	58,086	57,708	50
380	5.01	58,087	50	58,086	57,707	50
381	5.00	58,087	50	58,086	57,706	50
382	5.00	58,087	50	58,086	57,705	50
正規分布 ↓ 383	4.99	58,087	50	58,086	57,704	50
384	4.98	58,087	50	58,086	57,703	50
385	4.98	58,087	50	58,086	57,702	50
386	4.97	58,087	50	58,086	57,701	50
387	4.97	58,087	50	58,086	57,700	50
388	4.96	58,087	50	58,086	57,699	50

↑通常、誤差幅が5.0未満となる標本数が正規分布する。

本市の人口を母集団とした場合、標本の誤差幅が 5.0 未満となる実調査数は 383 票以上となり、今回調査の有効票 623 票は、充分に正規分布する票数を獲得できていると考える。

【聴取項目】

◇市の施策の満足度・重要度について（38 項目）
◇市の施策の不満の理由について（38 項目）
◇回答者の属性等（性、年齢、職業等 8 項目）
◇日常生活の状況等について（子育て環境や文化活動参加等）（4 項目）
◇日頃からの「健康づくり」について（医療体制やかかりつけ医等）（5 項目）
◇市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策について
（定住意向や行政施策等）（4 項目）
◇まちづくりに対する考えや意見等（自由回答設問 1 項目）

【報告書の見方について】

（１）集計は小数点以下第２位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100％にならない場合がある。

（２）２つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100％を超える場合がある。

（３）数表、図表、文中に示すＮは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「Ｎ」、該当数※1 を「ｎ」で表記している。

（４）図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。

（５）図表中においては、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0％、0.1％など）は、見やすさを考慮し省略している場合がある。また、複数回答の図表中においても、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。

（６）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

（７）設問によっては、平成 24 年 9 月に実施した「直方市のまちづくりのための市民意識調査（以下「前回調査」と表記)」との比較を行っている。

（８）「市の施策評価について」の項における「施策の満足度・重要度」の分析についても、前回調査との比較を行っているが、一部、項目数や設問の表現が前回とは一致しない項目がある。

【非正規回答の集計について】

（１）問１～問 38「市の施策評価について」の項における満足度及び重要度評価において、部分的に回答がない場合、『７：判断できない』で集計する。

（２）問１～問 38「市の施策評価について」の項における不満理由において、不満の理由が２つ以上答えてある場合、番号の若い方を採用して集計する。

（３）問 40「希望する行政施策 上位３つ（希望する順に)」において、番号に○はつけてあるが、順番が不明（記入欄未記入）の場合、番号の若い順に集計する。

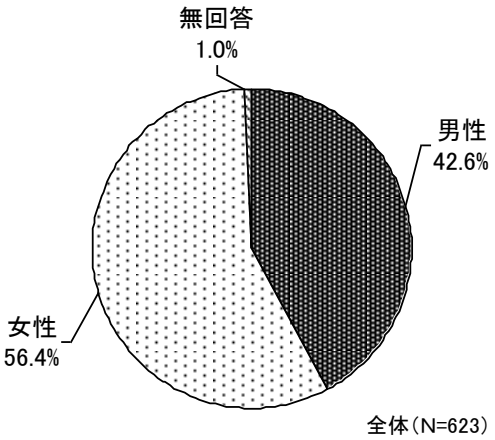
（４）問 40「希望する行政施策 上位３つ（希望する順に)」において、３つ以上、○がしてある場合、番号の若い順に３つを採用して集計する。

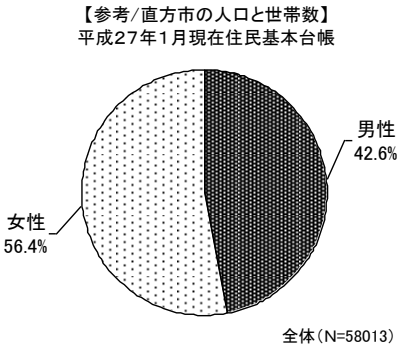
（５）問 45「子どもや要介護者の有無」において、未記入若しくは「該当する家族はいない」の記入の場合、無回答にせず『６：該当なし』として集計する。

Ⅱ 回答者の属性

1．性別構成

回答者の性別構成は、「男性」が 42.6%、「女性」が 56.4%と、男女比はおおむね４：６に近く、女性の割合が高い。

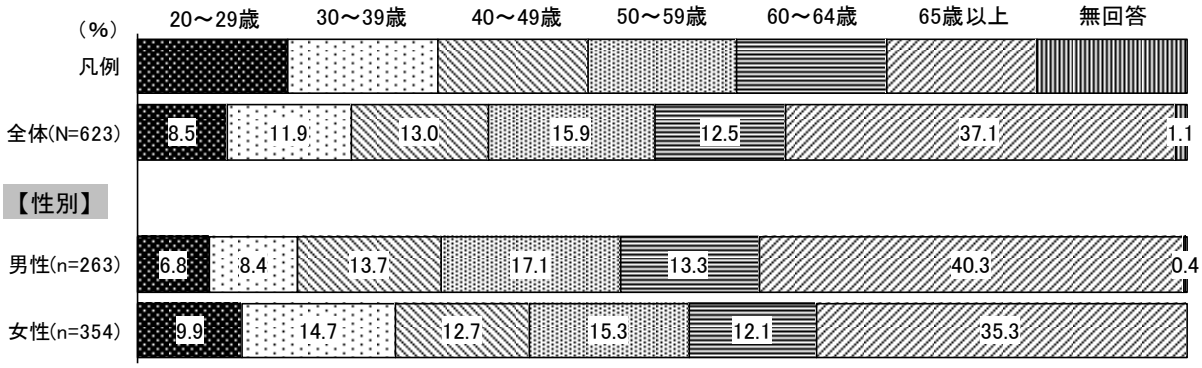




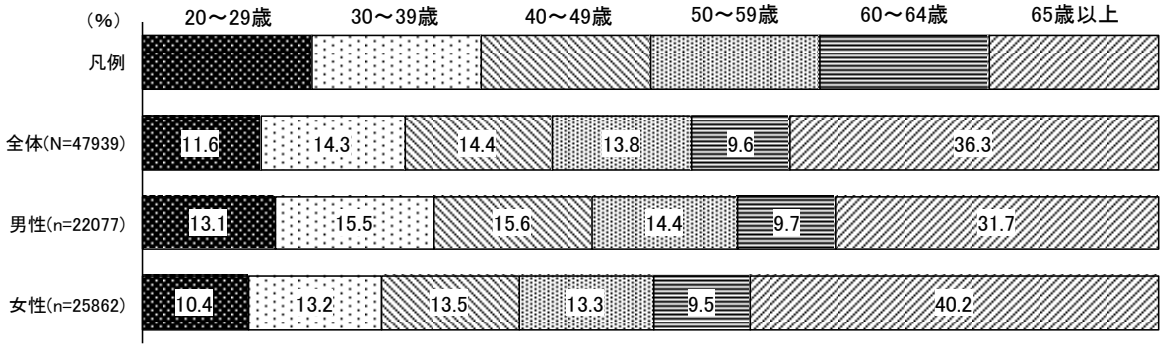
2．年齢別構成

年齢別構成は、全体では「65 歳以上」が 37.1%と、およそ３分の１以上の割合を占めて最も高く、次いで「50～59 歳」（15.9%）、「40～49 歳」（13.0%）の順となっているが、『30～64 歳』の票数はばらけている。

性別でみると、男性は女性に比べ「65 歳以上」の割合が高く、女性は相対的に若い年齢層の割合が高くなっている。

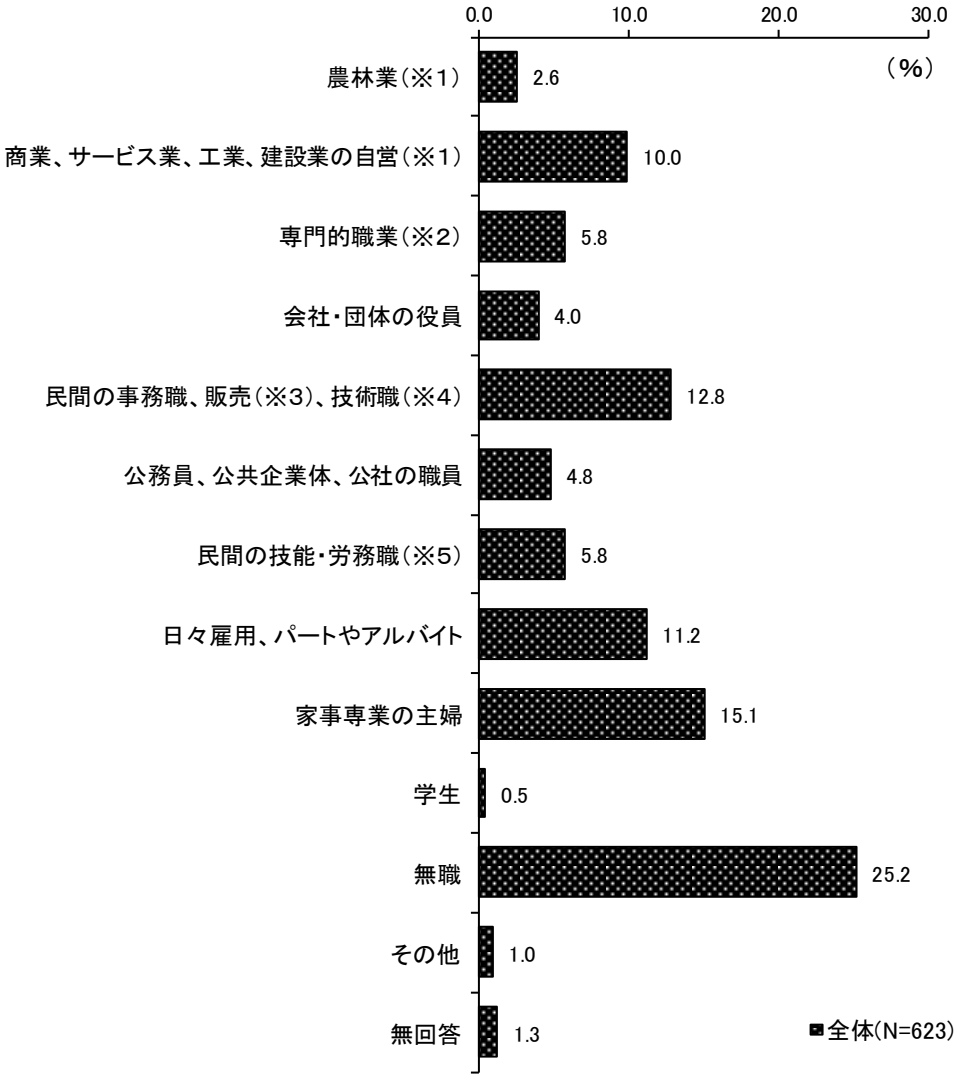


【参考/直方市の人口と世帯数】
平成27年1月現在住民基本台帳（20歳以上）



３．職業別構成

回答者の職業は、「無職」の割合が 25.2％と最も高く、次いで「家事専業の主婦」(15.1％)、「民間の事務職、販売、技術職」(12.8％)、「日々雇用、パートやアルバイト」(11.2％)の順となっている。

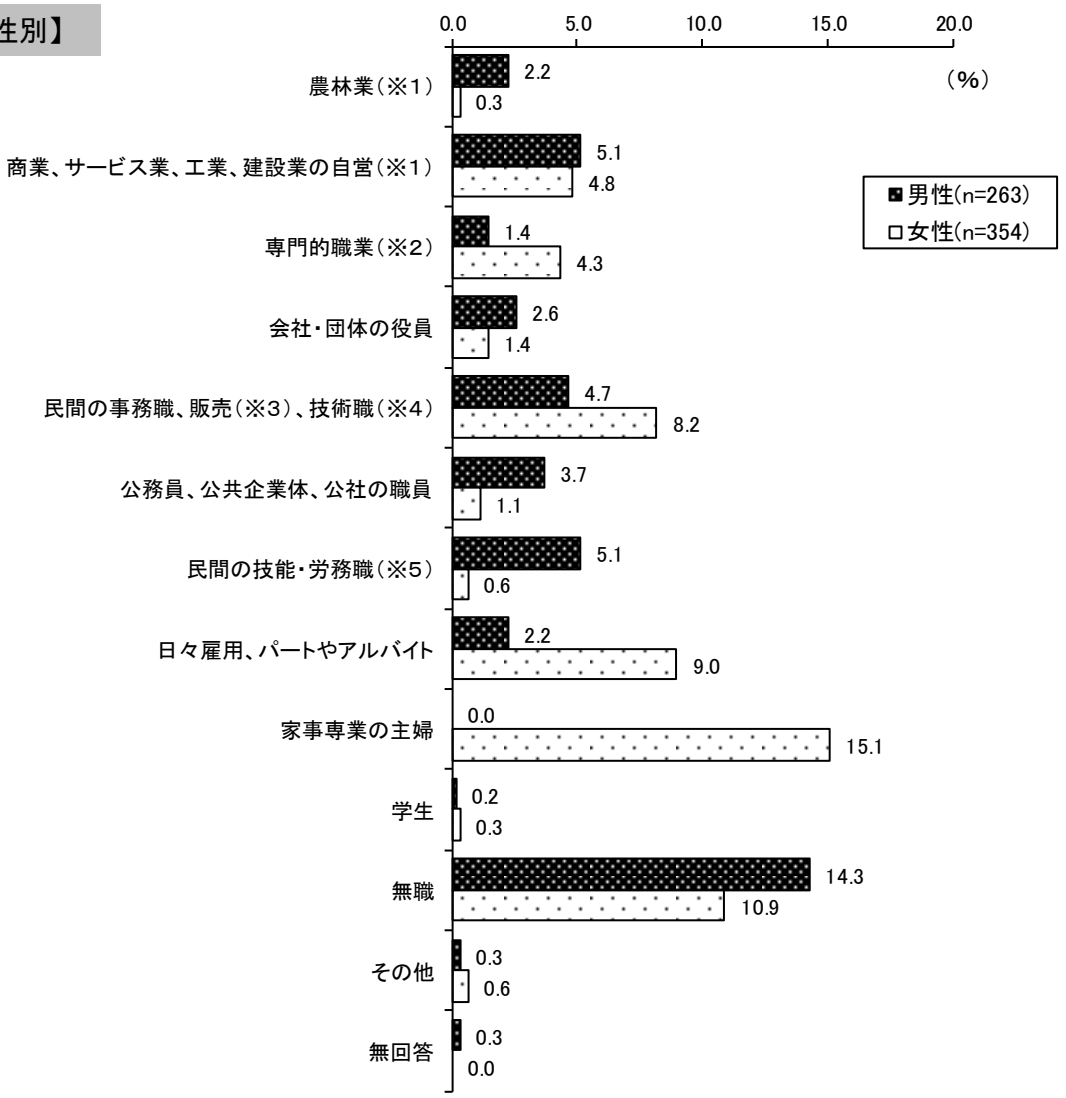


※1 またはその家族従事者
※2 医師、弁護士、僧侶、税理士、会計士、教師など、またはその家族従事者
※3 店員・外交員など
※4 技術整備士、研究員・看護師など
※5 工員、大工、美容師、運転手など

職業を性別でみると、男性の場合女性に比べ「無職」「民間の技能・労務職」「農林業」の割合が高い。

女性は「家事専業の主婦」「日々雇用、パートやアルバイト」「民間の事務職、販売、技術職」などで男性を大きく上回っている。

【性別】



※1 またはその家族従事者
※2 医師、弁護士、僧侶、税理士、会計士、教師など、またはその家族従事者
※3 店員・外交員など
※4 技術整備士、研究員・看護師など
※5 工員、大工、美容師、運転手など

４．家族構成

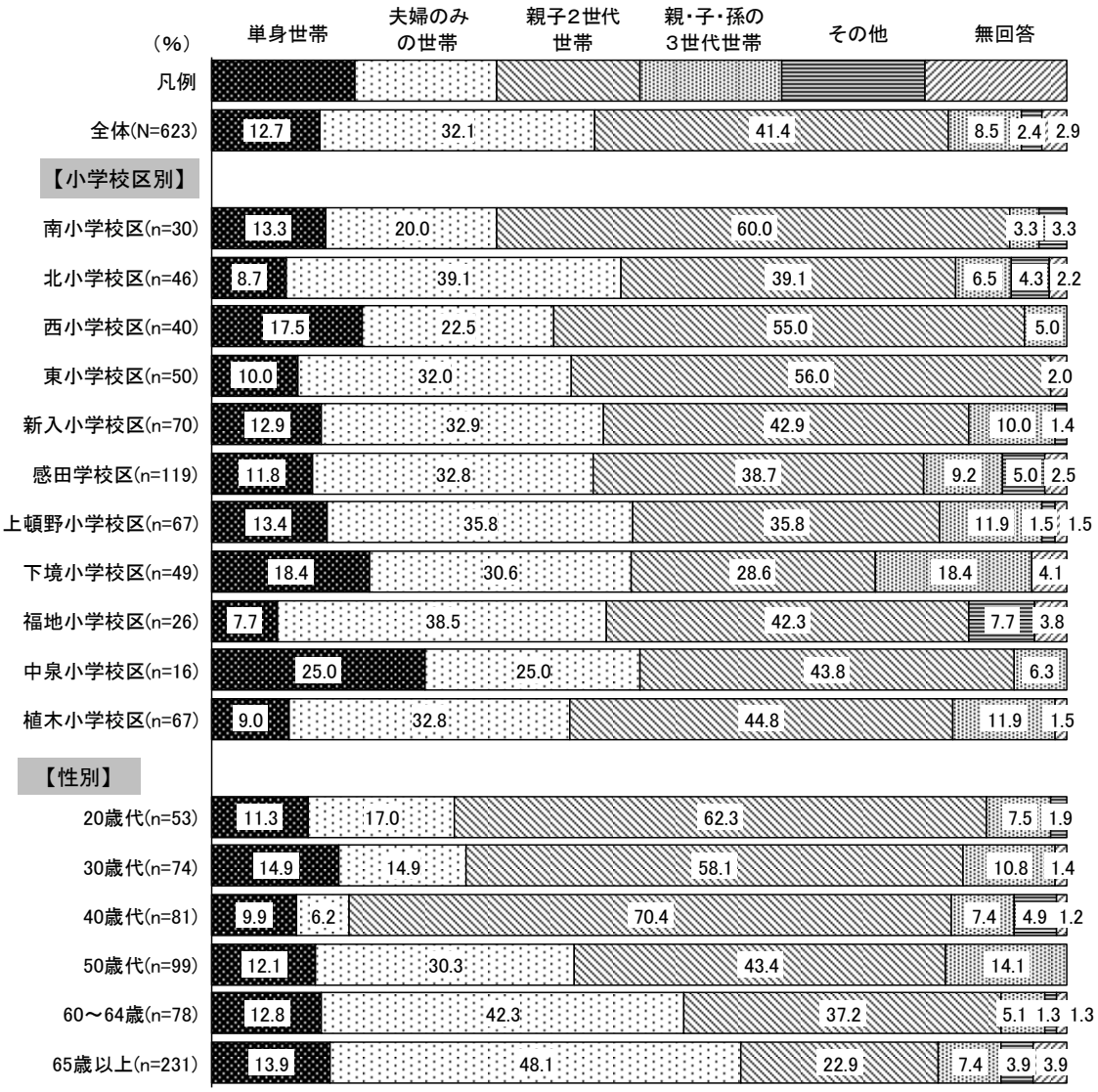
（１）世帯構成

世帯構成は、全体では「親子２世代世帯」の割合が 41.4%を占め最も高く、「夫婦のみの世帯」が 32.1%で続き、両者で全体の７割以上（73.5%）を占めている。「単身世帯」は 12.7%とおよそ１割、「親・子・孫の３世代世帯」は 8.5%となっている。

小学校区別でみると、中泉小学校区、下境小学校区、西小学校区では、他の小学校区に比べ、「単身世帯」の割合が高く、北小学校区、福地小学校区では、「夫婦のみの世帯」、南小学校区、東小学校区、西小学校区では、「親子２世代世帯」の割合が高くなっている。

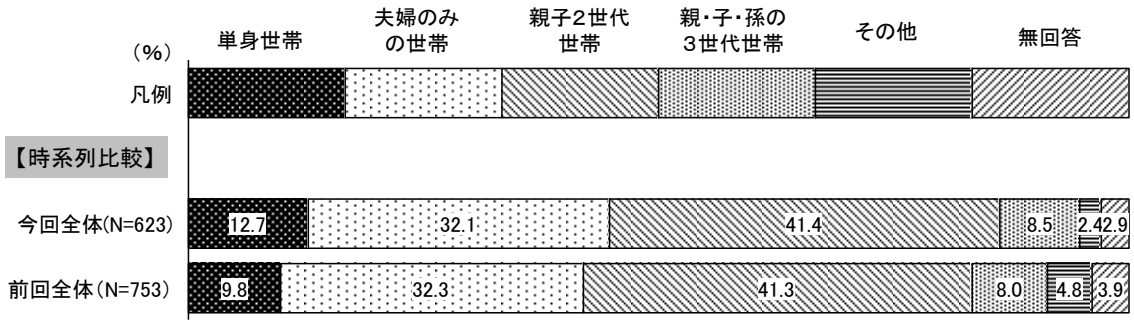
また、下境、上頓野、植木の各小学校区では、では、「親・子・孫の３世代世帯」の割合が高いなど、地域差がみられる。

年齢別でみると、20 歳代から 50 歳代の幅広い年齢層で、「親子２世代世帯」の割合が最も高くなっている。60 歳以上の年齢層では、他の年齢層に比べ、「夫婦のみの世帯」の割合が高く、年齢が上がるほど「夫婦のみの世帯」が増える傾向にある。



【参考／前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「単身世帯」「親・子・孫の３世代世帯」がやや減少しているが、大きな変化は見られない。



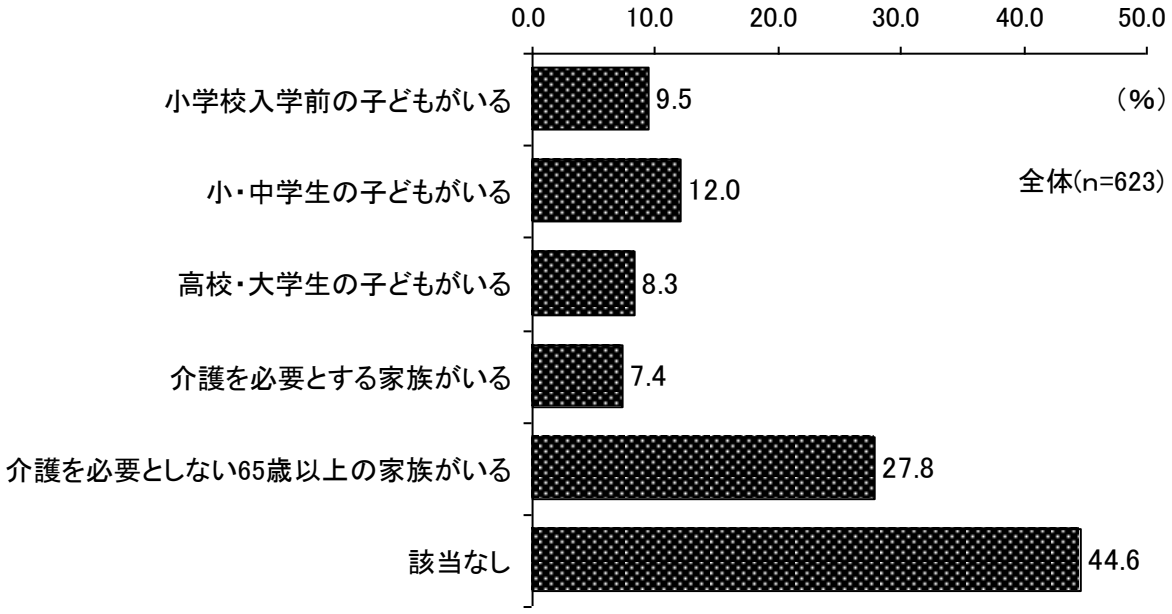
（２）子どもや要介護者の有無

子どもや高齢者の有無については、「介護を必要としない 65 歳以上の家族がいる」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「小・中学生の子どもがいる」（12.0%）、「小学校入学前の子どもがいる」（9.5%）の順となっている。

要介護者については、「介護を必要とする家族がいる」が 7.4%みられた。

年齢別でみると、30 歳代では他の年齢層に比べ「小学校入学前の子どもがいる」の割合が高く、40 歳代では「小・中学生の子どもがいる」、40 歳代では「高校・大学生の子どもがいる」の割合がそれぞれ高くなっている。

また、50 歳代から 60 歳代前半にかけては、「介護を必要とする家族がいる」がそれぞれ１割以上みられ、他の年齢層を上回っている。

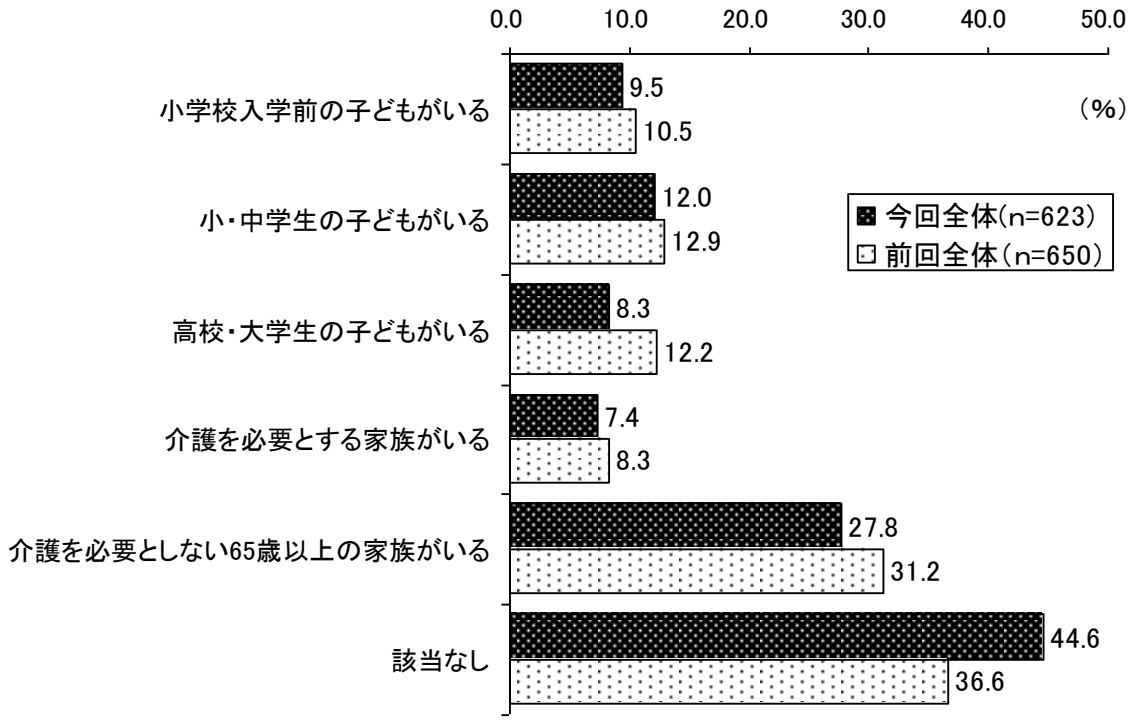


		小学校入学前の子どもがいる	小・中学生の子どもがいる	高校・大学生の子どもがいる	介護を必要とする家族がいる	介護を必要としない65歳以上の家族がいる	該当なし
全体(n=623)		9.5	12.0	8.3	7.4	27.8	44.6
年齢別	20歳代(n=53)	24.5	3.8	7.5	1.9	5.7	62.3
	30歳代(n=74)	32.4	29.7	5.4	4.1	17.6	32.4
	40歳代(n=81)	16.0	43.2	25.9	3.7	16.0	23.5
	50歳代(n=99)	2.0	6.1	17.2	12.1	11.1	58.6
	60～64歳(n=78)	3.8	3.8	2.6	10.3	19.2	65.4
	65歳以上(n=231)	1.7	3.0	1.7	8.2	50.6	37.7

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。
（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）
但し、回答割合が 10%未満の項目、n数が 10 未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。
また「無回答」は表記から省略している。
単位は%（パーセント）。本報告書においては、以下同様。

【参考／前回調査との比較】

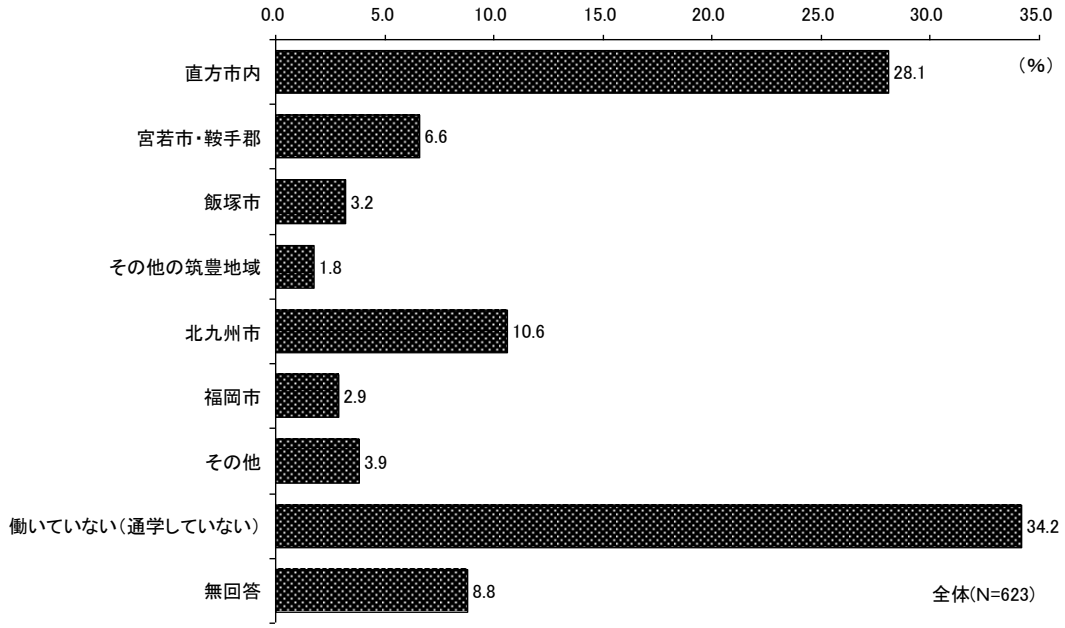
前回調査結果と比較すると、すべての項目において、割合は前回をやや下回っている。



５．通勤・通学先

通勤・通学先については、「働いていない（通学していない）」の割合が 34.2％を占めていることから、およそ６割程度が通勤・通学していることになるが、通勤・通学先は「直方市内」が 28.1％を占め最も高く、突出している。次いで「北九州市」（10.6％）、「宮若市・鞍手郡」（6.6％）が続く。

職業別でみると、パート・アルバイトでは、「直方市内」が他の職業に比べ高く、民間技能・労務職は、「宮若市・鞍手郡」、学生では、「飯塚市」「北九州市」「福岡市」などの割合がそれぞれ高くなっている。



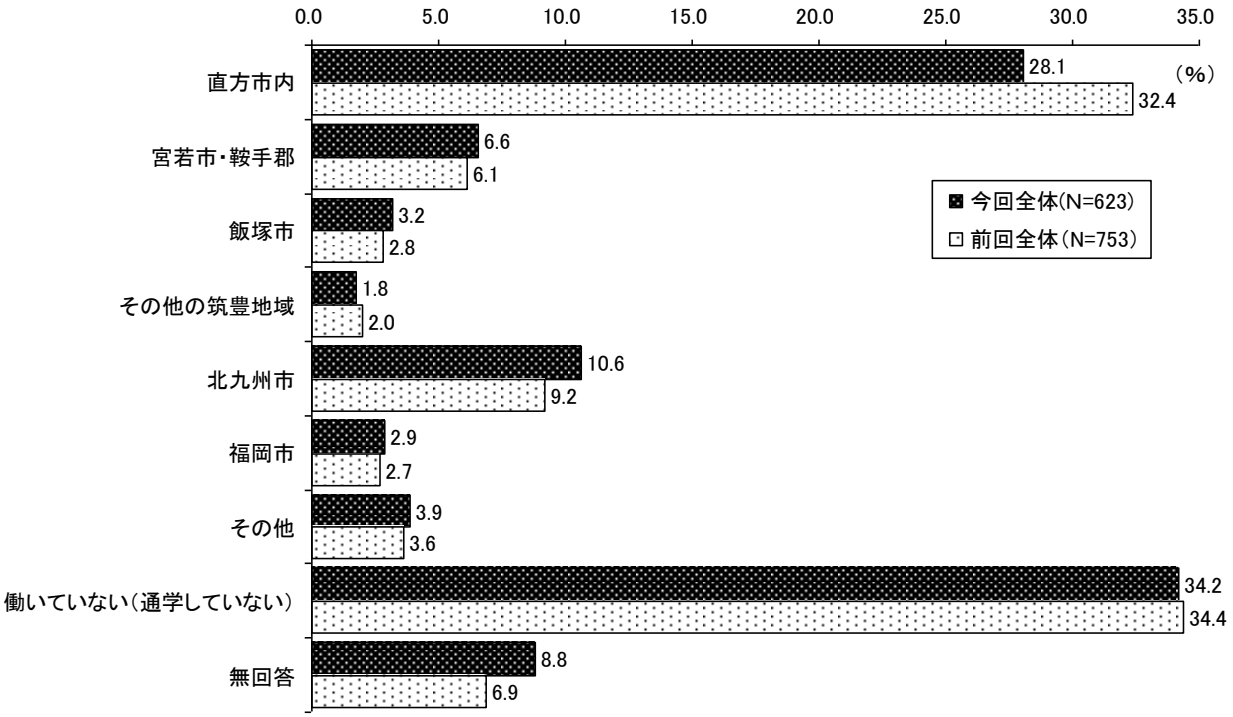
		直方市内	宮若市・鞍手郡	飯塚市	その他の筑豊地域	北九州市	福岡市	その他	働いていない（通学していない）
	全体(N=623)	28.1	6.6	3.2	1.8	10.6	2.9	3.9	34.2
職業別	農林業（※1）(n=16)	43.8	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	43.8
	商業、サービス業、工業、建設業の自営（※1）(n=62)	54.8	9.7	3.2	1.6	12.9	3.2	11.3	0.0
	専門的職業（※2）(n=36)	30.6	8.3	5.6	8.3	25.0	8.3	11.1	2.8
	会社・団体の役員(n=25)	40.0	8.0	4.0	0.0	28.0	8.0	4.0	0.0
	民間の事務職、販売（※3）、技術職（※4）(n=80)	40.0	11.3	12.5	2.5	18.8	6.3	8.8	0.0
	公務員、公共企業体、公社の職員(n=30)	43.3	3.3	3.3	3.3	33.3	10.0	3.3	0.0
	民間の技能・労務職（※5）(n=36)	27.8	30.6	2.8	5.6	16.7	5.6	5.6	0.0
	日々雇用、パートやアルバイト(n=70)	67.1	11.4	2.9	1.4	12.9	0.0	1.4	0.0
	家事専業の主婦(n=94)	3.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	80.9
	学生(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	無職(n=157)	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.3
	その他(n=6)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
	無回答(n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

※1 またはその家族従事者
※2 医師、弁護士、僧侶、税理士、会計士、教師など、またはその家族従事者
※3 店員・外交員など
※4 技術整備士、研究員・看護師など
※5 工員、大工、美容師、運転手など

【参考／前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「北九州市」「飯塚市」「宮若市・鞍手郡」などが増加し、「直方市内」「その他の筑豊地域」などが減少している。

また「働いていない（通学していない）」が減少した。

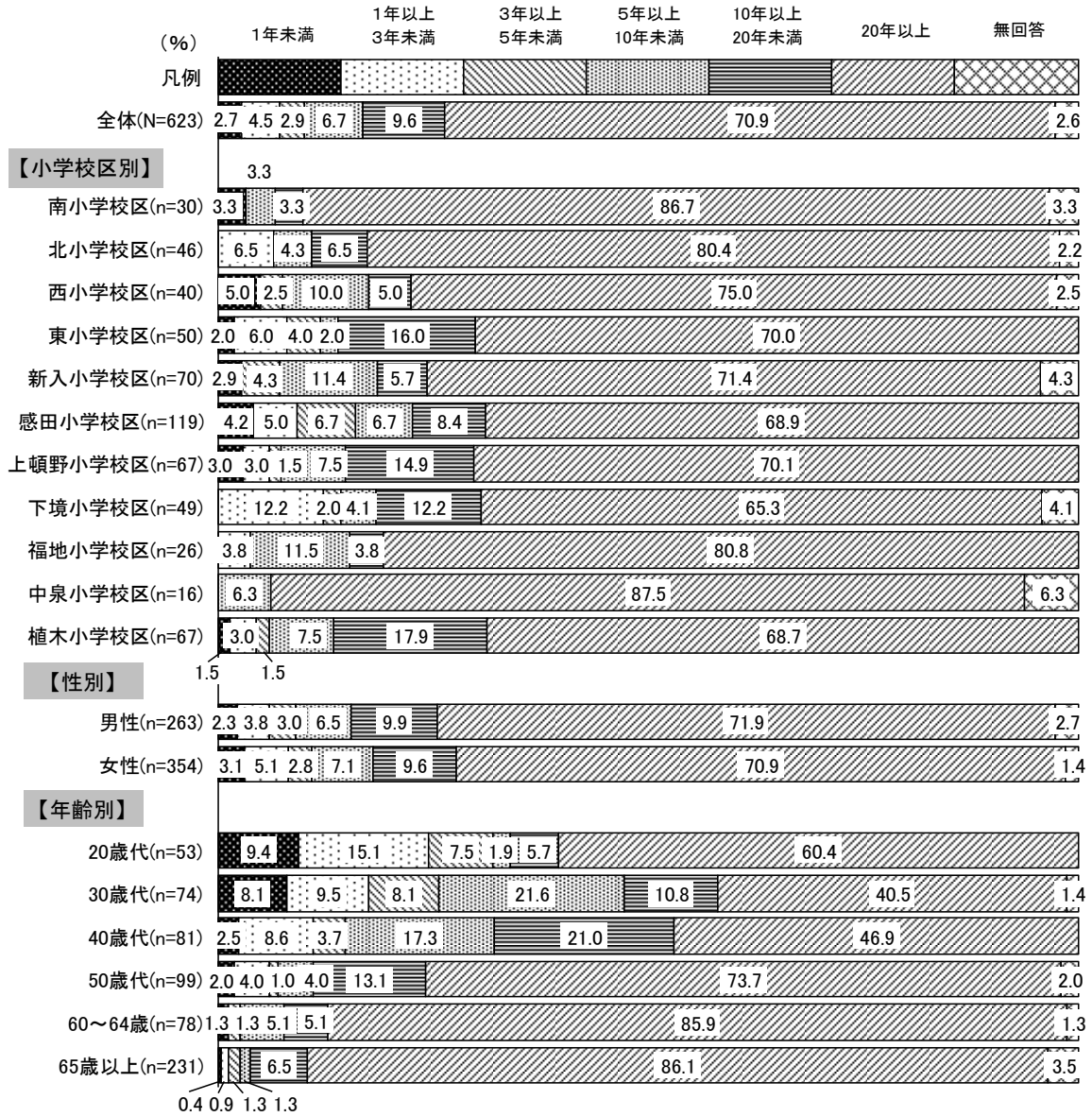


６．居住年数

居住年数は、全体では、「20 年以上」が 70.9％と大半を占めている。次いで「10 年以上 20 年未満」が 9.6％で続き、合計８割以上（80.5％）が、『10 年以上』居住者である。

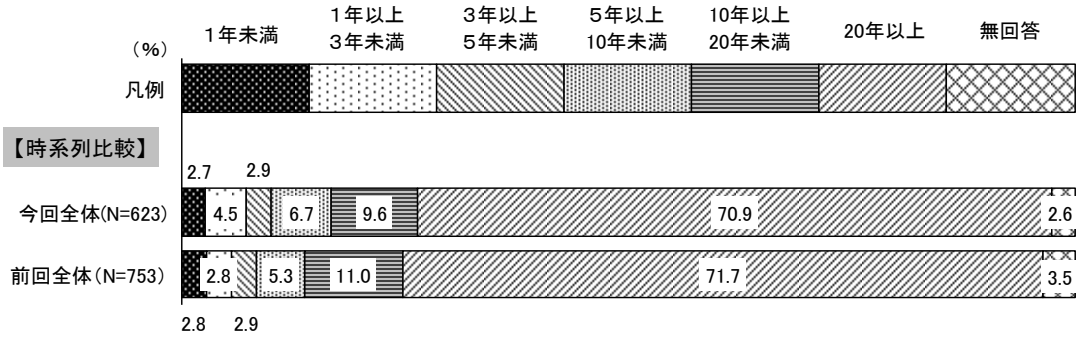
小学校区別でみると、東、感田、上頓野、下境、植木の各学校区では、他の小学校区に比べ、『20 年未満（合計)』の割合が高くなっている。

性別では、大きな差は目立たないが、年齢別では 30～40 歳代で、『20 年未満（合計)』の割合が高く、特に 30 歳代では、『20 年未満（合計)』の割合は６割程度を占めている。



【参考／前回調査との比較】

前回調査結果との比較では、『20 年未満（合計）』の割合がやや増加したものの、大きな変化は目立たない。



Ⅲ 調査結果

【１】日常生活の状況等について

１．子育て環境の評価

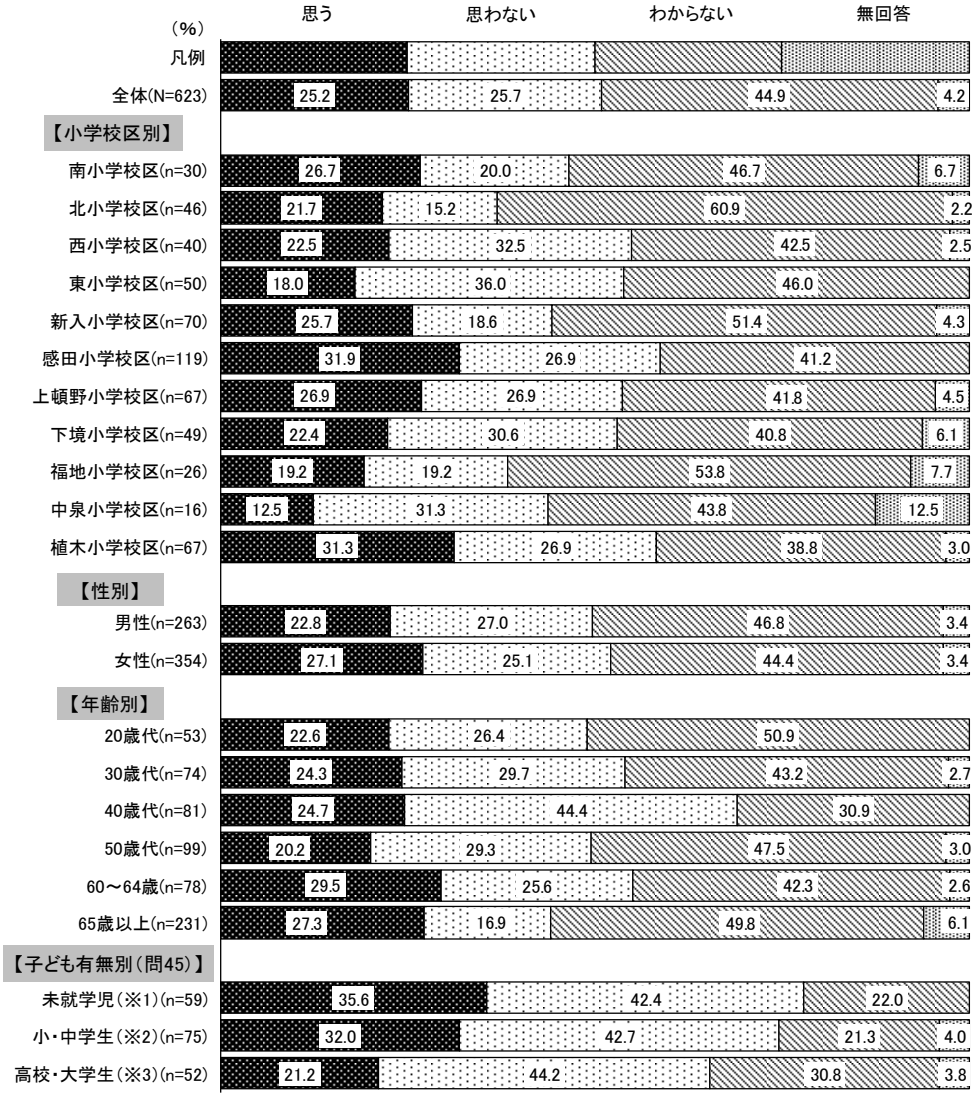
問 54. あなたは、直方市が子育てしやすいまちと思いますか。（〇印１つ）

子育てのしやすさ評価については、全体では「わからない」が半数近く（44.9%）を占めるが、「思わない」が 25.7%で、「思う」（25.2%）をやや上回っている。

小学校区別でみると、「思う」割合が高い順に、感田、植木、上頓野、南小学校区となっている。逆に「思わない」割合では、東、西、中泉、下境小学校区の順となっている。

性別では女性の方が、「思う」が多く、年齢別では 60 歳以上で「思う」割合が他の年齢層に比べ高く、40 歳代では「思わない」割合が高くなっている。

さらに、子ども有無別でみると、子どもの学齢が低いほど「思う」割合が高い傾向にある。



※1 小学校入学前の子どもがいる
※2 小・中学生の子どもがいる
※3 高校・大学生の子どもがいる

注：子ども・要介護者の有無別（問45）は、複数回答のクロス集計であるため、結果は傾向値として参照のこと。

２．文化活動参加状況

問 55. あなたは、文化活動（講座・教室の受講、文化サークル、個人の文化的な活動など）に参加されていますか。（○印１つ）

文化活動参加状況については、全体では「ほとんど参加していない」が７割近く（66.9%）を占め最も高くなっているが、「よく参加している」は 7.1%、「どちらかといえば、よく参加している」が 8.7%で、合計 15.8%が『参加している』と回答している。

小学校区別では『参加している（合計）』の割合は、南、上頓野、北、下境小学校区などで高く、特に、下境小学校区では「よく参加している」割合が最も高い。一方、西、植木、中泉小学校区では『参加していない（合計）』の割合が高くなっている。

性別では、男性に比べ女性で『参加している（合計）』割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『参加している（合計）』割合も増える傾向にあり、特に 65 歳以上では「よく参加している」が１割以上を占め最も高くなっている。

３．スポーツ・レクリエーション活動参加状況

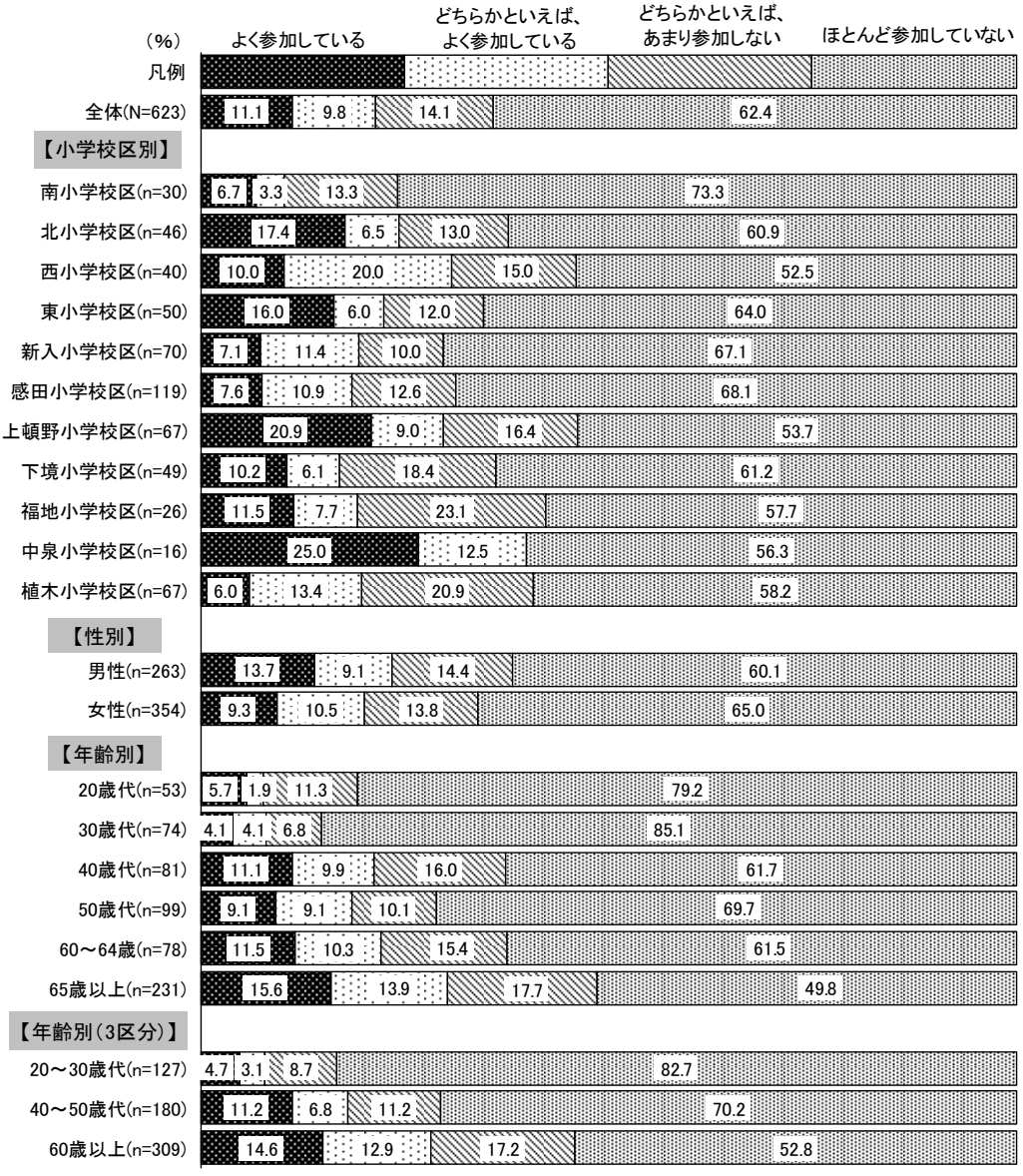
問 56. あなたは、スポーツやレクリエーション活動（運動教室、スポーツサークル、地域サークルや友人とのスポーツ活動・個人のスポーツ活動、地域等のレクリエーション活動など）に参加されていますか。（〇印１つ）

スポーツ・レクリエーション活動参加状況については、全体では「ほとんど参加していない」が 62.4%を占め最も高くなっているが、「よく参加している」は 11.1%と１割以上を占め、「どちらかといえば、よく参加している」(9.8%）と合せると２割以上が『参加している』と回答している。「どちらかといえば、あまり参加しない」は 14.1%で、「ほとんど参加していない」と合計して３／４以上が『参加していない』と回答している。

小学校区別では『参加している（合計)』の割合は、西、中泉小学校区などで高く、特に、中泉小学校区では、「よく参加している」割合が最も高い。一方、南、下境小学校区では、『参加していない（合計)』の割合が高くなっている。

性別では、男性で、『参加している（合計)』割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では、『参加している（合計)』割合は、年齢を経るごとに高くなっている。20～30 歳代では、『参加していない（合計)』の割合が他の年齢層を上回っている。



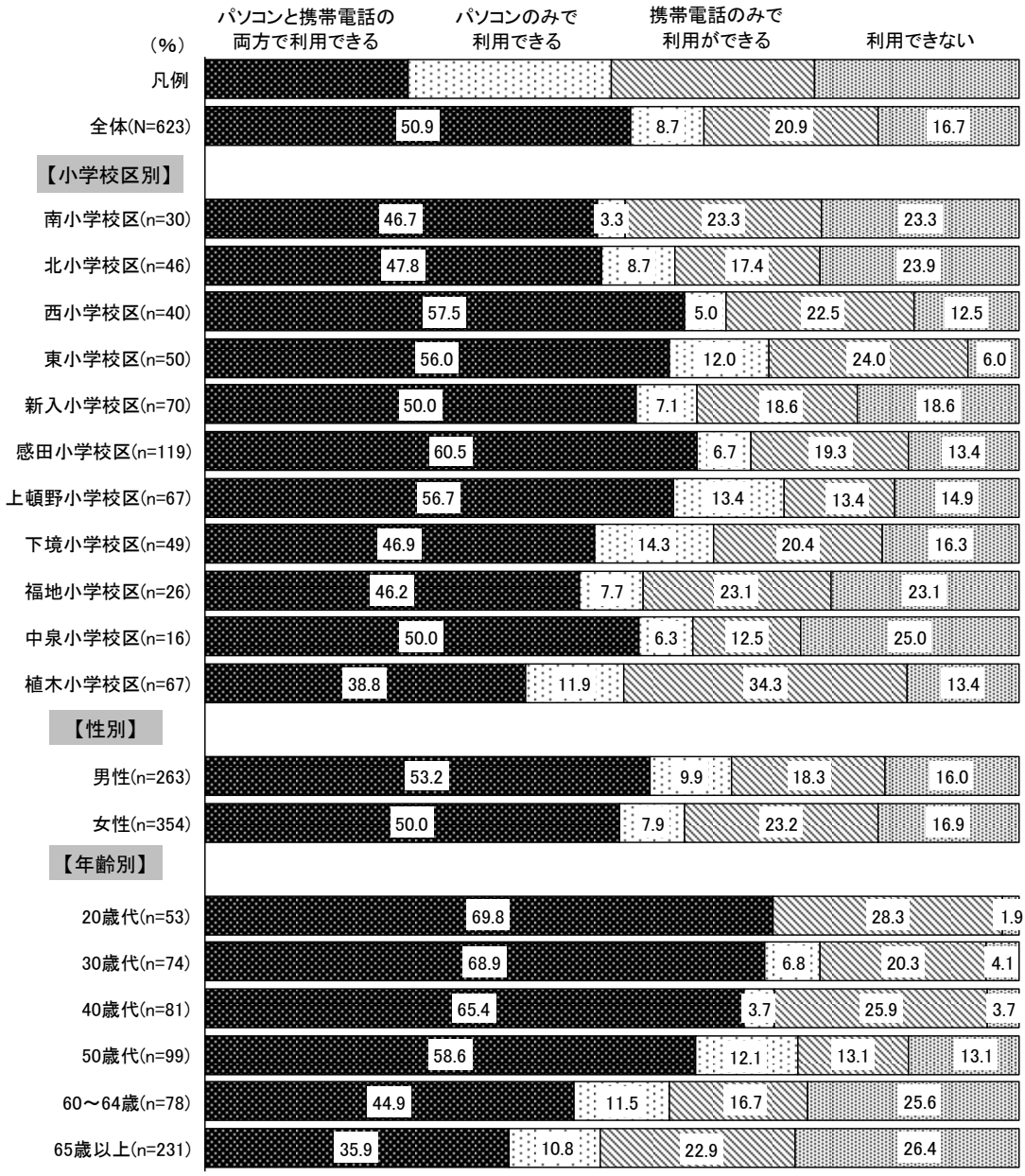
４．家庭のインターネット利用環境

問 15. あなたの家での、インターネットの利用環境はどうなっていますか。（○印１つ）
※あなた自身がお使いでなくても同居のご家族が利用している場合は「利用できる」と回答してください。

家庭のインターネット利用環境については、全体では「パソコンと携帯電話の両方で利用できる」の割合が 50.9％と半数以上を占め最も高く、「パソコンのみで利用できる」が 8.7％、「携帯電話のみで利用できる」が 20.9％で、合計 80.5％が何らかの方法で『利用できる』と回答している。「利用できない」は 16.7％であった。

小学校区別では、西、東、感田、植木小学校区で『利用できる（合計）』が他に比べ高く、特に西、感田小学校区では、「パソコンと携帯電話の両方で利用できる」割合が最も高くなっている。

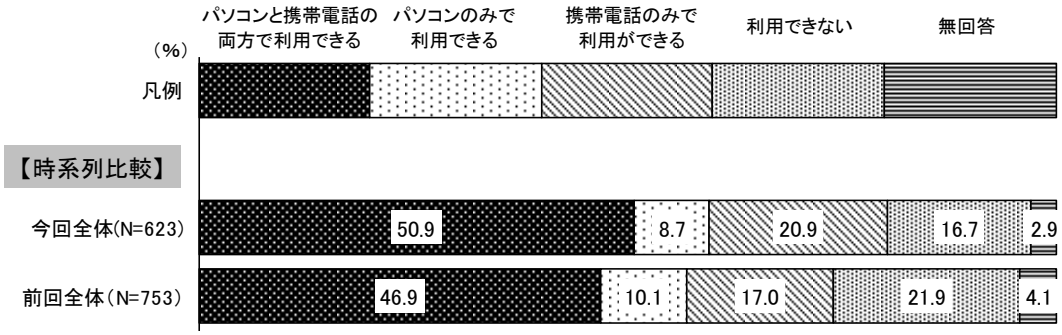
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、若い年齢層ほど『利用できる（合計）』割合も増える傾向にあり、特に 20 歳代では「パソコンと携帯電話の両方で利用できる」割合が７割近くを占め最も高くなっている。



【参考／前回調査との比較】

前回調査結果との比較では、「パソコンと携帯電話の両方で利用できる」などの割合がやや増加し、『利用できる（合計）』割合も増えている。

逆に、「利用できない」は減少している。



【２】日頃からの「健康づくり」について

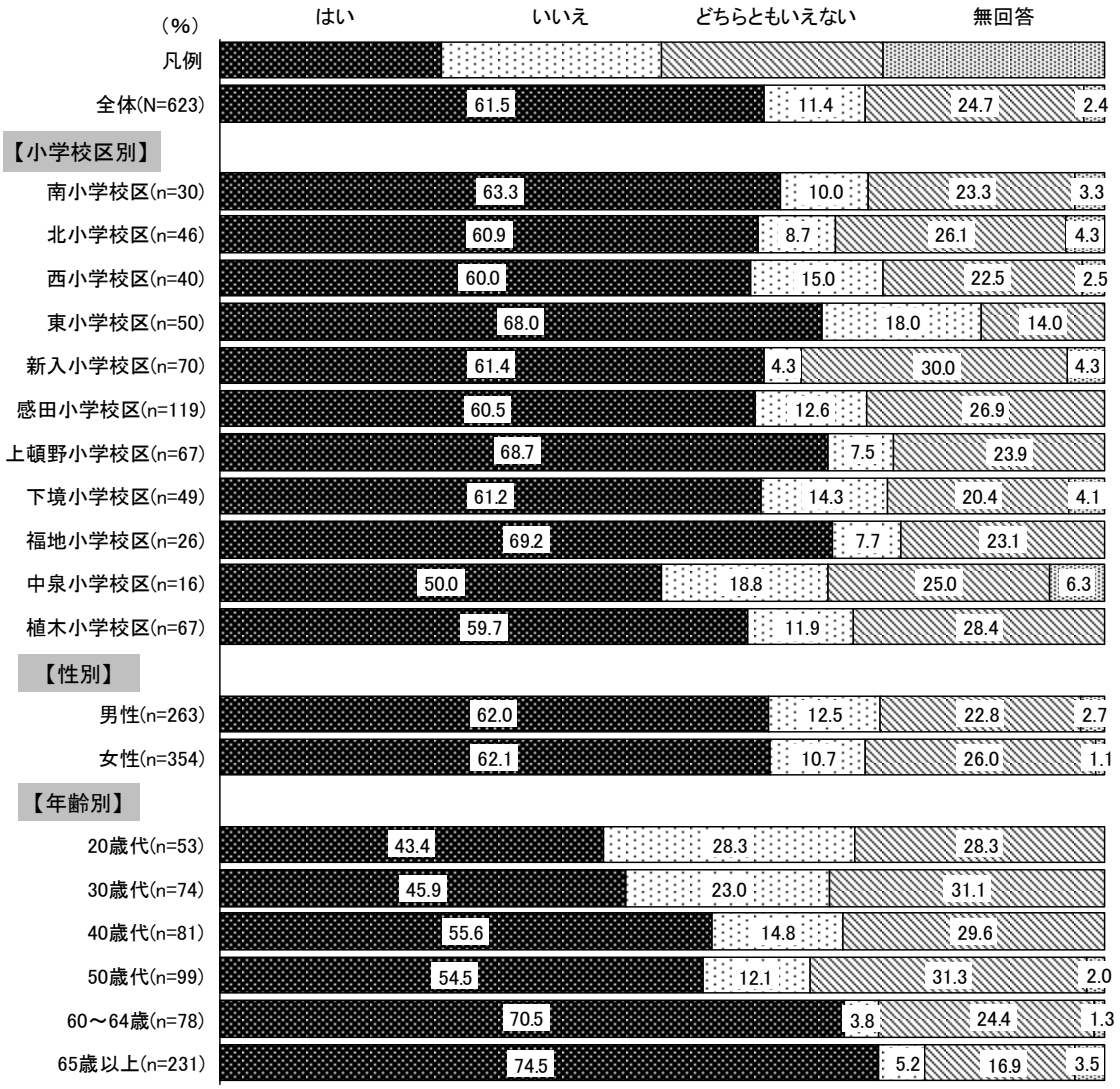
１．健康づくりの有無

問 49. あなたは、日頃から、健康づくりのために、なるべく体を動かしたり、食事に気を配っていますか。（〇印１つ）

健康づくりの有無については、全体では６割（61.5%）が「はい」と回答し、「いいえ」は、約１割（11.4%）にとどまっている。

小学校区別では、特に、東、上頓野、福地小学校区で「はい」の割合が高く、中泉、東、西小学校区などでは「いいえ」の割合が他に比べ高くなっている。

性別では、大きな差は目立たないが、年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合も増加する傾向にある。



２．医療体制の評価

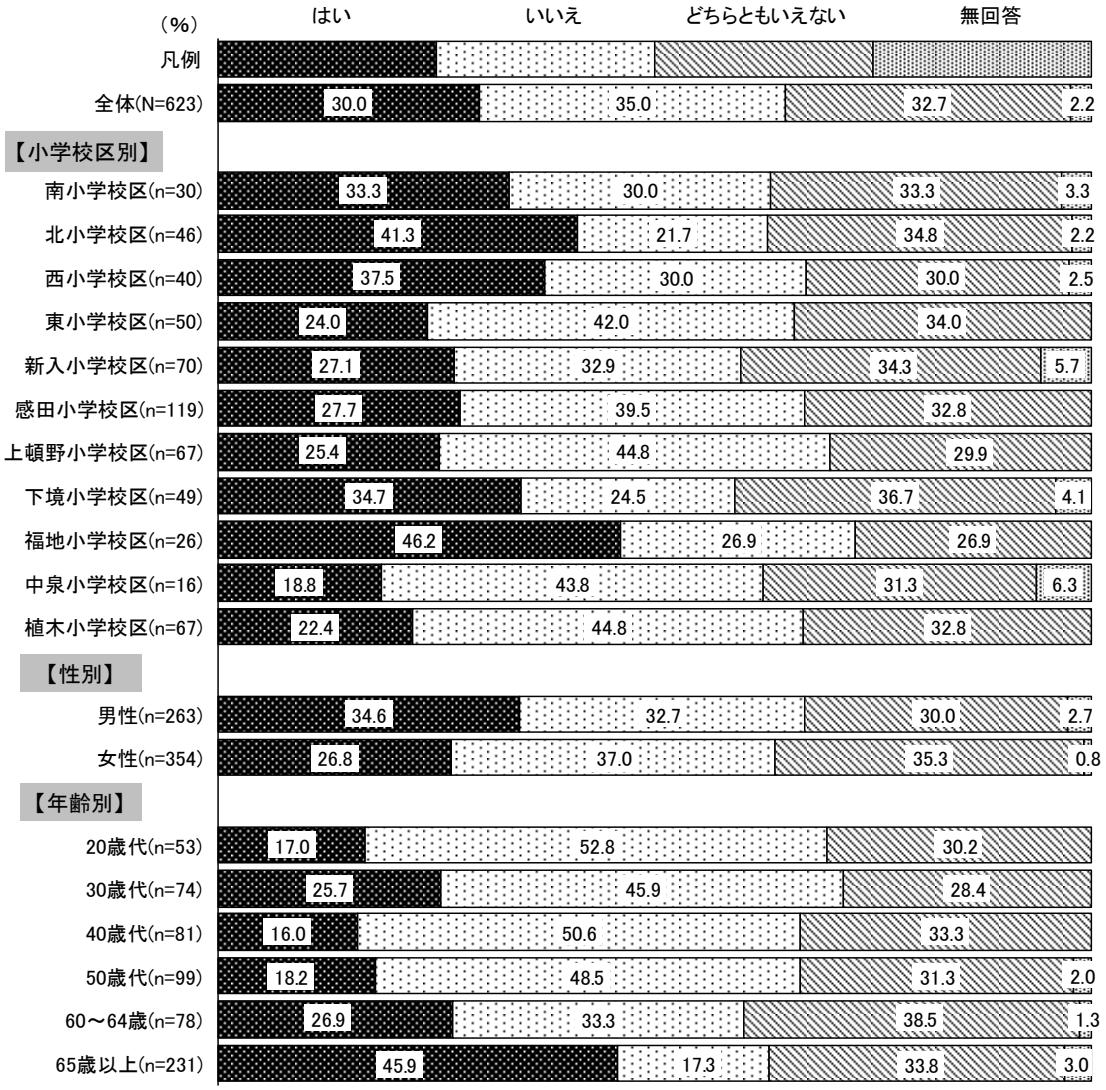
問 50. あなたは、病気等になった際に、身近なところで受診できたり、休日や夜間に受診できたりするなど直方市内の医療体制が整っていると思いますか。（○印１つ）

医療体制の評価については、全体では 30.0％が「はい」、35.0％が「いいえ」と回答し、医療体制に評価が低い回答が若干多くなっている。

小学校区別では、特に、福地小学校区で「はい」の割合が高く、植木、上頓野、中泉、東小学校区などでは「いいえ」の割合が他に比べ高くなっている。

性別では、男性で「はい」の割合がやや高いが大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合も増加する傾向にあるが、20 歳代、40 歳代においては、「いいえ」の回答が半数以上を占めている。



３．検診の認知度

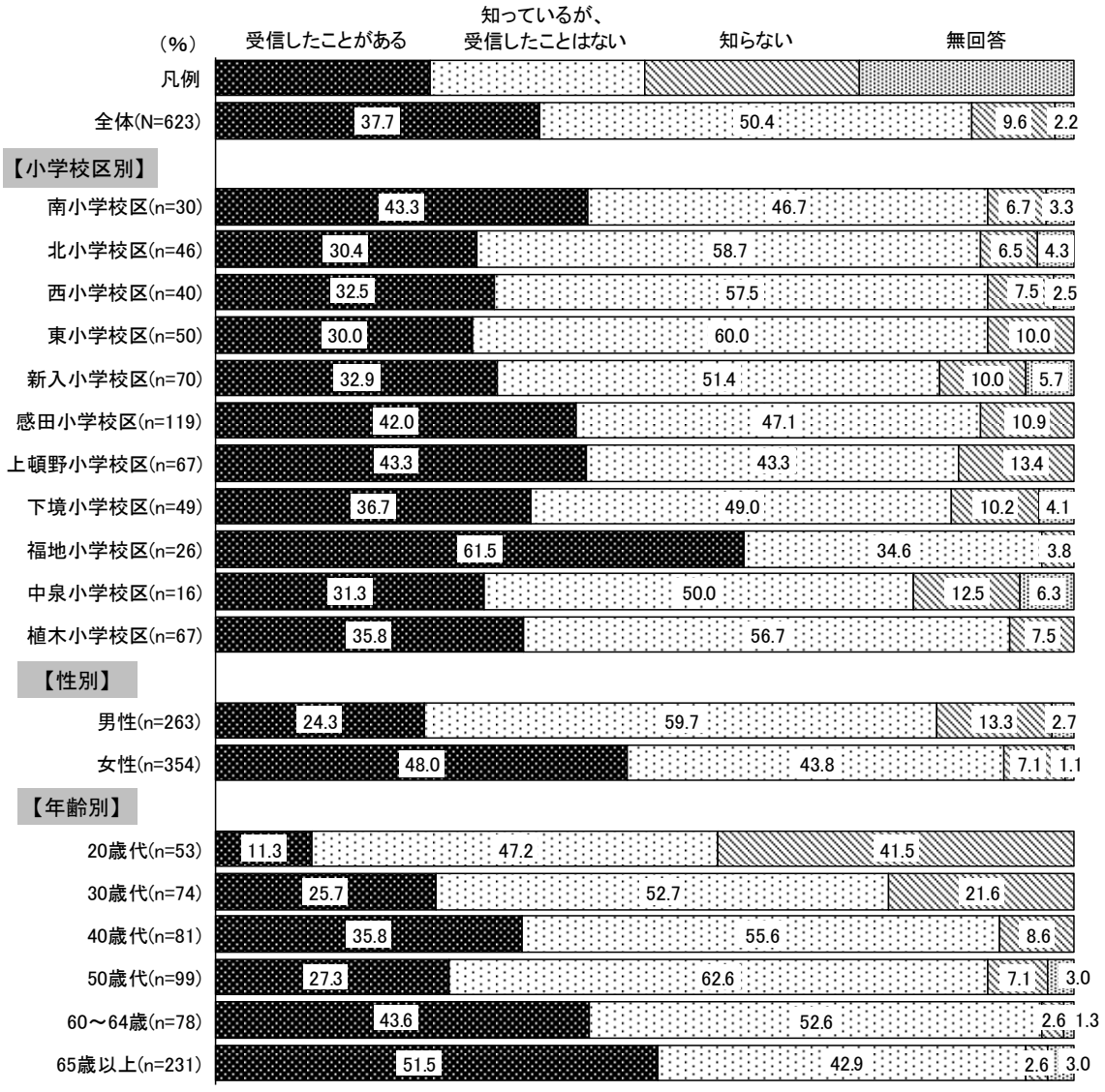
問 51．あなたは、直方市で行っている健診（特定健診・がん健診）を知っていますか。（○印１つ）

検診の認知度については、全体では「受診したことがある」(37.7%) と「知っているが、受診したことはない」(50.4%) を合せると、９割近く (88.1%) が『知っている』と回答している。

小学校区別では、特に、福地、植木小学校区で『知っている（合計)』割合が高く、上頓野、中泉小学校区などでは「知らない」割合が他に比べ高くなっている。

性別では、男性より女性で『知っている（合計)』割合がやや高く、「受診したことがある」回答は女性が男性の倍近くを占めている。

年齢別では、年齢が上がるほど『知っている（合計)』割合が増加し、「受診したことがある」割合も増加する傾向にある。



４．健康に関する情報の収集状況

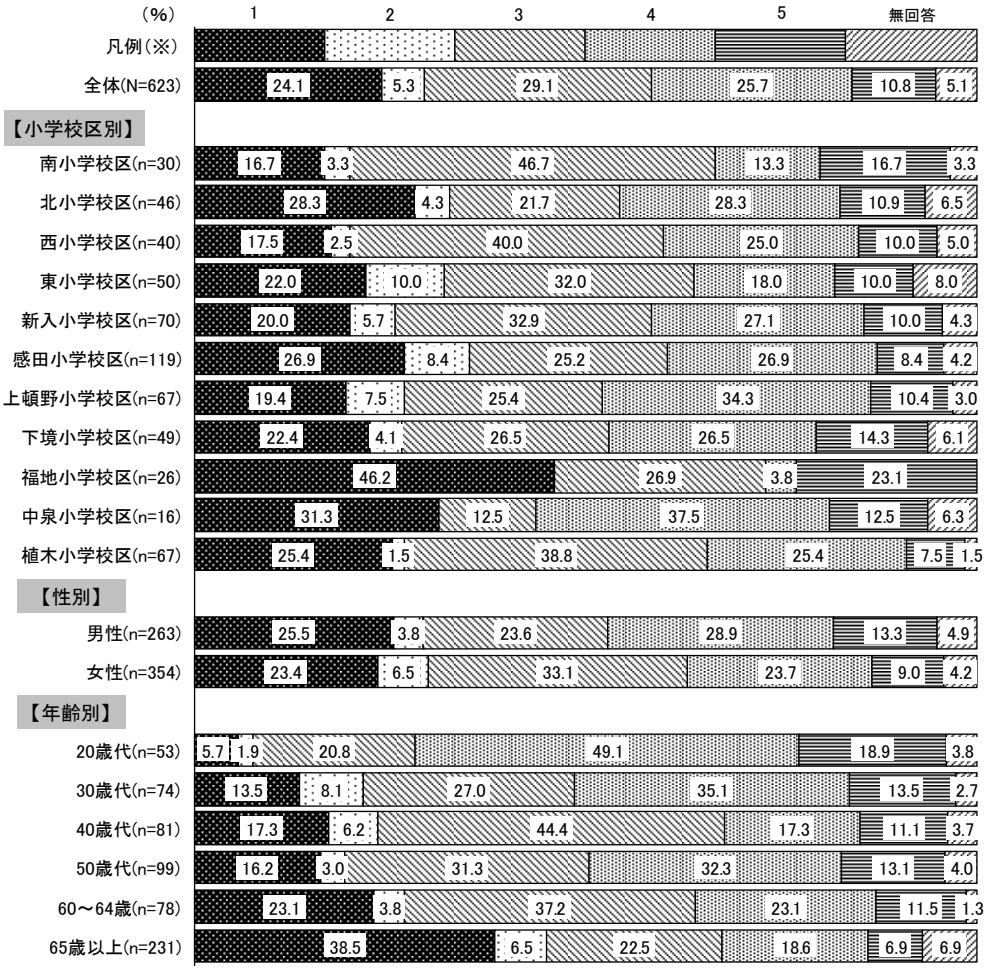
問 52. あなたは、日頃、健康に関連した情報を集めていますか。また、集めた情報を健康づくりに活かしていますか。（〇印１つ）

健康に関する情報の収集状況については、全体では「健康情報を積極的に集めてはいるが、得た健康情報を自分の健康づくりに活かせてはいない。」が 29.1%と最も多く、次いで「健康情報を積極的に集めてはいないが、今後、健康情報を集めようと考えている。」（25.7%）が多くなっている。

「健康情報を積極的に集めてはいないし、これから先も集めるつもりはない。」が１割程度（10.8%）を占めている。

小学校区別では、特に、福地小学校区で「健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしており、半年以上実行を継続している。」割合が高いが、同時に「健康情報を積極的に集めてはいないし、これから先も集めるつもりはない。」割合も他に比べ高くなっている。

性別では、大きな差は目立たず、年齢別では、年齢が上がるほど「健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしており、半年以上実行を継続している。」割合も増加する傾向にある。



（※）
1 健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしており、半年以上実行を継続している。
2 健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしているが、実行し始めて、まだ半年以内である。
3 健康情報を積極的に集めてはいるが、得た健康情報を自分の健康づくりに活かせてはいない。
4 健康情報を積極的に集めてはいないが、今後、健康情報を集めようと考えている。
5 健康情報を積極的に集めてはいないし、これから先も集めるつもりはない。

５．かかりつけ医の有無

問 11. あなたは、ご自分やご家族の健康について、相談できるかかりつけ医を持っていますか。（〇印１つ）

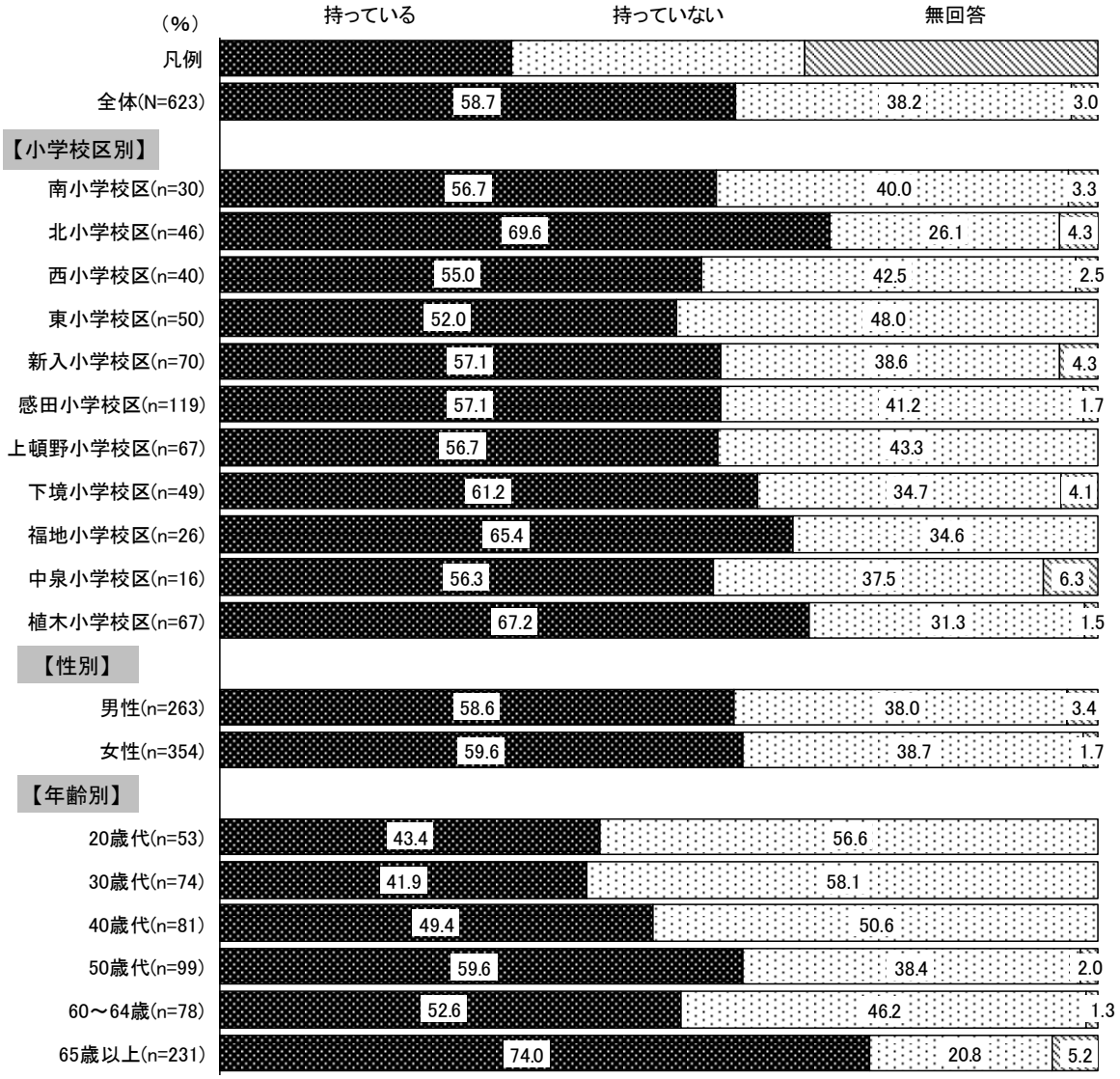
※かかりつけ医とは、主に地域の診療所や医院で、日頃から貴方の健康問題を把握し、日常のありふれた病気の相談や初期症状の治療に応じ、健康な生活が過ごせるように援助してくれる医師のこと。

かかりつけ医の有無については、全体では６割近く（58.7%）が「持っている」と回答している。

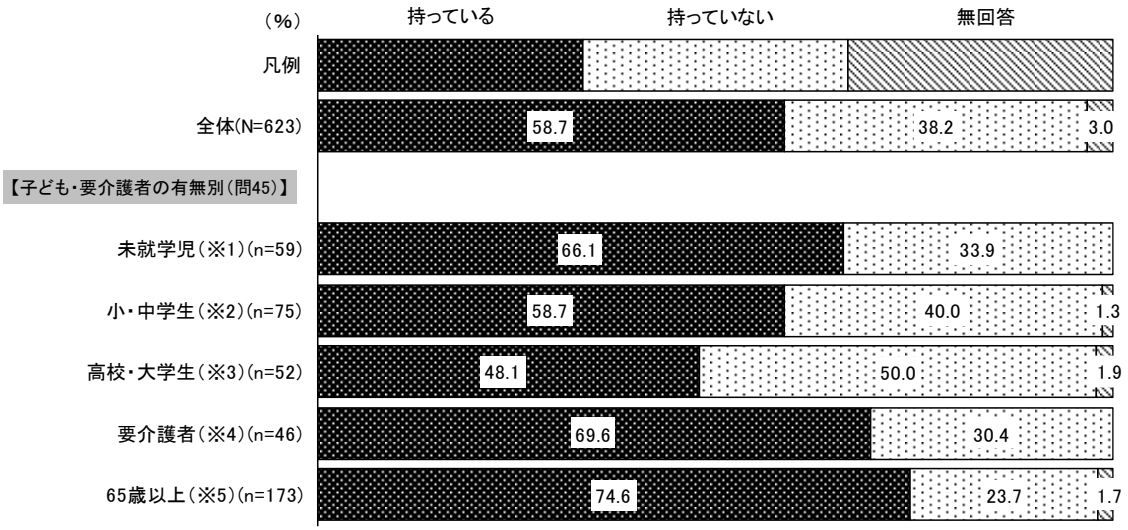
小学校区別では、特に、北小学校区で「持っている」割合が高く、東、上頓野、西小学校区などでは「持っていない」割合が他に比べ高くなっている。

性別では、女性で「持っている」割合がやや高いが大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど「持っている」割合も増加する傾向にある。



さらに、子ども・要介護者有無別[注]でみると、介護を必要としない 65 歳以上の家族がいる層では、７割以上がかかりつけ医を「持っている」と回答している。次いで、介護を必要とする家族がいる、小学校入学前の子どもがいるなどの層で「持っている」割合が高くなっている。



※1　小学校入学前の子どもがいる
※2　小・中学生の子どもがいる
※3　高校・大学生の子どもがいる
※4　介護を必要とする家族がいる
※5　介護を必要としない65歳以上の家族がいる

注：子ども・要介護者の有無別（問45）は、複数回答のクロス集計であるため、結果は傾向値として参照のこと。

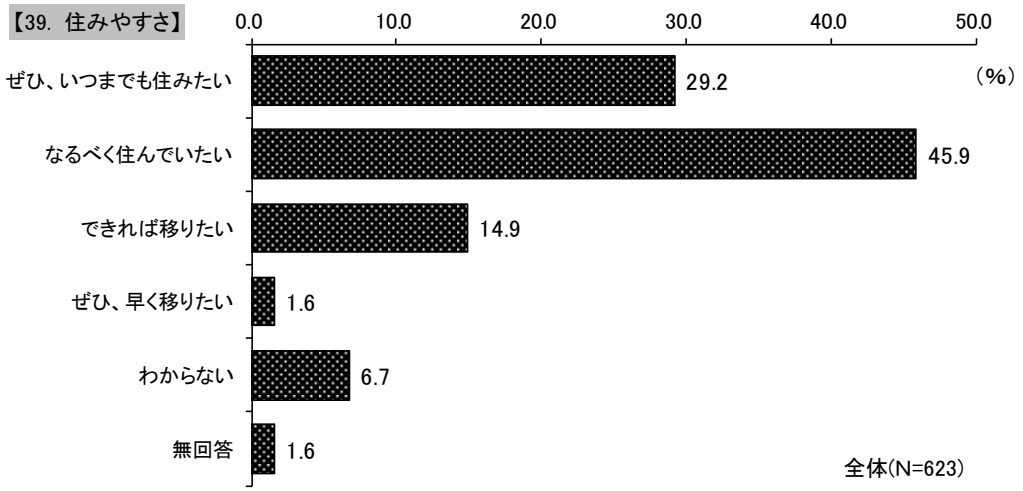
【３】市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策について

１．定住意向

問 39. あなたは、特に事情がない限り、ずっと直方市に住みたいと思いますか。（〇印は１つだけ）

定住意向については、全体の半数近く（45.9%）が「なるべく住んでいたい」と回答し、「ぜひ、いつまでも住みたい」（29.2%）と合せると、３／４以上（75.1%）が定住意向を示している。

「ぜひ、早く移りたい」は、1.6%にとどまっている。



		ぜひ、いつまでも住みたい	なるべく住んでいたい	できれば移りたい	ぜひ、早く移りたい	わからない	無回答
全体(N=623)		29.2	45.9	14.9	1.6	6.7	1.6
小学校区別	南小学校区(n=30)	40.0	46.7	10.0	0.0	3.3	0.0
	北小学校区(n=46)	28.3	56.5	4.3	0.0	8.7	2.2
	西小学校区(n=40)	32.5	35.0	20.0	0.0	10.0	2.5
	東小学校区(n=50)	14.0	56.0	24.0	2.0	4.0	0.0
	新入小学校区(n=70)	25.7	55.7	7.1	1.4	7.1	2.9
	感田小学校区(n=119)	27.7	42.0	20.2	1.7	8.4	0.0
	上頓野小学校区(n=67)	29.9	38.8	19.4	4.5	7.5	0.0
	下境小学校区(n=49)	34.7	49.0	8.2	4.1	2.0	2.0
	福地小学校区(n=26)	34.6	53.8	3.8	0.0	7.7	0.0
	中泉小学校区(n=16)	37.5	31.3	25.0	0.0	0.0	6.3
	植木小学校区(n=67)	29.9	43.3	16.4	1.5	6.0	3.0
性別	男性(n=263)	30.0	46.0	12.2	1.9	7.6	2.3
	女性(n=354)	28.0	46.0	17.2	1.4	6.2	1.1
年齢別	20歳代(n=53)	15.1	54.7	24.5	3.8	1.9	0.0
	30歳代(n=74)	16.2	47.3	20.3	2.7	12.2	1.4
	40歳代(n=81)	22.2	45.7	21.0	4.9	4.9	1.2
	50歳代(n=99)	22.2	48.5	15.2	0.0	12.1	2.0
	60～64歳(n=78)	28.2	57.7	7.7	1.3	5.1	0.0
	65歳以上(n=231)	41.6	38.5	11.7	0.4	5.2	2.6

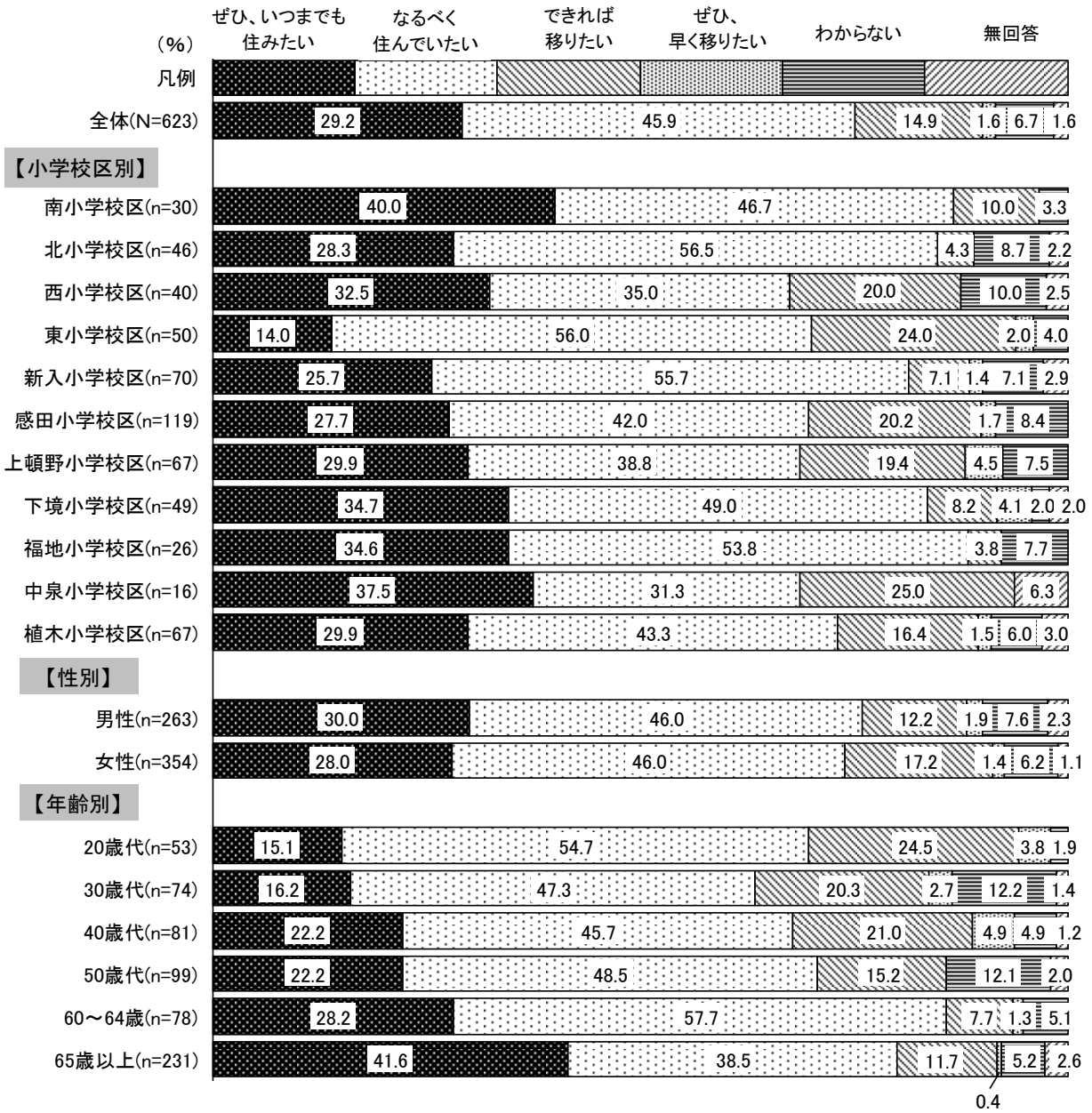
定住意向を居住地別に見ると、福地小学校区、南小学校区、北小学校区、下境小学校区、新入小学校区などで定住意向が高くなっている。

逆に、西小学校区、上頓野小学校区、中泉小学校区などで定住意向が低くなっている。

性別では、男性の定住意向がやや高いが大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど定住意向も増加する傾向にある。

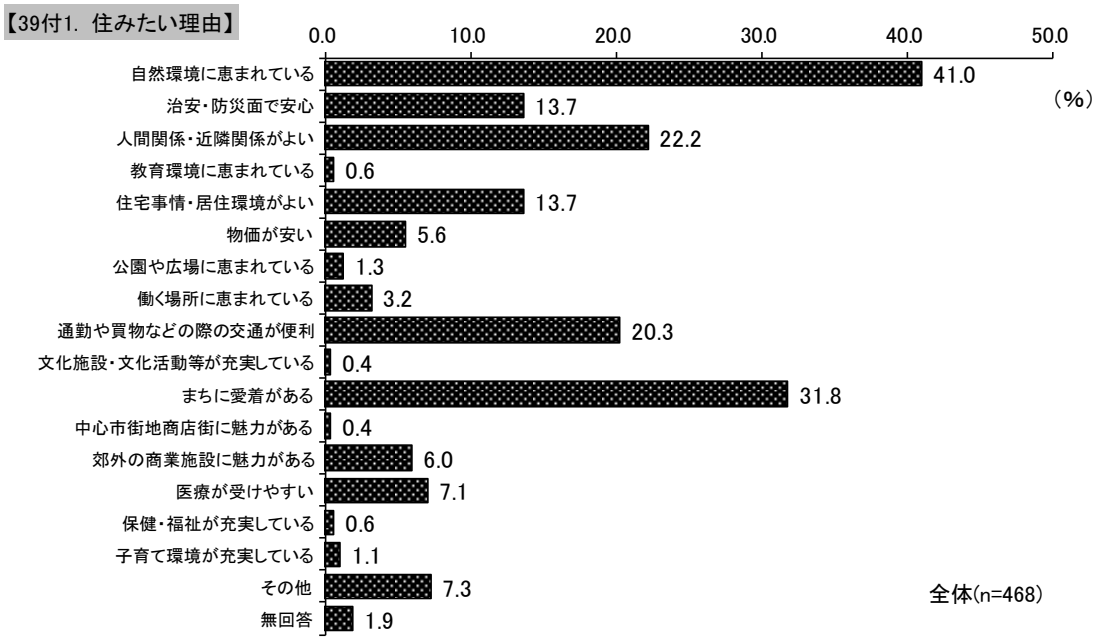
特に 30 歳代の定住意向が低くなっている。



２．定住理由

問 39．付問１　直方市に住みたい理由を次の中から２つまで選んで○印をつけてください。（○印は２つまで）

問 39 で「ぜひ、いつまでも住みたい」「なるべく住んでいたい」と回答した定住意向の理由については、全体の半数近く（41.0%）が「自然環境に恵まれている」となっている。次いで「まちに愛着がある」（31.8%）「人間関係・近隣関係がよい」（22.2%）「通勤や買い物などの際の交通が便利」（20.3%）の順に多くなっている。



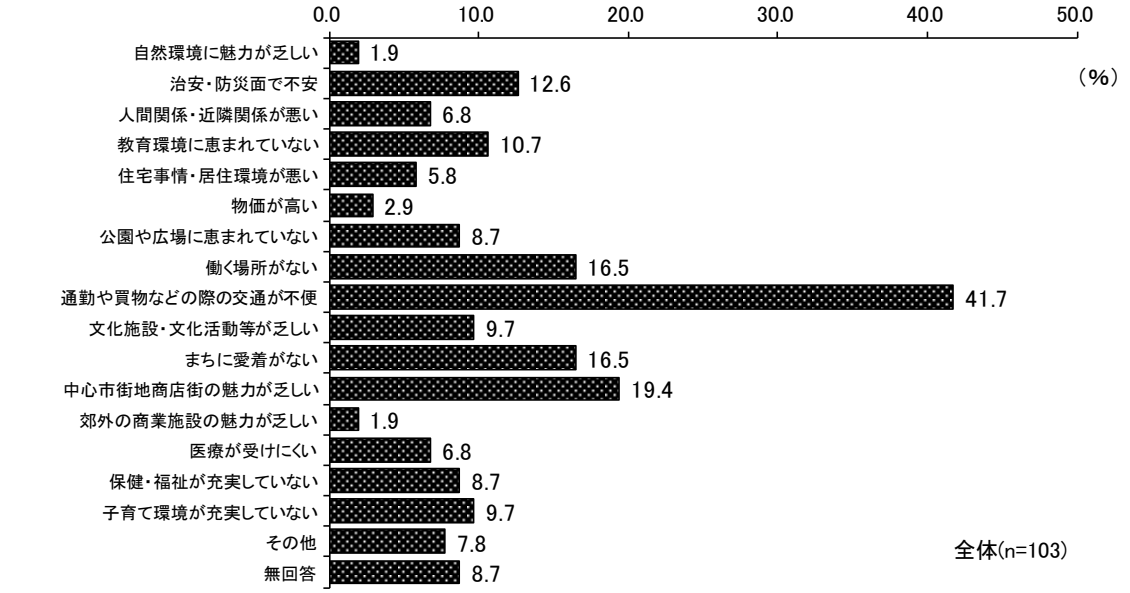
３．非定住理由

問 39. 付問２　他の市町村へ移りたい理由を次の中から２つまで選んで○印をつけてください。（○印は２つまで）

問 39 で「ぜひ、早く移りたい」「できれば移りたい」と回答した非定住意向の理由については、全体の半数近く（41.7%）が「通勤や買い物などの際の交通が不便」とし、地域性によって定住理由と非定住理由に分かれる傾向がうかがえる。

次いで「中心市街地商店街の魅力が乏しい」（19.4%）「働く場所がない」（16.5%）「まちに愛着がない」（16.5%）の順に多くなっている。

【39付2. その他の市町村に移りたい理由】



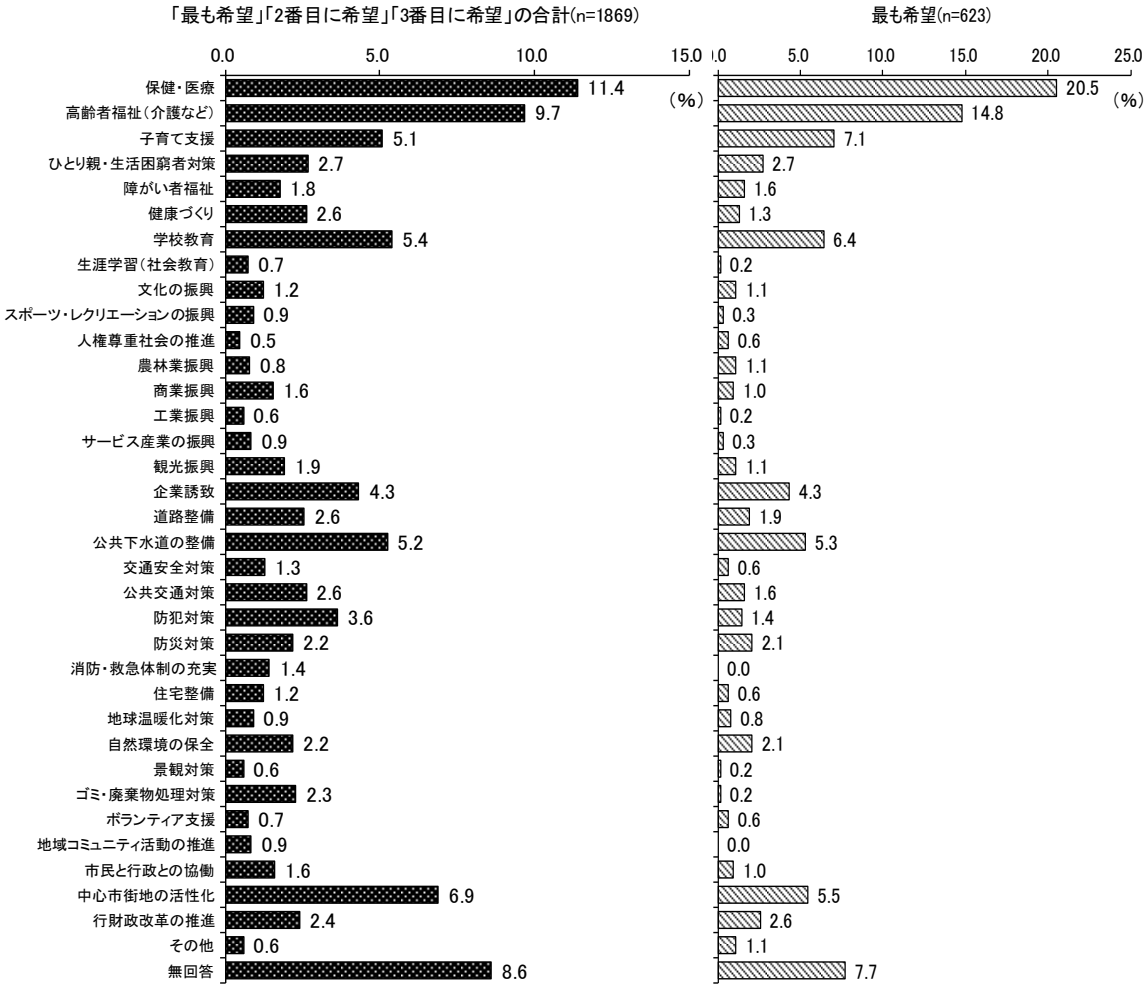
４．最も力を入れてほしい行政施策

問 40. あなたは、直方市の行政施策のうち、どのような分野に力を入れて欲しいとお考えですか。最も力を入れてほしいと思われる順番に３つ選んで、下記「記入欄」に番号を記入してください。

最も力を入れてほしい行政施策については、「最も希望」「２番目に希望」「３番目に希望」に分けて回答を求め、全体では「保健・医療」（11.4%）が最も多く、「保健・医療」は、「最も希望」においても最も多く（20.5%）なっている。

次いで、「高齢者福祉（介護など）」（9.7%）「中心市街地の活性化」（6.9%）の順に多くなっている。

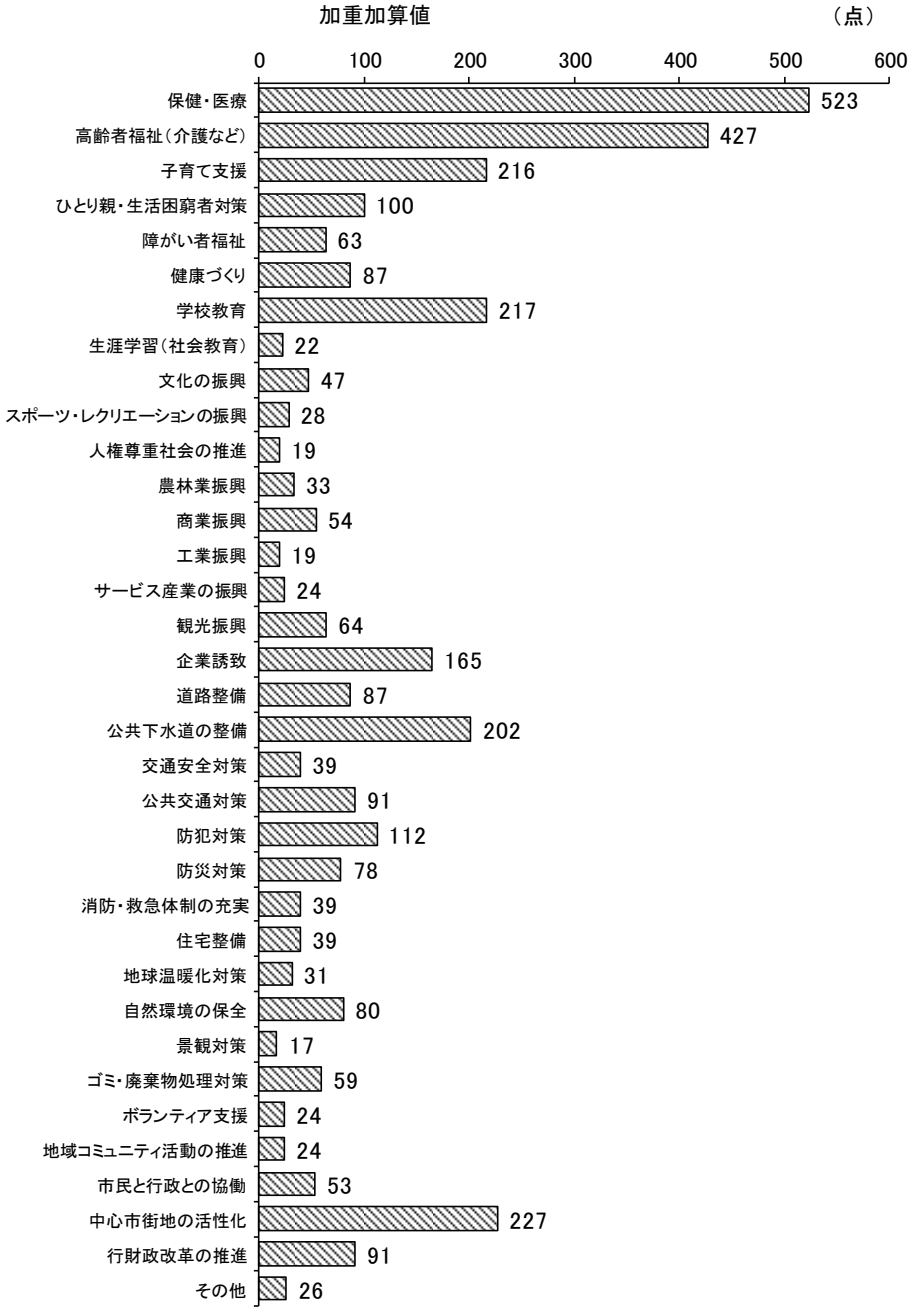
「最も希望」では、最も多い「保健・医療」に次いで、「高齢者福祉（介護など）」（14.8%）「子育て支援」（7.1%）「学校教育」（6.4%）の順に多くなっている。



最も力を入れてほしい行政施策について、「最も希望」「２番目に希望」「３番目に希望」を以下のように加重加算法で点数化して集計した。

加重加算値の算出方法は、「最も希望」に３点、「２番目に希望」に２点、「３番目に希望」に１点のウエイトを設定し、施策ごとの回答結果を「最も希望」の回答件数×３点＋「２番目に希望」の回答件数×２点＋「３番目に希望」の回答件数×１点として集計する。

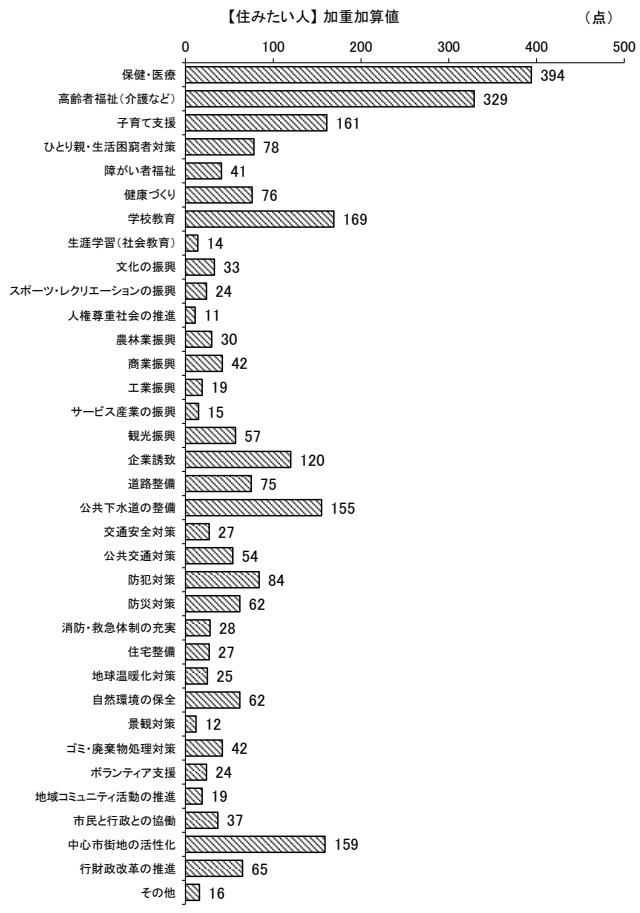
この指標によって、「力を入れてほしい」強弱をみると、「保健・医療」「高齢者福祉（介護など)」の要望が強く、「中心市街地の活性化」「子育て支援」「学校教育」「公共下水道の整備」がほぼ同じ値で要望が強くなっている。

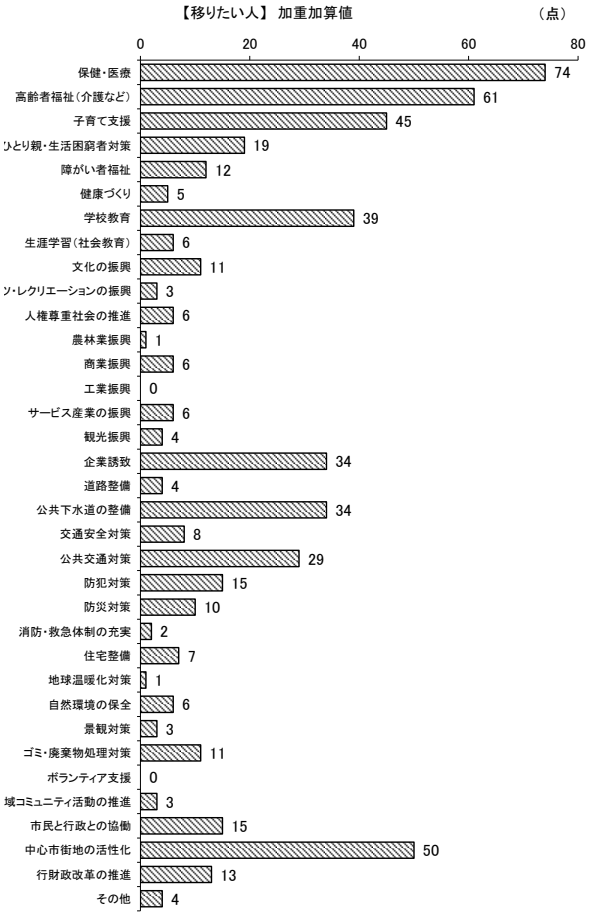


最も力を入れてほしい行政施策について、定住意向別の「最も希望」「２番目に希望」「３番目に希望」を以下のように集計した。

問 39 で「ぜひ、いつまでも住みたい」、「なるべく住んでいたい」と答えた人を『住みたい人』とし、「できれば移りたい」、「ぜひ、早く移りたい」と答えた人を『移りたい人』として、前頁同様の加重加算値の算出を行う。

「力を入れてほしい」強弱をみると、『住みたい人』、『移りたい人』両者ともに、「保健・医療」「高齢者福祉（介護など）」「企業誘致」「中心市街地の活性化」の要望が上位を占めている。





【４】市の施策評価について

１．施策の満足度・重要度

以下の表は、直方市のまちづくりの指針である「第５次直方市総合計画」に基づき、現在、市役所が取り組んでいる各施策の体系を示しています。
これらの取組みそれぞれについて、満足度や重要度、不満の理由についてお伺いします。

本市の施策について、３８の項目を掲げ、それぞれの「満足度」「重要度」を７段階評価で尋ねた。各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

①満足度、重要度の加重平均値による分析

満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

「満足度」については「非常に満足」「満足」「どちらかといえば満足」への回答とともに、「どちらかといえば不満」「不満」「非常に不満」「判断できない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をより的確に分析するために、加重平均値による指標化を行った。

加重平均値の算出方法は、「非常に満足」に３点、「満足」に２点、「どちらかといえば満足」に１点、「判断できない」に０点、「どちらかといえば不満」に－１点、「不満」に－２点、「非常に不満」に－３点の係数（ウエイト）を設定し、項目ごとの回答結果を（「非常に満足」の回答件数×３点＋「満足」の回答件数×２点＋「どちらかといえば満足」の回答件数×１点＋「判断できない」の回答件数×０点＋「どちらかといえば不満」の回答件数×－１点＋「不満」の回答件数×－２点＋「非常に不満」の回答件数×－３点）÷（回答者総数－無回答件数）として指標としている。

この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

「重要度」についても、同様な算出方法で加重平均値を算出している。

②満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、３８の施策を散布図上に相関図として示した。

３８の行政施策分析項目は次表の通りであるが、図表等における表記については、「略表記」の表記を用いた。

【平成 24 年度行政施策分析項目】（満足度・重要度各 37 問）

施策の大綱	施策名	施策名（略表記）
市民主体の地域づくり	1. 市民主体の地域づくりの促進	1. 地域づくり促進
	2. 地域づくりを推進する人材の発掘と育成	2. 人材発掘と育成
市民に開かれた行政運営	3. 市民参加の推進	3. 市民参加推進
	4. 効率的な行政運営の推進	4. 効率的な行政運営
	5. 窓口サービスにおける市民サービスの向上	5. 窓口サービス向上
	6. 健全な財政運営の推進	6. 健全な財政運営
自然と都市が調和し快適に暮らせるまち	7. 自然と都市が調和し快適に暮らすまちを目指した秩序ある土地利用の推進	7. 秩序ある土地利用
	8. 中心市街地整備と賑わい創出	8. 都市機能整備
	9. 公園の適正な配置と管理	9. 公園の適正配置
	10. 良好な住環境の確保	10. 良好な住環境
	11. 交通網の充実	11. 交通網充実
	12. 安全・良好な水道水の安定供給	12. 水道水安定供給
	13. 下水道の整備	13. 下水道整備
自然と人が共生するまち	14. 環境保全の推進	14. 環境保全推進
	15. 循環型社会の推進	15. 循環型社会推進
安全・安心なまち	16. 災害対策の推進	16. 災害対策推進
	17. 消防・救急の充実	17. 消防・救急充実
	18. 交通安全・防犯対策の推進	18. 交通安全・防犯対策
すこやかで安心して暮らせるまち	19. 保健事業の充実	19. 保健事業充実
	20. 地域医療体制の維持と確保	20. 地域医療体制維持確保
ささえあう地域福祉社会	21. 障がい者福祉の充実	21. 障がい者福祉充実
	22. 高齢者福祉の充実	22. 高齢者福祉充実
	23. 社会福祉と公的医療保険制度の充実	23. 社会福祉充実
	24. 各種相談業務の充実	24. 各種相談業務充実
安心して子育てできるまち	25. 地域における子育て環境の充実	25. 子育て環境充実
	26. 子育てにおける公的支援の充実	26. 子育て支援充実
生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成	27. 知・徳・体を育む教育の充実	27. 教育の充実
	28. 教育環境の充実・強化	28. 教育環境充実・強化
	29. 学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成	29. 青少年健全育成
生きがいと豊かな感性を育むまち	30. 生涯学習の推進	30. 生涯学習推進
	31. 文化の振興	31. 文化振興
	32. スポーツ・レクリエーションの振興	32. スポーツ振興

施策の大綱	施策名	施策名（略表記）
人権尊重社会の実現	33. 人権尊重の教育・啓発の推進	33. 人権教育推進
男女共同参画社会の実現	34. 男女共同参画社会の推進	34. 男女共同参画推進
未来へつなぎ活力を創造するまち	35. 時代をリードし成長する工業	35. 工業振興
	36. 市民の暮らしの担い手となる商業とサービス産業	36. 商業振興
	37. 未来に夢を持つ農業	37. 農業振興
	38. 魅力あふれる観光	38. 観光振興

（１）満足度

満足度が高い項目として、「19．保健事業充実」「17．消防・救急充実」「15．循環型社会推進」「5．窓口サービス向上」などがあげられる。

満足度が低い項目としては、「36．商業振興」「9．公園の適正配置」「13．下水道整備」などがあげられ、特に「36．商業振興」は前回調査でも最も満足度が低い項目である。

（２）重要度

重要度が高い項目として、「20．地域医療体制維持確保」「16．災害対策推進」「17．消防・救急充実」「18．交通安全・防犯対策」「5．窓口サービス向上」などがあげられる。

重要度が低い項目としては、「31．文化振興」「10．良好な住環境」「34．男女共同参画推進」「32．スポーツ振興」などがあげられる。

（３）満足度と重要度の評価

満足度については、「19．保健事業充実」が最も好評価に位置し、前回調査と同じ結果であるが、引き続き各種健診や健康増進施策、啓発などが順調に市民に浸透していることが要因のひとつとして考えられる。次いで「17．消防・救急充実」「15．循環型社会推進」「5．窓口サービス向上」などが上位にあり、市民が身近に感じる、あるいは利便性が向上した施策などについては満足度が高い傾向にある。

一方、「36．商業振興」は前回に引き続き低く、消費者ニーズに応じた商店街の取り組みや空き店舗対策が不十分で、日常の買い物利便性の悪さが強く意識されているものと考えられる。

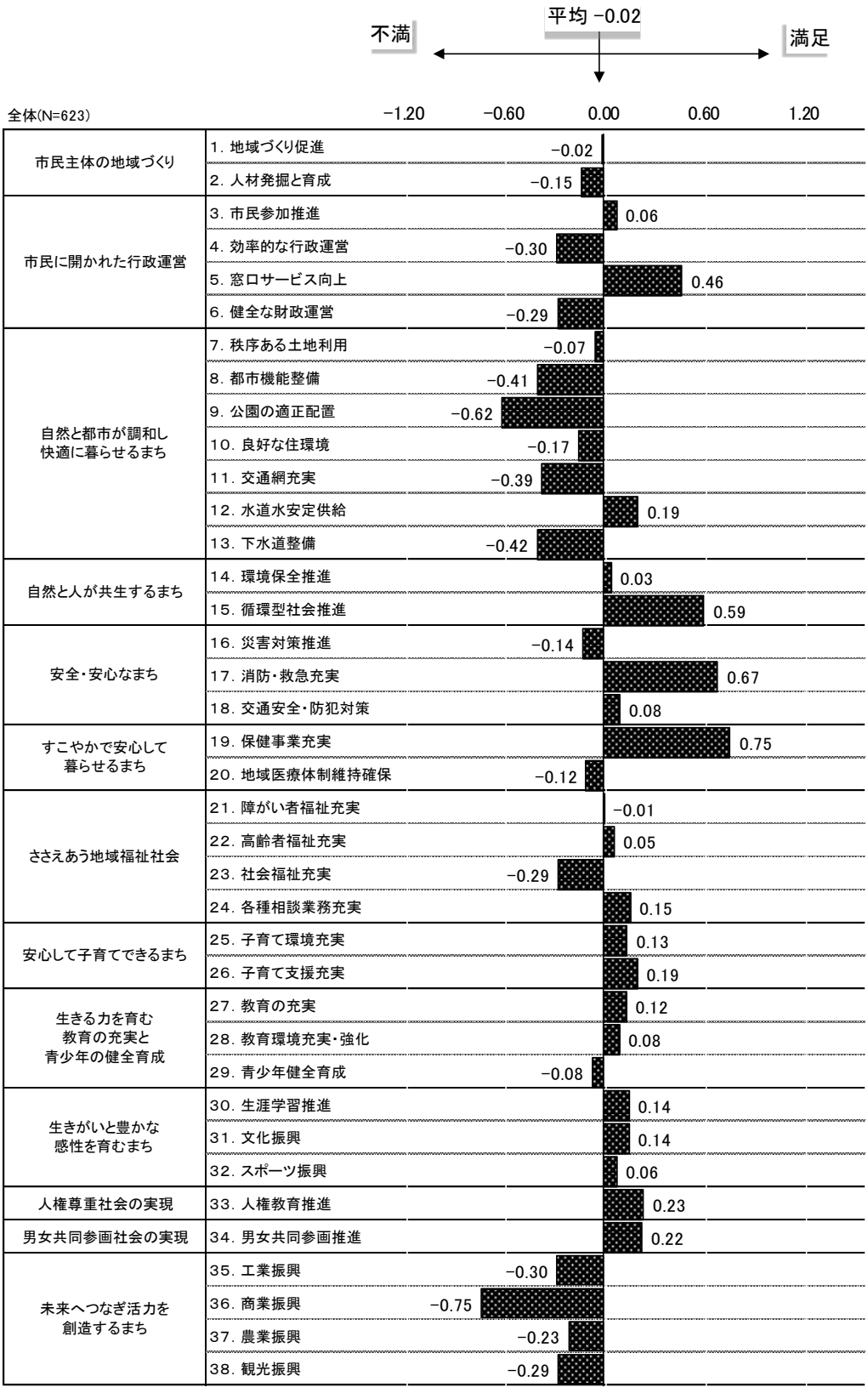
「9．公園の適正配置」や「13．下水道整備」なども満足度は低いが、これは地域差もあるため、地域ごとに今後対応を検討すべき施策のひとつとしてあげられる。

平均値に近い施策としては、「21．障がい者福祉充実」「1．地域づくり促進」などがあげられるが、該当者の有無や行政とのかかわりなどによって異なるため、中間的な回答が多かったとみられる。

重要度については、「20．地域医療体制維持確保」が最も高いが、高齢化の進行に伴い今後も重要度が増してくる施策のひとつと考えられる。また「16．災害対策推進」は、昨今の全国的な防災意識の高まりから、市民の意識も高まっているものととらえられる。

一方、重要度が低い「31．文化振興」や「34．男女共同参画推進」などは、意識啓発等が主な施策となっていることから、緊急性よりも、しっかりと浸透させていくべき施策としての市民意識が反映されていると考えられる。

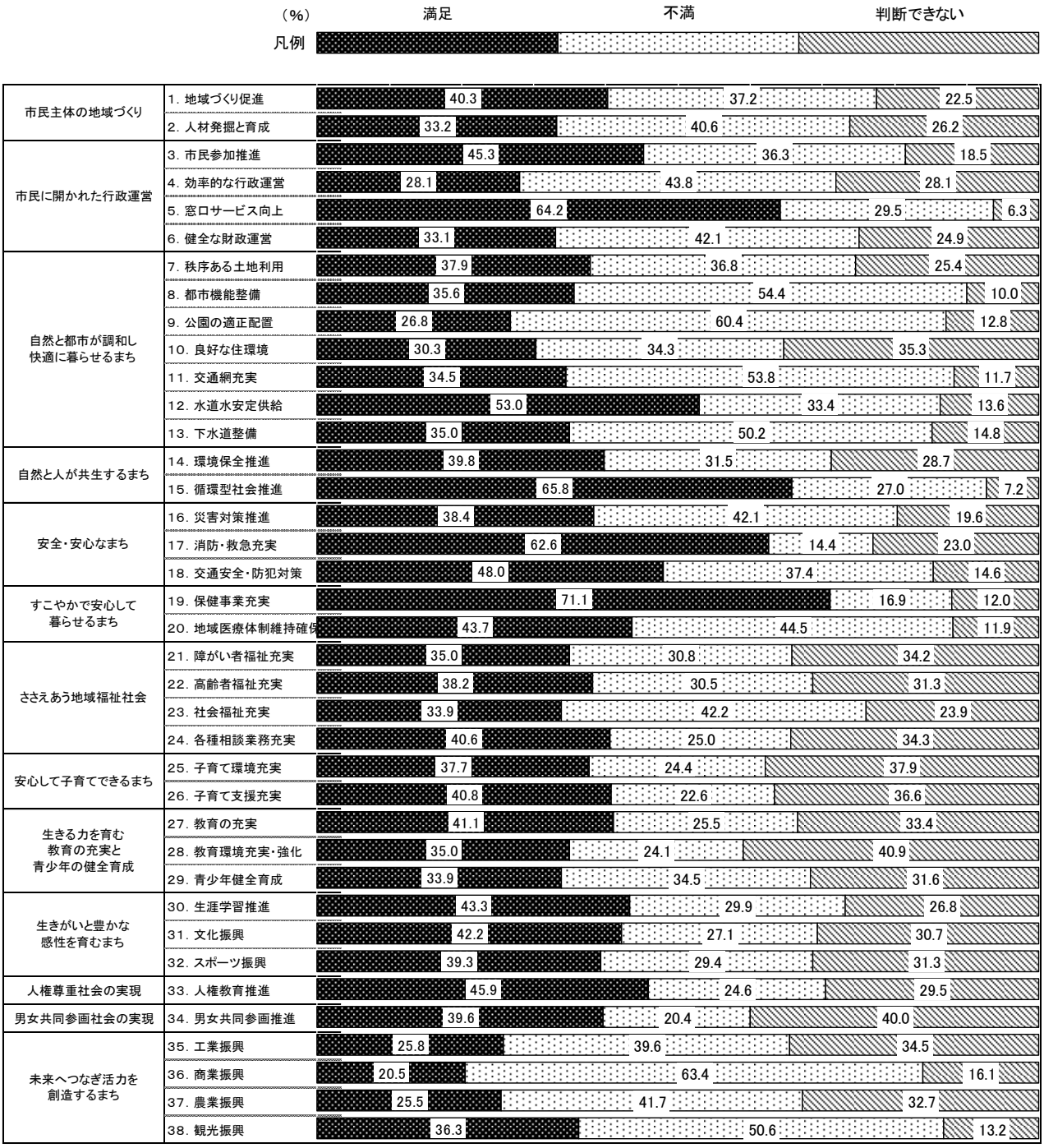
【満足度:加重平均値(施策順)】



市民主体の地域づくり	1. 地域づくり促進	-0.02
	2. 人材発掘と育成	-0.15
市民に開かれた行政運営	3. 市民参加推進	0.06
	4. 効率的な行政運営	-0.30
	5. 窓口サービス向上	0.46
	6. 健全な財政運営	-0.29
自然と都市が調和し快適に暮らせるまち	7. 秩序ある土地利用	-0.07
	8. 都市機能整備	-0.41
	9. 公園の適正配置	-0.62
	10. 良好な住環境	-0.17
	11. 交通網充実	-0.39
	12. 水道水安定供給	0.19
	13. 下水道整備	-0.42
自然と人が共生するまち	14. 環境保全推進	0.03
	15. 循環型社会推進	0.59
安全・安心なまち	16. 災害対策推進	-0.14
	17. 消防・救急充実	0.67
	18. 交通安全・防犯対策	0.08
すこやかで安心して暮らせるまち	19. 保健事業充実	0.75
	20. 地域医療体制維持確保	-0.12
ささえあう地域福祉社会	21. 障がい者福祉充実	-0.01
	22. 高齢者福祉充実	0.05
	23. 社会福祉充実	-0.29
	24. 各種相談業務充実	0.15
安心して子育てできるまち	25. 子育て環境充実	0.13
	26. 子育て支援充実	0.19
生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成	27. 教育の充実	0.12
	28. 教育環境充実・強化	0.08
	29. 青少年健全育成	-0.08
生きがいと豊かな感性を育むまち	30. 生涯学習推進	0.14
	31. 文化振興	0.14
	32. スポーツ振興	0.06
人権尊重社会の実現	33. 人権教育推進	0.23
男女共同参画社会の実現	34. 男女共同参画推進	0.22
未来へつなぎ活力を創造するまち	35. 工業振興	-0.30
	36. 商業振興	-0.75
	37. 農業振興	-0.23
	38. 観光振興	-0.29

単位:加重平均値(以下同様)

【満足度:回答の構成割合(施策順)】



		満足		不満		判断できない
市民主体の地域づくり	1. 地域づくり促進	40.3		37.2		22.5
	2. 人材発掘と育成	33.2		40.6		26.2
市民に開かれた行政運営	3. 市民参加推進	45.3		36.3		18.5
	4. 効率的な行政運営	28.1		43.8		28.1
	5. 窓口サービス向上	64.2		29.5		6.3
	6. 健全な財政運営	33.1		42.1		24.9
自然と都市が調和し快適に暮らせるまち	7. 秩序ある土地利用	37.9		36.8		25.4
	8. 都市機能整備	35.6		54.4		10.0
	9. 公園の適正配置	26.8		60.4		12.8
	10. 良好な住環境	30.3		34.3		35.3
	11. 交通網充実	34.5		53.8		11.7
	12. 水道水安定供給	53.0		33.4		13.6
	13. 下水道整備	35.0		50.2		14.8
自然と人が共生するまち	14. 環境保全推進	39.8		31.5		28.7
	15. 循環型社会推進	65.8		27.0		7.2
安全・安心なまち	16. 災害対策推進	38.4		42.1		19.6
	17. 消防・救急充実	62.6		14.4		23.0
	18. 交通安全・防犯対策	48.0		37.4		14.6
すこやかで安心して暮らせるまち	19. 保健事業充実	71.1		16.9		12.0
	20. 地域医療体制維持確保	43.7		44.5		11.9
ささえあう地域福祉社会	21. 障がい者福祉充実	35.0		30.8		34.2
	22. 高齢者福祉充実	38.2		30.5		31.3
	23. 社会福祉充実	33.9		42.2		23.9
	24. 各種相談業務充実	40.6		25.0		34.3
安心して子育てできるまち	25. 子育て環境充実	37.7		24.4		37.9
	26. 子育て支援充実	40.8		22.6		36.6
生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成	27. 教育の充実	41.1		25.5		33.4
	28. 教育環境充実・強化	35.0		24.1		40.9
	29. 青少年健全育成	33.9		34.5		31.6
生きがいと豊かな感性を育むまち	30. 生涯学習推進	43.3		29.9		26.8
	31. 文化振興	42.2		27.1		30.7
	32. スポーツ振興	39.3		29.4		31.3
人権尊重社会の実現	33. 人権教育推進	45.9		24.6		29.5
男女共同参画社会の実現	34. 男女共同参画推進	39.6		20.4		40.0
未来へつなぎ活力を創造するまち	35. 工業振興	25.8		39.6		34.5
	36. 商業振興	20.5		63.4		16.1
	37. 農業振興	25.5		41.7		32.7
	38. 観光振興	36.3		50.6		13.2

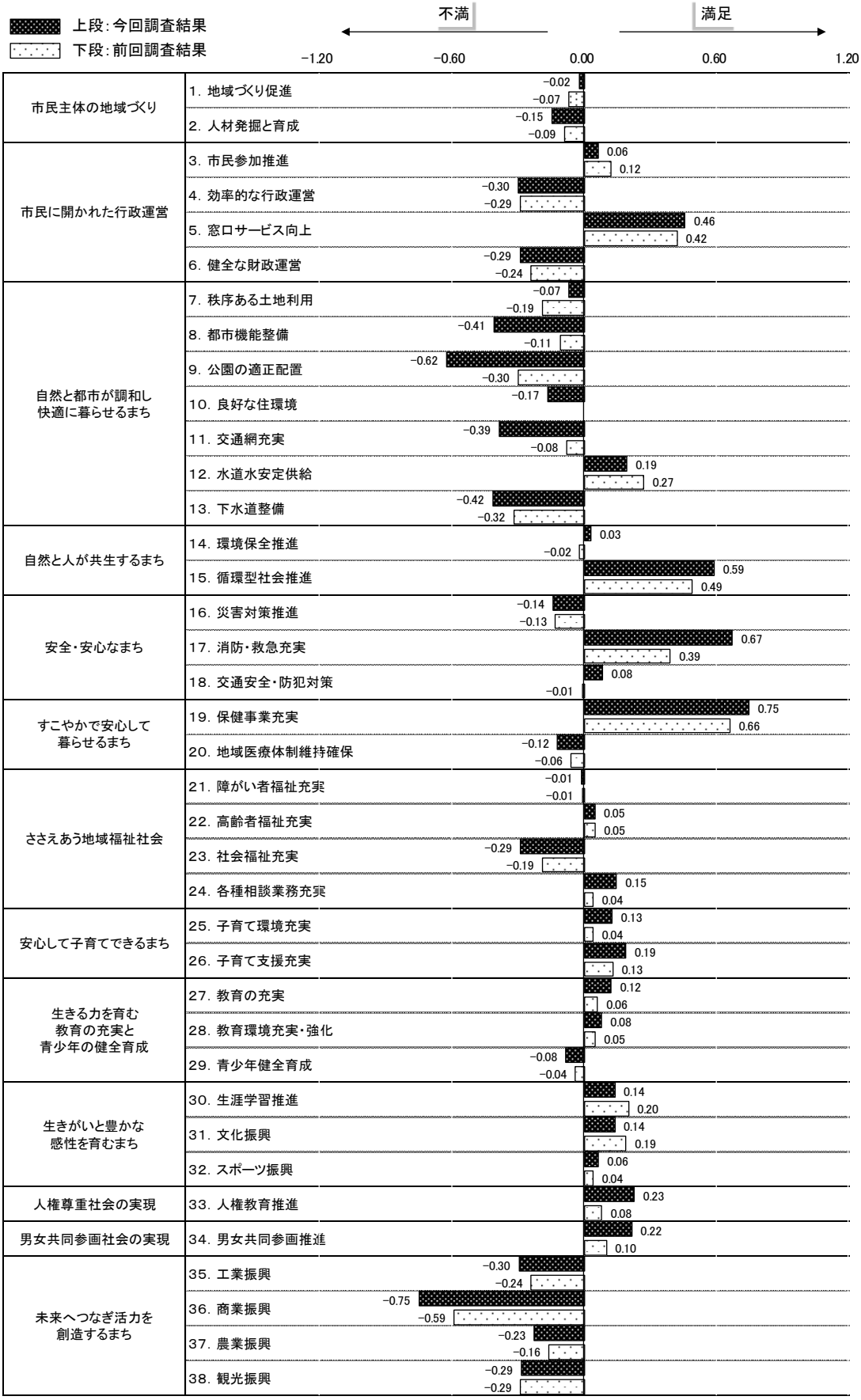
※満足は、「非常に満足」「満足」「どちらかといえば満足」の合計、不満は、「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」の合計。

【満足度:加重平均値(高位順)】

【参考資料／前回調査結果の満足度：加重平均値（平成 24 年 9 月実施）】

注：今回調査と設問項目数が異なる。（「10. 良好な住環境」がない。）

【満足度:加重平均値(今回調査結果と前回調査結果の比較:施策順)】



【今回調査結果／満足度（属性別傾向）】

上位5位
下位5位

満足度【属性別指標】（各属性における上位5位まで→グレー、下位5位まで→白黒反転）

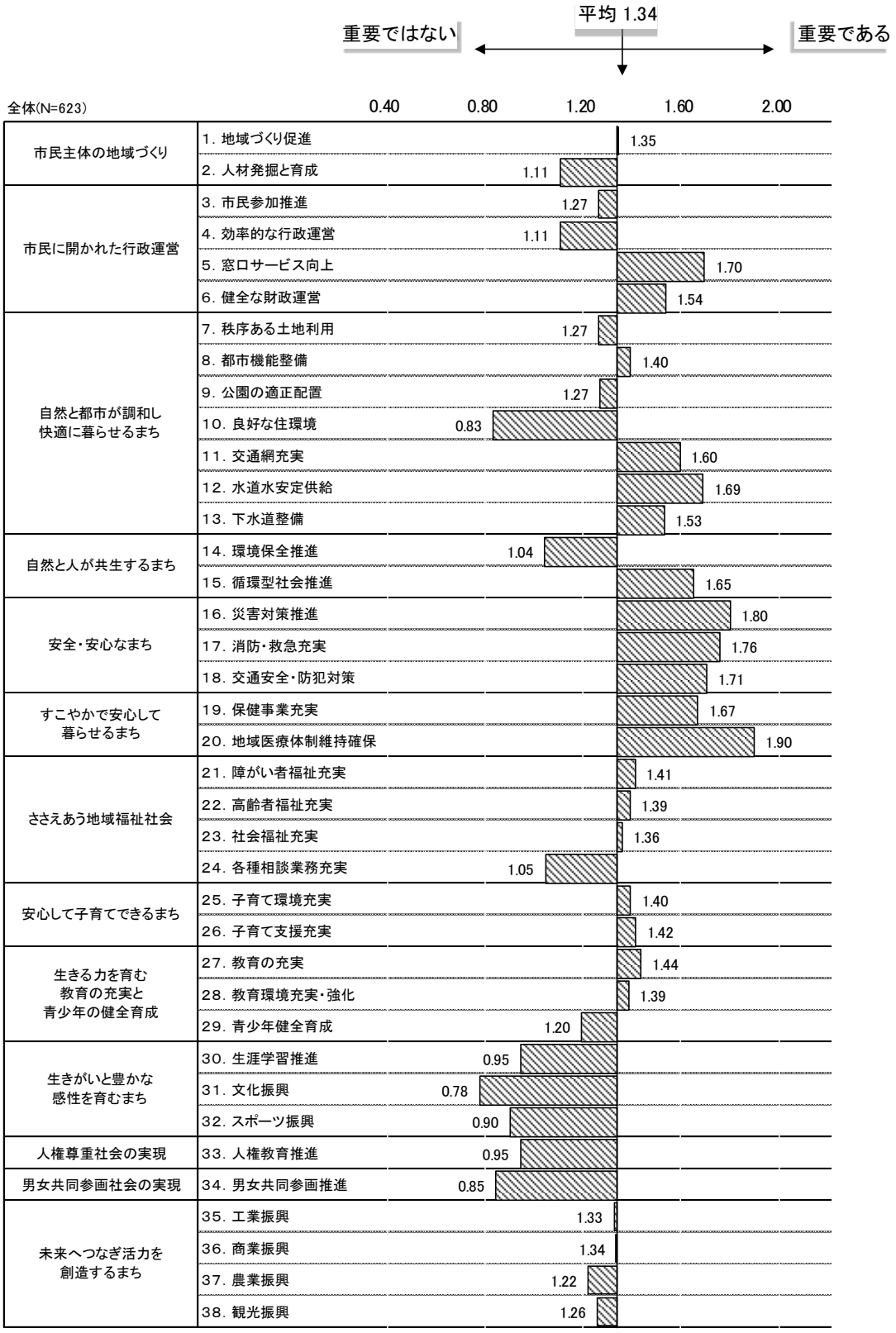
		全体	小学校区別										
			南小学校区	北小学校区	西小学校区	東小学校区	新入小学校区	感田小学校区	上頓野小学校区	下境小学校区	福地小学校区	中泉小学校区	植木小学校区
		623	30	46	40	50	70	119	67	49	26	16	67
1	地域づくり促進	−0.02	−0.03	0.00	−0.10	−0.32	−0.16	0.09	0.13	−0.10	−0.15	0.38	0.06
2	人材発掘と育成	−0.15	−0.17	−0.07	−0.20	−0.44	−0.19	−0.03	−0.04	−0.18	−0.35	0.00	−0.18
3	市民参加推進	0.06	−0.17	0.28	0.18	−0.16	−0.07	0.25	−0.07	0.27	−0.15	0.44	0.06
4	効率的な行政運営	−0.30	−0.20	−0.26	−0.43	−0.24	−0.24	−0.25	−0.40	−0.20	−0.31	0.00	−0.48
5	窓口サービス向上	0.46	0.43	0.78	0.53	0.46	0.29	0.63	0.37	0.29	0.08	0.75	0.48
6	健全な財政運営	−0.29	−0.23	−0.02	−0.45	−0.40	−0.36	−0.12	−0.34	−0.51	−0.08	−0.13	−0.43
7	秩序ある土地利用	−0.07	−0.10	−0.13	−0.10	−0.34	0.01	0.03	−0.09	−0.16	−0.38	−0.06	0.28
8	都市機能整備	−0.41	−0.47	−0.80	−0.63	−0.54	−0.21	−0.32	−0.64	−0.55	−0.58	0.06	−0.16
9	公園の適正配置	−0.62	−0.63	−0.48	−0.80	−1.16	−0.30	−0.69	−0.69	−0.90	−0.38	0.13	−0.51
10	良好な住環境	−0.17	0.23	0.20	−0.38	−0.04	−0.31	−0.23	−0.07	−0.29	−0.31	0.13	−0.19
11	交通網充実	−0.39	−0.53	0.28	−0.70	−0.54	−0.23	−0.42	−0.75	−0.41	−0.35	0.00	−0.33
12	水道水安定供給	0.19	0.63	0.17	0.18	−0.22	0.21	0.22	0.00	0.24	0.04	1.00	0.36
13	下水道整備	−0.42	−0.70	0.04	−0.70	−0.54	−0.23	−0.45	−0.79	−0.39	−0.96	0.25	−0.13
14	環境保全推進	0.03	0.13	0.13	0.08	−0.14	0.09	0.09	−0.07	0.02	−0.23	0.00	0.09
15	循環型社会推進	0.59	0.50	0.59	0.55	0.56	0.64	0.71	0.28	0.73	0.62	0.69	0.58
16	災害対策推進	−0.14	−0.27	−0.15	0.08	−0.22	−0.16	−0.16	−0.27	−0.24	0.00	−0.13	0.03
17	消防・救急充実	0.67	0.70	0.67	0.70	0.74	0.74	0.62	0.57	0.76	0.69	1.06	0.76
18	交通安全・防犯対策	0.08	0.33	−0.02	0.00	−0.42	0.10	0.30	0.00	−0.02	0.23	0.38	0.22
19	保健事業充実	0.75	0.97	0.98	0.95	0.66	0.77	0.85	0.24	0.76	0.81	1.31	0.76
20	地域医療体制維持確保	−0.12	−0.07	0.04	−0.28	−0.48	0.11	−0.01	−0.28	−0.10	0.15	0.13	−0.22
21	障がい者福祉充実	−0.01	0.10	0.30	0.18	0.02	0.01	−0.09	−0.06	−0.10	0.27	−0.06	−0.30
22	高齢者福祉充実	0.05	0.10	0.17	0.13	−0.10	0.09	0.05	−0.13	−0.02	0.27	0.38	0.10
23	社会福祉充実	−0.29	0.30	0.00	−0.33	−0.74	−0.46	−0.28	−0.27	−0.35	−0.31	0.44	−0.51
24	各種相談業務充実	0.15	0.27	0.30	0.08	−0.06	0.00	0.17	0.01	0.29	0.38	0.63	0.25
25	子育て環境充実	0.13	0.37	0.28	0.33	−0.22	−0.11	0.21	0.03	0.16	0.19	0.69	0.21
26	子育て支援充実	0.19	0.40	0.41	0.25	−0.10	−0.03	0.34	0.03	0.31	0.15	0.63	0.10
27	教育の充実	0.12	0.20	0.39	0.15	−0.22	−0.07	0.18	0.13	0.04	0.04	0.44	0.24
28	教育環境充実・強化	0.08	0.10	0.02	0.15	0.08	0.04	0.09	−0.03	0.20	0.19	0.63	−0.07
29	青少年健全育成	−0.08	0.10	0.09	−0.25	−0.56	−0.10	0.05	−0.07	0.04	−0.08	0.13	−0.09
30	生涯学習推進	0.14	0.47	0.46	0.23	0.00	−0.13	0.20	−0.12	0.12	0.50	0.69	0.04
31	文化振興	0.14	0.27	0.39	−0.08	0.14	−0.13	0.20	−0.15	0.47	0.62	0.25	0.07
32	スポーツ振興	0.06	0.27	0.43	0.18	−0.28	−0.06	0.06	−0.04	0.20	0.04	0.69	−0.01
33	人権教育推進	0.23	0.37	0.41	0.40	0.20	−0.01	0.34	−0.01	0.33	0.31	0.25	0.22
34	男女共同参画推進	0.22	0.23	0.41	0.23	0.42	−0.06	0.23	0.21	0.22	0.46	0.44	0.12
35	工業振興	−0.30	−0.23	−0.22	−0.30	−0.58	−0.29	−0.37	−0.19	−0.29	−0.15	−0.19	−0.37
36	商業振興	−0.75	−0.57	−1.09	−1.00	−0.78	−0.69	−0.59	−0.97	−0.94	−0.54	−0.13	−0.79
37	農業振興	−0.23	−0.03	−0.28	−0.35	−0.38	−0.11	−0.12	−0.30	−0.20	−0.38	−0.25	−0.31
38	観光振興	−0.29	−0.13	−0.24	−0.48	−0.50	−0.41	−0.25	−0.30	−0.08	−0.15	0.00	−0.19

上位5位
下位5位

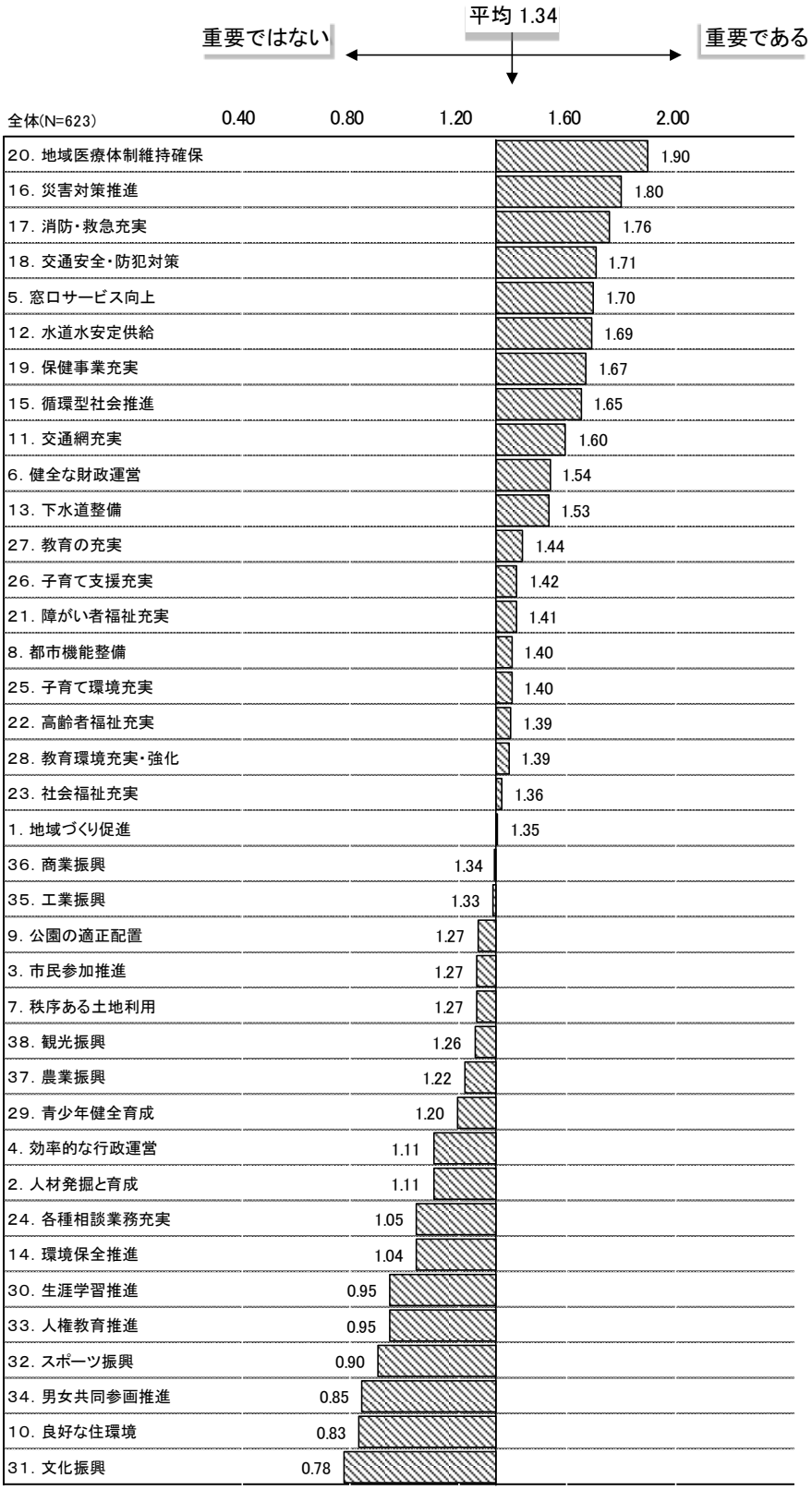
満足度【属性別指標】（各属性における上位5位まで→グレー、下位5位まで→白黒反転）

		性別		年齢別					
		男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳代	65歳以上
		263	354	53	74	81	99	78	231
1	地域づくり促進	−0.03	−0.02	0.19	0.14	−0.53	−0.14	0.08	0.06
2	人材発掘と育成	−0.21	−0.12	0.19	−0.05	−0.44	−0.30	−0.15	−0.10
3	市民参加推進	0.04	0.07	0.00	0.14	−0.16	−0.18	0.27	0.15
4	効率的な行政運営	−0.34	−0.28	−0.06	−0.30	−0.64	−0.40	−0.33	−0.19
5	窓口サービス向上	0.44	0.47	0.47	0.51	−0.37	0.12	0.53	0.86
6	健全な財政運営	−0.37	−0.24	0.17	−0.34	−0.85	−0.39	−0.09	−0.22
7	秩序ある土地利用	−0.10	−0.04	0.06	0.03	−0.15	−0.08	−0.09	−0.08
8	都市機能整備	−0.37	−0.44	−0.25	−0.45	−0.60	−0.47	−0.54	−0.30
9	公園の適正配置	−0.66	−0.60	−0.53	−0.86	−1.05	−0.59	−0.47	−0.48
10	良好な住環境	−0.14	−0.19	−0.17	−0.16	−0.62	−0.18	−0.05	−0.04
11	交通網充実	−0.30	−0.45	−0.19	−0.39	−0.73	−0.57	−0.27	−0.27
12	水道水安定供給	0.41	0.03	0.00	0.19	−0.52	0.07	0.46	0.45
13	下水道整備	−0.43	−0.41	−0.21	−0.27	−1.02	−0.61	−0.45	−0.21
14	環境保全推進	−0.04	0.09	0.19	0.14	0.00	0.06	−0.15	0.02
15	循環型社会推進	0.67	0.53	0.28	0.49	0.36	0.45	0.73	0.79
16	災害対策推進	−0.12	−0.17	0.04	−0.28	−0.28	−0.14	−0.17	−0.09
17	消防・救急充実	0.75	0.62	0.45	0.64	0.53	0.46	0.74	0.85
18	交通安全・防犯対策	0.07	0.09	0.13	−0.03	−0.15	−0.03	0.23	0.19
19	保健事業充実	0.79	0.73	0.45	0.41	0.47	0.70	1.03	0.96
20	地域医療体制維持確保	−0.06	−0.17	−0.21	−0.30	−0.59	−0.39	−0.08	0.22
21	障がい者福祉充実	0.04	−0.05	0.08	−0.09	−0.19	−0.34	0.06	0.17
22	高齢者福祉充実	0.10	0.02	0.28	0.03	−0.15	−0.09	−0.03	0.16
23	社会福祉充実	−0.28	−0.30	−0.28	−0.22	−0.63	−0.63	−0.24	−0.08
24	各種相談業務充実	0.16	0.14	0.19	0.12	−0.27	0.04	0.35	0.26
25	子育て環境充実	0.15	0.11	−0.04	0.14	−0.19	−0.03	0.17	0.32
26	子育て支援充実	0.17	0.20	0.17	0.19	−0.09	0.00	0.14	0.39
27	教育の充実	0.15	0.10	0.43	−0.11	−0.33	0.10	0.23	0.25
28	教育環境充実・強化	0.08	0.08	0.17	0.09	−0.12	−0.03	0.12	0.15
29	青少年健全育成	−0.10	−0.07	0.26	−0.18	−0.64	−0.17	−0.08	0.10
30	生涯学習推進	0.19	0.10	−0.04	0.01	−0.07	0.03	0.04	0.37
31	文化振興	0.11	0.16	0.15	0.00	0.00	0.04	0.21	0.24
32	スポーツ振興	0.06	0.07	0.17	−0.04	−0.21	−0.08	0.04	0.24
33	人権教育推進	0.31	0.17	0.06	0.27	0.04	0.13	0.19	0.36
34	男女共同参画推進	0.32	0.14	0.13	0.22	0.16	0.07	0.29	0.29
35	工業振興	−0.39	−0.23	0.06	−0.24	−0.40	−0.38	−0.40	−0.29
36	商業振興	−0.79	−0.72	−0.70	−0.80	−0.93	−0.78	−0.87	−0.62
37	農業振興	−0.19	−0.26	−0.02	−0.18	−0.28	−0.34	−0.09	−0.27
38	観光振興	−0.32	−0.27	−0.02	−0.20	−0.59	−0.30	−0.19	−0.29

【重要度:加重平均値(施策順)】



【重要度:加重平均値(高位順)】



【参考資料／前回調査結果の重要度（平成 24 年 9 月実施）】

■ 前回調査結果 ■

注：今回調査と設問項目数が異なる。（「10. 良好な住環境」がない。）

【今回調査結果／重要度（属性別傾向）】

上位5位
下位5位

重要度【属性別指標】（各属性における上位5位まで→グレー、下位5位まで→白黒反転）

		全体	小学校区別										
			南小学校区	北小学校区	西小学校区	東小学校区	新入小学校区	感田小学校区	上頓野小学校区	下境小学校区	福地小学校区	中泉小学校区	植木小学校区
		623	30	46	40	50	70	119	67	49	26	16	67
1	地域づくり促進	1.35	1.13	1.59	1.40	1.66	1.26	1.36	1.51	1.12	1.04	1.19	1.16
2	人材発掘と育成	1.11	0.77	1.35	1.05	1.40	1.04	1.07	1.28	0.98	0.96	0.94	1.01
3	市民参加推進	1.27	1.10	1.26	1.50	1.62	1.26	1.33	1.43	1.24	0.96	1.13	1.04
4	効率的な行政運営	1.11	1.23	1.15	1.00	1.34	1.27	1.11	1.27	1.06	0.73	0.94	0.84
5	窓口サービス向上	1.70	1.67	1.50	1.65	1.74	1.74	1.86	1.76	1.51	1.65	1.75	1.69
6	健全な財政運営	1.54	1.53	1.59	1.80	1.82	1.69	1.48	1.63	1.27	1.46	1.31	1.43
7	秩序ある土地利用	1.27	1.10	1.30	1.48	1.42	1.44	1.33	1.51	1.14	0.92	1.31	0.99
8	都市機能整備	1.40	1.33	1.74	1.60	1.08	1.57	1.28	1.61	1.43	1.50	1.75	1.12
9	公園の適正配置	1.27	1.17	0.96	1.23	1.20	1.44	1.46	1.43	1.16	1.00	1.19	1.30
10	良好な住環境	0.83	0.63	0.57	0.98	0.80	0.99	0.75	0.96	0.92	0.46	1.44	0.93
11	交通網充実	1.60	1.73	1.39	1.80	1.66	1.77	1.62	1.64	1.47	1.46	1.88	1.49
12	水道水安定供給	1.69	1.67	1.61	1.93	1.82	1.84	1.76	1.78	1.51	1.69	1.56	1.58
13	下水道整備	1.53	1.33	1.65	1.73	1.52	1.57	1.62	1.70	1.35	1.62	1.44	1.45
14	環境保全推進	1.04	1.10	1.13	0.95	1.22	1.07	1.14	1.34	0.90	1.04	1.13	0.70
15	循環型社会推進	1.65	1.43	1.67	1.75	1.72	1.59	1.71	1.88	1.49	1.96	1.44	1.52
16	災害対策推進	1.80	1.70	1.72	1.80	2.04	1.84	1.89	1.93	1.84	1.65	1.81	1.64
17	消防・救急充実	1.76	1.77	1.83	1.93	1.88	1.73	1.76	1.91	1.65	1.69	1.63	1.67
18	交通安全・防犯対策	1.71	1.67	1.70	2.05	1.88	1.59	1.82	1.79	1.51	1.65	1.44	1.54
19	保健事業充実	1.67	1.70	1.61	1.75	1.76	1.76	1.75	1.73	1.57	1.65	1.44	1.57
20	地域医療体制維持確保	1.90	1.83	1.61	2.08	2.00	2.09	1.97	1.93	1.84	1.85	1.88	1.82
21	障がい者福祉充実	1.41	1.57	1.44	1.55	1.52	1.49	1.29	1.43	1.43	1.62	1.56	1.24
22	高齢者福祉充実	1.39	1.33	1.39	1.15	1.44	1.47	1.31	1.60	1.31	1.69	1.44	1.40
23	社会福祉充実	1.36	1.30	1.33	1.25	1.42	1.31	1.45	1.51	1.35	1.31	1.56	1.21
24	各種相談業務充実	1.05	1.17	1.02	1.15	1.20	1.20	0.92	1.22	0.96	1.12	1.06	0.78
25	子育て環境充実	1.40	1.27	1.59	1.13	1.74	1.33	1.37	1.60	1.43	1.50	1.25	1.21
26	子育て支援充実	1.42	1.23	1.28	1.25	1.70	1.30	1.43	1.54	1.73	1.73	1.38	1.25
27	教育の充実	1.44	1.37	1.54	1.35	1.56	1.46	1.46	1.46	1.51	1.62	1.25	1.31
28	教育環境充実・強化	1.39	1.20	1.50	1.38	1.40	1.46	1.39	1.55	1.24	1.23	1.63	1.37
29	青少年健全育成	1.20	1.37	1.20	0.93	1.60	1.17	1.18	1.28	1.00	1.46	1.38	1.03
30	生涯学習推進	0.95	0.93	1.17	0.73	1.00	0.96	0.91	1.22	0.82	0.92	1.25	0.72
31	文化振興	0.78	0.83	0.96	0.78	0.64	0.89	0.80	0.93	0.53	0.81	1.06	0.55
32	スポーツ振興	0.90	1.03	0.87	0.90	1.12	0.83	0.92	1.06	0.67	0.92	1.38	0.60
33	人権教育推進	0.95	0.67	0.98	0.83	1.16	1.07	1.02	1.09	0.63	0.77	1.00	0.88
34	男女共同参画推進	0.85	1.00	0.98	0.63	0.86	0.90	0.87	0.96	0.49	0.69	0.94	0.82
35	工業振興	1.33	1.17	1.46	1.43	1.58	1.26	1.39	1.31	1.20	1.50	1.31	1.10
36	商業振興	1.34	1.33	1.57	1.63	1.34	1.43	1.15	1.43	1.39	1.54	1.38	1.13
37	農業振興	1.22	1.13	1.48	1.58	1.22	1.19	1.18	1.25	1.24	1.12	1.56	1.01
38	観光振興	1.26	1.23	1.33	1.33	1.28	1.11	1.36	1.24	1.24	1.23	1.56	1.24

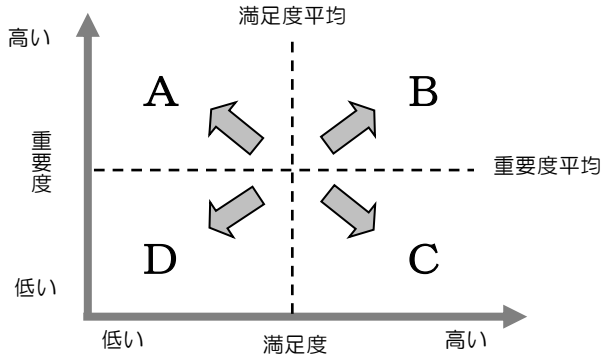
上位5位
下位5位

重要度【属性別指標】（各属性における上位5位まで→グレー、下位5位まで→白黒反転）

		性別		年齢別					
		男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳代	65歳以上
		263	354	53	74	81	99	78	231
1	地域づくり促進	1.36	1.34	1.13	1.07	1.40	1.38	1.49	1.41
2	人材発掘と育成	1.16	1.07	0.87	0.93	1.10	1.11	1.21	1.19
3	市民参加推進	1.35	1.22	1.00	1.32	1.20	1.29	1.46	1.27
4	効率的な行政運営	1.22	1.04	0.98	1.09	1.14	1.14	1.01	1.16
5	窓口サービス向上	1.78	1.65	2.06	1.74	1.80	1.68	1.79	1.56
6	健全な財政運営	1.82	1.33	1.32	1.35	1.72	1.58	1.67	1.53
7	秩序ある土地利用	1.41	1.16	1.06	1.42	1.17	1.19	1.47	1.26
8	都市機能整備	1.41	1.39	1.34	1.39	1.40	1.30	1.54	1.40
9	公園の適正配置	1.22	1.32	1.17	1.74	1.30	1.20	1.19	1.19
10	良好な住環境	0.76	0.89	0.91	0.95	1.11	0.76	0.94	0.68
11	交通網充実	1.70	1.53	1.91	1.78	1.78	1.49	1.54	1.49
12	水道水安定供給	1.82	1.61	1.57	1.74	1.96	1.55	1.73	1.68
13	下水道整備	1.60	1.49	1.43	1.45	1.53	1.52	1.64	1.56
14	環境保全推進	1.09	1.02	0.96	1.23	0.81	0.86	1.01	1.19
15	循環型社会推進	1.67	1.66	1.49	1.70	1.75	1.42	1.82	1.70
16	災害対策推進	1.81	1.81	1.60	2.15	1.99	1.81	1.81	1.69
17	消防・救急充実	1.83	1.72	1.68	1.89	1.73	1.67	1.90	1.76
18	交通安全・防犯対策	1.74	1.69	1.81	1.92	1.96	1.49	1.81	1.60
19	保健事業充実	1.63	1.71	1.74	1.92	1.89	1.58	1.62	1.58
20	地域医療体制維持確保	1.93	1.89	2.04	2.20	2.07	1.82	1.92	1.75
21	障がい者福祉充実	1.48	1.37	1.02	1.47	1.51	1.51	1.47	1.41
22	高齢者福祉充実	1.39	1.41	1.23	1.24	1.27	1.57	1.44	1.47
23	社会福祉充実	1.30	1.42	1.28	1.43	1.27	1.36	1.40	1.41
24	各種相談業務充実	1.01	1.08	0.74	1.03	0.93	1.09	1.00	1.17
25	子育て環境充実	1.43	1.38	1.53	1.69	1.49	1.41	1.36	1.26
26	子育て支援充実	1.35	1.47	1.51	1.85	1.42	1.41	1.37	1.29
27	教育の充実	1.46	1.42	1.28	1.81	1.54	1.51	1.31	1.35
28	教育環境充実・強化	1.43	1.36	1.25	1.61	1.54	1.46	1.28	1.31
29	青少年健全育成	1.19	1.21	1.17	1.12	1.23	1.21	1.01	1.28
30	生涯学習推進	0.91	0.97	0.79	0.72	0.96	0.76	0.94	1.14
31	文化振興	0.71	0.83	0.58	0.49	0.70	0.63	0.67	1.05
32	スポーツ振興	0.93	0.88	0.60	0.74	1.02	0.78	0.86	1.05
33	人権教育推進	1.02	0.89	0.85	0.76	1.00	0.87	0.85	1.09
34	男女共同参画推進	0.82	0.87	0.74	0.74	0.68	0.84	0.88	0.97
35	工業振興	1.53	1.18	1.02	1.27	1.28	1.29	1.42	1.42
36	商業振興	1.41	1.29	1.15	1.27	1.44	1.31	1.37	1.38
37	農業振興	1.19	1.25	1.06	1.35	1.15	1.11	1.38	1.26
38	観光振興	1.24	1.29	1.19	1.50	1.26	1.02	1.19	1.34

２．満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、３８の施策を散布図上に示したものが相関図である。



（１）全体傾向

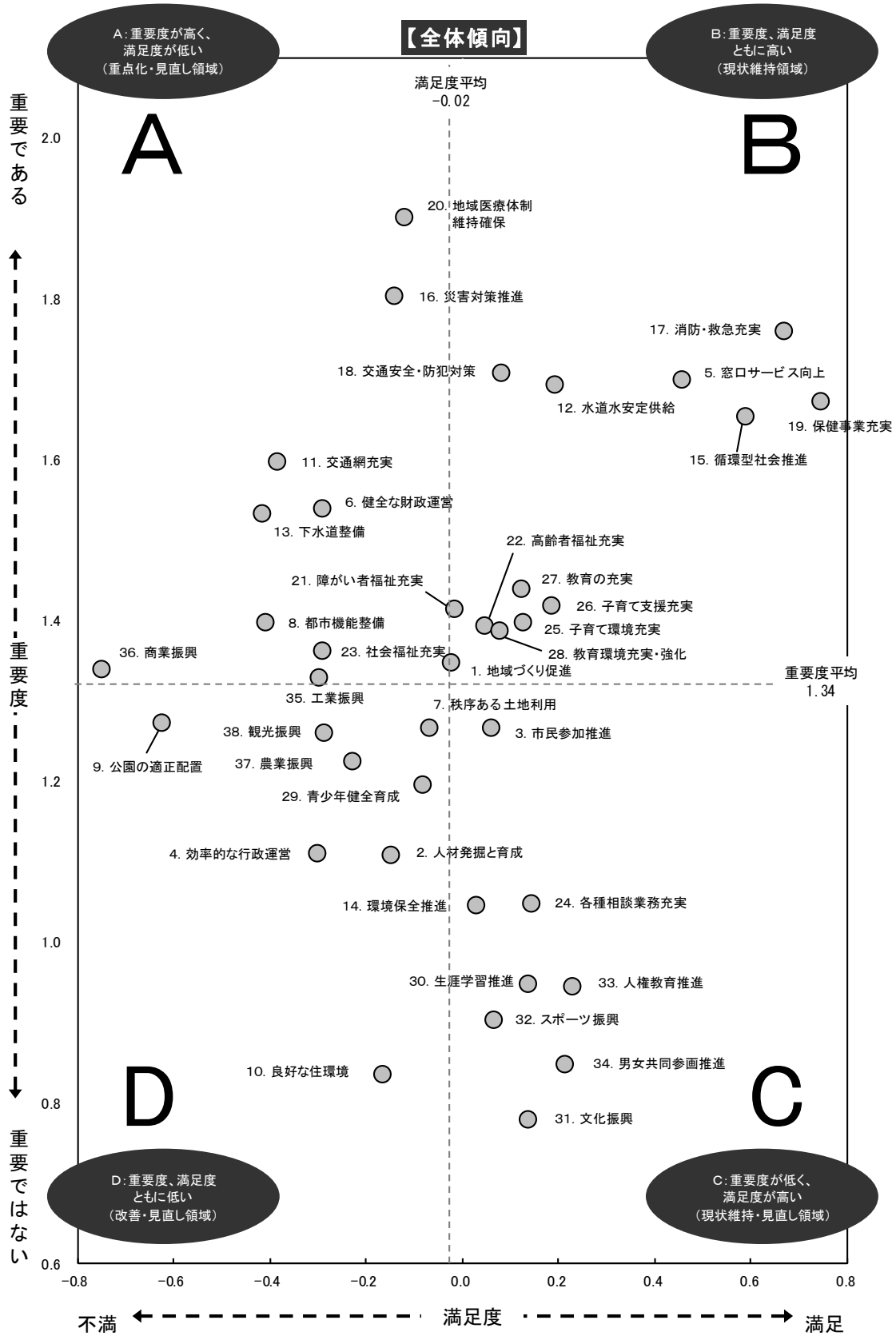
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の４方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

Ａ．重要度が高く、満足度が低い（重点化･見直し領域）
●今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。
→「20．地域医療体制維持確保」「16．災害対策推進」「11．交通網充実」「6．健全な財政運営」「13．下水道整備」「8．都市機能整備」「36．商業振興」などが該当する。

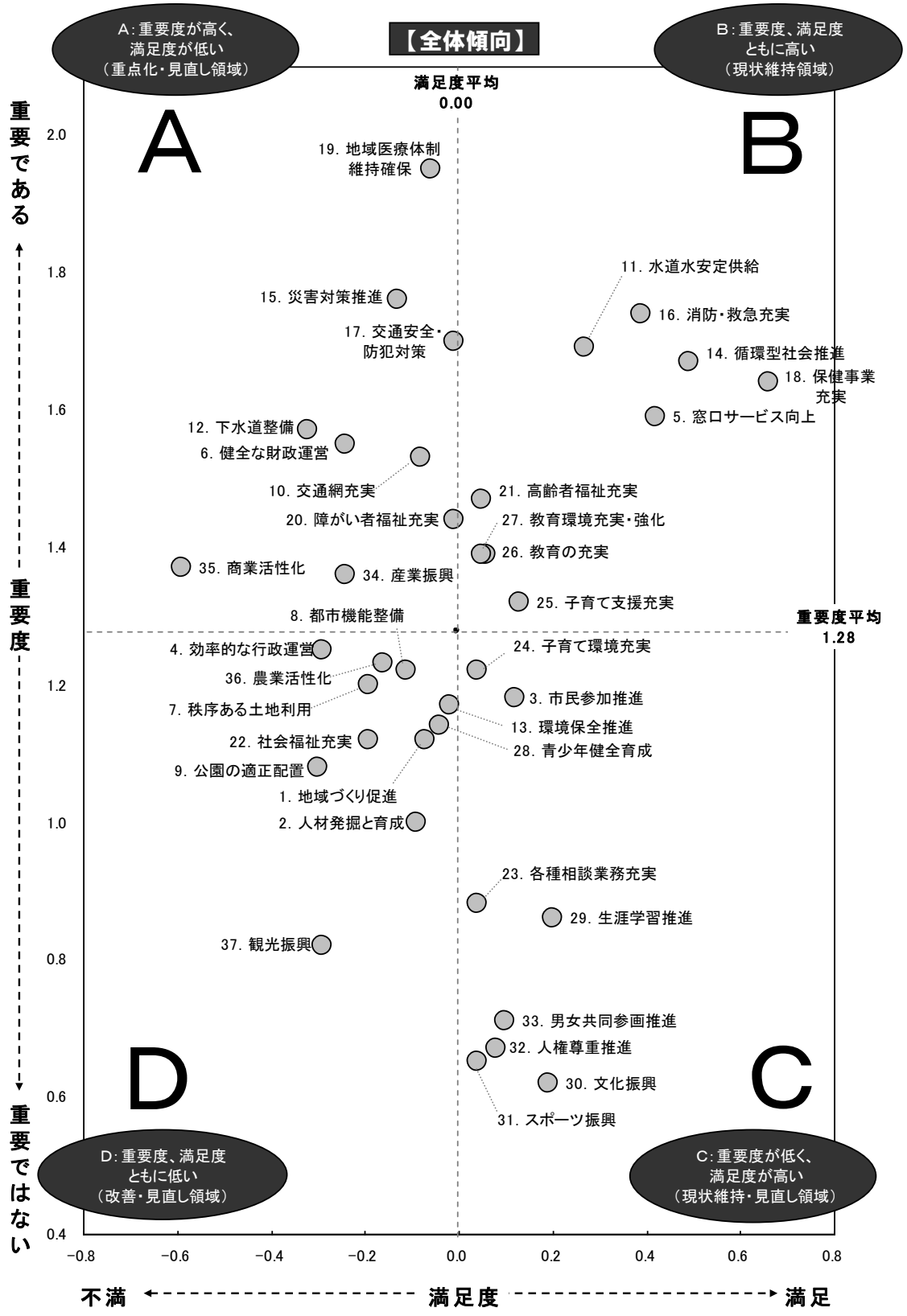
Ｂ．重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
●今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくとともに、費用対効果を高めるための改善が必要な領域。
→「19．保健事業充実」「17．消防・救急充実」「15．循環型社会推進」「5．窓口サービス向上」「12．水道水安定供給」などが該当する。

Ｃ．重要度が低く、満足度が高い（現状維持･見直し領域）
●今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。
→「31．文化振興」「34．男女共同参画推進」「33．人権教育推進」「30．生涯学習推進」「32．スポーツ振興」「24．各種相談業務充実」などが該当する。

Ｄ．重要度、満足度ともに低い（改善･見直し領域）
●今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。
→「10．良好な住環境」「4．効率的な行政運営」「9．公園の適正配置」「38．観光振興」「37．農業振興」などが該当する。


【全体傾向】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均
-0.02
重要度平均
1.34
重要である
重要ではない
不満
満足度
満足
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
17. 消防・救急充実
18. 交通安全・防犯対策
5. 窓口サービス向上
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
15. 循環型社会推進
11. 交通網充実
6. 健全な財政運営
13. 下水道整備
22. 高齢者福祉充実
21. 障がい者福祉充実
27. 教育の充実
26. 子育て支援充実
8. 都市機能整備
25. 子育て環境充実
28. 教育環境充実・強化
36. 商業振興
23. 社会福祉充実
1. 地域づくり促進
35. 工業振興
7. 秩序ある土地利用
38. 観光振興
3. 市民参加推進
9. 公園の適正配置
37. 農業振興
29. 青少年健全育成
4. 効率的な行政運営
2. 人材発掘と育成
14. 環境保全推進
24. 各種相談業務充実
30. 生涯学習推進
33. 人権教育推進
32. スポーツ振興
10. 良好な住環境
34. 男女共同参画推進
31. 文化振興

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】



注：今回調査と設問項目数が異なる。（「10. 良好な住環境」がない。）

【今回調査結果／属性別傾向】

（２）小学校区別傾向

「Ａ象限（重点化・見直し領域）」についてみると、全体傾向に比べ、南小学校区では「29．青少年健全育成」、北小学校区では「8．都市機能整備」「37．農業振興」、西小学校区では「36．商業振興」「37．農業振興」、東小学校区では「18．交通安全・防犯対策」「29．青少年健全育成」の位置付けが高まったり、該当している点が特徴となっている。

また、新入小学校区では「9．公園の適正配置」「27．教育の充実」、感田小学校区では「9．公園の適正配置」「38．観光振興」、上頓野小学校区では「22．高齢者福祉充実」下境小学校区では「36．商業振興」「37．農業振興」「38．観光振興」、福地小学校区では「13．下水道整備」「29．青少年健全育成」、中泉小学校区では「38．観光振興」「37．農業振興」「21．障がい者福祉充実」「10．良好な住環境」、植木小学校区では「28．教育環境充実・強化」「9．公園の適正配置」「38．観光振興」「21．障がい者福祉充実」、などが該当している点が特徴となっている。

（３）性別傾向

「Ａ象限（重点化・見直し領域）」についてみると、男女ともに全体傾向と同様に「20．地域医療体制維持確保」「16．災害対策推進」「11．交通網充実」「13．下水道整備」などが含まれるが、男性の場合、女性に比べ「6．健全な財政運営」の重要度が増し、「7．秩序ある土地利用」などが該当する。

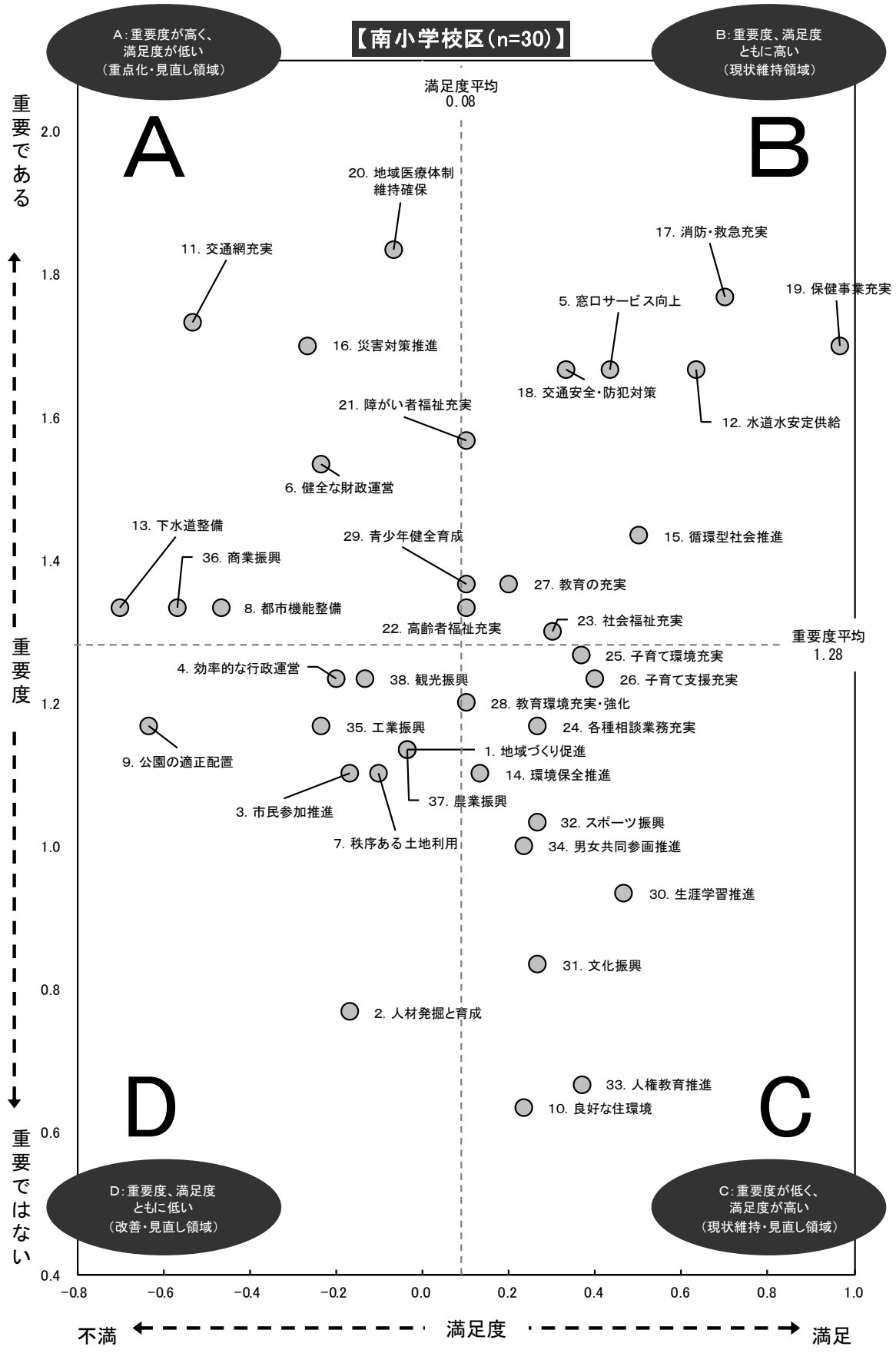
また、女性の場合、男性に比べ「9．公園の適正配置」などが該当する。

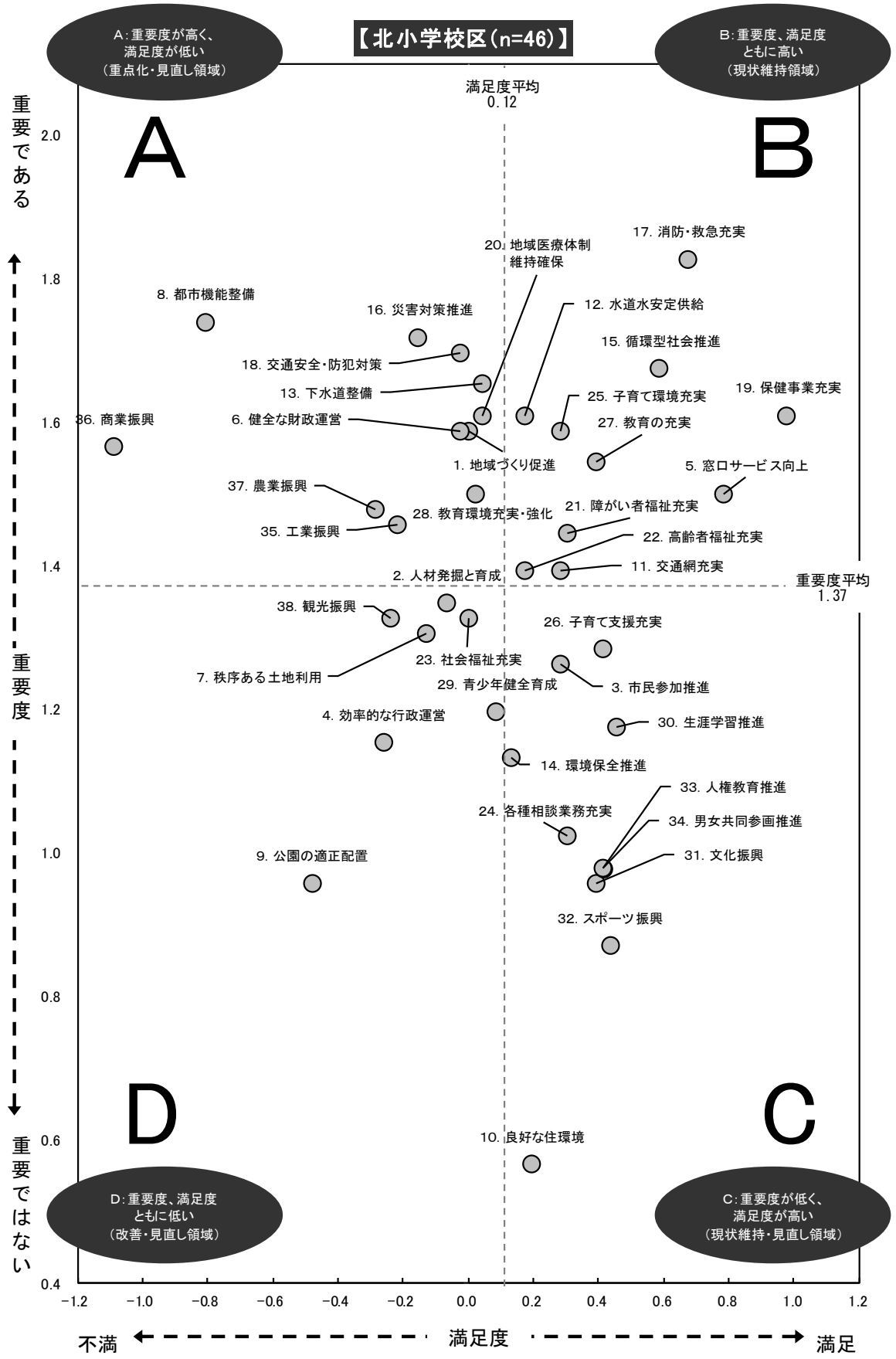
（４）年齢別傾向

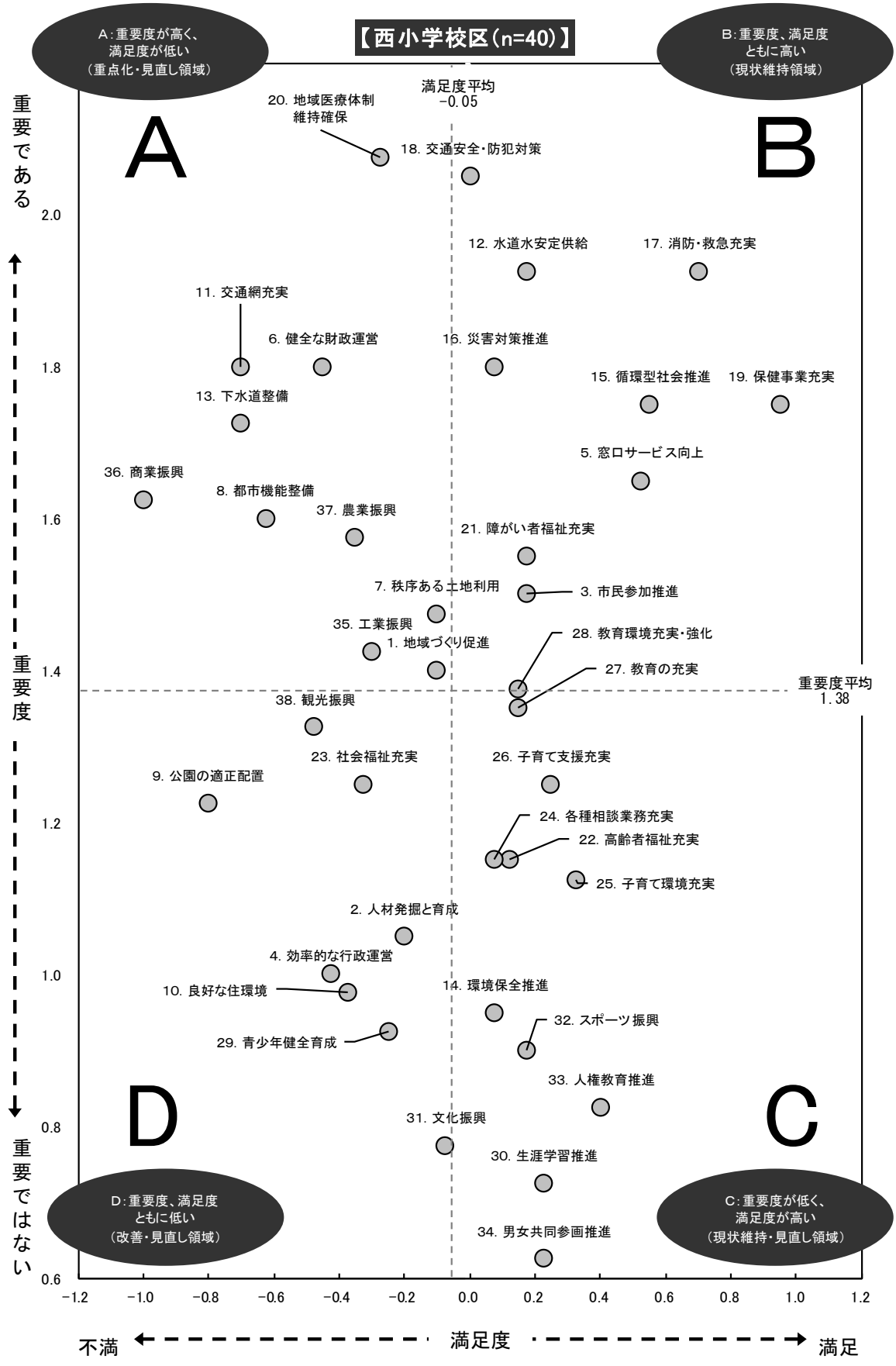
「Ａ象限（重点化・見直し領域）」についてみると、全体傾向と異なる点としては、20歳代では「12．水道水安定供給」「25．子育て環境充実」が該当し、30 歳代では「27．教育の充実」「9．公園の適正配置」「38．観光振興」、40 歳代では「12．水道水安定供給」「5．窓口サービス向上」「27．教育の充実」が該当している。

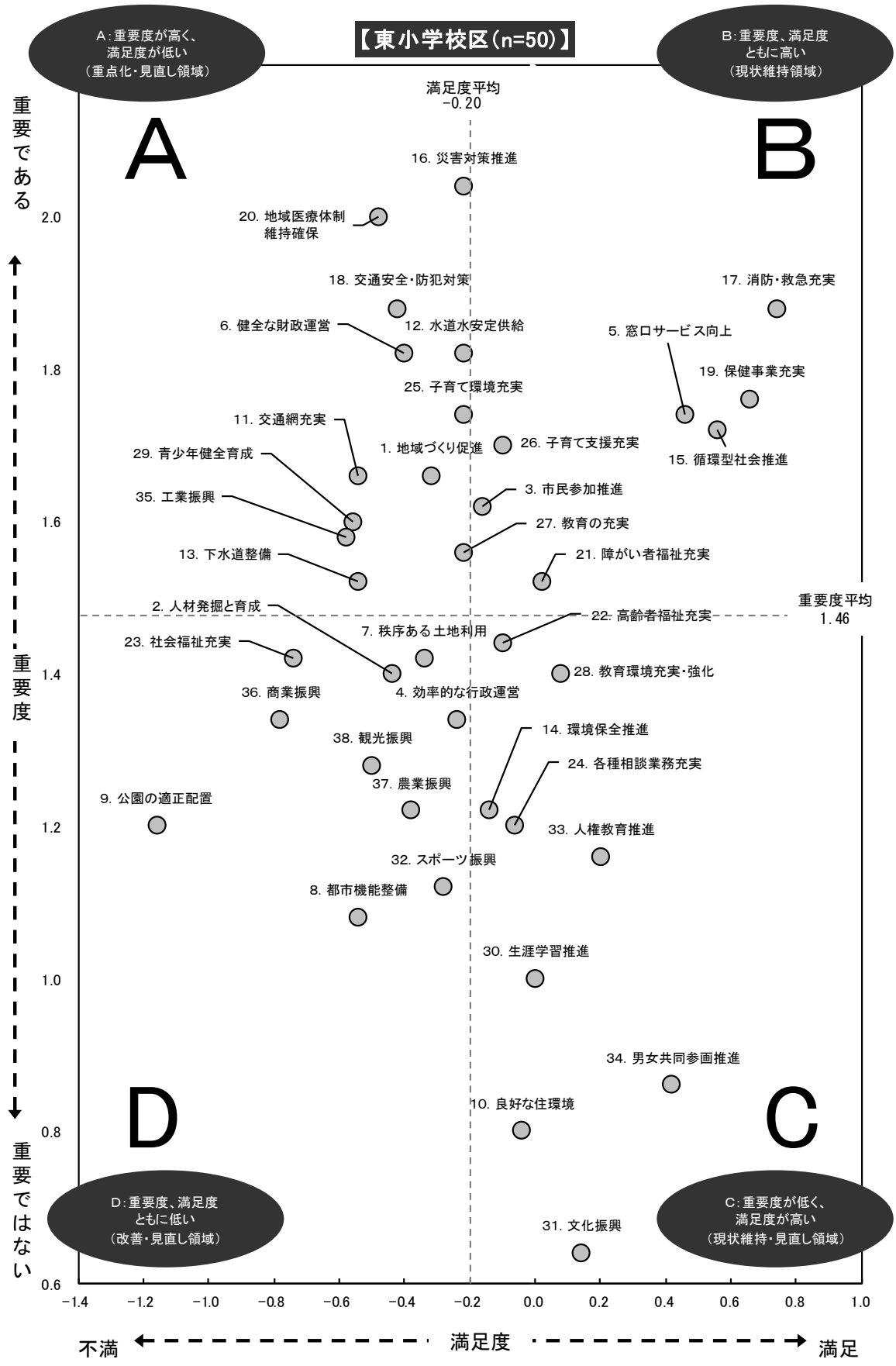
また、50 歳代では「21．障がい者福祉充実」「3．市民参加推進」、60 歳代前半では「7．秩序ある土地利用」「37．農業振興」、65 歳以上では「1．地域づくり促進」などが該当し、年齢によって重点化を求める意識に差がみられる。

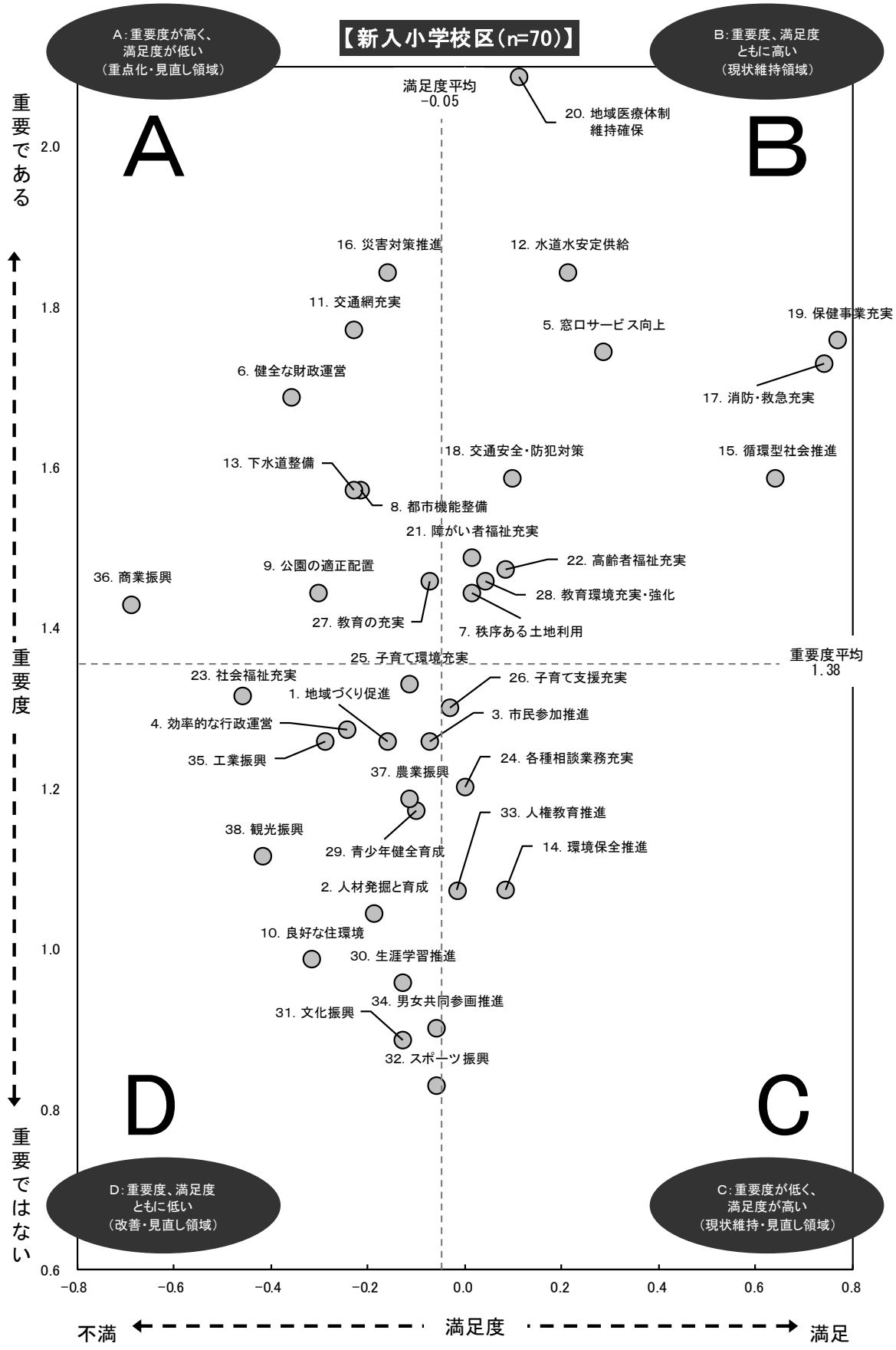
【小学校区別傾向】

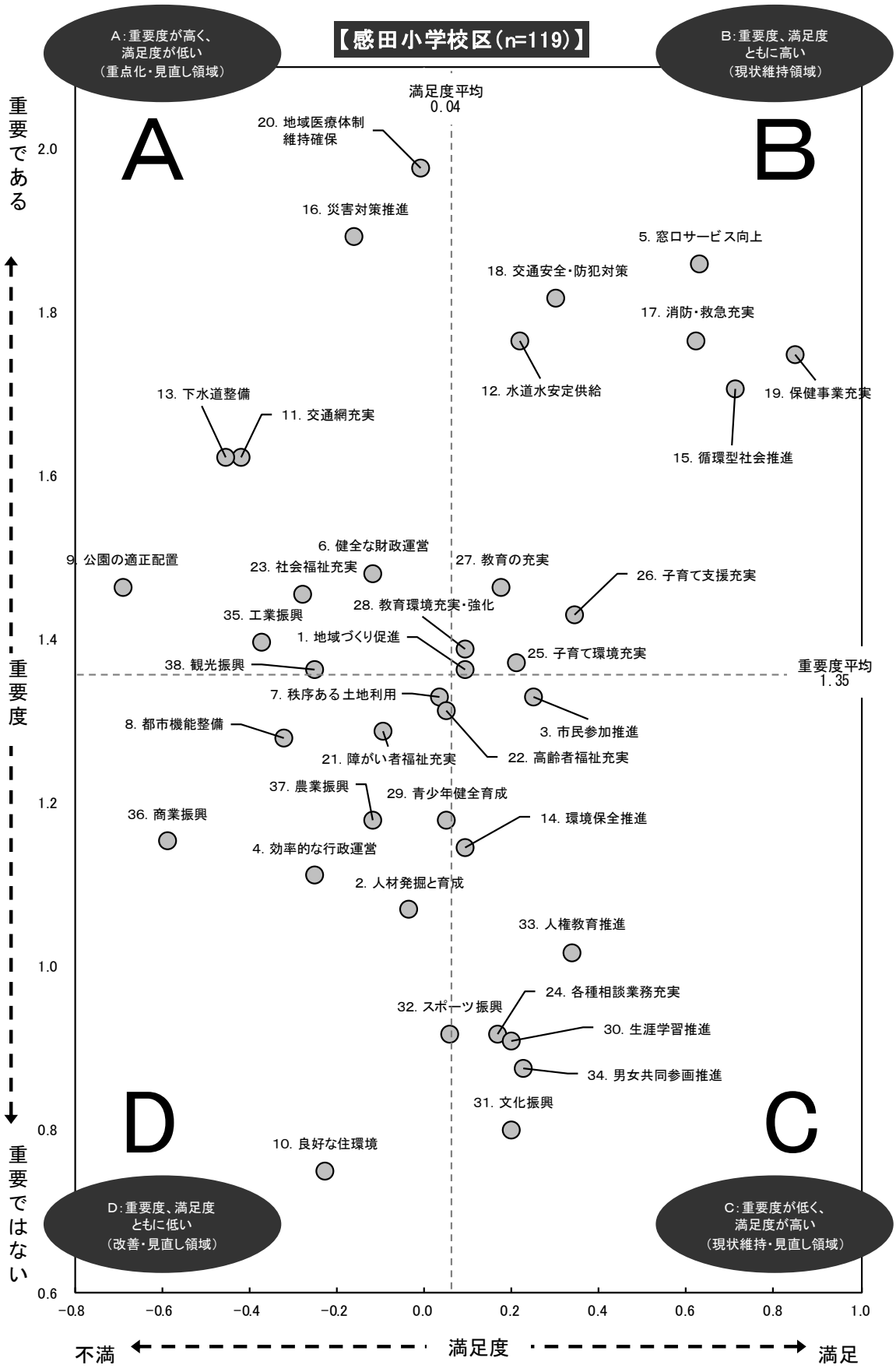

【南小学校区（n=30）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 0.08
重要度平均 1.28
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
20. 地域医療体制維持確保
11. 交通網充実
17. 消防・救急充実
19. 保健事業充実
5. 窓口サービス向上
16. 災害対策推進
18. 交通安全・防犯対策
12. 水道水安定供給
21. 障がい者福祉充実
6. 健全な財政運営
13. 下水道整備
29. 青少年健全育成
15. 循環型社会推進
36. 商業振興
27. 教育の充実
8. 都市機能整備
22. 高齢者福祉充実
23. 社会福祉充実
25. 子育て環境充実
4. 効率的な行政運営
38. 観光振興
26. 子育て支援充実
28. 教育環境充実・強化
35. 工業振興
24. 各種相談業務充実
9. 公園の適正配置
1. 地域づくり促進
14. 環境保全推進
3. 市民参加推進
37. 農業振興
32. スポーツ振興
7. 秩序ある土地利用
34. 男女共同参画推進
30. 生涯学習推進
31. 文化振興
2. 人材発掘と育成
33. 人権教育推進
10. 良好な住環境

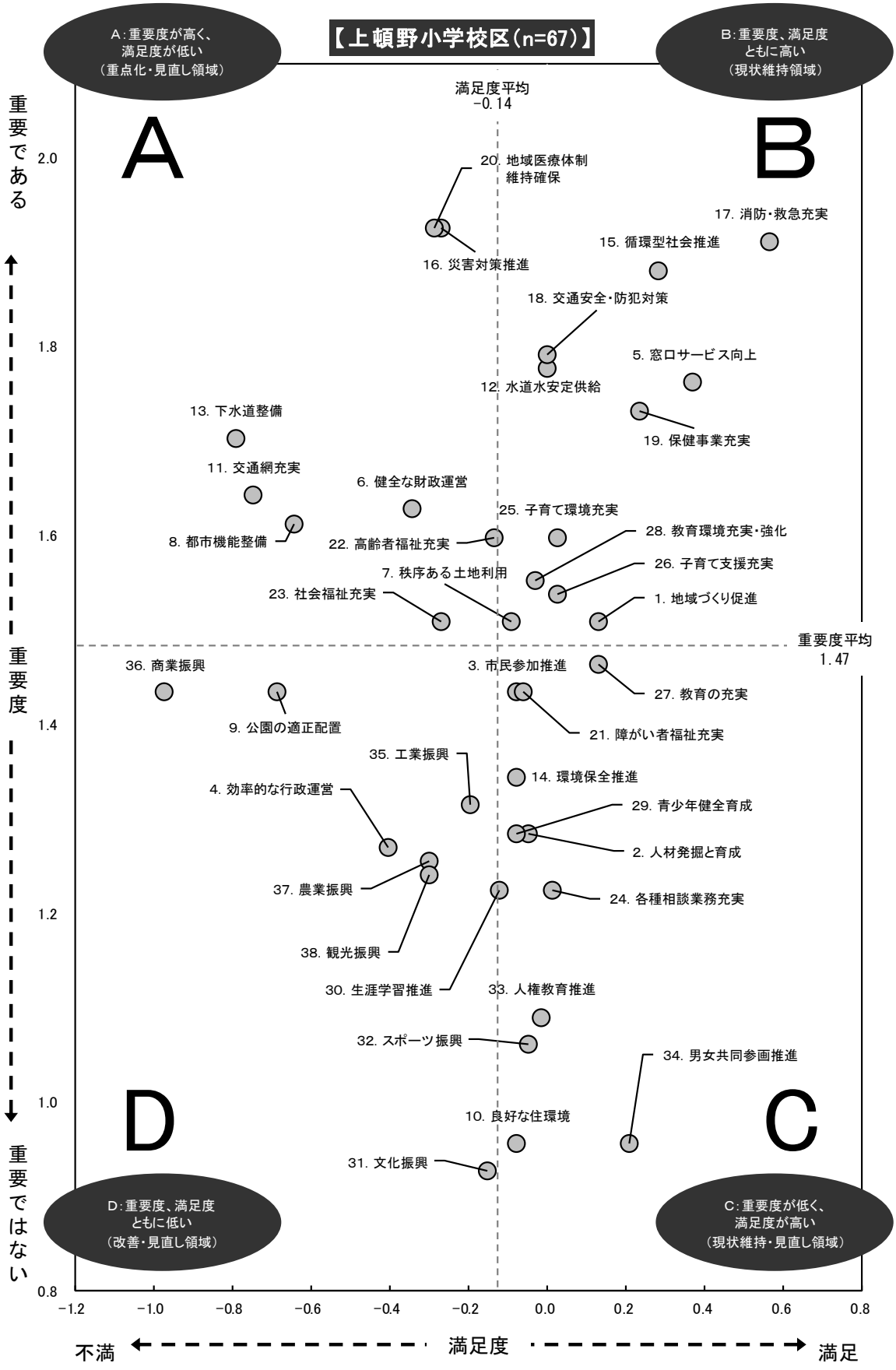

【北小学校区（n=46）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 0.12
重要度平均 1.37
A
B
C
D
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
1.2
17. 消防・救急充実
20. 地域医療体制維持確保
8. 都市機能整備
16. 災害対策推進
12. 水道水安定供給
15. 循環型社会推進
18. 交通安全・防犯対策
13. 下水道整備
19. 保健事業充実
25. 子育て環境充実
36. 商業振興
6. 健全な財政運営
27. 教育の充実
1. 地域づくり促進
5. 窓口サービス向上
37. 農業振興
28. 教育環境充実・強化
21. 障がい者福祉充実
35. 工業振興
22. 高齢者福祉充実
2. 人材発掘と育成
11. 交通網充実
38. 観光振興
26. 子育て支援充実
23. 社会福祉充実
7. 秩序ある土地利用
29. 青少年健全育成
3. 市民参加推進
4. 効率的な行政運営
30. 生涯学習推進
14. 環境保全推進
33. 人権教育推進
24. 各種相談業務充実
34. 男女共同参画推進
9. 公園の適正配置
31. 文化振興
32. スポーツ振興
10. 良好な住環境

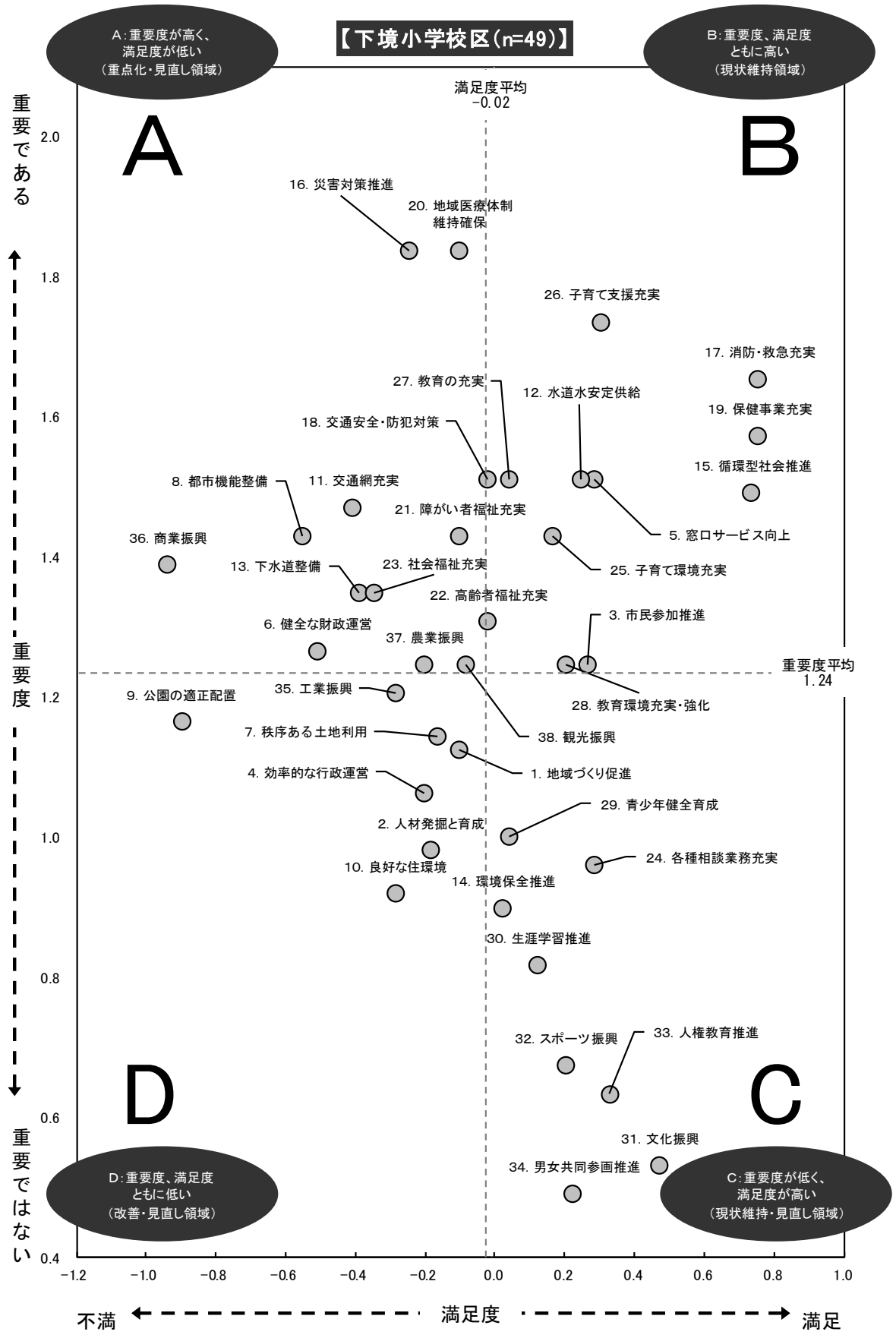

【西小学校区（n=40）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均 −0.05
重要度平均 1.38
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
20. 地域医療体制維持確保
18. 交通安全・防犯対策
12. 水道水安定供給
17. 消防・救急充実
11. 交通網充実
6. 健全な財政運営
16. 災害対策推進
15. 循環型社会推進
19. 保健事業充実
13. 下水道整備
5. 窓口サービス向上
36. 商業振興
8. 都市機能整備
37. 農業振興
21. 障がい者福祉充実
7. 秩序ある土地利用
3. 市民参加推進
35. 工業振興
1. 地域づくり促進
28. 教育環境充実・強化
27. 教育の充実
38. 観光振興
23. 社会福祉充実
26. 子育て支援充実
9. 公園の適正配置
24. 各種相談業務充実
22. 高齢者福祉充実
25. 子育て環境充実
2. 人材発掘と育成
4. 効率的な行政運営
10. 良好な住環境
14. 環境保全推進
32. スポーツ振興
29. 青少年健全育成
33. 人権教育推進
31. 文化振興
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
1.2

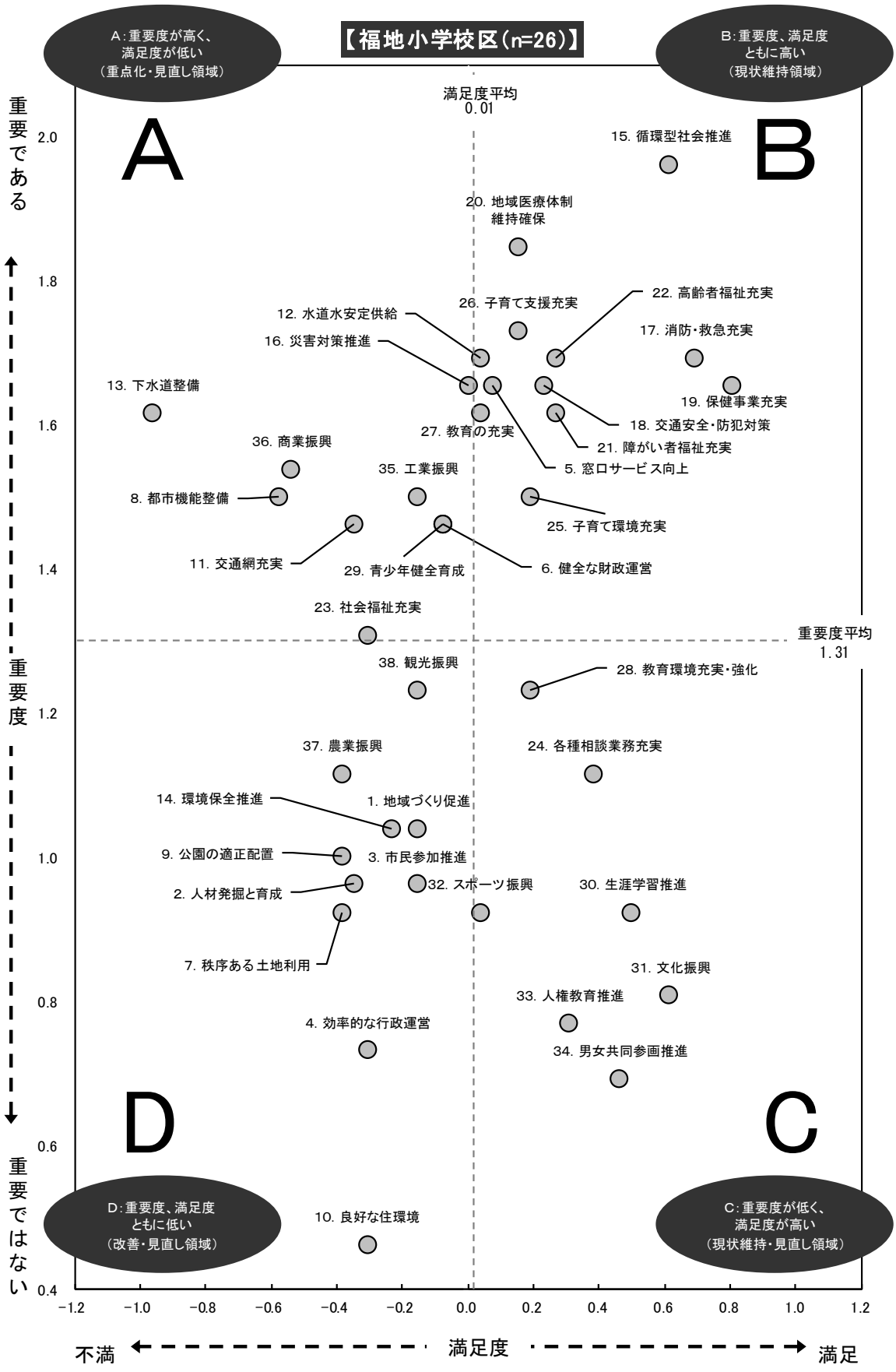

【東小学校区（n=50）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
満足度平均 −0.20
重要度平均 1.46
A
B
C
D
16. 災害対策推進
20. 地域医療体制維持確保
18. 交通安全・防犯対策
17. 消防・救急充実
6. 健全な財政運営
12. 水道水安定供給
5. 窓口サービス向上
19. 保健事業充実
25. 子育て環境充実
11. 交通網充実
1. 地域づくり促進
26. 子育て支援充実
15. 循環型社会推進
29. 青少年健全育成
35. 工業振興
3. 市民参加推進
27. 教育の充実
13. 下水道整備
21. 障がい者福祉充実
2. 人材発掘と育成
22. 高齢者福祉充実
7. 秩序ある土地利用
23. 社会福祉充実
28. 教育環境充実・強化
4. 効率的な行政運営
36. 商業振興
14. 環境保全推進
38. 観光振興
24. 各種相談業務充実
37. 農業振興
9. 公園の適正配置
33. 人権教育推進
32. スポーツ振興
8. 都市機能整備
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境
31. 文化振興
重要である
重要度
重要ではない
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−1.4
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
不満
満足度
満足

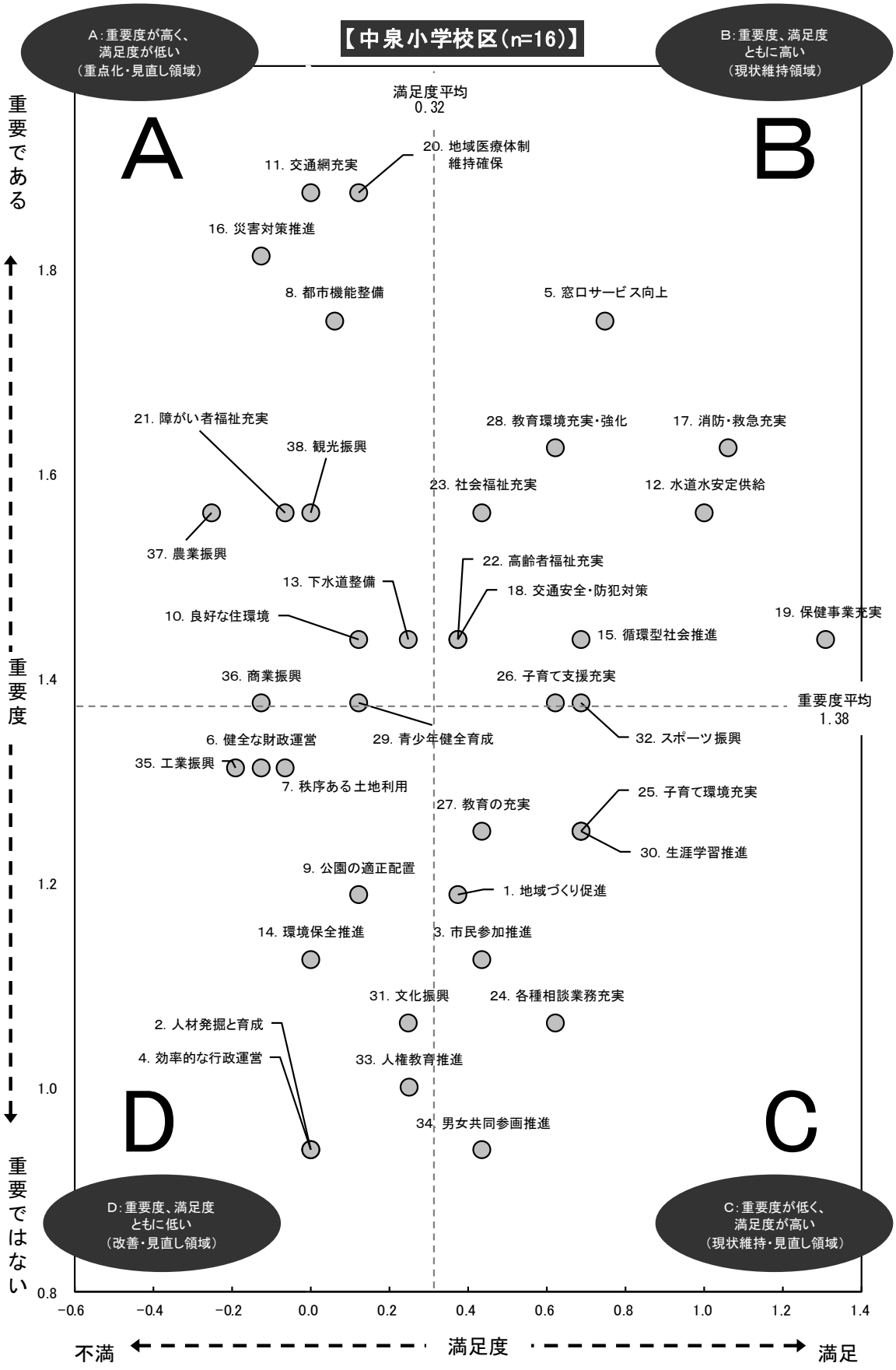

【新入小学校区（n=70）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均 −0.05
重要度平均 1.38
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
12. 水道水安定供給
11. 交通網充実
5. 窓口サービス向上
19. 保健事業充実
6. 健全な財政運営
17. 消防・救急充実
13. 下水道整備
18. 交通安全・防犯対策
15. 循環型社会推進
8. 都市機能整備
21. 障がい者福祉充実
22. 高齢者福祉充実
9. 公園の適正配置
36. 商業振興
28. 教育環境充実・強化
27. 教育の充実
7. 秩序ある土地利用
25. 子育て環境充実
23. 社会福祉充実
26. 子育て支援充実
1. 地域づくり促進
3. 市民参加推進
4. 効率的な行政運営
35. 工業振興
24. 各種相談業務充実
37. 農業振興
33. 人権教育推進
38. 観光振興
29. 青少年健全育成
14. 環境保全推進
2. 人材発掘と育成
10. 良好な住環境
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
31. 文化振興
32. スポーツ振興
重要である
重要ではない
重要度
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
不満
満足度
満足

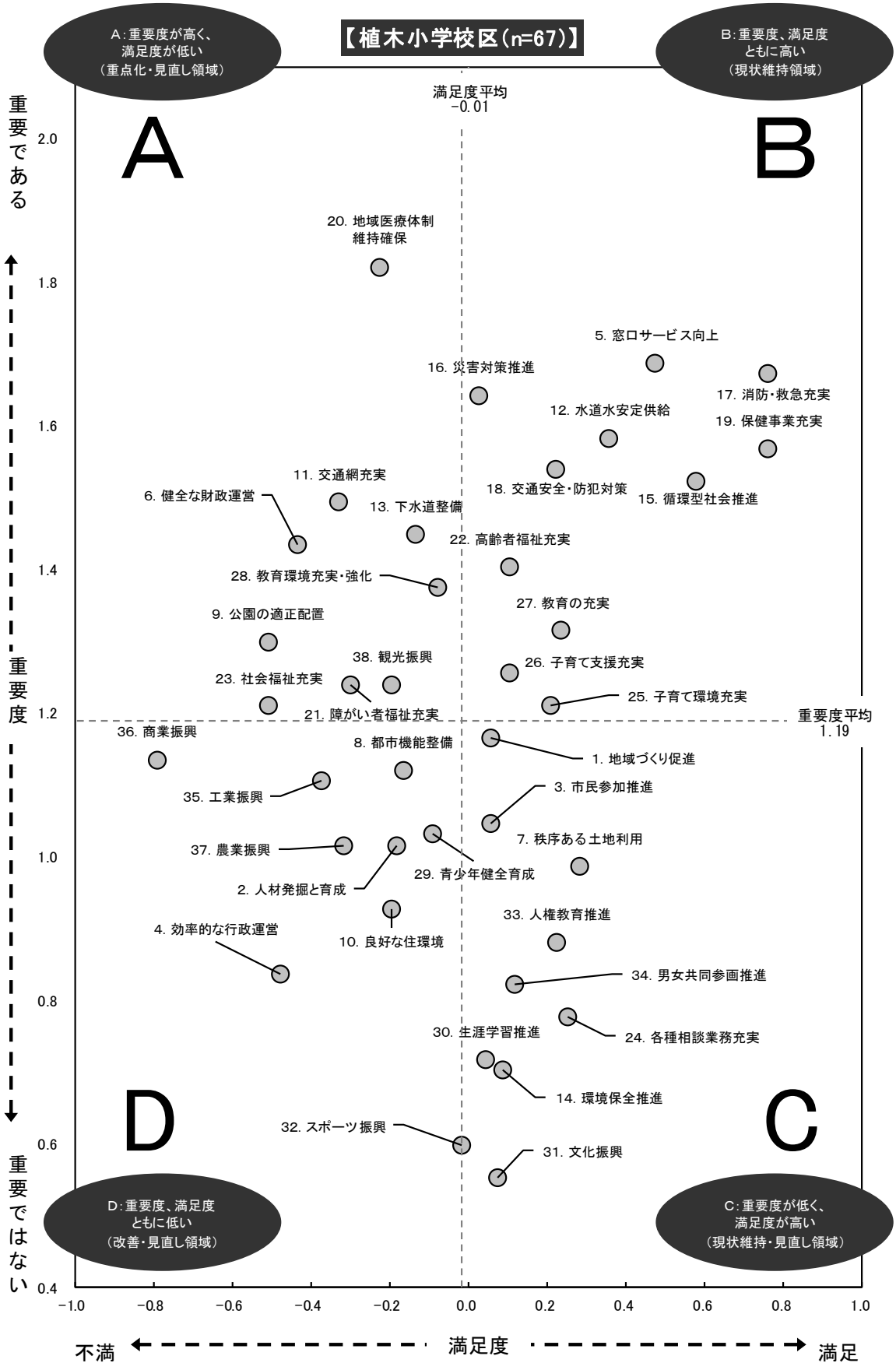

【感田小学校区(n=119)】
A:重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B:重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D:重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C:重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
満足度平均 0.04
重要度平均 1.35
A
B
C
D
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
5. 窓口サービス向上
18. 交通安全・防犯対策
17. 消防・救急充実
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
13. 下水道整備
11. 交通網充実
15. 循環型社会推進
6. 健全な財政運営
9. 公園の適正配置
23. 社会福祉充実
27. 教育の充実
26. 子育て支援充実
35. 工業振興
28. 教育環境充実・強化
1. 地域づくり促進
25. 子育て環境充実
38. 観光振興
7. 秩序ある土地利用
3. 市民参加推進
8. 都市機能整備
21. 障がい者福祉充実
22. 高齢者福祉充実
37. 農業振興
29. 青少年健全育成
36. 商業振興
14. 環境保全推進
4. 効率的な行政運営
2. 人材発掘と育成
33. 人権教育推進
24. 各種相談業務充実
32. スポーツ振興
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
31. 文化振興
10. 良好な住環境
重要である
重要ではない
重要度
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
不満
満足度
満足


【上頓野小学校区（n=67）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 −0.14
重要度平均 1.47
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
17. 消防・救急充実
15. 循環型社会推進
18. 交通安全・防犯対策
5. 窓口サービス向上
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
13. 下水道整備
11. 交通網充実
6. 健全な財政運営
8. 都市機能整備
25. 子育て環境充実
22. 高齢者福祉充実
28. 教育環境充実・強化
26. 子育て支援充実
7. 秩序ある土地利用
23. 社会福祉充実
1. 地域づくり促進
36. 商業振興
3. 市民参加推進
27. 教育の充実
9. 公園の適正配置
21. 障がい者福祉充実
35. 工業振興
14. 環境保全推進
4. 効率的な行政運営
29. 青少年健全育成
2. 人材発掘と育成
37. 農業振興
24. 各種相談業務充実
38. 観光振興
30. 生涯学習推進
33. 人権教育推進
32. スポーツ振興
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境
31. 文化振興
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8

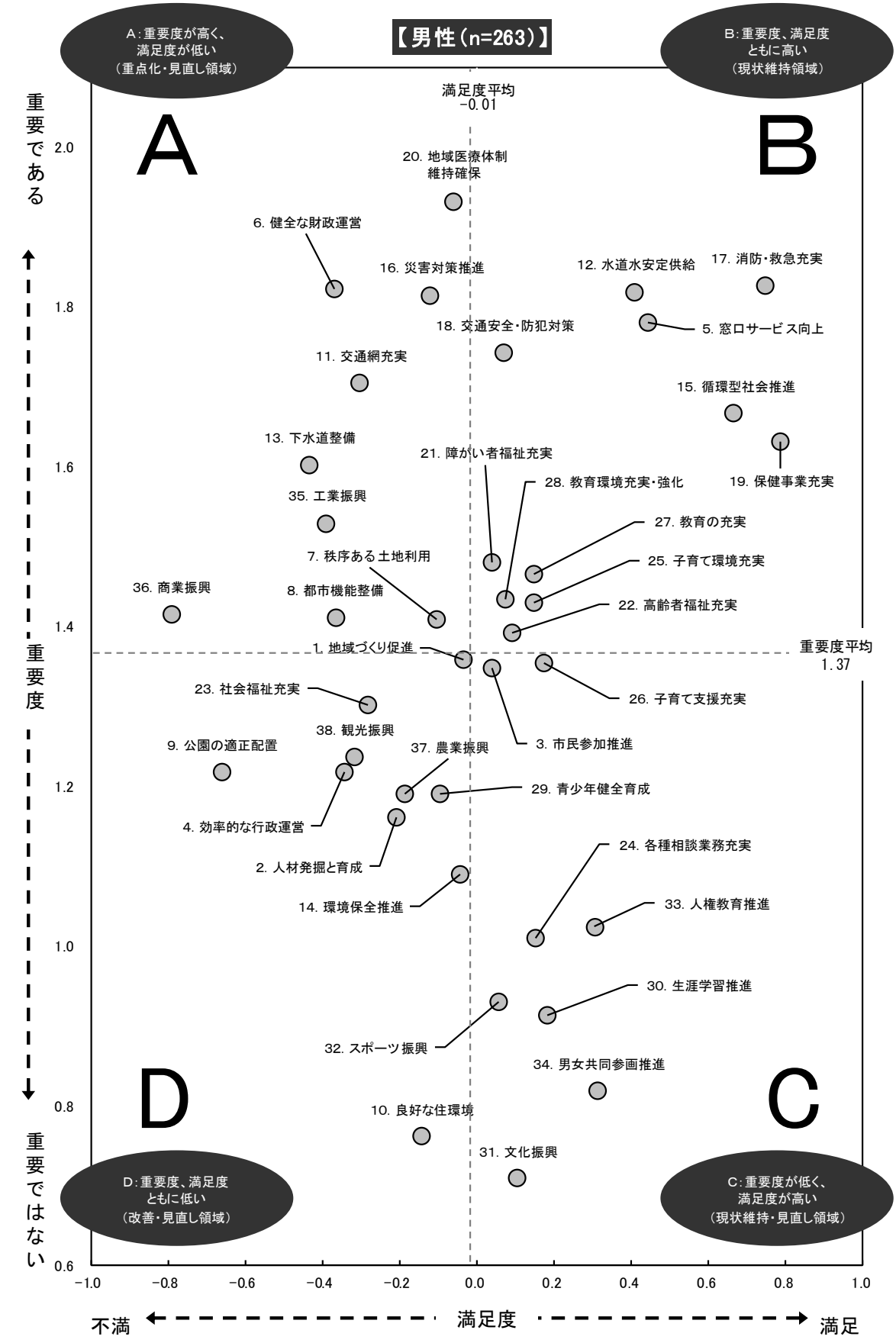

【下境小学校区(n=49)】
A:重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B:重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C:重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D:重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均 -0.02
重要度平均 1.24
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
16. 災害対策推進
20. 地域医療体制維持確保
26. 子育て支援充実
17. 消防・救急充実
27. 教育の充実
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
18. 交通安全・防犯対策
15. 循環型社会推進
8. 都市機能整備
11. 交通網充実
21. 障がい者福祉充実
5. 窓口サービス向上
36. 商業振興
25. 子育て環境充実
13. 下水道整備
23. 社会福祉充実
22. 高齢者福祉充実
3. 市民参加推進
6. 健全な財政運営
37. 農業振興
28. 教育環境充実・強化
9. 公園の適正配置
35. 工業振興
38. 観光振興
7. 秩序ある土地利用
1. 地域づくり促進
4. 効率的な行政運営
29. 青少年健全育成
2. 人材発掘と育成
24. 各種相談業務充実
10. 良好な住環境
14. 環境保全推進
30. 生涯学習推進
32. スポーツ振興
33. 人権教育推進
31. 文化振興
34. 男女共同参画推進

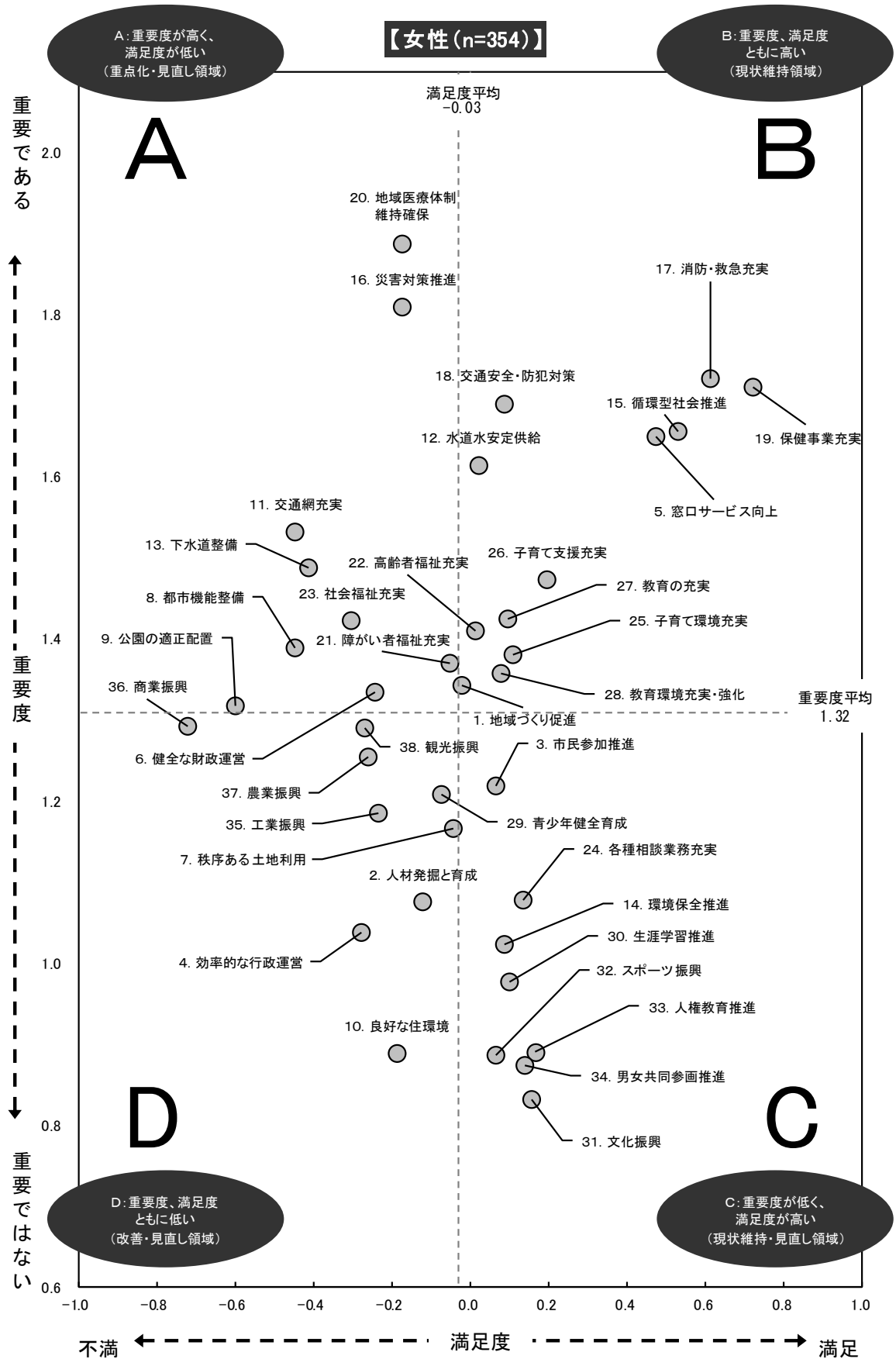

【福地小学校区(n=26)】
A:重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B:重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C:重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D:重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 0.01
重要度平均 1.31
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
15. 循環型社会推進
20. 地域医療体制維持確保
22. 高齢者福祉充実
26. 子育て支援充実
12. 水道水安定供給
16. 災害対策推進
17. 消防・救急充実
13. 下水道整備
19. 保健事業充実
18. 交通安全・防犯対策
27. 教育の充実
21. 障がい者福祉充実
36. 商業振興
5. 窓口サービス向上
35. 工業振興
8. 都市機能整備
25. 子育て環境充実
11. 交通網充実
29. 青少年健全育成
6. 健全な財政運営
23. 社会福祉充実
38. 観光振興
28. 教育環境充実・強化
37. 農業振興
24. 各種相談業務充実
14. 環境保全推進
1. 地域づくり促進
9. 公園の適正配置
3. 市民参加推進
2. 人材発掘と育成
32. スポーツ振興
30. 生涯学習推進
7. 秩序ある土地利用
31. 文化振興
33. 人権教育推進
4. 効率的な行政運営
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境


【中泉小学校区(n=16)】
A:重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B:重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D:重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C:重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
満足度平均 0.32
重要度平均 1.38
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
A
B
C
D
11. 交通網充実
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
8. 都市機能整備
5. 窓口サービス向上
21. 障がい者福祉充実
38. 観光振興
28. 教育環境充実・強化
17. 消防・救急充実
23. 社会福祉充実
12. 水道水安定供給
37. 農業振興
22. 高齢者福祉充実
13. 下水道整備
18. 交通安全・防犯対策
10. 良好な住環境
15. 循環型社会推進
19. 保健事業充実
36. 商業振興
26. 子育て支援充実
6. 健全な財政運営
29. 青少年健全育成
32. スポーツ振興
35. 工業振興
7. 秩序ある土地利用
27. 教育の充実
25. 子育て環境充実
30. 生涯学習推進
9. 公園の適正配置
1. 地域づくり促進
14. 環境保全推進
3. 市民参加推進
31. 文化振興
24. 各種相談業務充実
2. 人材発掘と育成
4. 効率的な行政運営
33. 人権教育推進
34. 男女共同参画推進
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
1.2
1.4

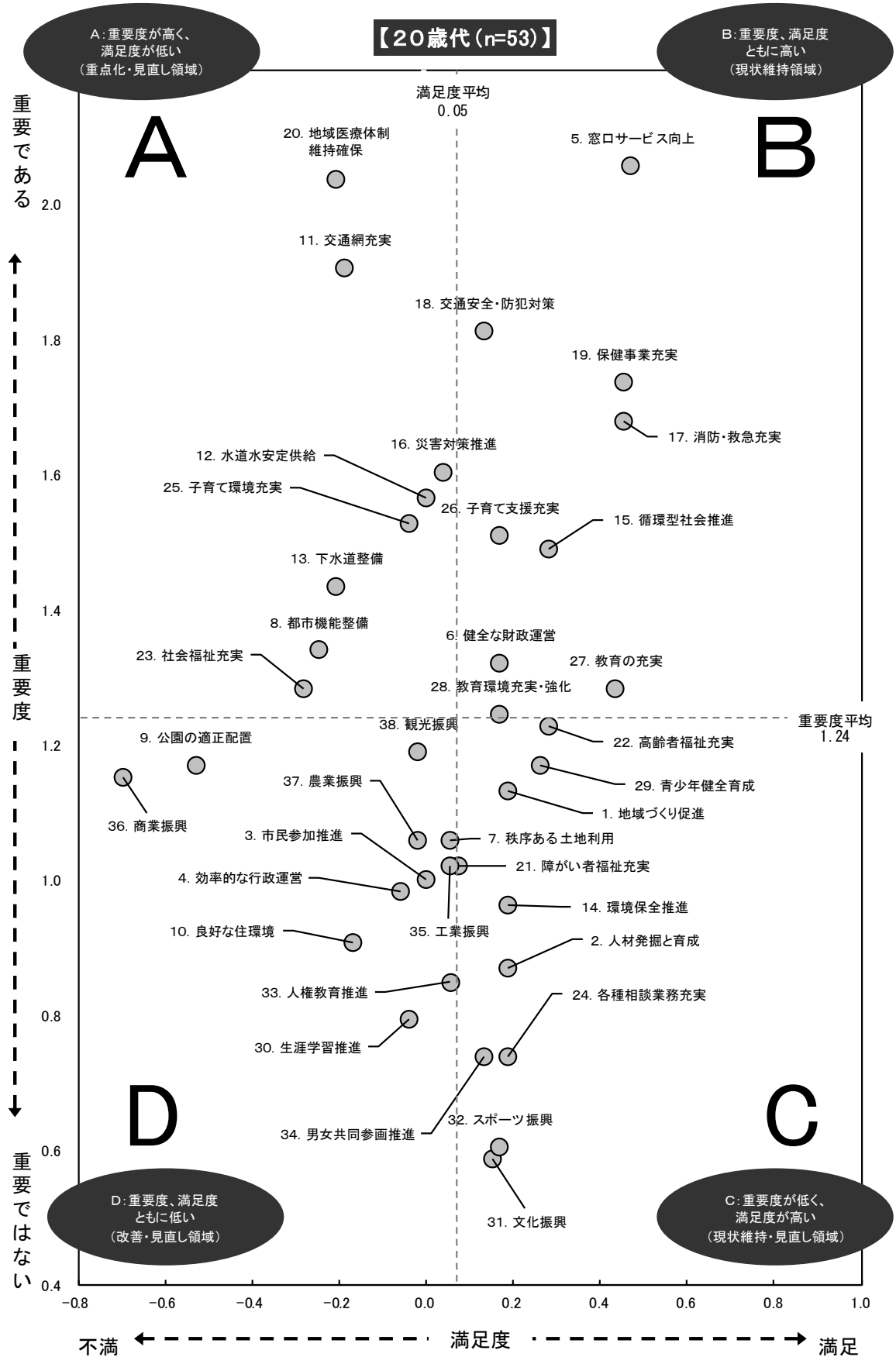

【植木小学校区（n=67）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 −0.01
重要度平均 1.19
A
B
C
D
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
20. 地域医療体制維持確保
5. 窓口サービス向上
16. 災害対策推進
17. 消防・救急充実
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
11. 交通網充実
6. 健全な財政運営
18. 交通安全・防犯対策
15. 循環型社会推進
13. 下水道整備
22. 高齢者福祉充実
28. 教育環境充実・強化
27. 教育の充実
9. 公園の適正配置
38. 観光振興
26. 子育て支援充実
23. 社会福祉充実
25. 子育て環境充実
21. 障がい者福祉充実
36. 商業振興
8. 都市機能整備
1. 地域づくり促進
35. 工業振興
3. 市民参加推進
37. 農業振興
7. 秩序ある土地利用
29. 青少年健全育成
2. 人材発掘と育成
4. 効率的な行政運営
10. 良好な住環境
33. 人権教育推進
34. 男女共同参画推進
30. 生涯学習推進
24. 各種相談業務充実
14. 環境保全推進
32. スポーツ振興
31. 文化振興

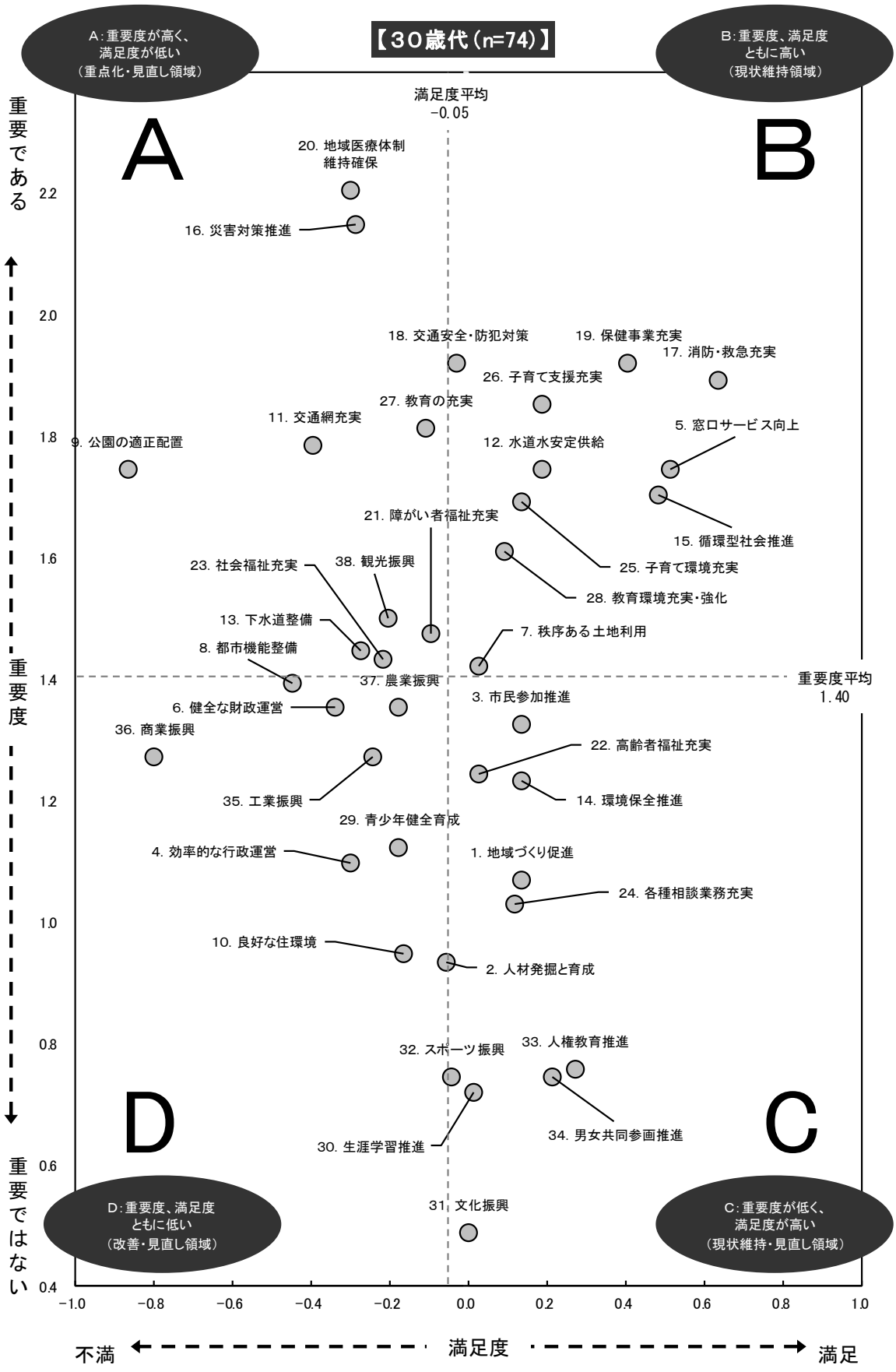
【性別傾向】

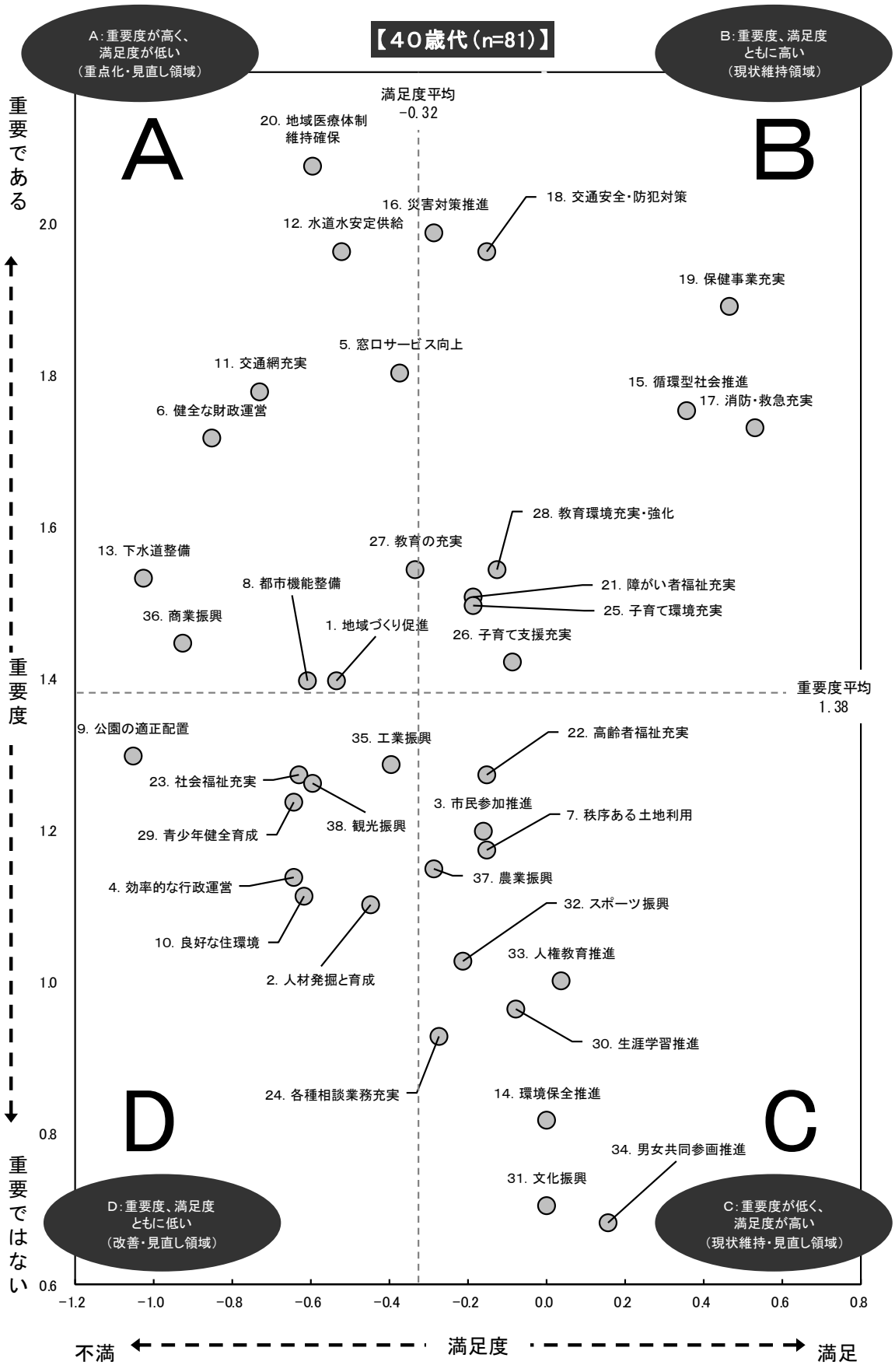

【男性（n=263）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 −0.01
重要度平均 1.37
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
20. 地域医療体制維持確保
6. 健全な財政運営
16. 災害対策推進
12. 水道水安定供給
17. 消防・救急充実
18. 交通安全・防犯対策
5. 窓口サービス向上
11. 交通網充実
15. 循環型社会推進
13. 下水道整備
21. 障がい者福祉充実
28. 教育環境充実・強化
19. 保健事業充実
35. 工業振興
27. 教育の充実
7. 秩序ある土地利用
25. 子育て環境充実
36. 商業振興
8. 都市機能整備
22. 高齢者福祉充実
1. 地域づくり促進
26. 子育て支援充実
23. 社会福祉充実
3. 市民参加推進
38. 観光振興
9. 公園の適正配置
37. 農業振興
29. 青少年健全育成
4. 効率的な行政運営
2. 人材発掘と育成
24. 各種相談業務充実
14. 環境保全推進
33. 人権教育推進
30. 生涯学習推進
32. スポーツ振興
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境
31. 文化振興

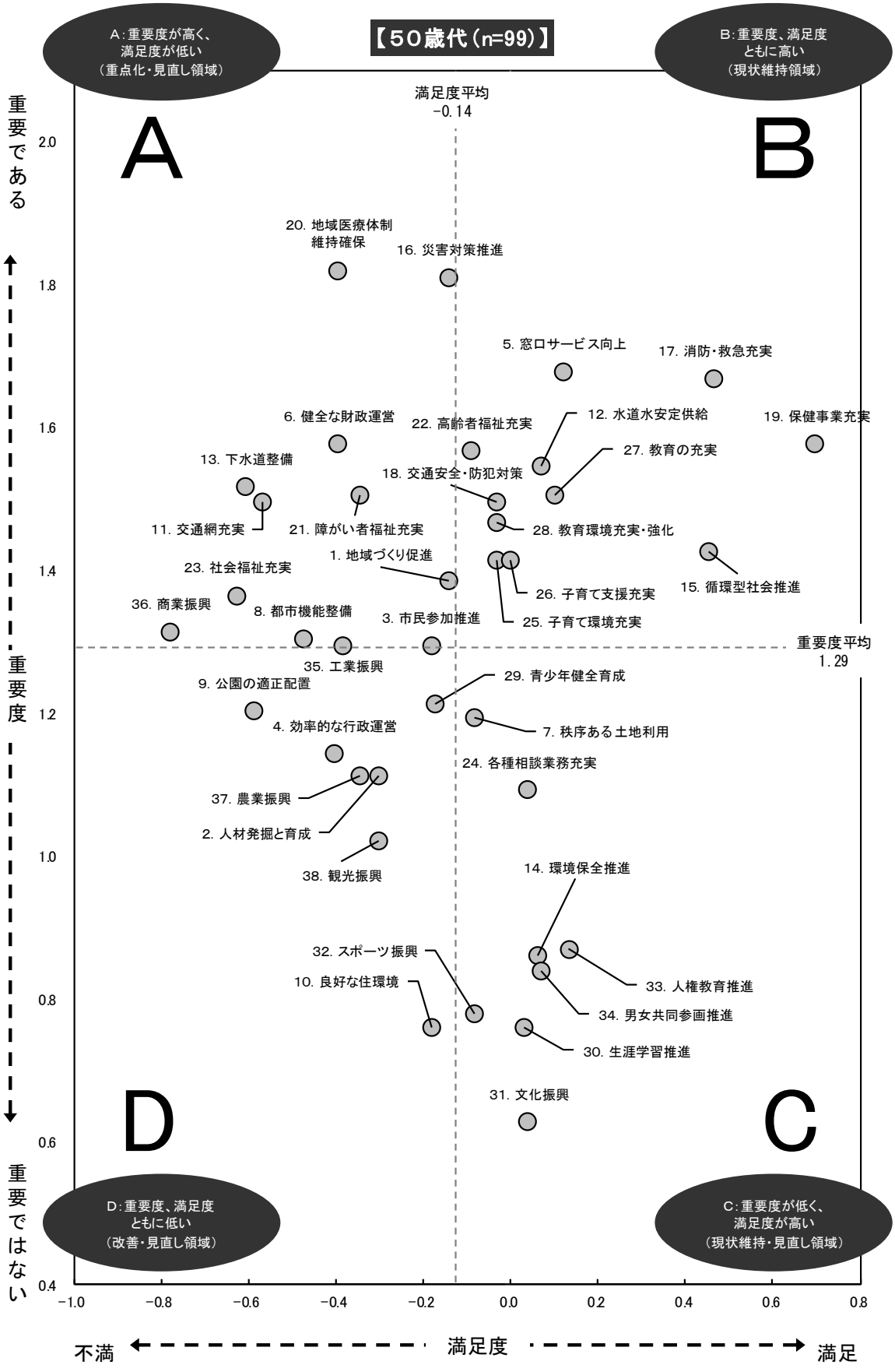

【女性（n=354）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
満足度平均 −0.03
重要度平均 1.32
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
A
B
C
D
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
17. 消防・救急充実
18. 交通安全・防犯対策
15. 循環型社会推進
19. 保健事業充実
12. 水道水安定供給
5. 窓口サービス向上
11. 交通網充実
13. 下水道整備
22. 高齢者福祉充実
26. 子育て支援充実
27. 教育の充実
23. 社会福祉充実
8. 都市機能整備
25. 子育て環境充実
9. 公園の適正配置
21. 障がい者福祉充実
28. 教育環境充実・強化
36. 商業振興
1. 地域づくり促進
6. 健全な財政運営
38. 観光振興
3. 市民参加推進
37. 農業振興
29. 青少年健全育成
35. 工業振興
7. 秩序ある土地利用
24. 各種相談業務充実
2. 人材発掘と育成
14. 環境保全推進
4. 効率的な行政運営
30. 生涯学習推進
32. スポーツ振興
33. 人権教育推進
10. 良好な住環境
34. 男女共同参画推進
31. 文化振興
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0

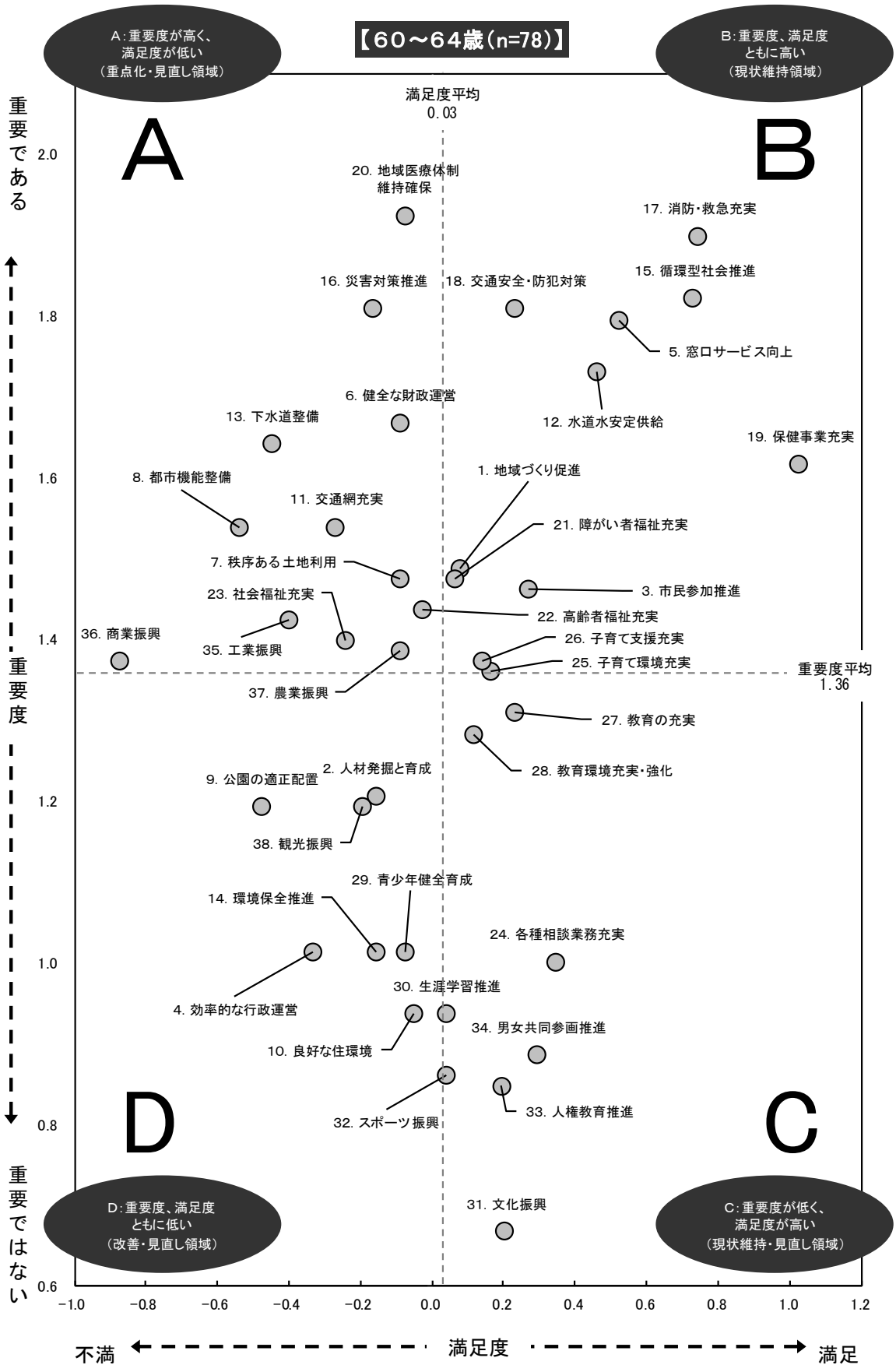
【年齢別傾向】

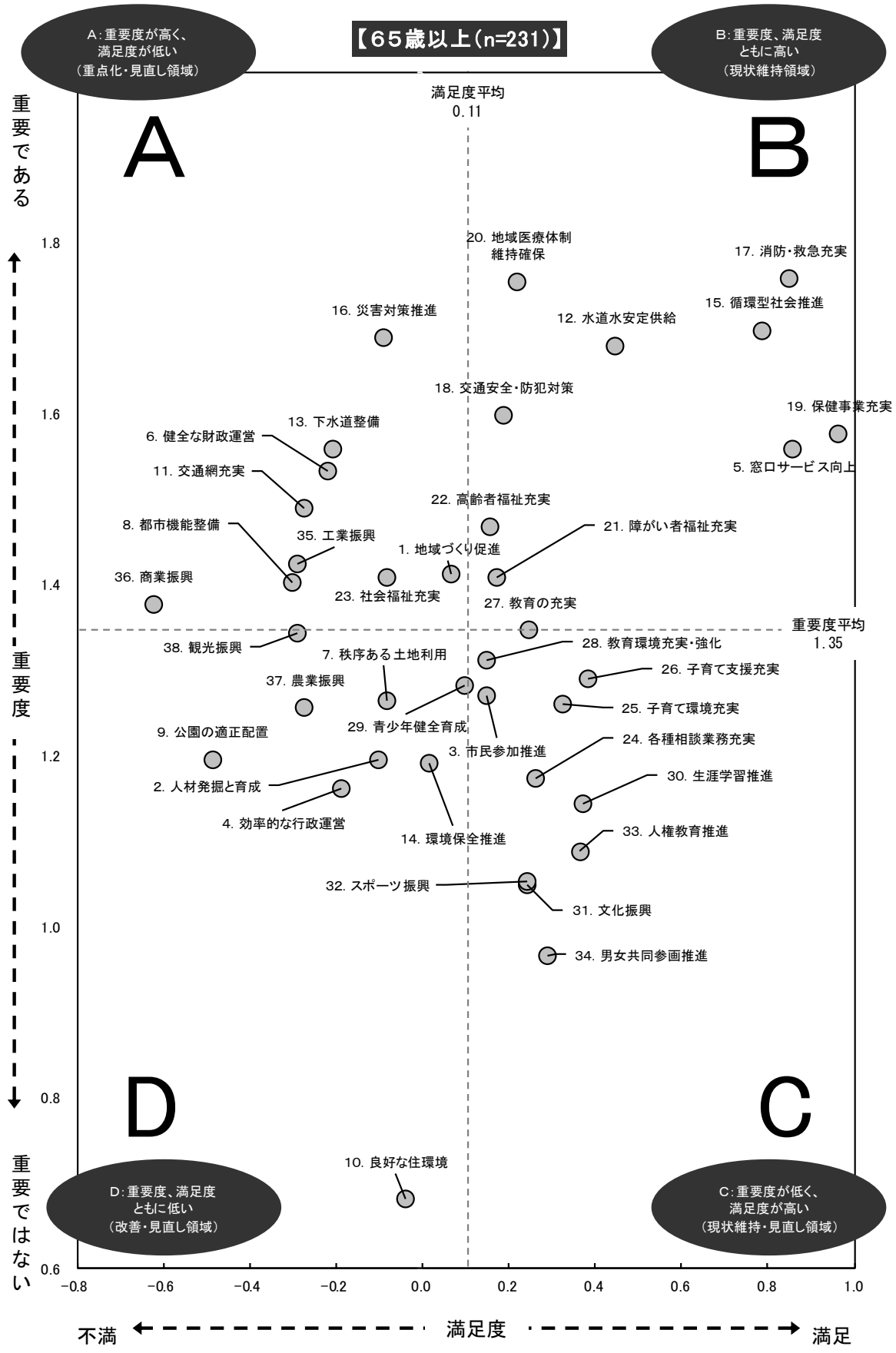

【20歳代（n=53）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
満足度平均 0.05
重要度平均 1.24
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
20. 地域医療体制維持確保
5. 窓口サービス向上
11. 交通網充実
18. 交通安全・防犯対策
19. 保健事業充実
17. 消防・救急充実
16. 災害対策推進
12. 水道水安定供給
25. 子育て環境充実
26. 子育て支援充実
15. 循環型社会推進
13. 下水道整備
8. 都市機能整備
6. 健全な財政運営
23. 社会福祉充実
27. 教育の充実
28. 教育環境充実・強化
38. 観光振興
22. 高齢者福祉充実
9. 公園の適正配置
29. 青少年健全育成
37. 農業振興
1. 地域づくり促進
36. 商業振興
3. 市民参加推進
7. 秩序ある土地利用
21. 障がい者福祉充実
4. 効率的な行政運営
14. 環境保全推進
10. 良好な住環境
35. 工業振興
2. 人材発掘と育成
33. 人権教育推進
24. 各種相談業務充実
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
32. スポーツ振興
31. 文化振興
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0


【30歳代（n=74）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
満足度平均 −0.05
重要度平均 1.40
重要である
重要ではない
不満
満足
満足度
A
B
C
D
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
18. 交通安全・防犯対策
19. 保健事業充実
17. 消防・救急充実
26. 子育て支援充実
27. 教育の充実
11. 交通網充実
9. 公園の適正配置
5. 窓口サービス向上
12. 水道水安定供給
21. 障がい者福祉充実
15. 循環型社会推進
25. 子育て環境充実
23. 社会福祉充実
38. 観光振興
28. 教育環境充実・強化
13. 下水道整備
7. 秩序ある土地利用
8. 都市機能整備
37. 農業振興
3. 市民参加推進
6. 健全な財政運営
36. 商業振興
22. 高齢者福祉充実
35. 工業振興
14. 環境保全推進
29. 青少年健全育成
4. 効率的な行政運営
1. 地域づくり促進
24. 各種相談業務充実
10. 良好な住環境
2. 人材発掘と育成
32. スポーツ振興
33. 人権教育推進
34. 男女共同参画推進
30. 生涯学習推進
31. 文化振興
2.2
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0


【40歳代（n=81）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均 −0.32
重要度平均 1.38
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
18. 交通安全・防犯対策
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
5. 窓口サービス向上
11. 交通網充実
15. 循環型社会推進
17. 消防・救急充実
6. 健全な財政運営
28. 教育環境充実・強化
27. 教育の充実
13. 下水道整備
8. 都市機能整備
21. 障がい者福祉充実
25. 子育て環境充実
36. 商業振興
1. 地域づくり促進
26. 子育て支援充実
9. 公園の適正配置
35. 工業振興
22. 高齢者福祉充実
23. 社会福祉充実
3. 市民参加推進
7. 秩序ある土地利用
38. 観光振興
29. 青少年健全育成
37. 農業振興
4. 効率的な行政運営
32. スポーツ振興
10. 良好な住環境
33. 人権教育推進
2. 人材発掘と育成
30. 生涯学習推進
24. 各種相談業務充実
14. 環境保全推進
34. 男女共同参画推進
31. 文化振興
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−1.2
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8


【50歳代（n=99）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
A
B
D
C
満足度平均
−0.14
重要度平均
1.29
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
20. 地域医療体制維持確保
16. 災害対策推進
5. 窓口サービス向上
17. 消防・救急充実
6. 健全な財政運営
22. 高齢者福祉充実
12. 水道水安定供給
19. 保健事業充実
27. 教育の充実
13. 下水道整備
18. 交通安全・防犯対策
11. 交通網充実
21. 障がい者福祉充実
28. 教育環境充実・強化
1. 地域づくり促進
23. 社会福祉充実
15. 循環型社会推進
26. 子育て支援充実
36. 商業振興
8. 都市機能整備
3. 市民参加推進
25. 子育て環境充実
35. 工業振興
9. 公園の適正配置
29. 青少年健全育成
4. 効率的な行政運営
7. 秩序ある土地利用
24. 各種相談業務充実
37. 農業振興
2. 人材発掘と育成
38. 観光振興
14. 環境保全推進
32. スポーツ振興
33. 人権教育推進
10. 良好な住環境
34. 男女共同参画推進
30. 生涯学習推進
31. 文化振興


【60～64歳(n=78)】
A:重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B:重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D:重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C:重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
A
B
C
D
満足度平均
0.03
重要度平均
1.36
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
2.0
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−1.0
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
1.2
20. 地域医療体制維持確保
17. 消防・救急充実
16. 災害対策推進
18. 交通安全・防犯対策
15. 循環型社会推進
5. 窓口サービス向上
6. 健全な財政運営
12. 水道水安定供給
13. 下水道整備
19. 保健事業充実
8. 都市機能整備
1. 地域づくり促進
11. 交通網充実
21. 障がい者福祉充実
7. 秩序ある土地利用
3. 市民参加推進
23. 社会福祉充実
22. 高齢者福祉充実
36. 商業振興
35. 工業振興
26. 子育て支援充実
25. 子育て環境充実
37. 農業振興
27. 教育の充実
28. 教育環境充実・強化
9. 公園の適正配置
2. 人材発掘と育成
38. 観光振興
29. 青少年健全育成
14. 環境保全推進
24. 各種相談業務充実
4. 効率的な行政運営
30. 生涯学習推進
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境
33. 人権教育推進
32. スポーツ振興
31. 文化振興


【６５歳以上（n=231）】
A：重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）
B：重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）
D：重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）
A
B
D
C
満足度平均
0.11
重要度平均
1.35
重要である
重要ではない
重要度
不満
満足度
満足
1.8
1.6
1.4
1.2
1.0
0.8
0.6
−0.8
−0.6
−0.4
−0.2
0.0
0.2
0.4
0.6
0.8
1.0
20. 地域医療体制維持確保
17. 消防・救急充実
15. 循環型社会推進
16. 災害対策推進
12. 水道水安定供給
18. 交通安全・防犯対策
19. 保健事業充実
13. 下水道整備
6. 健全な財政運営
5. 窓口サービス向上
11. 交通網充実
22. 高齢者福祉充実
8. 都市機能整備
35. 工業振興
21. 障がい者福祉充実
1. 地域づくり促進
36. 商業振興
23. 社会福祉充実
27. 教育の充実
38. 観光振興
28. 教育環境充実・強化
7. 秩序ある土地利用
26. 子育て支援充実
37. 農業振興
25. 子育て環境充実
29. 青少年健全育成
3. 市民参加推進
9. 公園の適正配置
24. 各種相談業務充実
2. 人材発掘と育成
30. 生涯学習推進
4. 効率的な行政運営
14. 環境保全推進
33. 人権教育推進
32. スポーツ振興
31. 文化振興
34. 男女共同参画推進
10. 良好な住環境

【５】施策ごとの評価について

以下、３８の施策ごとの評価内容及びその不満の理由についての意識を、それぞれ取りまとめる。

１．市民主体の地域づくりの促進

施策内容	・市民と行政との協働のしくみづくりの推進。		
主な事業	・自治会等の活動支援 ・民生委員・児童委員協議会事業　等		
満足度評価	-0.02　（38施策中　21　位）	重要度評価	1.35　（38施策中　20　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

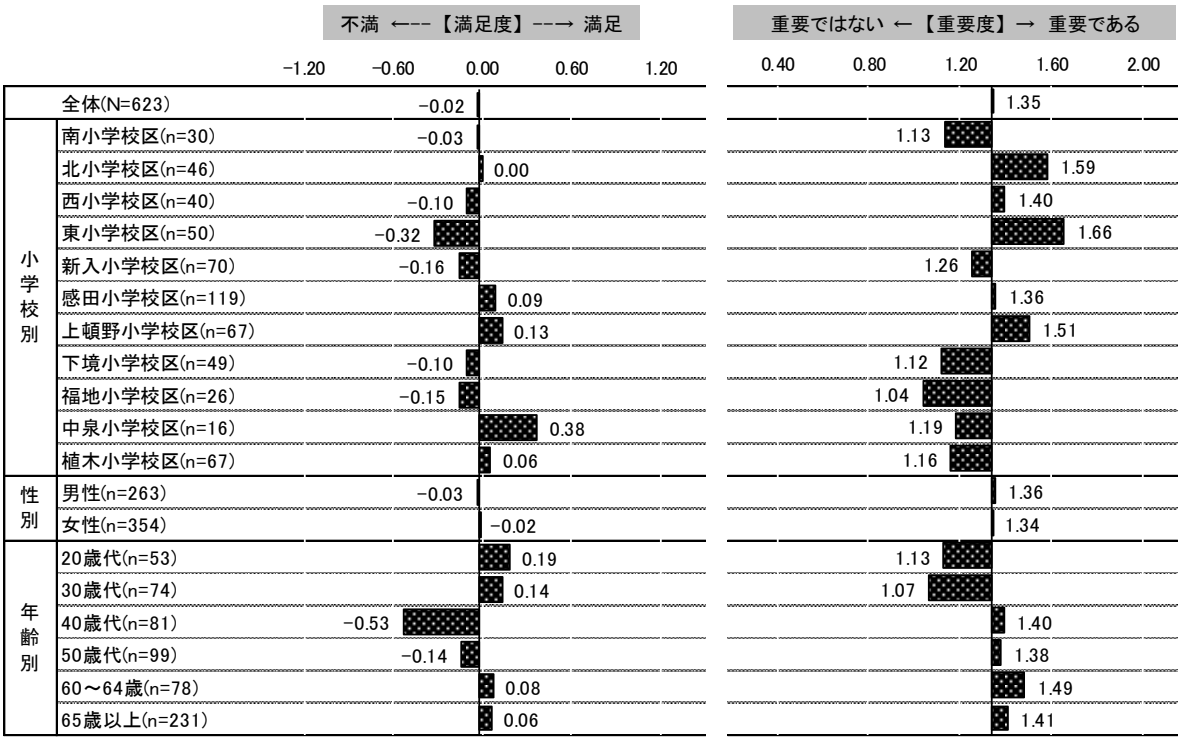
満足度評価	−0.07（37 施策中 23 位）	重要度評価	1.12（37 施策中 27 位）
散布図象限	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査では、改善・見直しの領域（D）に位置していたが、満足度、重要度ともに中位にあり、重点化・見直しの領域（A）に位置する。

満足度は、東、福地、新入小学校区で相対的に低く、また、年齢別では 40 歳代で低くなっている。

重要度は、東、北、上頓野小学校区などで高い他は全体的に低く、特に、福地小学校区などで低い。また、年齢別では 30 歳代で特に低い。



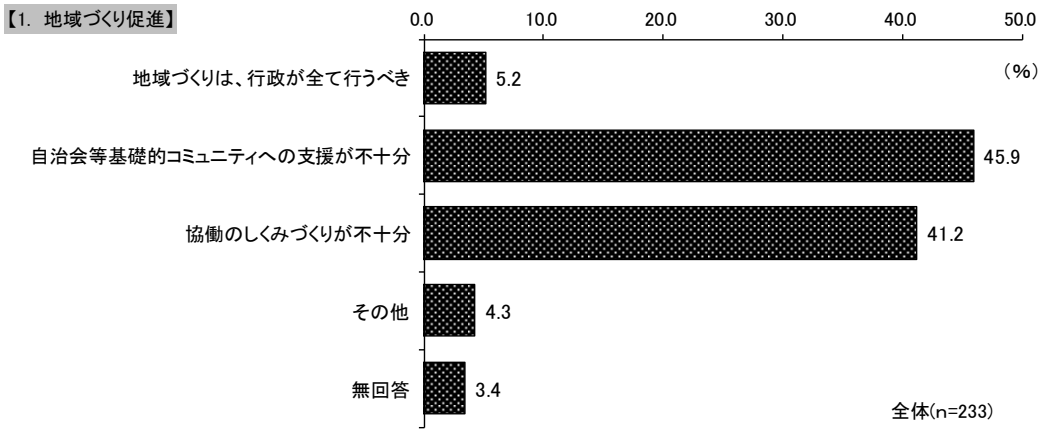
注：グラフの中央線は全体の平均値（満足度は 0.00、重要度は 1.28）としている（以下同様）。

（２）不満の理由

不満の理由としては、「自治会等基礎的コミュニティへの支援が不十分」の割合が 45.9%と最も高く、ほぼ並んで「協働のしくみづくりが不十分」（41.2%）が続く。

小学校区別では、南小学校区で「協働のしくみづくりが不十分」が、他に比べ高く、福地小学校区で「自治会等基礎的コミュニティへの支援が不十分」が高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「自治会等基礎的コミュニティへの支援が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		地域づくりは、行政が全て行うべき	自治会等基礎的コミュニティへの支援が不十分	協働のしくみづくりが不十分	その他	無回答
全体(n=233)		5.2	45.9	41.2	4.3	3.4
小学校区別	南小学校区(n=9)	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	北小学校区(n=20)	0.0	60.0	35.0	5.0	0.0
	西小学校区(n=16)	12.5	37.5	37.5	6.3	6.3
	東小学校区(n=26)	7.7	46.2	30.8	7.7	7.7
	新入小学校区(n=30)	3.3	53.3	36.7	3.3	3.3
	感田小学校区(n=41)	2.4	46.3	43.9	4.9	2.4
	上頓野小学校区(n=22)	0.0	50.0	45.5	4.5	0.0
	下境小学校区(n=19)	10.5	47.4	31.6	5.3	5.3
	福地小学校区(n=11)	0.0	63.6	36.4	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=4)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=20)	5.0	45.0	50.0	0.0	0.0
性別	男性(n=100)	6.0	40.0	47.0	4.0	3.0
	女性(n=132)	4.5	50.8	36.4	4.5	3.8
年齢別	20歳代(n=10)	0.0	60.0	30.0	0.0	10.0
	30歳代(n=19)	5.3	21.1	52.6	21.1	0.0
	40歳代(n=45)	8.9	42.2	40.0	4.4	4.4
	50歳代(n=39)	5.1	48.7	43.6	0.0	2.6
	60～64歳(n=28)	3.6	57.1	28.6	7.1	3.6
	65歳以上(n=91)	4.4	47.3	42.9	2.2	3.3

注：表中の着色は、各クロス集計において、最も高い割合を示している。
（例/性別の場合は男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合は最も高い年齢層に着色。）
但し、回答割合が10%未満の項目については、着色していない。

単位：%　以下同様。

２．地域づくりを推進する人材の発掘と育成

施策内容	・ボランティア団体間のネットワークづくりの推進。 地域づくりに関する講座の周知とその内容の充実。		
主な事業	・市民活動事業（縁（ゆかり）ネット情報発信等）事業 ・市表彰事業　等		
満足度評価	-0.15　（38施策中　26　位）	重要度評価	1.11　（38施策中　30　位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	−0.09（37 施策中 25 位）	重要度評価	1.00（37 施策中 30 位）
散布図象限	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

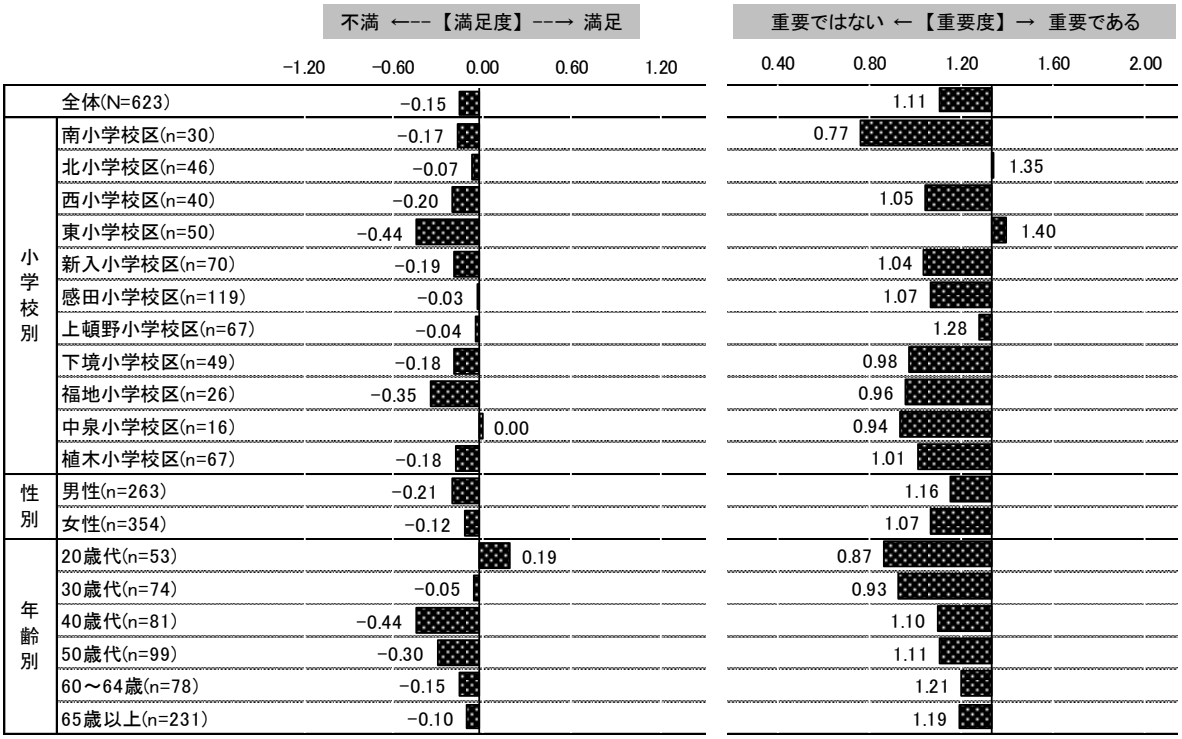
（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置するが、満足度の評価が前回調査より増して低くなっている。

満足度は、全体的に低く、東、福地小学校区などで相対的に低い。性別では女性に比べ男性、年齢別では 40 歳代から 50 歳代にかけて低くなっている。

重要度は、東、北小学校区で平均を上回っているものの全体的に低くなっている。

南、福地、中泉小学校区などで特に低い。また、性別では男性より女性、年齢別では 20 歳代から 30 歳代で特に低い。

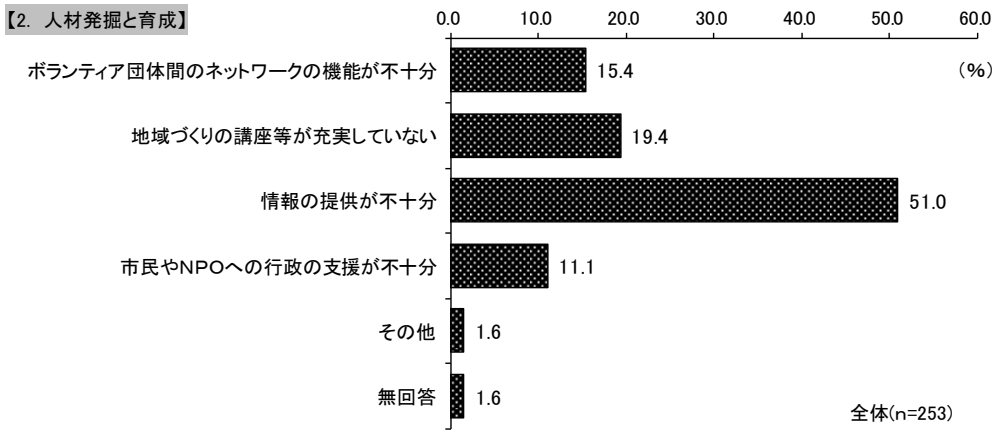


（２）不満の理由

不満の理由としては、「情報の提供が不十分」の割合が 51.0％と半数以上で最も高く、突出している。以下「地域づくりの講座等が充実していない」（19.4％）、「ボランティア団体間のネットワークの機能が不十分」（15.4％）の順となっている。

小学校区別では、中泉小学校区で「情報の提供が不十分」が、他に比べ高く、植木小学校区では「地域づくりの講座等が充実していない」、福地小学校区では「市民やＮＰＯへの行政の支援が不十分」が高くなっている。

年齢別では、20 歳代で８割以上が「情報の提供が不十分」を回答し、30 歳代で「市民やＮＰＯへの行政の支援が不十分」が高く、60 歳代前半では「地域づくりの講座等が充実していない」、65 歳以上で「ボランティア団体間のネットワークの機能が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		ボランティア団体間のネットワークの機能が不十分	地域づくりの講座等が充実していない	情報の提供が不十分	市民やＮＰＯへの行政の支援が不十分	その他	無回答
全体(n=253)		15.4	19.4	51.0	11.1	1.6	1.6
小学校区別	南小学校区(n=11)	27.3	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0
	北小学校区(n=21)	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
	西小学校区(n=16)	18.8	25.0	43.8	6.3	6.3	0.0
	東小学校区(n=29)	13.8	17.2	55.2	10.3	3.4	0.0
	新入小学校区(n=30)	16.7	10.0	56.7	13.3	3.3	0.0
	感田小学校区(n=43)	16.3	18.6	53.5	9.3	0.0	2.3
	上頓野小学校区(n=27)	18.5	14.8	48.1	14.8	0.0	3.7
	下境小学校区(n=18)	16.7	22.2	44.4	11.1	0.0	5.6
	福地小学校区(n=13)	15.4	0.0	61.5	23.1	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=24)	4.2	37.5	50.0	4.2	4.2	0.0
性別	男性(n=114)	19.3	16.7	50.0	8.8	3.5	1.8
	女性(n=139)	12.2	21.6	51.8	12.9	0.0	1.4
年齢別	20歳代(n=12)	8.3	0.0	83.3	8.3	0.0	0.0
	30歳代(n=24)	16.7	0.0	58.3	25.0	0.0	0.0
	40歳代(n=42)	11.9	14.3	50.0	16.7	4.8	2.4
	50歳代(n=42)	14.3	21.4	57.1	4.8	2.4	0.0
	60～64歳(n=33)	12.1	30.3	42.4	12.1	0.0	3.0
	65歳以上(n=99)	19.2	24.2	45.5	8.1	1.0	2.0

３．市民参加の推進

施策内容	・施政方針や財政状況等の行政情報の発信による情報の共有化、出前講座やパブリックコメント（市民意見の公募）等を通じた市民ニーズの把握と行政運営の反映の推進。		
主な事業	・市報発行、ホームページ作成事業 ・ふれあい市長室 ・出前講座　等		
満足度評価	0.06　（38施策中　17　位）	重要度評価	1.27　（38施策中　24　位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

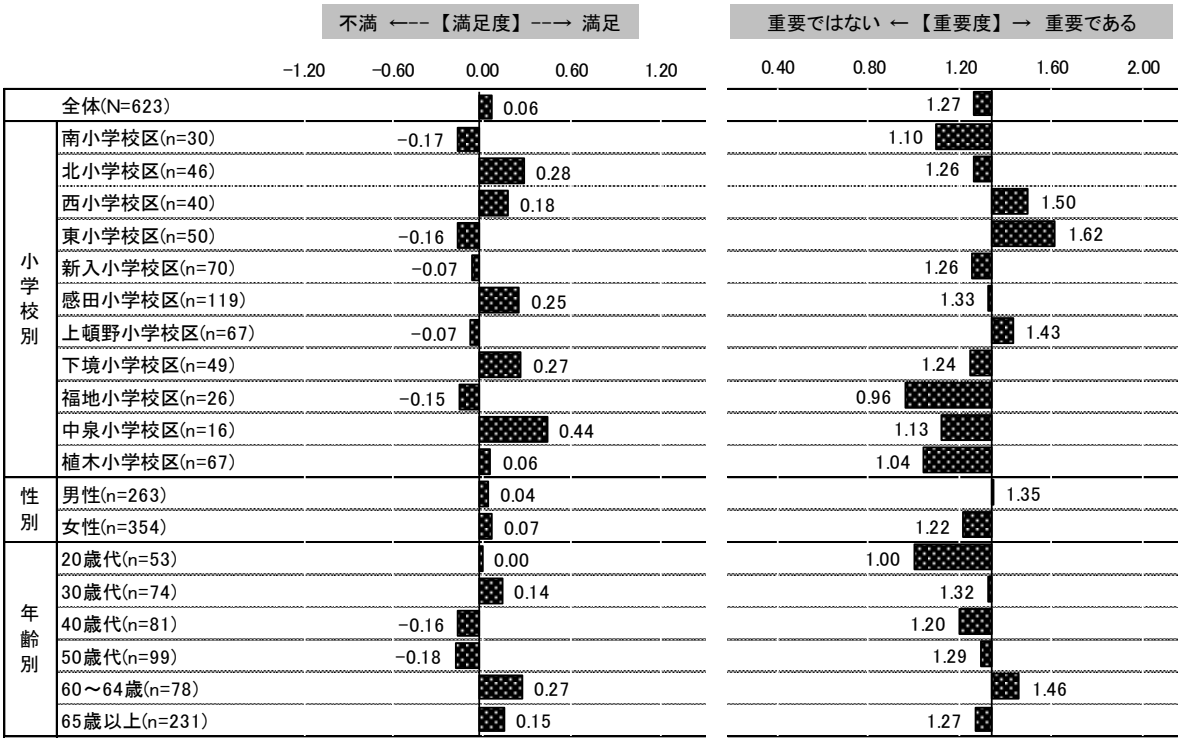
満足度評価	0.12（37 施策中９位）	重要度評価	1.18（37 施策中 24 位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度は高いが、重要度は中位にあり、現状維持・見直し領域（C）に位置する。

満足度は、中泉、北、下境、感田小学校区などで高く、年齢別では 30 歳代と 60 歳以上で高くなっている。

重要度は、東、西、上頓野小学校区などで平均を上回る他は全体的に平均を下回り、福地小学校区などで特に低い。また、性別では女性、年齢別では 20 歳代で低くなっている。



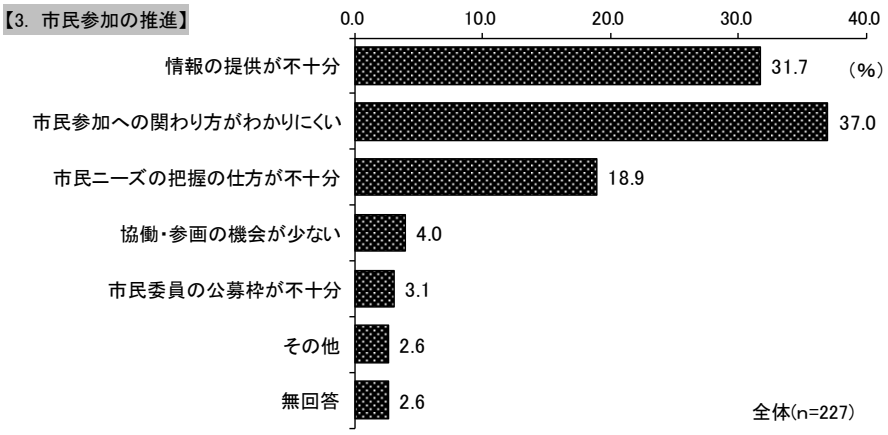
（２）不満の理由

不満の理由としては、「市民参加への関わり方がわかりにくい」が 37.0%と最も高く、並んで「情報の提供が不十分」（31.7%）が突出して多くなっている。

小学校区別では、特に南小学校区で「市民参加への関わり方がわかりにくい」、中泉小学校区で「情報の提供が不十分」、東、福地小学校区で「市民ニーズの把握の仕方が不十分」などがそれぞれ高く、地域差がみられる。

性別では、男性で「市民ニーズの把握の仕方が不十分」の割合が女性を上回り、女性では「情報の提供が不十分」「市民参加への関わり方がわかりにくい」が男性をやや上回っている。

年齢別では、30 歳代で「情報の提供が不十分」、40 歳代では「市民ニーズの把握の仕方が不十分」、60 歳以上では「市民参加への関わり方がわかりにくい」が、それぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		情報の提供が不十分	市民参加への関わり方がわかりにくい	市民ニーズの把握の仕方が不十分	協働・参画の機会が少ない	市民委員の公募枠が不十分	その他	無回答
全体(n=227)		31.7	37.0	18.9	4.0	3.1	2.6	2.6
小学校区別	南小学校区(n=12)	25.0	58.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=15)	26.7	46.7	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0
	西小学校区(n=14)	14.3	50.0	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1
	東小学校区(n=24)	25.0	33.3	33.3	4.2	4.2	0.0	0.0
	新入小学校区(n=33)	36.4	24.2	21.2	6.1	3.0	6.1	3.0
	感田小学校区(n=36)	27.8	41.7	19.4	5.6	2.8	0.0	2.8
	上頓野小学校区(n=26)	34.6	50.0	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0
	下境小学校区(n=15)	26.7	26.7	20.0	6.7	13.3	0.0	6.7
	福地小学校区(n=12)	41.7	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=4)	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=20)	45.0	40.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=101)	28.7	35.6	20.8	5.0	5.0	3.0	2.0
	女性(n=126)	34.1	38.1	17.5	3.2	1.6	2.4	3.2
年齢別	20歳代(n=17)	47.1	29.4	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9
	30歳代(n=24)	54.2	25.0	16.7	0.0	4.2	0.0	0.0
	40歳代(n=34)	23.5	29.4	29.4	5.9	0.0	8.8	2.9
	50歳代(n=42)	31.0	33.3	23.8	7.1	2.4	2.4	0.0
	60～64歳(n=28)	35.7	46.4	10.7	3.6	0.0	0.0	3.6
	65歳以上(n=82)	24.4	43.9	18.3	3.7	3.7	2.4	3.7

４．効率的な行政運営の推進

施策内容	・市民の視点に立った市民サービスの向上。計画・実施・評価・改善のサイクルによる計画行政の推進。		
主な事業	・行政評価関係事業 ・人事評価制度の運用　等		
満足度評価	-0.30　（38施策中　33　位）	重要度評価	1.11　（38施策中　29　位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

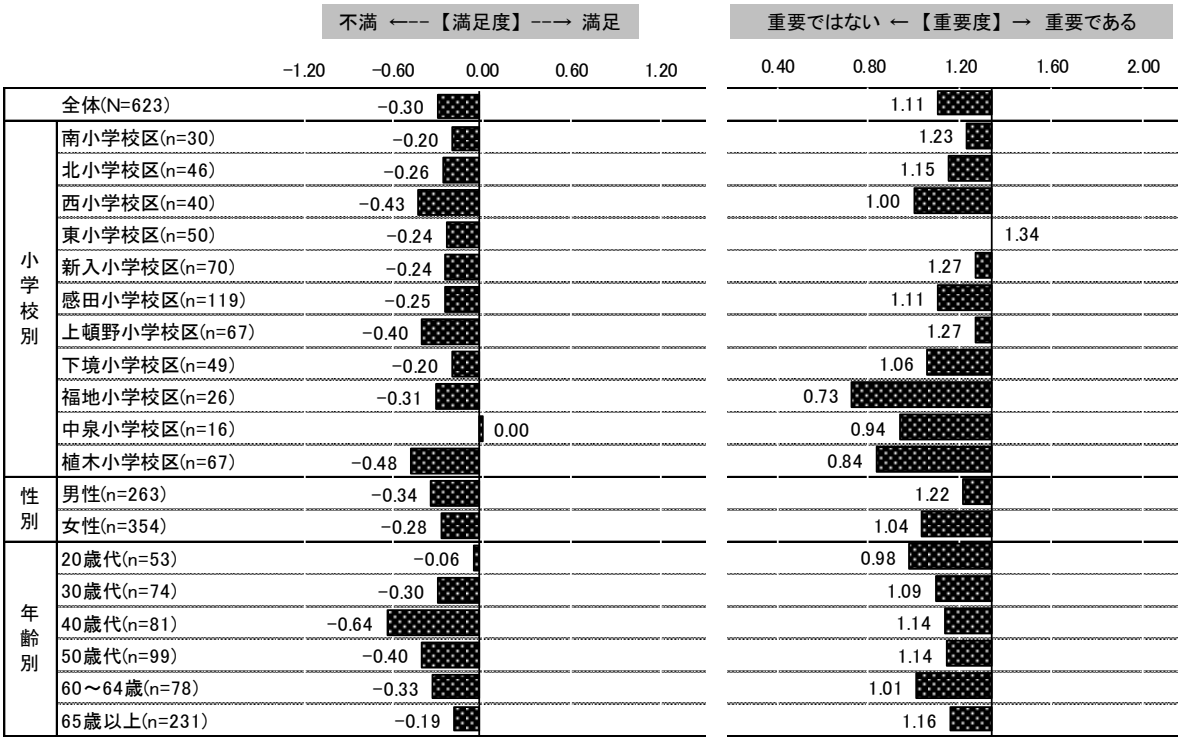
満足度評価	－0.29（37 施策中 33 位）	重要度評価	1.25（37 施策中 19 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置するが、重要度の評価がやや低くなっている。

満足度は、中泉小学校以外のほとんどの小学校区で平均を下回り、植木小学校区で特に低く、年齢別では、40 歳代で最も低くなっている。

重要度は、福地、植木小学校区などは他に比べ低くなっている。また性別では女性、年齢別では 20 歳代、60 歳代前半で低い。

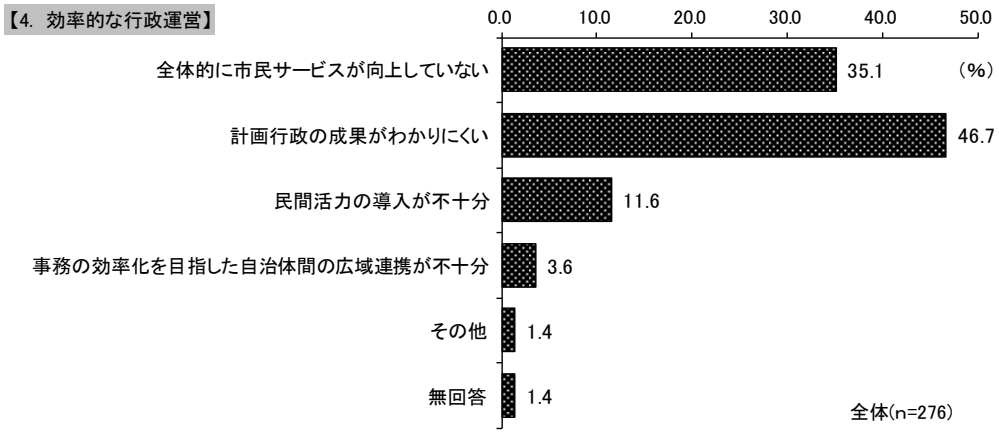


（２）不満の理由

不満の理由としては、「計画行政の成果がわかりにくい」が 46.7%と半数近くで最も高く、次いで「全体的に市民サービスが向上していない」(35.1%)、「民間活力の導入が不十分」(11.6%) の順となっている。

小学校区別では、特に、東小学校区では、他の小学校区に比べ「全体的に市民サービスが向上していない」、北小学校区では、「計画行政の成果がわかりにくい」の割合が高く、北や東小学校区では「事務の効率化を目指した自治体間の広域連携が不十分」などの割合が高くなっている。

年齢別では、40 歳代で「全体的に市民サービスが向上していない」、65 歳以上で「民間活力の導入が不十分」「計画行政の成果がわかりにくい」などで他の年齢層を上回っているのが目立っている。



		全体的に市民サービスが向上していない	計画行政の成果がわかりにくい	民間活力の導入が不十分	事務の効率化を目指した自治体間の広域連携が不十分	その他	無回答
全体(n=276)		35.1	46.7	11.6	3.6	1.4	1.4
小学校区別	南小学校区(n=13)	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7	0.0
	北小学校区(n=23)	17.4	69.6	0.0	13.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=17)	41.2	47.1	0.0	0.0	5.9	5.9
	東小学校区(n=22)	50.0	22.7	13.6	9.1	0.0	4.5
	新入小学校区(n=33)	39.4	30.3	27.3	3.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=49)	34.7	49.0	14.3	2.0	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=33)	33.3	51.5	9.1	0.0	6.1	0.0
	下境小学校区(n=18)	38.9	50.0	5.6	0.0	0.0	5.6
	福地小学校区(n=11)	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	植木小学校区(n=31)	35.5	58.1	3.2	3.2	0.0	0.0
性別	男性(n=126)	34.9	43.7	12.7	5.6	1.6	1.6
	女性(n=149)	34.9	49.7	10.7	2.0	1.3	1.3
年齢別	20歳代(n=14)	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=31)	38.7	48.4	3.2	6.5	3.2	0.0
	40歳代(n=43)	46.5	39.5	11.6	2.3	0.0	0.0
	50歳代(n=44)	36.4	45.5	11.4	4.5	0.0	2.3
	60～64歳(n=39)	38.5	48.7	7.7	2.6	0.0	2.6
	65歳以上(n=103)	25.2	50.5	15.5	3.9	2.9	1.9

５．窓口サービスにおける市民サービスの向上

施策内容	・窓口開庁時間の延長、職員応対等市民サービスの向上。			
主な事業	・案内窓口における職員応対の向上 ・窓口延長事業（毎週木曜日１９時まで）　等			
満足度評価	0.46　（38施策中　4　位）		重要度評価	1.70　（38施策中　5　位）
散布図象限 （全体）	Ｂ	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

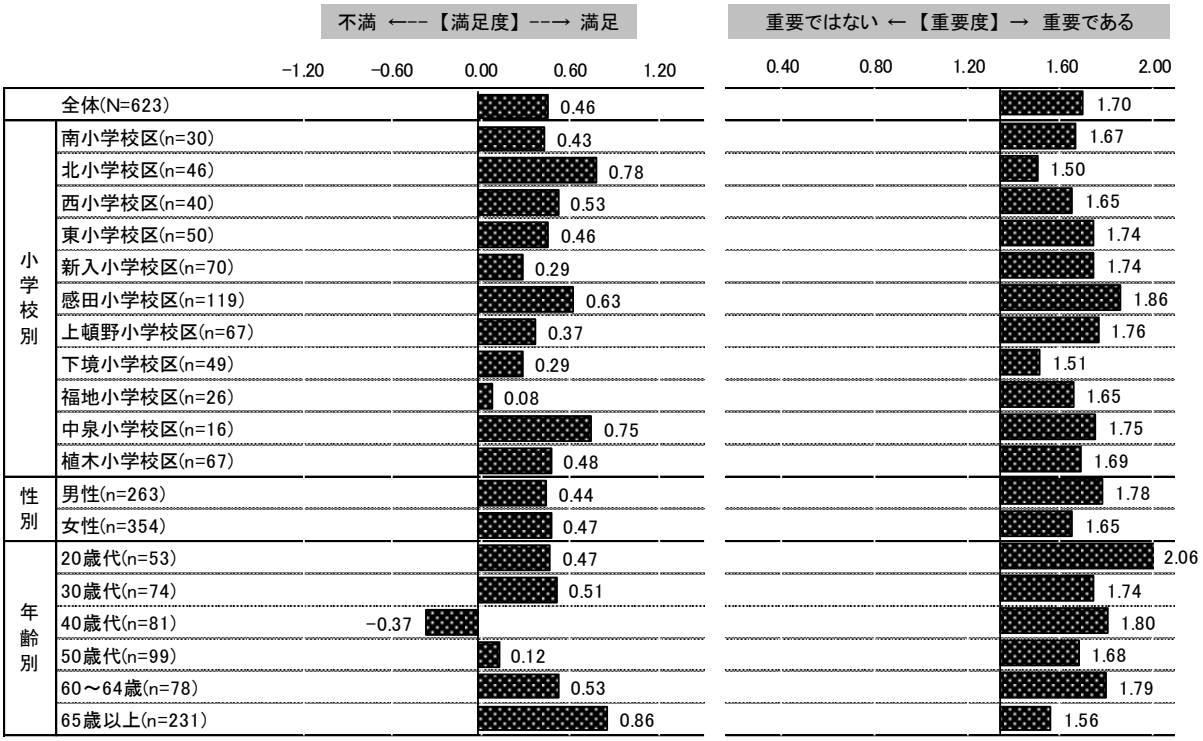
満足度評価	0.42（37 施策中３位）	重要度評価	1.59（37 施策中８位）
散布図象限 （全体）	Ｂ	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。

満足度は、年齢別以外の属性において平均を上回っているが、特に北、感田、中泉小学校区などで高く、年齢別では 60 歳以上で高くなっている。一方で、40 歳代の満足度は相対的に低い。

重要度も、すべての属性で平均を上回るが、特に、感田小学校区、20 歳代などで高くなっている。



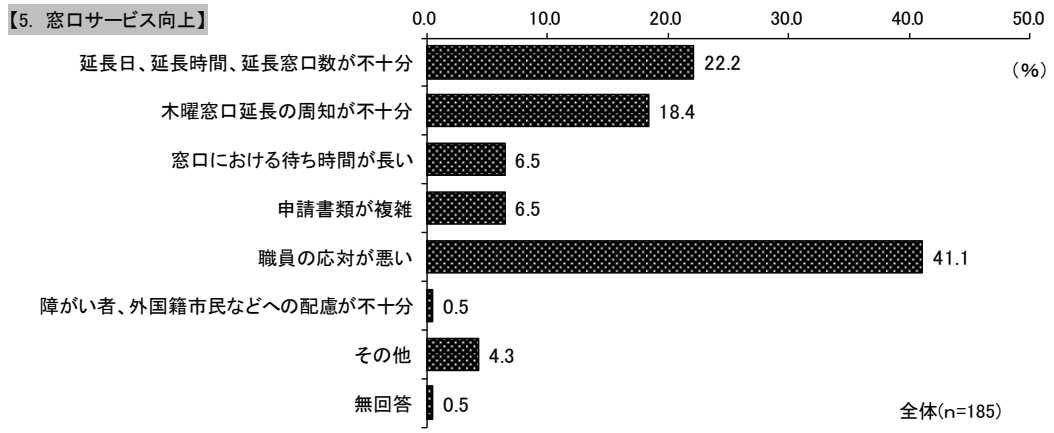
（２）不満の理由

不満の理由としては、「職員の応対が悪い」が 41.1％と最も高くなっている。

次いで「延長日、延長時間、延長窓口数が不十分」（22.2％）、「木曜窓口延長の周知が不十分」（18.4％）、「窓口における待ち時間が長い」（6.5％）、「申請書類が複雑」（6.5％）の順となっている。

小学校区別では、北や福地小学校区で「木曜窓口延長の周知が不十分」、西小学校区で「延長日、延長時間、延長窓口数が不十分」、南や下境、植木小学校区で「職員の応対が悪い」、中泉小学校区で「申請書類が複雑」などの割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、50 歳代で「窓口における待ち時間が長い」、40 歳代、60 歳代前半で「延長日、延長時間、延長窓口数が不十分」、30～40 歳代、60 歳代前半では「職員の応対が悪い」が他の年齢層と比べ高くなっている。



		延長日、延長時間、延長窓口数が不十分	木曜窓口延長の周知が不十分	窓口における待ち時間が長い	申請書類が複雑	職員の応対が悪い	障がい者、外国籍市民などへの配慮が不十分	その他	無回答
全体(n=185)		22.2	18.4	6.5	6.5	41.1	0.5	4.3	0.5
小学校区別	南小学校区(n=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=9)	0.0	33.3	22.2	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0
	西小学校区(n=12)	41.7	25.0	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=15)	33.3	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	6.7	0.0
	新入小学校区(n=23)	34.8	17.4	13.0	4.3	26.1	0.0	4.3	0.0
	感田小学校区(n=31)	12.9	22.6	6.5	3.2	51.6	3.2	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=25)	20.0	28.0	4.0	16.0	28.0	0.0	4.0	0.0
	下境小学校区(n=16)	18.8	6.3	0.0	6.3	68.8	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=12)	25.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0
	中泉小学校区(n=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=19)	26.3	5.3	0.0	5.3	52.6	0.0	10.5	0.0
性別	男性(n=83)	22.9	16.9	6.0	6.0	41.0	1.2	6.0	0.0
	女性(n=100)	22.0	20.0	7.0	6.0	41.0	0.0	3.0	1.0
年齢別	20歳代(n=18)	27.8	22.2	5.6	5.6	38.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=21)	23.8	4.8	4.8	9.5	52.4	4.8	0.0	0.0
	40歳代(n=43)	32.6	16.3	4.7	0.0	41.9	0.0	4.7	0.0
	50歳代(n=38)	18.4	21.1	13.2	7.9	36.8	0.0	2.6	0.0
	60～64歳(n=20)	30.0	20.0	0.0	0.0	45.0	0.0	5.0	0.0
	65歳以上(n=43)	9.3	23.3	7.0	11.6	37.2	0.0	9.3	2.3

６．健全な財政運営の推進

施策内容	・健全な財政運営の推進。自主財源の確保の推進。		
主な事業	・行財政改革の推進 ・市税徴収事務 ・各種収納金の収納率向上　等		
満足度評価	-0.29　（38施策中　31　位）	重要度評価	1.54　（38施策中　10　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

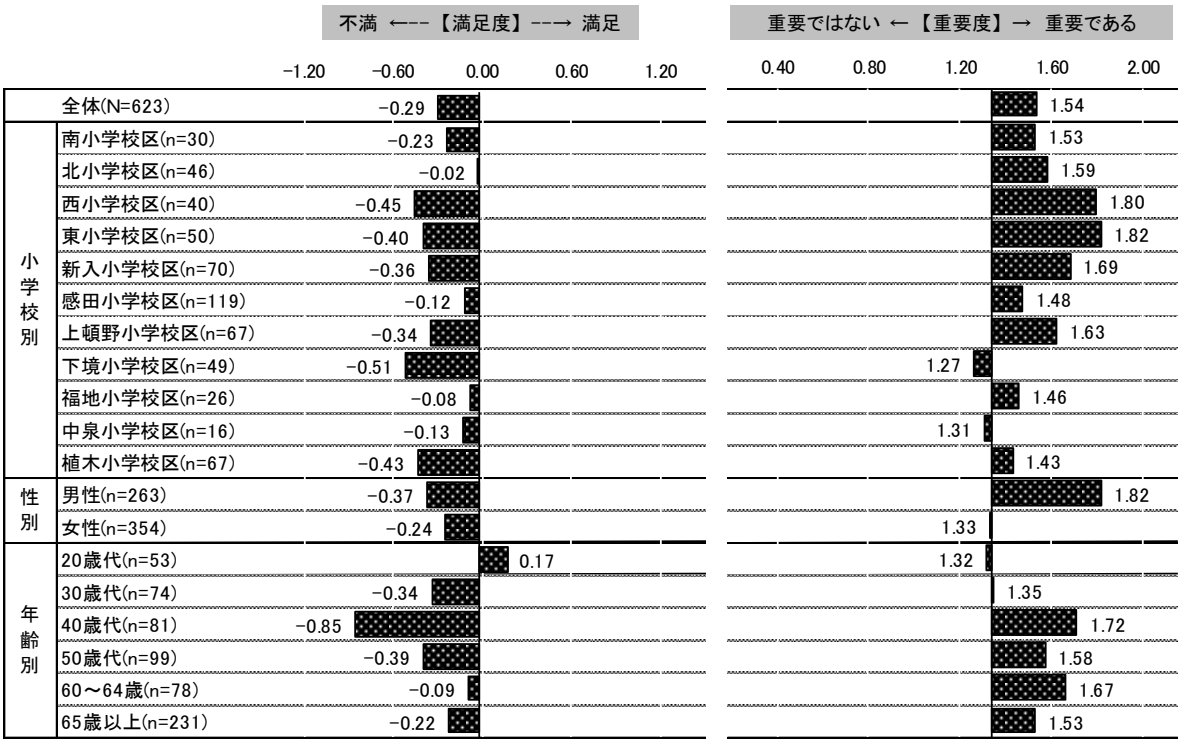
満足度評価	−0.24（37 施策中 31 位）	重要度評価	1.55（37 施策中 10 位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（A）に位置する。

満足度は、20 歳代を除いて全体的に平均を下回り、特に、下境、西、植木小学校区などで低くなっている。また、性別では男性、年齢別では 40 歳代で最も低い。

重要度は、下境、中泉小学校区で低く、性別では男性、年齢別では 40～60 歳代以上で高くなっている。

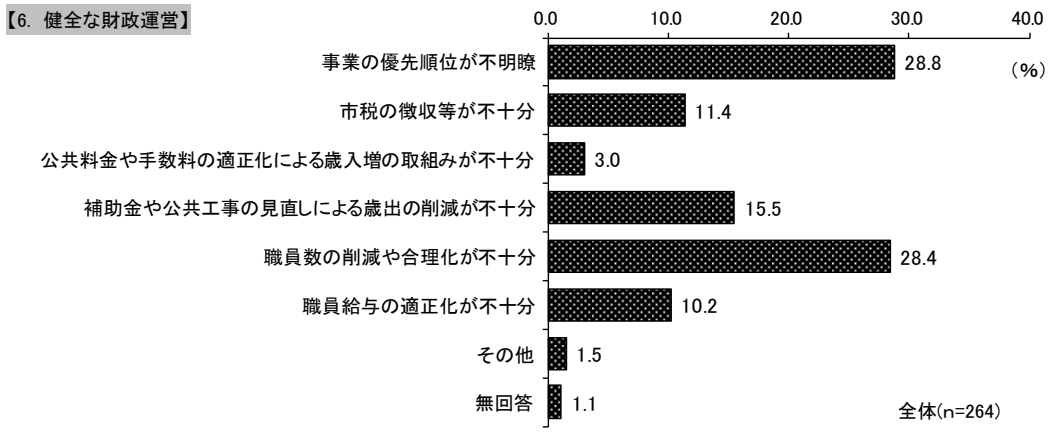


（２）不満の理由

不満の理由としては、「事業の優先順位が不明瞭」が 28.8%と最も高く、ほぼ並んで「職員数の削減や合理化が不十分」（28.4%）、次に「補助金や公共工事の見直しによる歳出の削減が不十分」（15.5%）の順となっている。

小学校区別では、福地、北小学校区で「職員数の削減や合理化が不十分」、南、東小学校区で「事業の優先順位が不明瞭」、下境小学校区で「職員給与の適正化が不十分」、中泉小学校区で「公共料金や手数料の適正化による歳入増の取組みが不十分」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

性別では、男性で「事業の優先順位が不明瞭」が高く、年齢別では、30～50 歳代にかけて「事業の優先順位が不明瞭」、65 歳以上で「職員数の削減や合理化が不十分」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		事業の優先順位が不明瞭	市税の徴収等が不十分	公共料金や手数料の適正化による歳入増の取組みが不十分	補助金や公共工事の見直しによる歳出の削減が不十分	職員数の削減や合理化が不十分	職員給与の適正化が不十分	その他	無回答
全体(n=264)		28.8	11.4	3.0	15.5	28.4	10.2	1.5	1.1
小学校区別	南小学校区(n=13)	46.2	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0
	北小学校区(n=17)	5.9	11.8	5.9	17.6	41.2	17.6	0.0	0.0
	西小学校区(n=19)	21.1	15.8	0.0	21.1	26.3	10.5	5.3	0.0
	東小学校区(n=24)	41.7	12.5	0.0	8.3	25.0	12.5	0.0	0.0
	新入小学校区(n=32)	15.6	3.1	3.1	28.1	34.4	9.4	3.1	3.1
	感田小学校区(n=44)	36.4	4.5	9.1	15.9	22.7	11.4	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=29)	34.5	3.4	0.0	13.8	34.5	6.9	6.9	0.0
	下境小学校区(n=21)	33.3	14.3	0.0	4.8	19.0	28.6	0.0	0.0
	福地小学校区(n=10)	20.0	10.0	0.0	0.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=7)	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=30)	26.7	26.7	0.0	20.0	26.7	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=124)	31.5	9.7	1.6	16.9	29.0	9.7	0.8	0.8
	女性(n=139)	26.6	12.9	4.3	14.4	27.3	10.8	2.2	1.4
年齢別	20歳代(n=11)	27.3	9.1	9.1	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=28)	42.9	7.1	3.6	7.1	17.9	17.9	0.0	3.6
	40歳代(n=47)	34.0	12.8	2.1	12.8	29.8	6.4	2.1	0.0
	50歳代(n=47)	38.3	8.5	2.1	14.9	27.7	8.5	0.0	0.0
	60～64歳(n=30)	23.3	13.3	3.3	20.0	23.3	13.3	3.3	0.0
	65歳以上(n=99)	20.2	13.1	3.0	17.2	31.3	11.1	2.0	2.0

7．自然と都市が調和し快適に暮らすまちを目指した秩序ある土地利用の推進

施策内容	・集約型都市構造※への転換及び自然と調和した良好な都市環境づくり。 （※集約型都市構造とは、銀行、病院等の都市機能の集積を促進する地域とその他の地域を公共交通ネットワークで密接に連携させたもの）		
主な事業	・都市計画マスタープラン見直し事業 ・国土利用計画関連業務　等		
満足度評価	-0.07　（38施策中　22　位）	重要度評価	1.27　（38施策中　24　位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

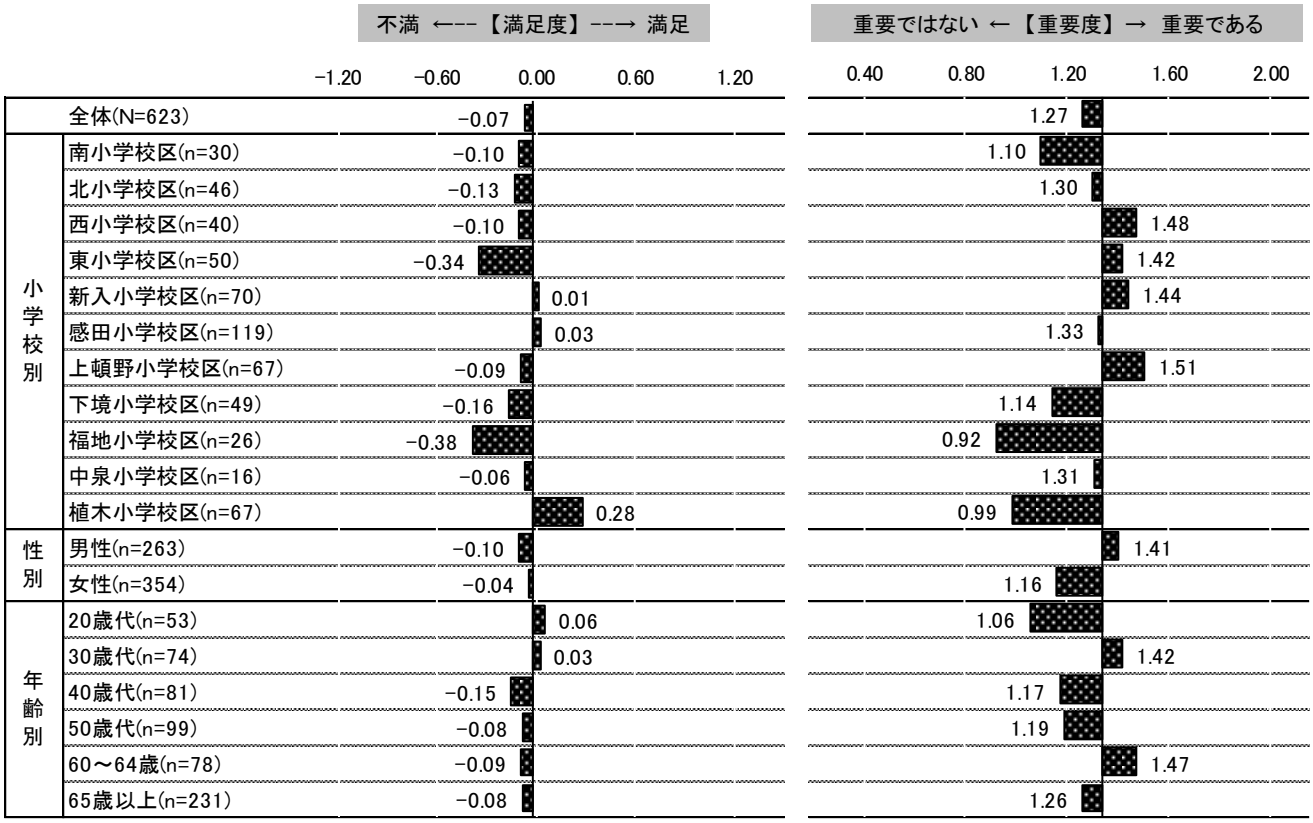
満足度評価	－0.19（37 施策中 29 位）	重要度評価	1.20（37 施策中 23 位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置する。

満足度は、植木小学校区で最も高く、東、福地小学校区で相対的に低い。年齢別では 20～30 歳代で高くなっている。

重要度は、西、新入、上頓野小学校区では高いが、福地、植木小学校区などでは相対的に低く、性別では女性、年齢別では、20 歳代、40～50 歳代で低くなっている。



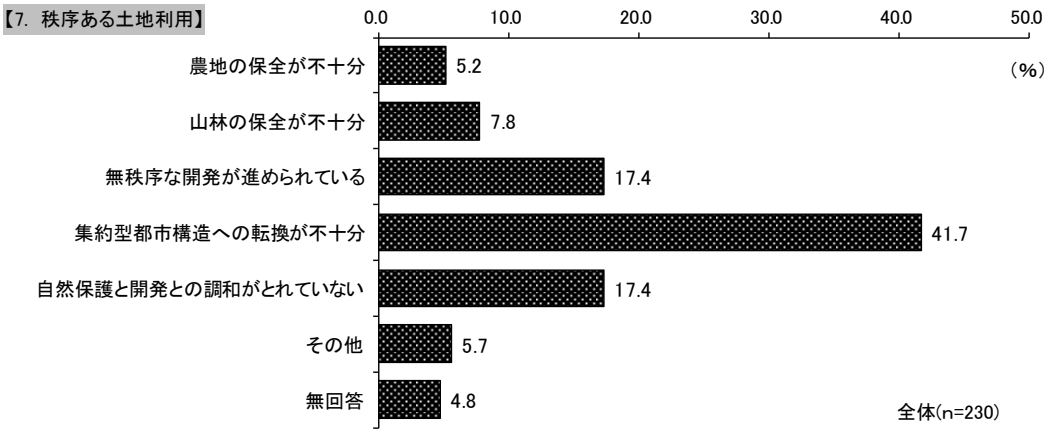
（２）不満の理由

不満の理由としては、「集約型都市構造への転換が不十分」が 41.7%で最も高くなっている。次いで、「無秩序な開発が進められている」（17.4%）、並んで「自然保護と開発との調和がとれていない」（17.4%）の順となっている。

小学校区別では、北、西、植木小学校区で「集約型都市構造への転換が不十分」、福地小学校区で「農地の保全が不十分」「無秩序な開発が進められている」、上頓野小学校区で「自然保護と開発との調和がとれていない」、南、東、中泉小学校区で「山林の保全が不十分」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

性別では、女性で「無秩序な開発が進められている」がやや高くなっている。

年齢別では、30 歳代で「自然保護と開発との調和がとれていない」、60 歳代前半で「農地の保全が不十分」「山林の保全が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		農地の保全が不十分	山林の保全が不十分	無秩序な開発が進められている	集約型都市構造への転換が不十分	自然保護と開発との調和がとれていない	その他	無回答
全体(n=230)		5.2	7.8	17.4	41.7	17.4	5.7	4.8
小学校区別	南小学校区(n=12)	0.0	16.7	25.0	41.7	16.7	0.0	0.0
	北小学校区(n=17)	0.0	5.9	17.6	64.7	11.8	0.0	0.0
	西小学校区(n=14)	0.0	0.0	14.3	50.0	7.1	14.3	14.3
	東小学校区(n=24)	4.2	16.7	12.5	41.7	16.7	8.3	0.0
	新入小学校区(n=31)	9.7	12.9	16.1	29.0	22.6	6.5	3.2
	感田小学校区(n=34)	2.9	2.9	20.6	44.1	20.6	8.8	0.0
	上頓野小学校区(n=27)	3.7	3.7	14.8	48.1	29.6	0.0	0.0
	下境小学校区(n=20)	10.0	10.0	15.0	40.0	10.0	10.0	5.0
	福地小学校区(n=14)	14.3	0.0	35.7	28.6	14.3	0.0	7.1
	中泉小学校区(n=6)	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0
	植木小学校区(n=14)	7.1	0.0	14.3	50.0	28.6	0.0	0.0
性別	男性(n=106)	4.7	7.5	13.2	41.5	19.8	8.5	4.7
	女性(n=122)	5.7	8.2	21.3	41.0	15.6	3.3	4.9
年齢別	20歳代(n=12)	0.0	8.3	16.7	41.7	16.7	16.7	0.0
	30歳代(n=22)	4.5	4.5	18.2	27.3	31.8	13.6	0.0
	40歳代(n=34)	0.0	5.9	17.6	47.1	23.5	5.9	0.0
	50歳代(n=35)	5.7	8.6	22.9	45.7	11.4	2.9	2.9
	60～64歳(n=34)	11.8	14.7	11.8	41.2	5.9	8.8	5.9
	65歳以上(n=90)	5.6	6.7	17.8	40.0	18.9	2.2	8.9

８．都市機能の整備

施策内容	・ＪＲ直方駅前地区の整備と中心市街地の賑わいの創出。		
主な事業	・須崎町土地区画整理事業 ・都市機能の中心市街地への集積促進（病院の駅前誘致）　等		
満足度評価	-0.41　（38施策中　35　位）	重要度評価	1.40　（38施策中　15　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	−0.11（37 施策中 26 位）	重要度評価	1.22（37 施策中 21 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

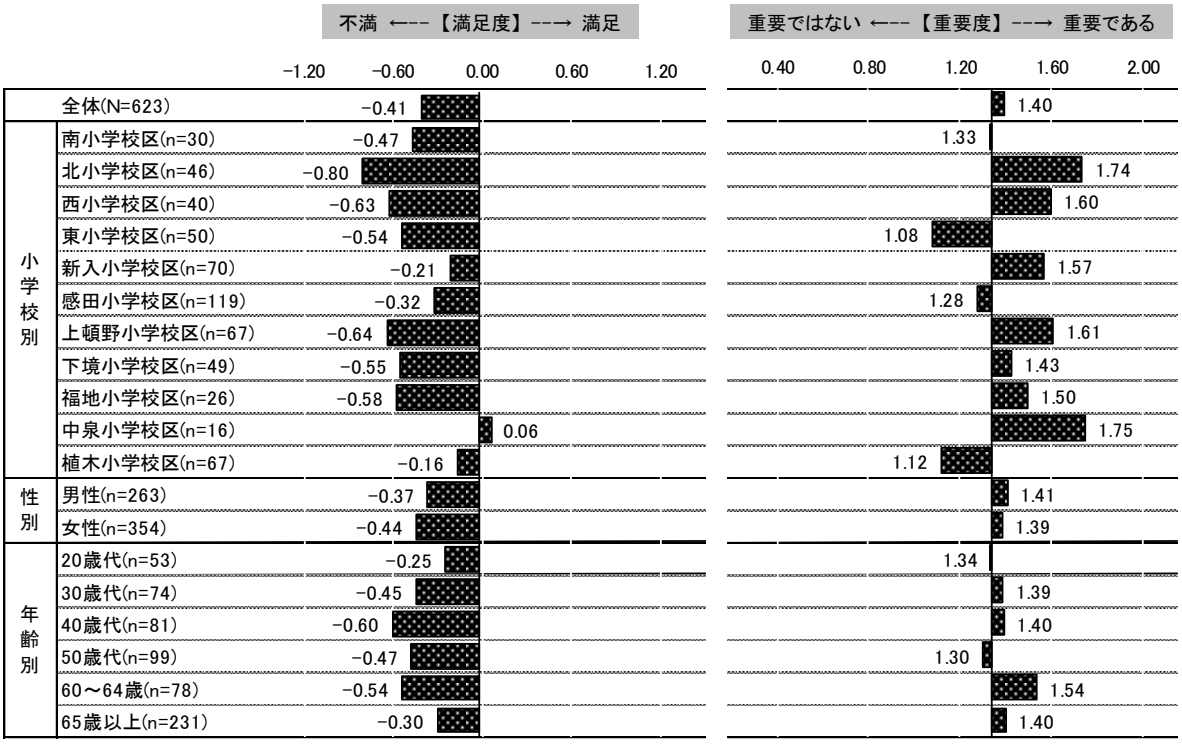
※前回調査は住環境に関する内容を含んだ設問。

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査では、改善・見直しの領域（D）に位置していたが、重要度が中位にあり、満足度の評価が前回調査より増して低くなり、重点化・見直しの領域（A）に位置する。

満足度は、中泉小学校区以外で全体的に平均を下回っているが、北小学校区などでは特に低くなっている。

重要度は、東、植木小学校区で平均を大きく下回り、北、中泉小学校区で相対的に高くなっている。性別では平均を上回り、年齢別では 60 歳代前半で特に高くなっているが、20 歳代、50 歳代で平均を下回っている。

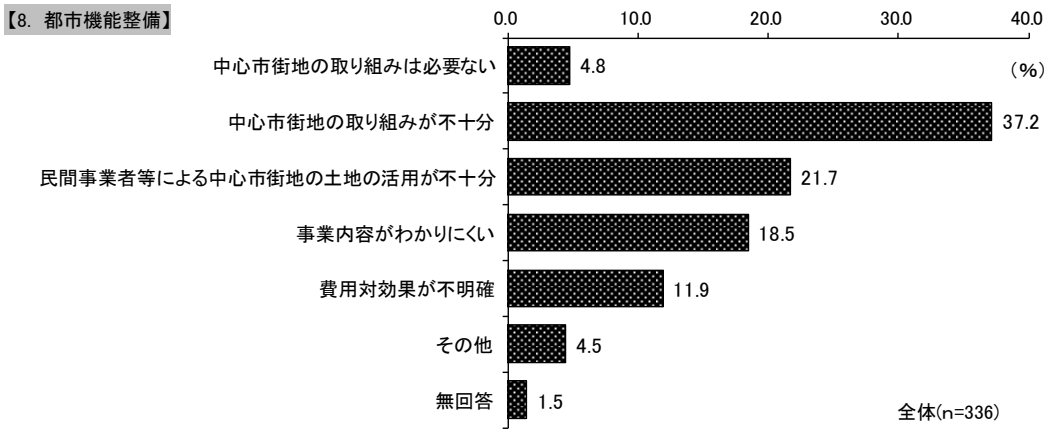


（２）不満の理由

不満の理由としては、「中心市街地の取り組みが不十分」が 37.2%と最も高く、次いで「民間事業者等による中心市街地の土地の活用が不十分」(21.7%)、「事業内容がわかりにくい」（18.5%）の順となっている。

小学校区別では、北、中泉小学校区で「中心市街地の取り組みが不十分」、南小学校区で「事業内容がわかりにくい」「中心市街地の取り組みは必要ない」「民間事業者等による中心市街地の土地の活用が不十分」、福地小学校区で「費用対効果が不明確」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「中心市街地の取り組みが不十分」、30 歳代で「中心市街地の取り組みは必要ない」、40 歳代で「費用対効果が不明確」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		中心市街地の取り組みは必要ない	中心市街地の取り組みが不十分	民間事業者等による中心市街地の土地の活用が不十分	事業内容がわかりにくい	費用対効果が不明確	その他	無回答
全体(n=336)		4.8	37.2	21.7	18.5	11.9	4.5	1.5
小学校区別	南小学校区(n=18)	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0
	北小学校区(n=31)	0.0	45.2	25.8	16.1	12.9	0.0	0.0
	西小学校区(n=25)	8.0	32.0	16.0	20.0	12.0	12.0	0.0
	東小学校区(n=28)	10.7	39.3	21.4	10.7	7.1	10.7	0.0
	新入小学校区(n=36)	2.8	36.1	25.0	22.2	11.1	0.0	2.8
	感田小学校区(n=54)	9.3	33.3	20.4	14.8	18.5	3.7	0.0
	上頓野小学校区(n=43)	4.7	39.5	25.6	11.6	9.3	9.3	0.0
	下境小学校区(n=32)	0.0	40.6	18.8	18.8	9.4	9.4	3.1
	福地小学校区(n=16)	6.3	37.5	12.5	18.8	18.8	0.0	6.3
	中泉小学校区(n=7)	0.0	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
	植木小学校区(n=29)	0.0	41.4	20.7	24.1	13.8	0.0	0.0
性別	男性(n=143)	7.0	34.3	19.6	14.0	16.8	6.3	2.1
	女性(n=190)	3.2	40.0	22.6	21.6	8.4	3.2	1.1
年齢別	20歳代(n=24)	8.3	62.5	8.3	16.7	0.0	4.2	0.0
	30歳代(n=39)	10.3	43.6	20.5	15.4	5.1	5.1	0.0
	40歳代(n=49)	8.2	28.6	18.4	12.2	24.5	8.2	0.0
	50歳代(n=54)	1.9	37.0	29.6	14.8	11.1	5.6	0.0
	60～64歳(n=46)	2.2	37.0	19.6	23.9	8.7	4.3	4.3
	65歳以上(n=121)	3.3	34.7	22.3	21.5	13.2	2.5	2.5

９．公園の適正な配置と管理

施策内容	・安全で安心な公園整備と適正配置の推進。地域ボランティアによる維持管理の取組みの推進。		
主な事業	・中央公園整備事業 ・公園維持管理業務　等		
満足度評価	-0.62　（38施策中　37　位）	重要度評価	1.27　（38施策中　23　位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

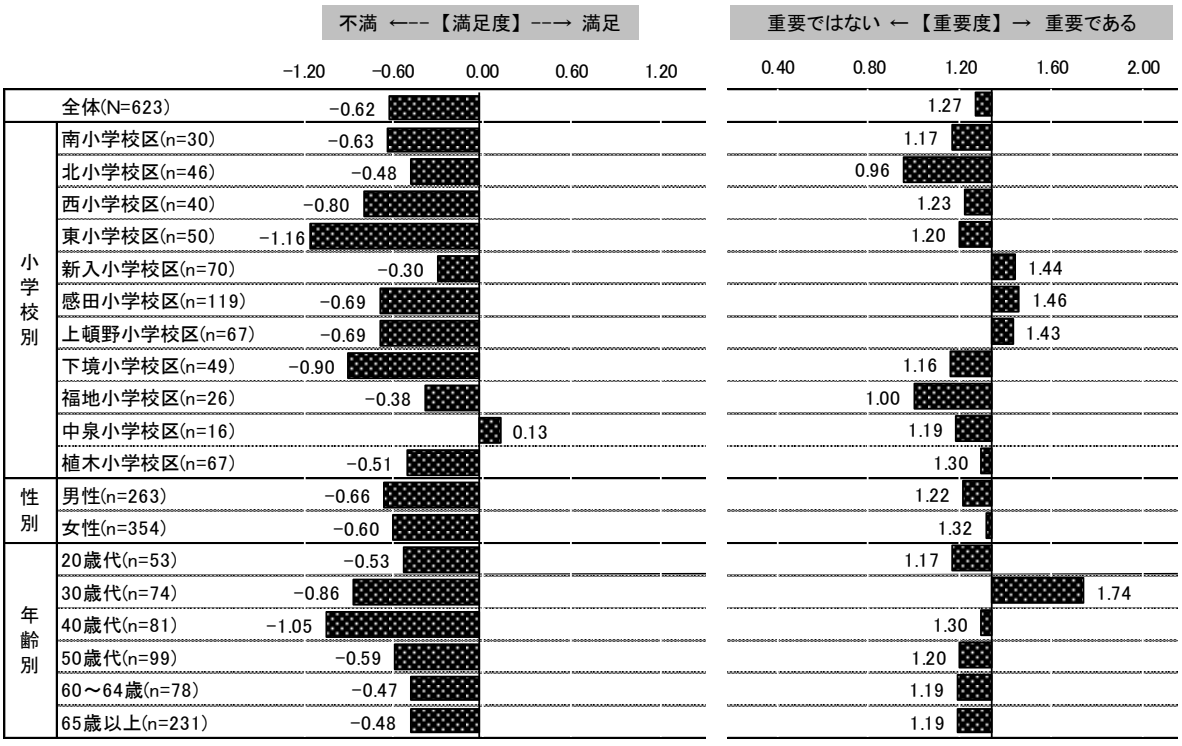
満足度評価	−0.30（37 施策中 35 位）	重要度評価	1.08（37 施策中 29 位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置するが、重要度の評価がやや高くなっている。。

満足度は、中泉小学校区以外で全体的に下回り、特に、西、東、下境小学校区で低くなっている。年齢別では、40 歳代で最も低くなっている。

重要度は、北、福地小学校区が特に低い。性別では男性が低く、年齢別では 30 歳代が最も高くなっている。



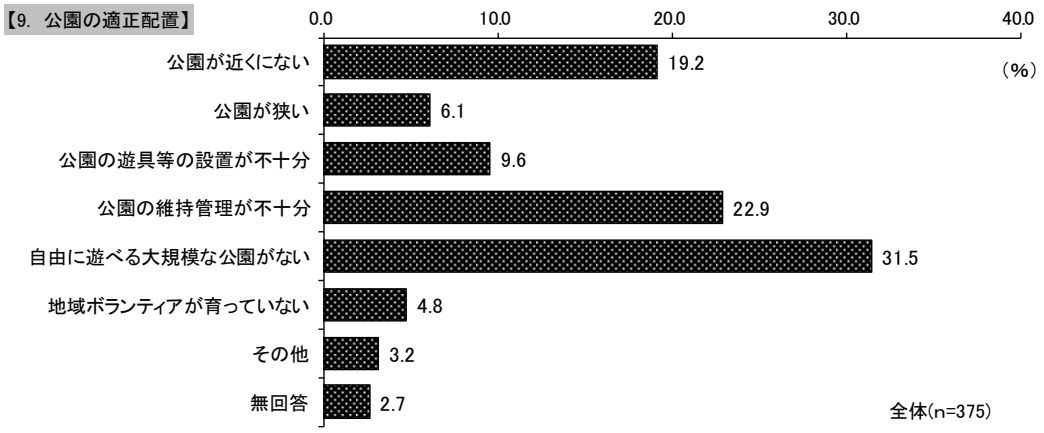
（２）不満の理由

不満の理由としては、「自由に遊べる大規模な公園がない」が 31.5%で最も高く、次いで「公園の維持管理が不十分」（22.9%）、「公園が近くにない」（19.2%）の順となっている。

小学校区別では、中泉小学校区で「公園の維持管理が不十分」、福地小学校区で「公園が近くにない」、南小学校区で「公園の遊具等の設置が不十分」などが高くなっている。

性別では、女性で「公園が近くにない」「自由に遊べる大規模な公園がない」が男性よりもやや高くなっている。

年齢別では、20 歳代～40 歳代で「公園が近くにない」、20 歳代で「公園の遊具等の設置が不十分」、50 歳代で「自由に遊べる大規模な公園がない」、60 歳以上で「公園の維持管理が不十分」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		公園が近くにない	公園が狭い	公園の遊具等の設置が不十分	公園の維持管理が不十分	自由に遊べる大規模な公園がない	地域ボランティアが育っていない	その他	無回答
全体(n=375)		19.2	6.1	9.6	22.9	31.5	4.8	3.2	2.7
小学校区別	南小学校区(n=19)	21.1	5.3	26.3	15.8	31.6	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=28)	0.0	21.4	3.6	35.7	32.1	3.6	3.6	0.0
	西小学校区(n=26)	11.5	0.0	11.5	23.1	46.2	0.0	3.8	3.8
	東小学校区(n=39)	15.4	10.3	10.3	30.8	23.1	7.7	0.0	2.6
	新入小学校区(n=38)	26.3	2.6	13.2	21.1	28.9	5.3	0.0	2.6
	感田小学校区(n=74)	21.6	4.1	12.2	20.3	33.8	4.1	2.7	1.4
	上頓野小学校区(n=40)	20.0	7.5	2.5	17.5	35.0	7.5	10.0	0.0
	下境小学校区(n=34)	20.6	0.0	14.7	20.6	32.4	2.9	5.9	2.9
	福地小学校区(n=15)	40.0	6.7	0.0	13.3	33.3	0.0	0.0	6.7
	中泉小学校区(n=5)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=35)	14.3	8.6	8.6	20.0	34.3	5.7	2.9	5.7
性別	男性(n=163)	14.1	8.0	8.6	28.2	29.4	0.0	3.7	3.7
	女性(n=208)	22.6	4.8	10.6	19.2	33.2	4.8	2.9	1.9
年齢別	20歳代(n=29)	24.1	3.4	31.0	6.9	34.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=48)	22.9	8.3	10.4	22.9	33.3	0.0	0.0	2.1
	40歳代(n=58)	22.4	5.2	6.9	19.0	34.5	5.2	3.4	3.4
	50歳代(n=59)	16.9	1.7	6.8	23.7	39.0	3.4	6.8	1.7
	60～64歳(n=44)	13.6	9.1	9.1	27.3	25.0	4.5	9.1	2.3
	65歳以上(n=132)	17.4	7.6	7.6	26.5	28.0	7.6	1.5	3.8

10. 良好な住環境整備

施策内容	・良好な住環境の確保の推進。市営住宅の計画的建替えの推進。		
主な事業	・住宅リフォーム事業 ・市営住宅建替え　等		
満足度評価	-0.17　（38施策中　27　位）	重要度評価	0.83　（38施策中　37　位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】 ※8. 都市機能整備の結果

満足度評価	−0.11（37 施策中 26 位）	重要度評価	1.22（37 施策中 21 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

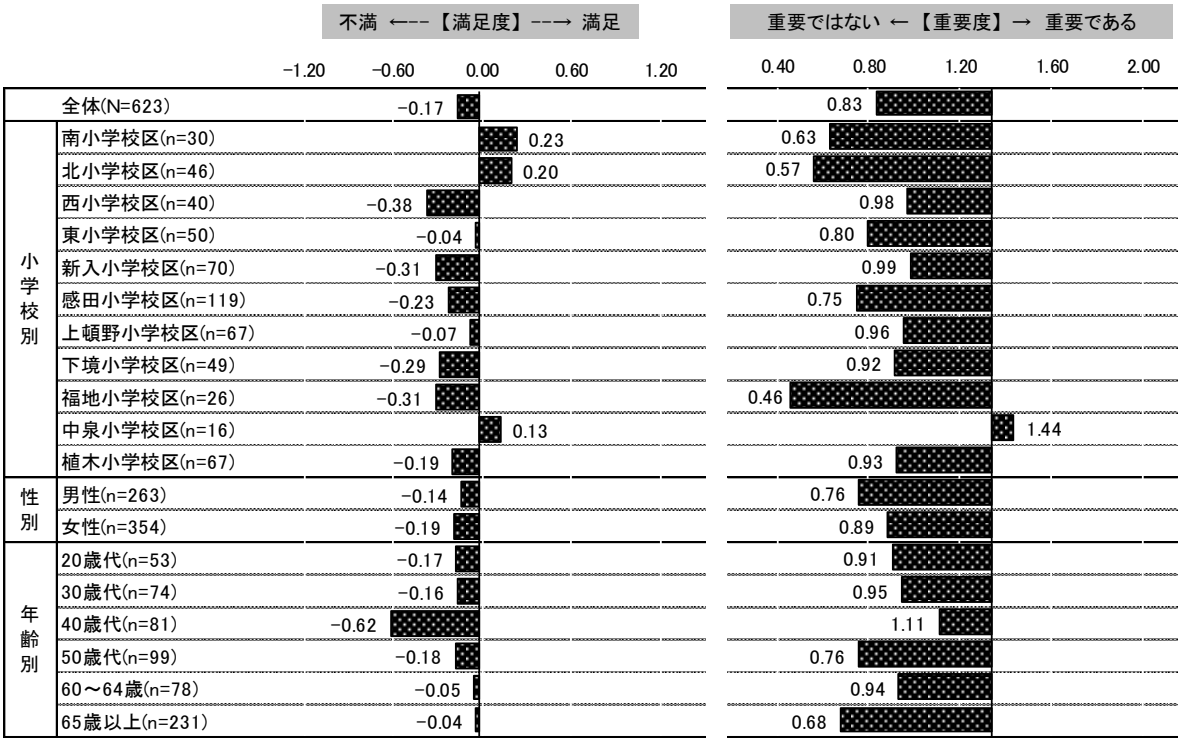
※前回調査は中心市街地に関する内容を含んだ設問。

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに低位にあり、評価が低く、改善・見直しの領域（D）に位置する。

満足度は、南、北小学校区などでは高いが、西小学校区などで低く、年齢別では 40 歳代で最も低くなっている。

重要度は、中泉小学校区以外で全体的に平均より下回り、福地小学校区で最も低くなっている。年齢別では、50 歳代、65 歳以上で低くなっている。

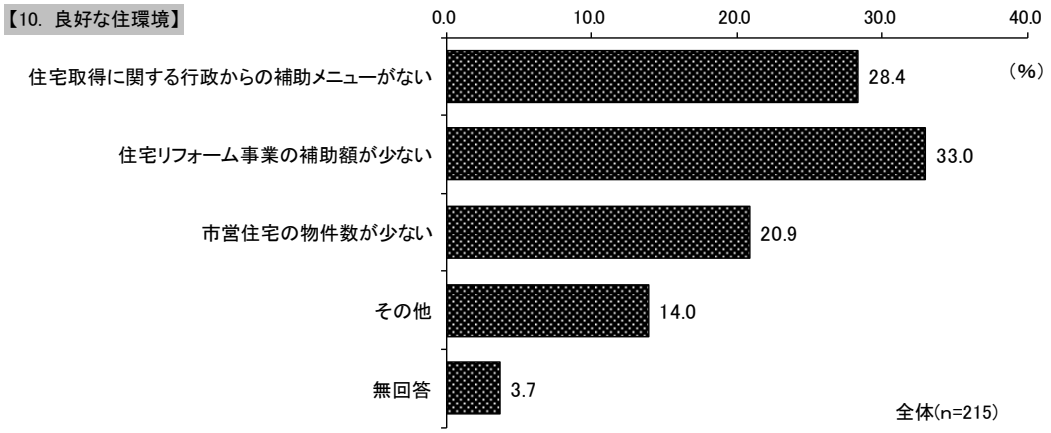


（２）不満の理由

不満の理由としては、「住宅リフォーム事業の補助額が少ない」が 33.0%と最も高く、次いで「住宅取得に関する行政からの補助メニューがない」(28.4%)、「市営住宅の物件数が少ない」(20.9%) の順となっている。

小学校区別では、西小学校区で「住宅取得に関する行政からの補助メニューがない」、北小学校区で「住宅リフォーム事業の補助額が少ない」、植木小学校区で「市営住宅の物件数が少ない」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「市営住宅の物件数が少ない」、30 歳代で「住宅取得に関する行政からの補助メニューがない」、年齢層が高いほど「住宅リフォーム事業の補助が少ない」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		住宅取得に関する行政からの補助メニューがない	住宅リフォーム事業の補助額が少ない	市営住宅の物件数が少ない	その他	無回答
全体(n=215)		28.4	33.0	20.9	14.0	3.7
小学校区別	南小学校区(n=7)	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0
	北小学校区(n=9)	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0
	西小学校区(n=19)	47.4	15.8	15.8	21.1	0.0
	東小学校区(n=15)	33.3	33.3	13.3	20.0	0.0
	新入小学校区(n=31)	25.8	41.9	25.8	3.2	3.2
	感田小学校区(n=41)	29.3	17.1	26.8	24.4	2.4
	上頓野小学校区(n=22)	36.4	36.4	13.6	9.1	4.5
	下境小学校区(n=20)	25.0	50.0	15.0	5.0	5.0
	福地小学校区(n=10)	40.0	50.0	0.0	10.0	0.0
	中泉小学校区(n=5)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	植木小学校区(n=21)	14.3	38.1	33.3	14.3	0.0
性別	男性(n=97)	29.9	32.0	12.4	21.6	4.1
	女性(n=117)	27.4	34.2	27.4	7.7	3.4
年齢別	20歳代(n=19)	21.1	15.8	57.9	5.3	0.0
	30歳代(n=21)	38.1	33.3	23.8	4.8	0.0
	40歳代(n=35)	31.4	28.6	22.9	17.1	0.0
	50歳代(n=36)	33.3	38.9	19.4	8.3	0.0
	60～64歳(n=28)	32.1	39.3	14.3	10.7	3.6
	65歳以上(n=74)	23.0	35.1	10.8	21.6	9.5

11. 交通網の充実

施策内容	・ＪＲ直方駅周辺地域の交通結節点機能の強化。		
主な事業	・ＪＲ直方駅前地区の交通結節点改善事業 ・道路整備、維持事業　等		
満足度評価	-0.39　（38施策中　34　位）	重要度評価	1.60　（38施策中　9　位）
散布図象限 （全体）	Ａ	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	－0.08（37 施策中 24 位）	重要度評価	1.53（37 施策中 11 位）
散布図象限 （全体）	Ａ	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

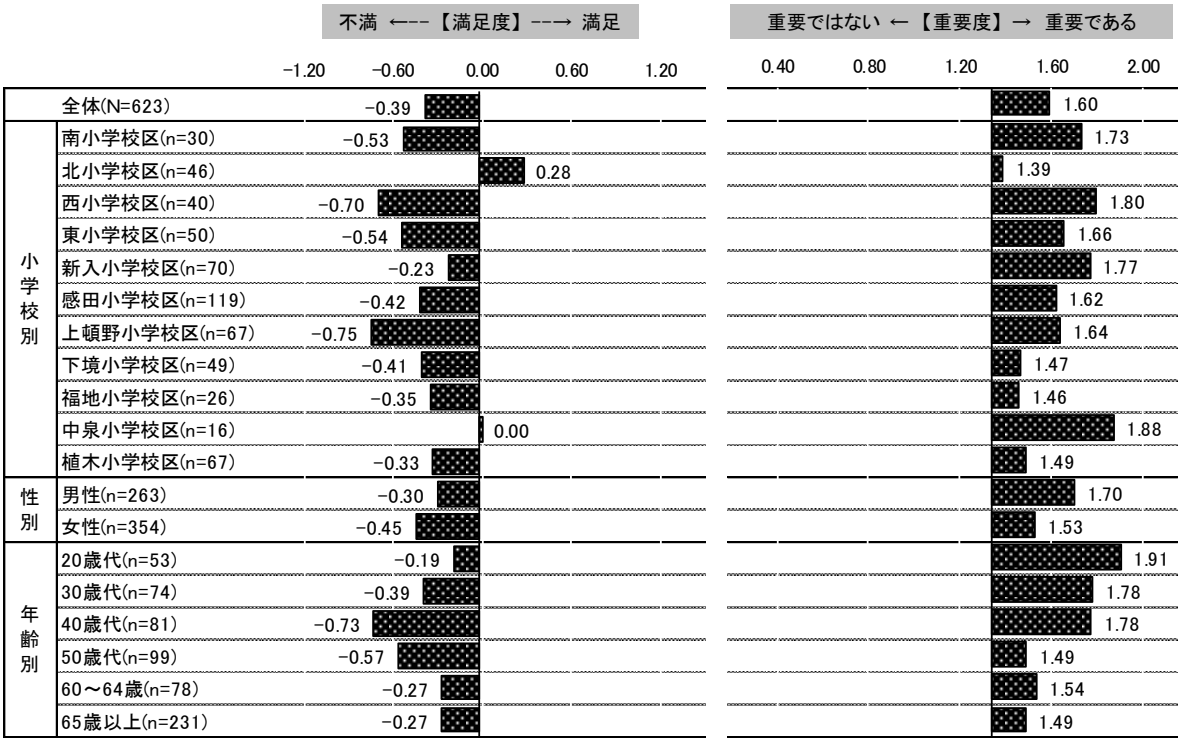
（１）満足度・重要度の評価傾向

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（Ａ）に位置し、前回調査より、満足度の評価が低く、重要度の評価が高くなっている。

満足度は、北、中泉小学校区を除いて全体的に平均を下回り、上頓野小学校区で最も低くなっている。性別では女性がやや低く、年齢別では 40 歳代で低くなっている。

重要度は、全体的に平均より上回っているが、北小学校区の低さが目立ち、相対的に中泉小学校区で高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど高くなる傾向にある。



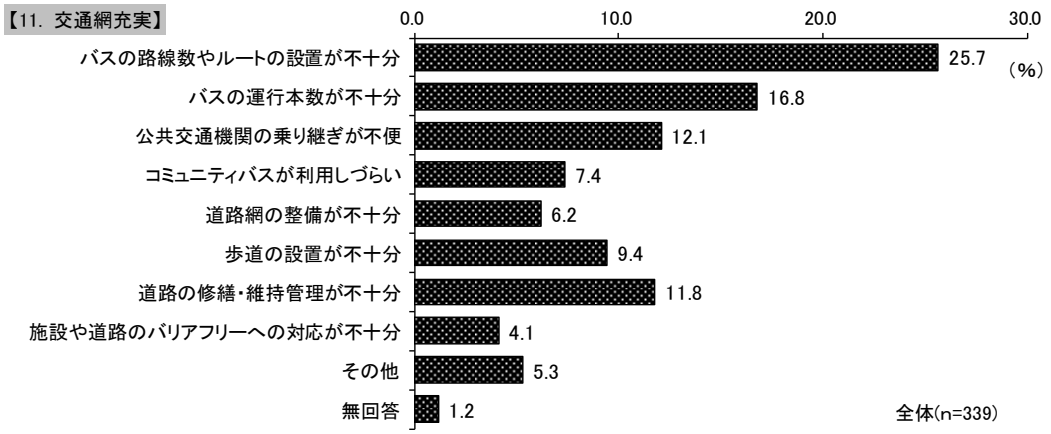
（２）不満の理由

不満の理由としては、「バスの路線数やルートの設備が不十分」が 25.7%と最も高く、次いで「バスの運行本数が不十分」(16.8%)、「公共交通機関の乗り継ぎが不便」(12.1%)、ほぼ並んで「道路の修繕・維持管理が不十分」（11.8%）の順となっている。

小学校区別では、下境、中泉小学校区で「バスの路線数やルートの設置が不十分」、福地小学校区で「公共交通機関の乗り継ぎが不便」、北、東、植木小学校区では「バスの運行本数が不十分」などが他に比べ高くなっている。また、南小学校区では「コミュニティバスが利用しづらい」が他を大きく上回っている。

性別では、女性では「公共交通機関の乗り継ぎが不便」が男性を大きく上回り、男性では「道路の修繕・維持管理が不十分」が女性を大きく上回っている。

年齢別では、20 歳代や 65 歳以上で「バスの運行本数が不十分」、50 歳代で「歩道の設置が不十分」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		バスの路線数やルートの設置が不十分	バスの運行本数が不十分	公共交通機関の乗り継ぎが不便	コミュニティバスが利用しづらい	道路網の整備が不十分	歩道の設置が不十分	道路の修繕・維持管理が不十分	施設や道路のバリアフリーへの対応が不十分	その他	無回答
全体(n=339)		25.7	16.8	12.1	7.4	6.2	9.4	11.8	4.1	5.3	1.2
小学校区別	南小学校区(n=18)	27.8	16.7	11.1	22.2	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=13)	23.1	30.8	7.7	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0
	西小学校区(n=26)	23.1	0.0	15.4	7.7	11.5	7.7	19.2	0.0	15.4	0.0
	東小学校区(n=29)	20.7	27.6	3.4	10.3	3.4	10.3	10.3	3.4	6.9	3.4
	新入小学校区(n=36)	22.2	16.7	5.6	8.3	11.1	13.9	8.3	11.1	2.8	0.0
	感田小学校区(n=66)	24.2	10.6	19.7	4.5	3.0	10.6	15.2	3.0	7.6	1.5
	上頓野小学校区(n=43)	23.3	20.9	4.7	9.3	7.0	14.0	11.6	2.3	7.0	0.0
	下境小学校区(n=28)	42.9	14.3	3.6	10.7	0.0	7.1	10.7	3.6	3.6	3.6
	福地小学校区(n=14)	21.4	21.4	35.7	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=10)	30.0	0.0	20.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=34)	20.6	26.5	17.6	2.9	5.9	11.8	2.9	5.9	5.9	0.0
性別	男性(n=138)	27.5	12.3	7.2	4.3	9.4	10.9	15.9	2.2	8.7	1.4
	女性(n=198)	24.7	19.7	15.2	9.6	4.0	8.6	9.1	5.1	3.0	1.0
年齢別	20歳代(n=26)	26.9	23.1	15.4	0.0	11.5	3.8	19.2	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=37)	16.2	13.5	21.6	10.8	0.0	10.8	10.8	5.4	10.8	0.0
	40歳代(n=53)	24.5	11.3	13.2	7.5	9.4	11.3	9.4	5.7	5.7	1.9
	50歳代(n=59)	20.3	11.9	18.6	6.8	8.5	13.6	13.6	0.0	6.8	0.0
	60～64歳(n=42)	33.3	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	16.7	9.5	7.1	4.8
	65歳以上(n=119)	29.4	25.2	6.7	9.2	5.0	7.6	9.2	3.4	3.4	0.8

12. 安全・良好な水道水の安定供給

施策内容	・浄水場や配水管等の計画的な整備。合理的な業務運営による健全経営の推進。			
主な事業	・配水管更新、維持管理事業 ・浄水事業　等			
満足度評価	0.19　（38施策中　7　位）	重要度評価	1.69　（38施策中　6　位）	
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	0.27（37 施策中５位）	重要度評価	1.69（37 施策中５位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

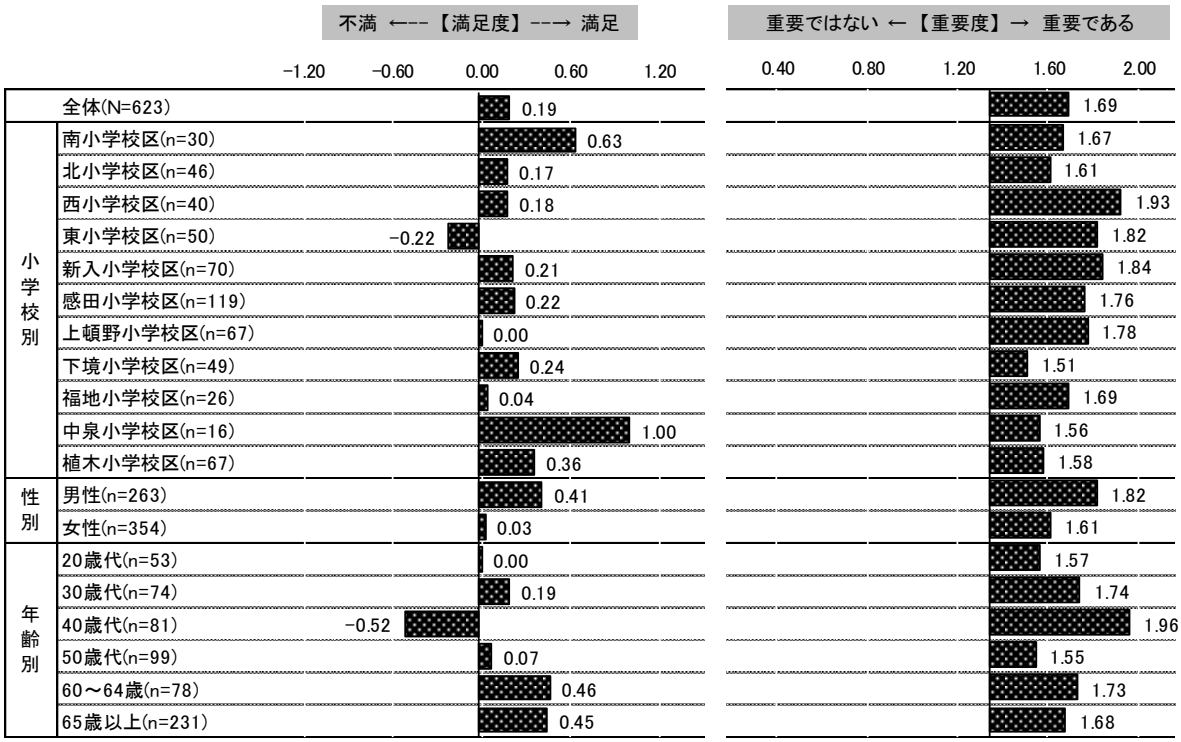
（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置するが、前回調査より、満足度の評価が低くなっている。

満足度は、ほぼ平均を上回っているが、東小学校区で低く、中泉小学校区で相対的に高くなっている。年齢別では、40 歳代が最も低くなっている。

重要度は、すべての属性において平均を上回り、特に西小学校区などで高くなっている。年齢別では、40 歳代が最も高くなっている。

性別では、満足度、重要度ともに男性が女性を大きく上回っている。

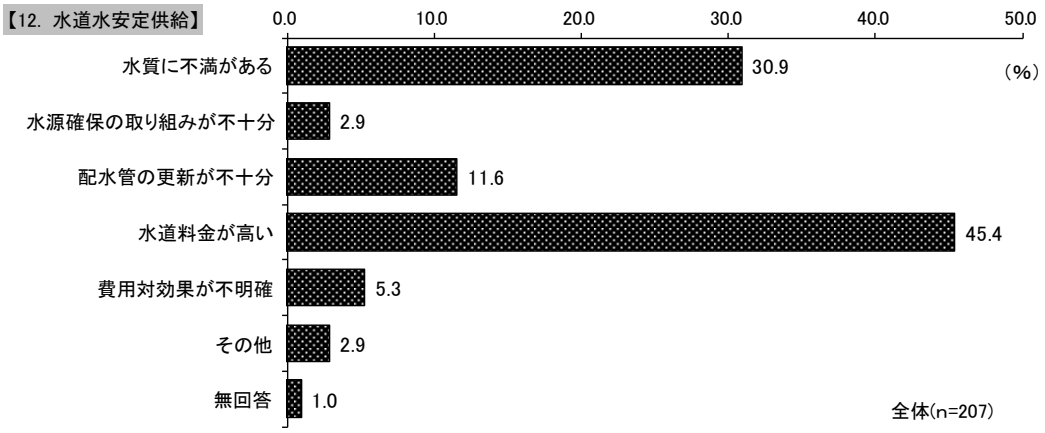


（２）不満の理由

不満の理由としては、「水道料金が高い」が 45.4%と最も高く、次いで「水質に不満がある」(30.9%)、「配水管の更新が不十分」(11.6%) の順となっている。

小学校区別では、下境、南小学校区で、「水質に不満がある」、福地、中泉小学校区で「配水管の更新が不十分」、また、北、感田、中泉小学校区で「水道料金が高い」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、60 歳代前半で「水道料金が高い」、30 歳代で「水質に不満がある」、50 歳代で「配水管の更新が不十分」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		水質に不満がある	水源確保の取り組みが不十分	配水管の更新が不十分	水道料金が高い	費用対効果が不明確	その他	無回答
全体(n=207)		30.9	2.9	11.6	45.4	5.3	2.9	1.0
小学校区別	南小学校区(n=5)	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	北小学校区(n=17)	35.3	5.9	0.0	52.9	0.0	5.9	0.0
	西小学校区(n=12)	8.3	0.0	8.3	50.0	33.3	0.0	0.0
	東小学校区(n=21)	38.1	4.8	14.3	38.1	4.8	0.0	0.0
	新入小学校区(n=24)	33.3	8.3	8.3	41.7	8.3	0.0	0.0
	感田小学校区(n=38)	21.1	0.0	13.2	57.9	7.9	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=27)	37.0	0.0	11.1	40.7	0.0	11.1	0.0
	下境小学校区(n=16)	50.0	0.0	18.8	31.3	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=8)	25.0	0.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=4)	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=22)	31.8	4.5	13.6	45.5	0.0	4.5	0.0
性別	男性(n=77)	32.5	3.9	10.4	44.2	9.1	0.0	0.0
	女性(n=129)	30.2	2.3	12.4	45.7	3.1	4.7	1.6
年齢別	20歳代(n=18)	22.2	5.6	5.6	61.1	5.6	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	45.5	0.0	0.0	45.5	4.5	4.5	0.0
	40歳代(n=43)	32.6	0.0	11.6	41.9	9.3	4.7	0.0
	50歳代(n=37)	32.4	2.7	24.3	35.1	2.7	2.7	0.0
	60～64歳(n=20)	20.0	5.0	10.0	55.0	10.0	0.0	0.0
	65歳以上(n=65)	30.8	4.6	10.8	44.6	3.1	3.1	3.1

13. 下水道の整備

施策内容	・公共下水道の整備と下水道へのつなぎこみの促進。 合併処理浄化槽の普及促進。		
主な事業	・公共下水道整備事業 ・合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付事業　等		
満足度評価	-0.42　（38施策中　36　位）	重要度評価	1.53　（38施策中　11　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

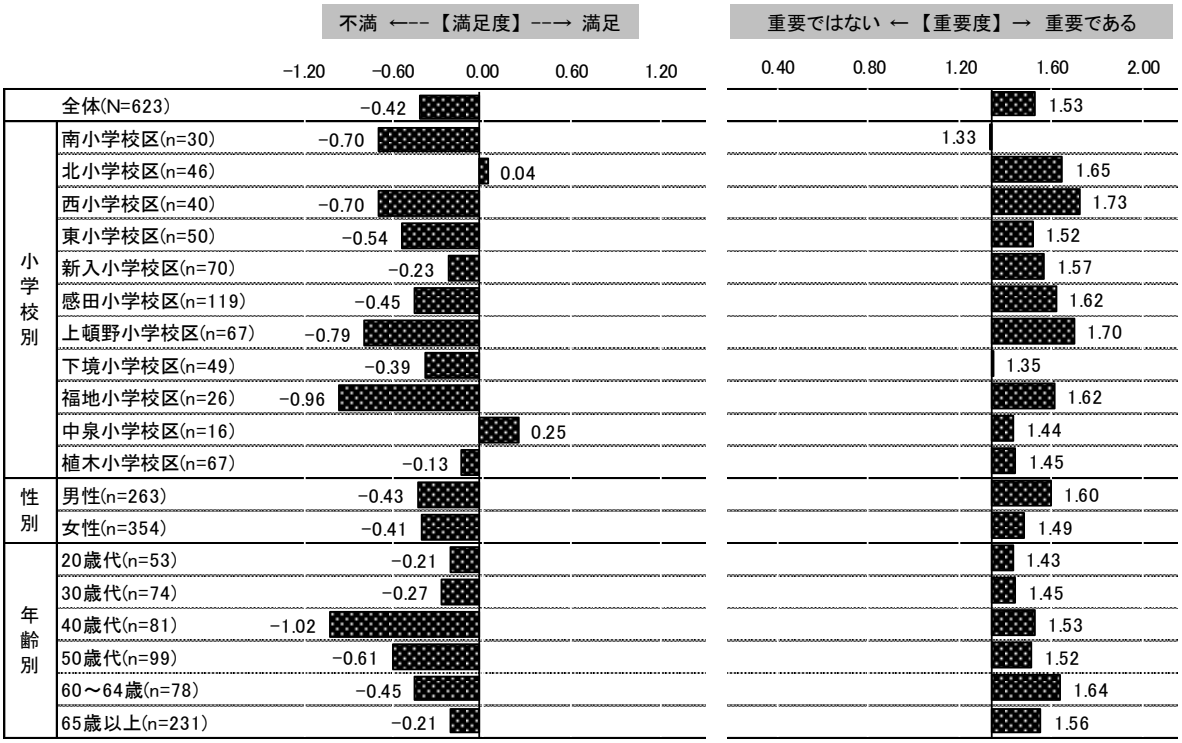
満足度評価	−0.32（37 施策中 36 位）	重要度評価	1.57（37 施策中９位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（A）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度の評価ともにやや低くなっている。

満足度は、北、中泉小学校区を除いて全体的に平均を下回り、特に、上頓野、福地小学校区などで低くなっている。また、年齢別では 40 歳代が最も低い。

重要度は、北小学校区を除いて全体的に平均を上回っているが、特に西、上頓野小学校区で高くなっている。性別では男性、年齢別では 60 歳代前半で高くなっている。

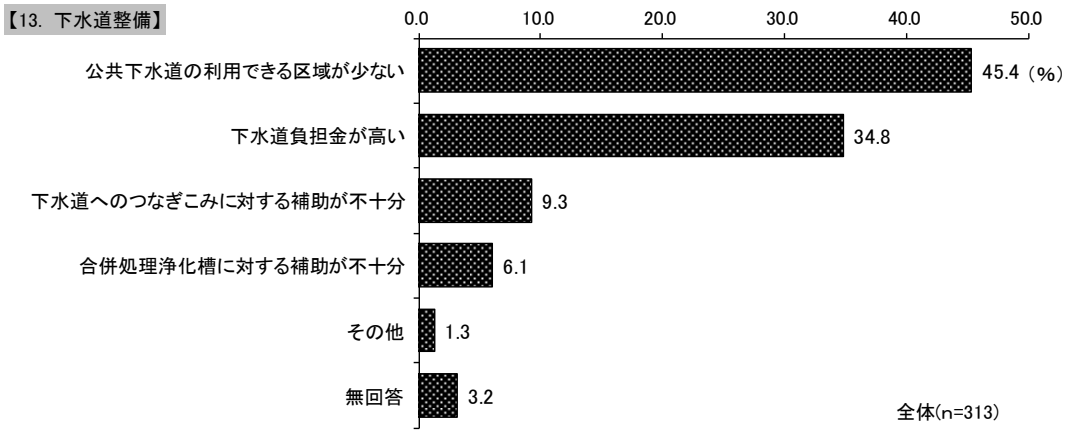


（２）不満の理由

不満の理由としては、「公共下水道の利用できる区域が少ない」が 45.4%と最も高く、次いで「下水道負担金が高い」（34.8%）が突出している。

小学校区別では、北小学校区で「下水道負担金が高い」「下水道へのつなぎこみに対する補助が不十分」、福地小学校区で「公共下水道の利用できる区域が少ない」、中泉小学校区で「合併処理浄化槽に対する補助が不十分」、また、新入、植木小学校区でも「下水道負担金が高い」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「下水道負担金が高い」、65 歳以上では、「公共下水道の利用できる区域が少ない」などがそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。



		公共下水道の利用できる区域が少ない	下水道負担金が高い	下水道へのつなぎこみに対する補助が不十分	合併処理浄化槽に対する補助が不十分	その他	無回答
全体(n=313)		45.4	34.8	9.3	6.1	1.3	3.2
小学校区別	南小学校区(n=18)	55.6	22.2	5.6	11.1	0.0	5.6
	北小学校区(n=17)	11.8	64.7	23.5	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=22)	50.0	36.4	4.5	0.0	4.5	4.5
	東小学校区(n=27)	55.6	33.3	3.7	3.7	3.7	0.0
	新入小学校区(n=32)	31.3	40.6	12.5	12.5	0.0	3.1
	感田小学校区(n=62)	50.0	32.3	9.7	3.2	3.2	1.6
	上頓野小学校区(n=40)	50.0	37.5	5.0	5.0	0.0	2.5
	下境小学校区(n=24)	45.8	20.8	8.3	16.7	0.0	8.3
	福地小学校区(n=18)	77.8	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6
	中泉小学校区(n=5)	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=31)	25.8	48.4	22.6	3.2	0.0	0.0
性別	男性(n=137)	51.8	29.9	9.5	4.4	2.2	2.2
	女性(n=174)	40.8	37.9	9.2	7.5	0.6	4.0
年齢別	20歳代(n=20)	40.0	45.0	5.0	5.0	0.0	5.0
	30歳代(n=30)	33.3	46.7	6.7	10.0	0.0	3.3
	40歳代(n=53)	34.0	45.3	13.2	3.8	3.8	0.0
	50歳代(n=55)	45.5	32.7	12.7	7.3	0.0	1.8
	60～64歳(n=43)	41.9	37.2	9.3	9.3	0.0	2.3
	65歳以上(n=109)	56.9	23.9	7.3	4.6	1.8	5.5

14. 環境保全の推進

施策内容	・里地里山の保全と自然エネルギー等の活用の推進。遠賀川等の自然環境の活用及び環境教育の推進。			
主な事業	・里地里山の保全事業 ・環境基本計画の推進　等			
満足度評価	0.03　（38施策中　19　位）		重要度評価	1.04　（38施策中　32　位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	−0.02（37 施策中 20 位）	重要度評価	1.17（37 施策中 25 位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

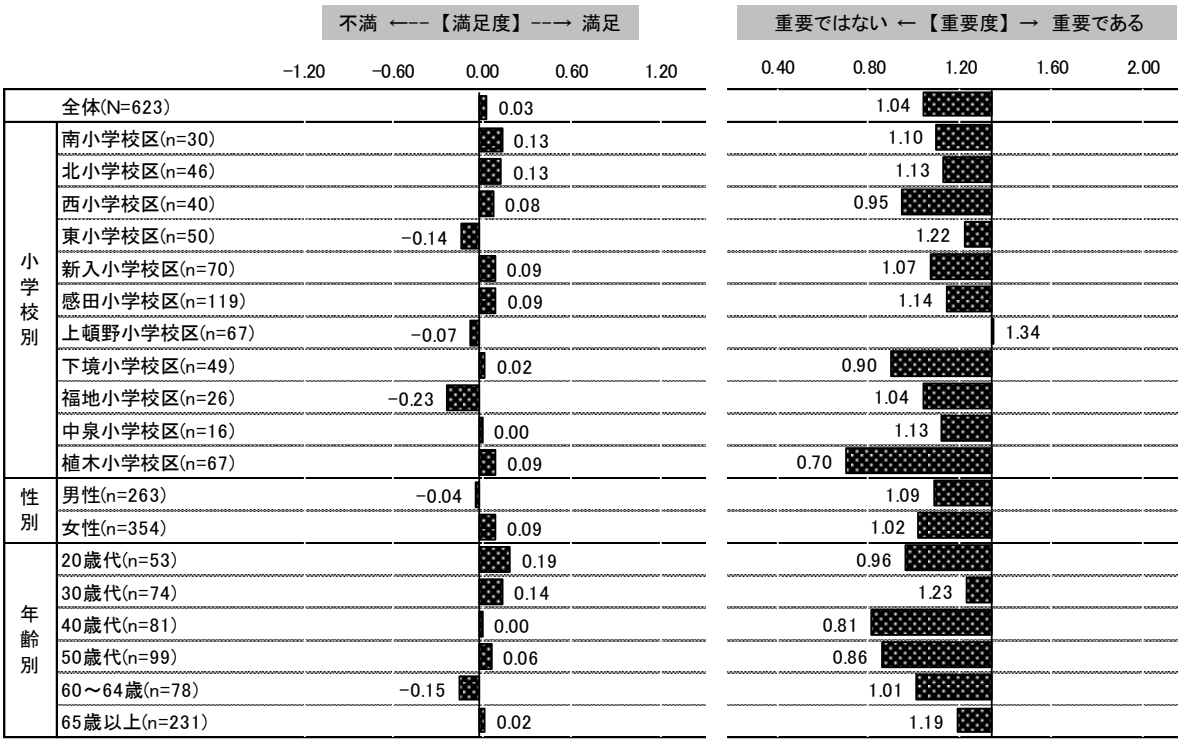
（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と異なり、満足度の評価がやや高く、重要度の評価が低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置する。

満足度は、福地小学校区などで低くなっている。性別では女性が高く、年齢別では 20 歳代が高いが、60 歳代前半が相対的に低くなっている。

重要度は、上頓野小学校区を除いて全体的に平均を下回り、植木小学校区が最も低くなっている。

また、年齢別では 40～50 歳代が平均を大きく下回っている。



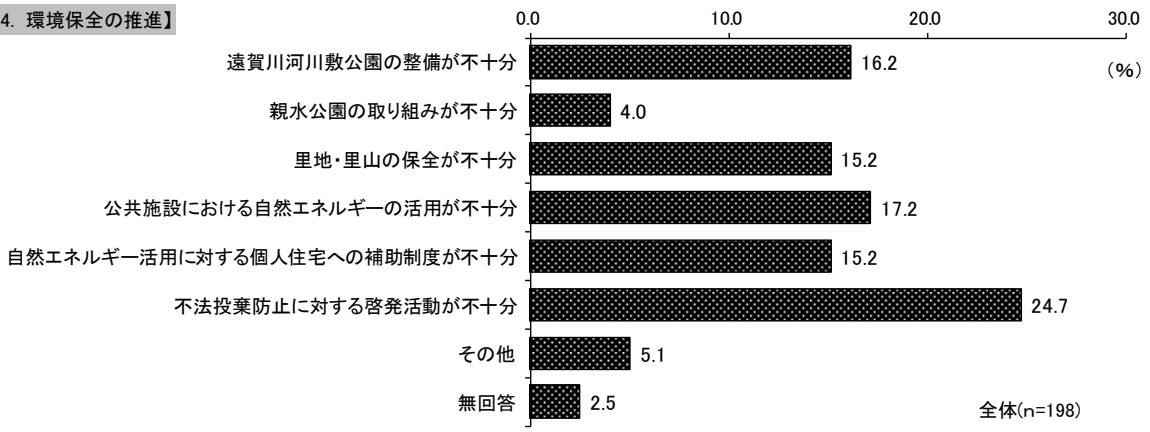
（２）不満の理由

不満の理由としては、「不法投棄防止に対する啓発活動が不十分」が 24.7％と最も高く、次いで「公共施設における自然エネルギーの活用が不十分」（17.2％）、「遠賀川河川敷公園の整備が不十分」（16.2％）の順となっている。

小学校区別では、南小学校区で「遠賀川河川敷公園の整備が不十分」、北、西小学校区で「公共施設における自然エネルギーの活用が不十分」、上頓野、福地小学校区で「里地・里山の保全が不十分」、下境小学校区で「不法投棄防止に対する啓発活動が不十分」「自然エネルギー活用に対する個人住宅への補助制度が不十分」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、65 歳以上で「不法投棄防止に対する啓発活動が不十分」「里地・里山の保全が不十分」、また、60 歳代前半で「公共施設における自然エネルギーの活用が不十分」、30 歳代では、「遠賀川河川敷公園の整備が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。

【14. 環境保全の推進】



		遠賀川河川敷公園の整備が不十分	親水公園の取り組みが不十分	里地・里山の保全が不十分	公共施設における自然エネルギーの活用が不十分	自然エネルギー活用に対する個人住宅への補助制度が不十分	不法投棄防止に対する啓発活動が不十分	その他	無回答
全体(n=198)		16.2	4.0	15.2	17.2	15.2	24.7	5.1	2.5
小学校区別	南小学校区(n=9)	33.3	0.0	11.1	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0
	北小学校区(n=14)	21.4	0.0	0.0	35.7	14.3	21.4	7.1	0.0
	西小学校区(n=12)	8.3	0.0	25.0	33.3	0.0	25.0	8.3	0.0
	東小学校区(n=20)	10.0	5.0	15.0	20.0	15.0	30.0	0.0	5.0
	新入小学校区(n=24)	25.0	8.3	16.7	25.0	12.5	8.3	4.2	0.0
	感田小学校区(n=38)	18.4	7.9	7.9	13.2	21.1	21.1	5.3	5.3
	上頓野小学校区(n=23)	17.4	0.0	30.4	13.0	13.0	8.7	17.4	0.0
	下境小学校区(n=15)	6.7	0.0	13.3	6.7	33.3	40.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=11)	0.0	9.1	36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
	植木小学校区(n=15)	20.0	6.7	6.7	13.3	13.3	33.3	0.0	6.7
性別	男性(n=94)	14.9	4.3	13.8	14.9	16.0	0.0	7.4	1.1
	女性(n=102)	17.6	3.9	16.7	19.6	13.7	21.6	2.9	3.9
年齢別	20歳代(n=15)	20.0	0.0	20.0	13.3	13.3	33.3	0.0	0.0
	30歳代(n=19)	31.6	10.5	0.0	5.3	26.3	21.1	5.3	0.0
	40歳代(n=26)	19.2	7.7	7.7	11.5	30.8	11.5	7.7	3.8
	50歳代(n=28)	21.4	3.6	14.3	28.6	10.7	17.9	0.0	3.6
	60～64歳(n=28)	10.7	3.6	14.3	32.1	10.7	21.4	3.6	3.6
	65歳以上(n=80)	11.3	2.5	21.3	13.8	10.0	31.3	7.5	2.5

15. 循環型社会の推進

施策内容	・ゴミの減量化の推進。資源リサイクルへの取組みの強化。		
主な事業	・資源リサイクル推進（地域資源回収、拠点回収）事業 ・生ゴミ処理容器購入費補助金事業 ・子育て用品リユース事業　等		
満足度評価	0.59　（38施策中　3　位）	重要度評価	1.65　（38施策中　8　位）
散布図象限 （全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	0.49（37 施策中２位）	重要度評価	1.67（37 施策中６位）
散布図象限 （全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置するが、前回調査より、満足度の評価が高くなり、重要度の評価がやや低くなっている。

満足度は、すべての属性で平均を上回り、特に感田、下境小学校区で高い。年齢別でも同様に平均を上回り、60 歳以上の年齢層が特に高くなっている。。

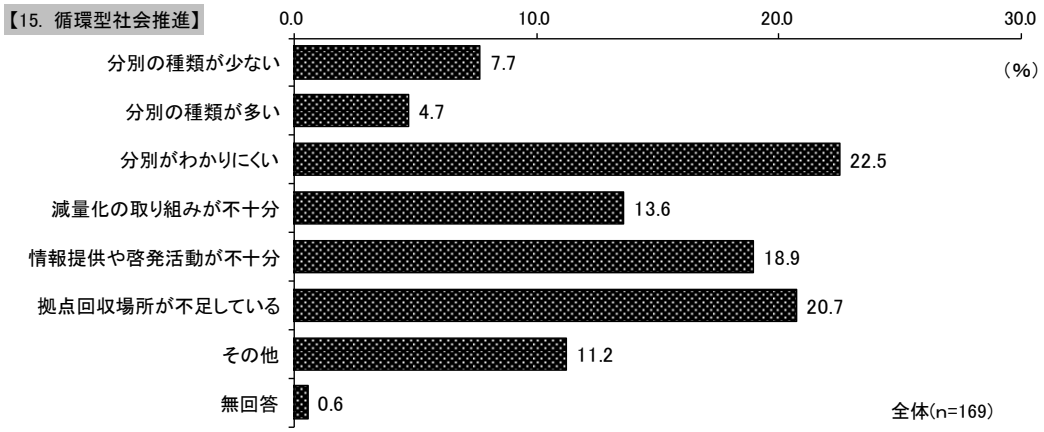
重要度も、すべての属性で平均を上回り、福地小学校区で最も高い。また、年齢別では、30～40 歳代及び 60 歳代前半で高くなっている。

（２）不満の理由

不満の理由としては、「分別がわかりにくい」が 22.5％と最も高く、次いで、「拠点回収場所が不足している」（20.7％）、「情報提供や啓発活動が不足している」（18.9％）、「減量化の取り組みが不十分」（13.6％）の順となっている。

小学校区別では、感田、中泉小学校区で「分別がわかりにくい」、西、下境小学校区で「拠点回収場所が不足している」、福地小学校区で「減量化の取り組みが不十分」、南、東小学校区で「情報提供や啓発活動が不足している」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、20～40 歳代で「分別がわかりにくい」、50 歳代で「減量化の取り組みが不十分」、60 歳代前半で「情報提供や啓発活動が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		分別の種類が少ない	分別の種類が多い	分別がわかりにくい	減量化の取り組みが不十分	情報提供や啓発活動が不十分	拠点回収場所が不足している	その他	無回答
全体(n=169)		7.7	4.7	22.5	13.6	18.9	20.7	11.2	0.6
小学校区別	南小学校区(n=8)	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=13)	7.7	7.7	15.4	38.5	30.8	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=12)	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	33.3	16.7	0.0
	東小学校区(n=14)	14.3	0.0	7.1	14.3	35.7	21.4	7.1	0.0
	新入小学校区(n=20)	10.0	5.0	20.0	25.0	15.0	15.0	10.0	0.0
	感田小学校区(n=29)	6.9	6.9	41.4	3.4	6.9	24.1	10.3	0.0
	上頓野小学校区(n=25)	4.0	0.0	20.0	12.0	28.0	20.0	16.0	0.0
	下境小学校区(n=10)	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	30.0	10.0	0.0
	福地小学校区(n=7)	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	28.6	28.6	0.0
	中泉小学校区(n=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=18)	5.6	0.0	33.3	11.1	11.1	22.2	16.7	0.0
性別	男性(n=68)	8.8	5.9	17.6	13.2	25.0	0.0	10.3	1.5
	女性(n=100)	7.0	3.0	26.0	14.0	15.0	23.0	12.0	0.0
年齢別	20歳代(n=20)	15.0	5.0	30.0	0.0	20.0	25.0	5.0	0.0
	30歳代(n=24)	8.3	4.2	33.3	8.3	4.2	29.2	12.5	0.0
	40歳代(n=27)	0.0	3.7	37.0	7.4	22.2	18.5	11.1	0.0
	50歳代(n=30)	6.7	3.3	16.7	26.7	23.3	13.3	10.0	0.0
	60～64歳(n=19)	15.8	5.3	5.3	10.5	36.8	15.8	10.5	0.0
	65歳以上(n=48)	6.3	4.2	16.7	18.8	14.6	22.9	14.6	2.1

16. 災害対策の推進

施策内容	・自主防災組織の設立支援。緊急時の情報手段の拡充。 防災のための河川改修の推進。			
主な事業	・防災体制整備事業 ・コミュニティ無線設置事業　等			
満足度評価	-0.14　（38施策中　25　位）		重要度評価	1.80　（38施策中　2　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	−0.13（37 施策中 27 位）	重要度評価	1.76（37 施策中２位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

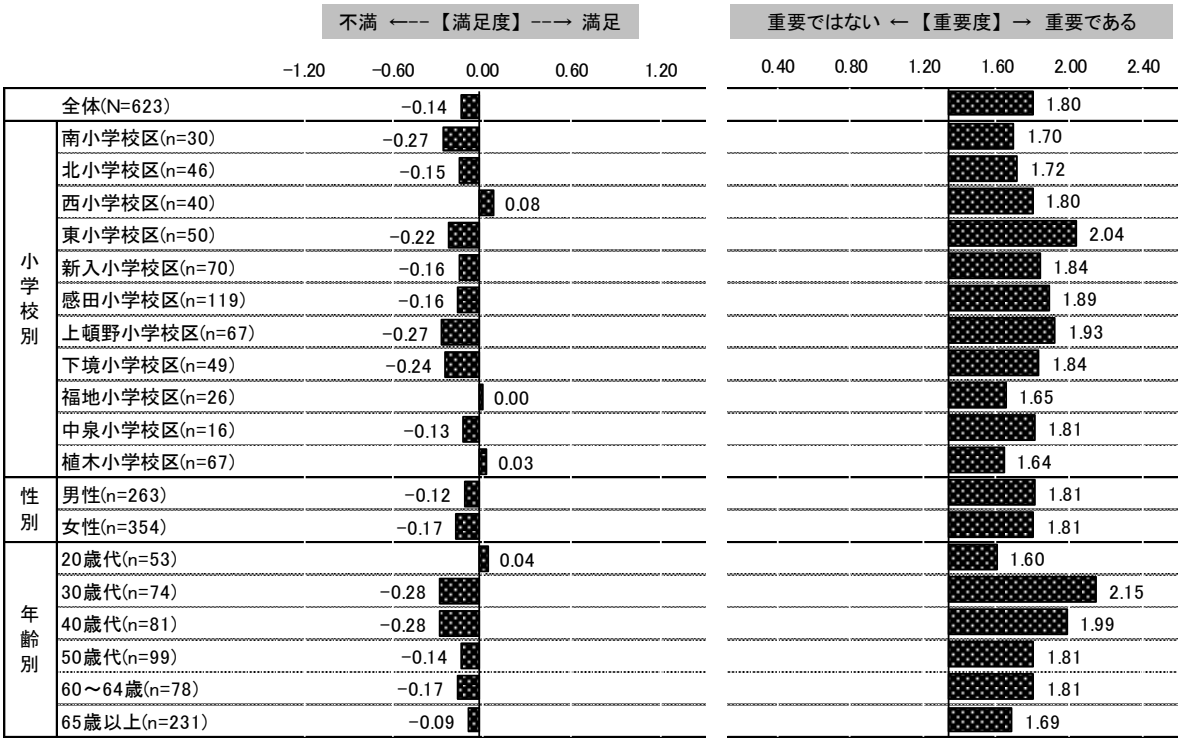
（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（A）に位置する。

満足度は、西、植木小学校区以外でほぼ平均を下回り、南、上頓野小学校区で特に低くなっている。年齢別では、30～40 歳代で低くなっている。

重要度は、すべての属性において平均を上回り、東小学校区で特に高くなっている。また、30～40 歳代で高くなっている。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。

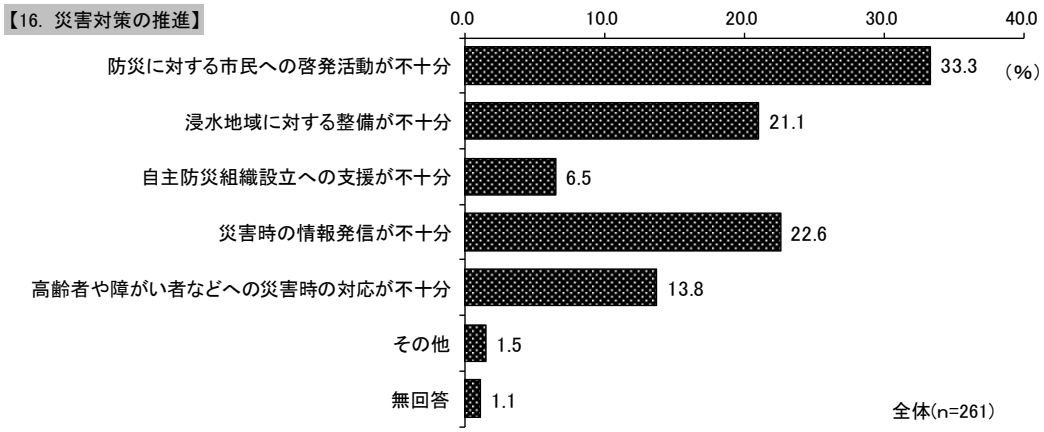


（２）不満の理由

不満の理由としては、「防災に対する市民への啓発活動が不十分」が 33.3％と最も高く、次いで、「災害時の情報発信が不十分」(22.6％)、「浸水地域に対する整備が不十分」(21.1％)、「高齢者や障がい者などへの災害時の対応が不十分」（13.8％）の順となっている。

小学校区別では、北小学校区で「災害時の情報発信が不十分」、上頓野、福地小学校区で「防災に対する市民への啓発活動が不十分」、南小学校区で「浸水地域に対する整備が不十分」、植木小学校区で「高齢者や障がい者などへの災害時の対応が不十分」などが他に比べ高くなっている。また、福地小学校では「浸水地域に対する整備が不十分」も高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「浸水地域に対する整備が不十分」が特に高く、40～50 歳代で「災害時の情報発信が不十分」、60 歳代後半で「高齢者や障がい者などへの災害時の対応が不十分」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		防災に対する市民への啓発活動が不十分	浸水地域に対する整備が不十分	自主防災組織設立への支援が不十分	災害時の情報発信が不十分	高齢者や障がい者などへの災害時の対応が不十分	その他	無回答
全体(n=261)		33.3	21.1	6.5	22.6	13.8	1.5	1.1
小学校区別	南小学校区(n=13)	7.7	46.2	7.7	23.1	15.4	0.0	0.0
	北小学校区(n=22)	22.7	31.8	0.0	31.8	13.6	0.0	0.0
	西小学校区(n=14)	42.9	14.3	7.1	21.4	14.3	0.0	0.0
	東小学校区(n=22)	45.5	13.6	13.6	18.2	4.5	0.0	4.5
	新入小学校区(n=33)	30.3	15.2	9.1	21.2	18.2	6.1	0.0
	感田小学校区(n=49)	30.6	22.4	6.1	28.6	10.2	0.0	2.0
	上頓野小学校区(n=33)	51.5	9.1	3.0	24.2	9.1	3.0	0.0
	下境小学校区(n=19)	36.8	21.1	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0
	福地小学校区(n=9)	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=7)	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
	植木小学校区(n=26)	23.1	26.9	3.8	19.2	26.9	0.0	0.0
性別	男性(n=116)	35.3	19.0	11.2	18.1	12.1	1.7	2.6
	女性(n=145)	31.7	22.8	2.8	26.2	15.2	1.4	0.0
年齢別	20歳代(n=16)	25.0	43.8	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0
	30歳代(n=33)	39.4	18.2	3.0	18.2	18.2	3.0	0.0
	40歳代(n=38)	34.2	26.3	2.6	28.9	5.3	0.0	2.6
	50歳代(n=41)	24.4	22.0	7.3	29.3	17.1	0.0	0.0
	60～64歳(n=34)	35.3	20.6	8.8	23.5	5.9	5.9	0.0
	65歳以上(n=98)	35.7	15.3	9.2	18.4	18.4	1.0	2.0

17. 消防・救急の充実

施策内容	・職員の能力向上と消防団との連携による組織力の強化。的確な救急救命活動の推進。防火安全対策の推進。		
主な事業	・救急車適正利用に向けた啓発事業 ・応急手当、救急安心カード促進事業　等		
満足度評価	0.67　（38施策中　2　位）	重要度評価	1.76　（38施策中　3　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

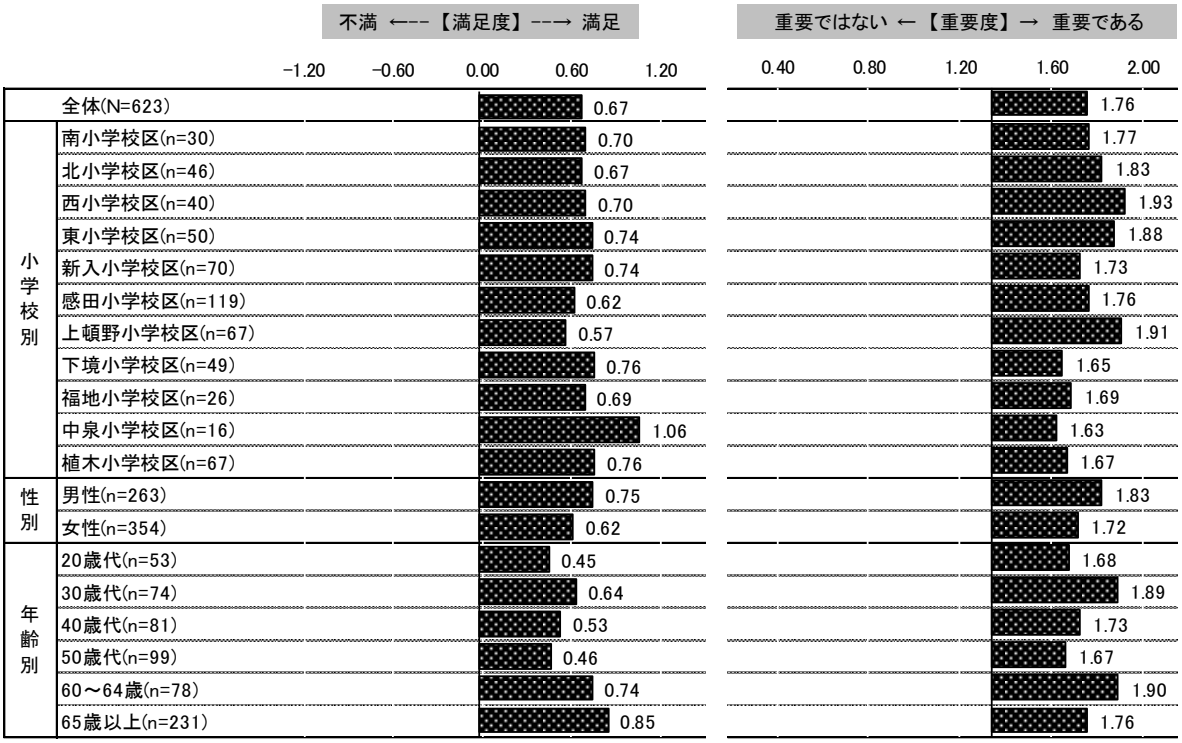
満足度評価	0.39（37 施策中４位）	重要度評価	1.74（37 施策中３位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と同様に、満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。

満足度は、すべての属性において平均を上回り、中泉小学校区が最も高くなっている。年齢別では、65 歳以上で高くなっている。

重要度も、すべての属性において平均を上回り、西、上頓野小学校区で他に比べ高くなっている。性別では男性、年齢別では、30 歳代及び 60 歳代前半が他の年齢層に比べ高くなっている。

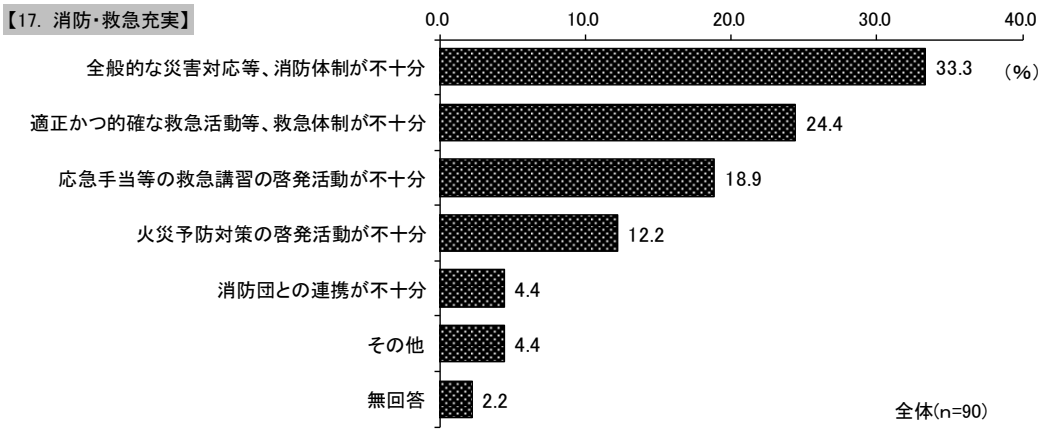


（２）不満の理由

不満の理由としては、「全般的な災害対応等、消防体制が不十分」が 33.3％と最も高く、次いで、「適正かつ的確な救急活動等、救急体制が不十分」（24.4％）、「応急手当等の救急講習の啓発活動が不十分」（18.9％）の順となっている。

小学校区別では、下境小学校区で「応急手当等の救急講習の啓発活動が不十分」、中泉小学校区で「全般的な災害対応等、消防体制が不十分」、植木小学校区で「適正かつ的確な救急活動等、救急体制が不十分」「消防団との連携が不十分」、福地小学校区で「火災予防対策の啓発活動が不十分」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、60 歳代前半で「全般的な災害対応等、消防体制が不十分」、40 歳代で「応急手当等の救急講習の啓発活動が不十分」、50 歳代で「適正かつ的確な救急活動等、救急体制が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		全般的な災害対応等、消防体制が不十分	適正かつ的確な救急活動等、救急体制が不十分	応急手当等の救急講習の啓発活動が不十分	火災予防対策の啓発活動が不十分	消防団との連携が不十分	その他	無回答
全体(n=90)		33.3	24.4	18.9	12.2	4.4	4.4	2.2
小学校区別	南小学校区(n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	東小学校区(n=7)	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
	新入小学校区(n=10)	60.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=18)	50.0	16.7	5.6	11.1	11.1	5.6	0.0
	上頓野小学校区(n=11)	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	下境小学校区(n=6)	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=6)	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=9)	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0
性別	男性(n=37)	27.0	35.1	10.8	16.2	5.4	2.7	2.7
	女性(n=53)	37.7	17.0	24.5	9.4	3.8	5.7	1.9
年齢別	20歳代(n=6)	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	30歳代(n=10)	40.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	40歳代(n=15)	20.0	6.7	46.7	26.7	0.0	0.0	0.0
	50歳代(n=18)	27.8	50.0	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0
	60～64歳(n=10)	50.0	0.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0
	65歳以上(n=31)	32.3	25.8	16.1	16.1	0.0	3.2	6.5

18. 交通安全・防犯対策の推進

施策内容	・交通安全意識の啓発、地域の防犯活動の支援。交通安全施設等の計画的整備の推進。			
主な事業	・防犯灯設置事業 ・交通安全対策事業　等			
満足度評価	0.08　（38施策中　14　位）		重要度評価	1.71　（38施策中　4　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）		

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

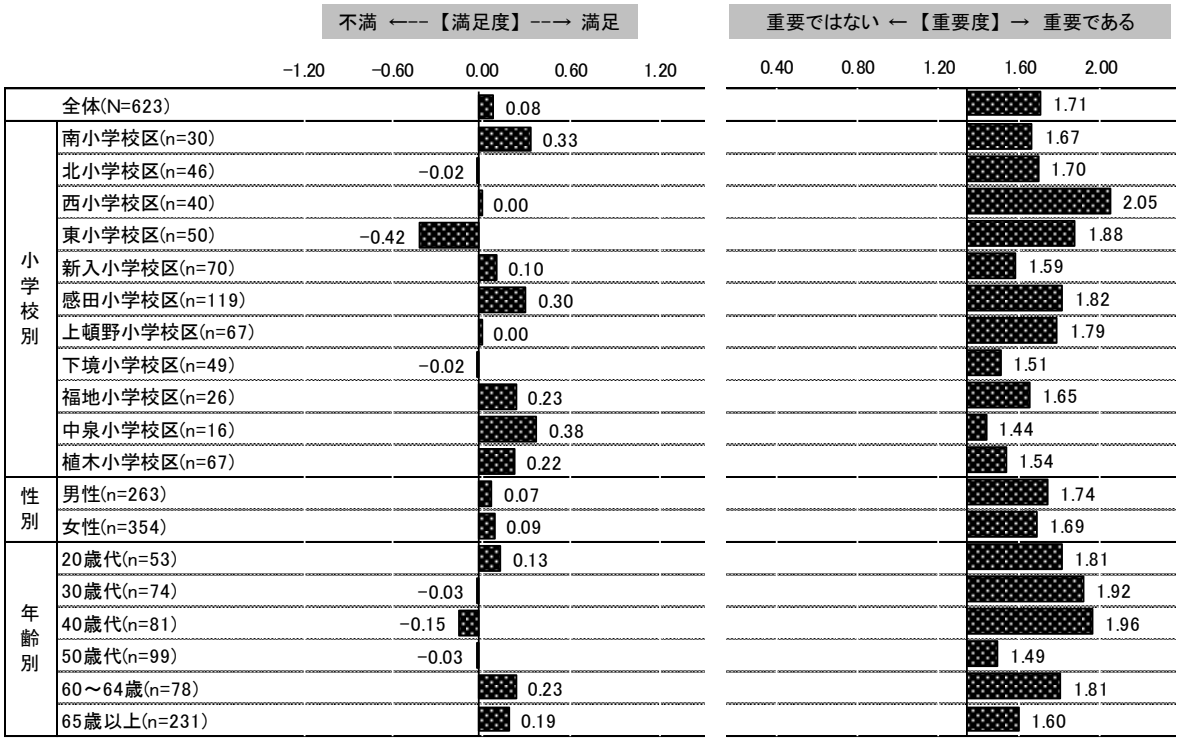
満足度評価	−0.01（37 施策中 18 位）		重要度評価	1.70（37 施策中４位）
散布図象限（全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）		

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と異なり、重要度、満足度がともに高く、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。

満足度は、南、中泉小学校区で高くなっているが、東小学校区は相対的に低くなっている。年齢別では 20 歳代、60 歳以上で高くなっている。

重要度は、すべての属性において平均を上回り、西小学校区が特に高くなっている。また、性別では男性、年齢別では、20～40 歳代で高くなっている。

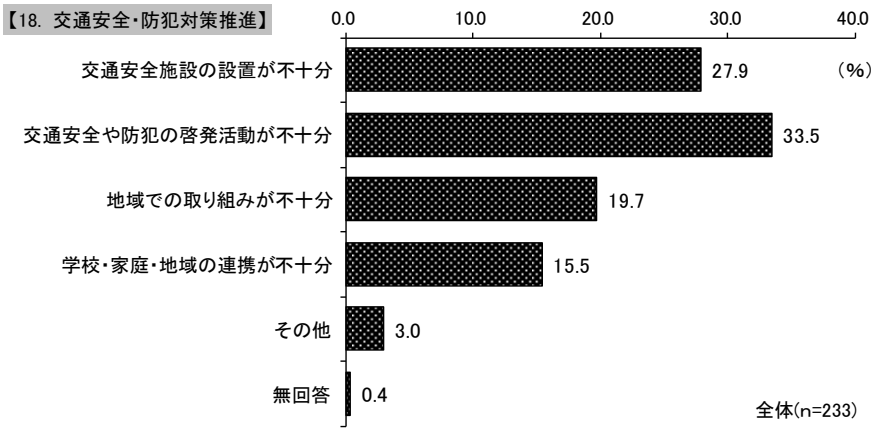


（２）不満の理由

不満の理由としては、「交通安全や防犯の啓発活動が不十分」が 33.5%で最も高く、次いで「交通安全施設の設置が不十分」(27.9%)、「地域での取り組みが不十分」(19.7%)の順となっている。

小学校区別では、南小学校区で「交通安全や防犯の啓発活動が不十分」「交通安全施設の設置が不十分」、下境、福地、中泉小学校区で「地域での取組みが不十分」、また、西小学校区でも「交通安全施設の設置が不十分」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

年齢別では、20～30 歳代、60 歳代前半で「交通安全施設の設置が不十分」、50 歳代で「交通安全や防犯の啓発活動が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		交通安全施設の設置が不十分	交通安全や防犯の啓発活動が不十分	地域での取り組みが不十分	学校・家庭・地域の連携が不十分	その他	無回答
全体(n=233)		27.9	33.5	19.7	15.5	3.0	0.4
小学校区別	南小学校区(n=8)	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	北小学校区(n=20)	35.0	35.0	15.0	15.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=16)	43.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0
	東小学校区(n=27)	37.0	33.3	14.8	14.8	0.0	0.0
	新入小学校区(n=28)	32.1	35.7	17.9	14.3	0.0	0.0
	感田小学校区(n=37)	29.7	32.4	21.6	13.5	2.7	0.0
	上頓野小学校区(n=23)	26.1	30.4	8.7	21.7	13.0	0.0
	下境小学校区(n=19)	21.1	15.8	36.8	15.8	10.5	0.0
	福地小学校区(n=10)	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=7)	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
	植木小学校区(n=22)	13.6	45.5	22.7	18.2	0.0	0.0
性別	男性(n=103)	31.1	35.0	17.5	15.5	1.0	0.0
	女性(n=129)	25.6	32.6	21.7	14.7	4.7	0.8
年齢別	20歳代(n=19)	42.1	26.3	15.8	10.5	5.3	0.0
	30歳代(n=30)	40.0	26.7	6.7	23.3	3.3	0.0
	40歳代(n=38)	36.8	39.5	10.5	10.5	2.6	0.0
	50歳代(n=36)	11.1	41.7	22.2	22.2	2.8	0.0
	60～64歳(n=23)	43.5	13.0	21.7	17.4	4.3	0.0
	65歳以上(n=85)	20.0	36.5	28.2	11.8	2.4	1.2

19. 保健事業の充実

施策内容	・健康づくりに対する啓発と健康づくり組織への支援。検(健)診受診率と予防接種の接種率の向上。		
主な事業	・健康診査（基本健診）、がん検診事業 ・健康教育事業 ・高齢者インフルエンザ予防接種事業　等		
満足度評価	0.75　（38施策中　1　位）	重要度評価	1.67　（38施策中　7　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

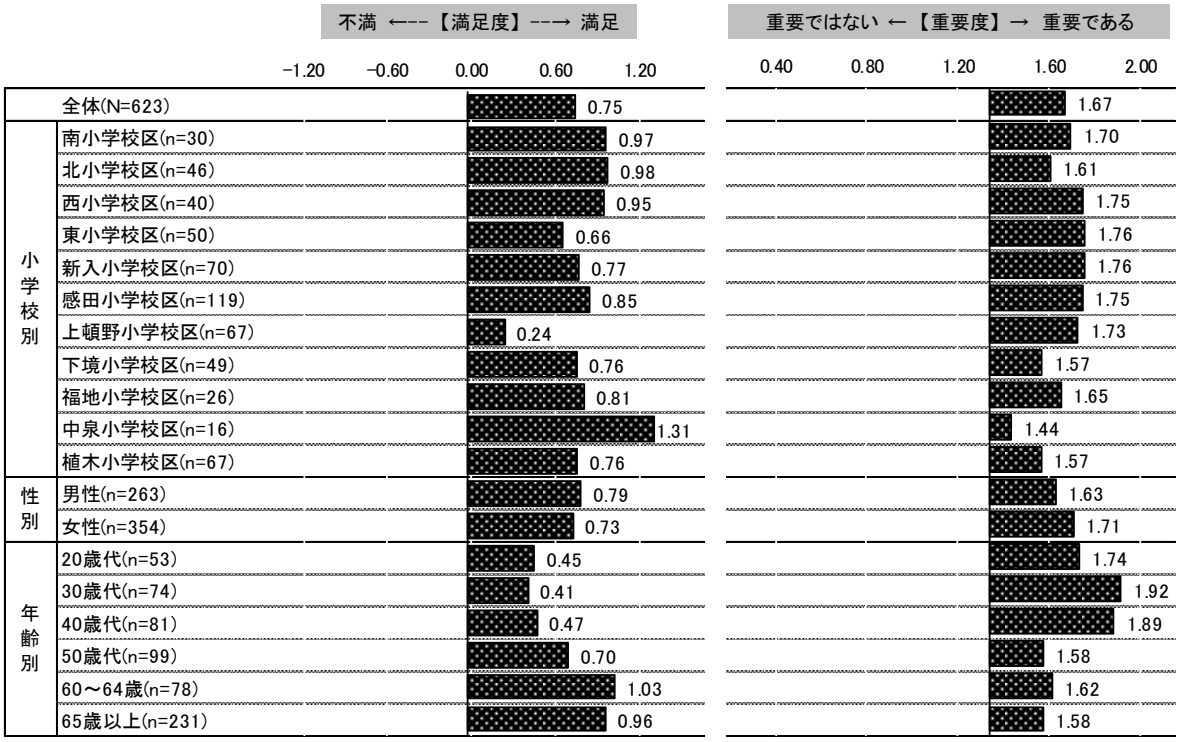
満足度評価	0.66（37 施策中 1 位）	重要度評価	1.64（37 施策中 7 位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（1）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。前回調査より、満足度、重要度の評価がともにやや高くなっている。

満足度は、すべての属性において平均を上回り、中泉小学校区が最も高くなっている。年齢別では、60 歳代前半が特に高く、概ね年齢が上がるほど高くなる傾向にある。

重要度も、すべての属性において平均を上回っているが、中泉小学校区の低さが目立っている。年齢別では、30～40 歳代が高くなっている。

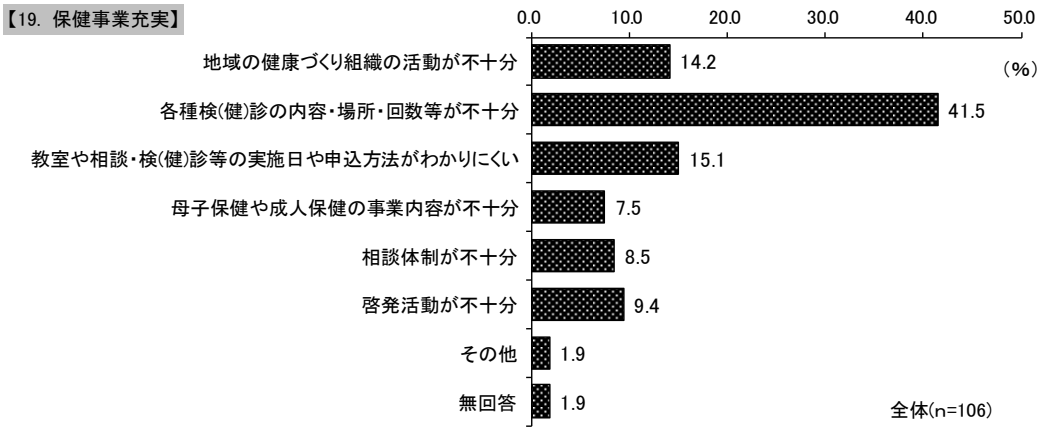


（２）不満の理由

不満の理由としては、「各種検（健）診の内容・場所・回数等が不十分」が 41.5%と最も高く、次いで、「教室や相談・検（健）診等の実施日や申込方法がわかりにくい」(15.1%)、「地域の健康づくり組織の活動が不十分」（14.2%）の順となっている。

小学校区別では、南、新入小学校区で「各種検（健）診の内容・場所・回数等が不十分」、中泉小学校区で「地域の健康づくり組織の活動が不十分」などがそれぞれ他に比べ高くなっている。

性別では、男性で「地域の健康づくり組織の活動が不十分」、女性で「教室や相談・検（健）診等の実施日や申込方法がわかりにくい」が高い。年齢別では、20 歳代で「教室や相談・検（健）診等の実施日や申込方法がわかりにくい」、30～50 歳で「各種検（健）診の内容・場所・回数等が不十分」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		地域の健康づくり組織の活動が不十分	各種検（健）診の内容・場所・回数等が不十分	教室や相談・検（健）診等の実施日や申込方法がわかりにくい	母子保健や成人保健の事業内容が不十分	相談体制が不十分	啓発活動が不十分	その他	無回答
全体(n=106)		14.2	41.5	15.1	7.5	8.5	9.4	1.9	1.9
小学校区別	南小学校区(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	西小学校区(n=4)	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=11)	9.1	45.5	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
	新入小学校区(n=13)	15.4	61.5	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=17)	5.9	35.3	23.5	11.8	17.6	5.9	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=24)	25.0	41.7	16.7	0.0	8.3	4.2	4.2	0.0
	下境小学校区(n=8)	0.0	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	福地小学校区(n=5)	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=10)	10.0	20.0	10.0	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0
性別	男性(n=45)	20.0	40.0	4.4	6.7	13.3	0.0	2.2	0.0
	女性(n=60)	8.3	43.3	23.3	8.3	5.0	6.7	1.7	3.3
年齢別	20歳代(n=14)	7.1	35.7	35.7	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=21)	9.5	42.9	19.0	9.5	0.0	19.0	0.0	0.0
	40歳代(n=23)	13.0	56.5	13.0	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0
	50歳代(n=13)	15.4	46.2	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0
	60～64歳(n=7)	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	65歳以上(n=27)	18.5	29.6	14.8	7.4	14.8	7.4	0.0	7.4

20. 地域医療体制の維持と確保

施策内容	・医療機関との連携による地域医療及び救急医療体制の維持。		
主な事業	・休日等急患センター運営事業 ・救急医療施設等運営事業　等		
満足度評価	-0.12　（38施策中　24　位）	重要度評価	1.90　（38施策中　1　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

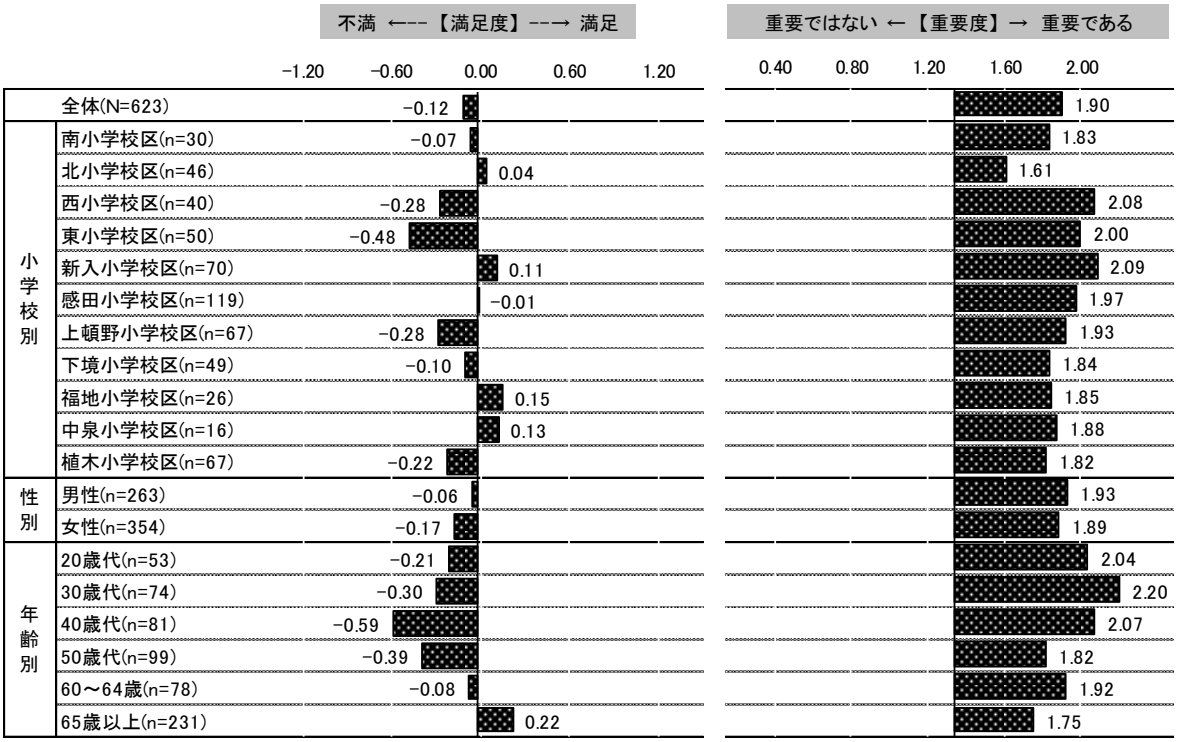
満足度評価	−0.06（37 施策中 22 位）	重要度評価	1.95（37 施策中 1 位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（A）に位置する。前回調査より満足度、重要度の評価がともにやや低くなっている。

満足度は、西、東、上頓野小学校区などで低く、年齢別では、40 歳代で最も低くなっている。一方で、65 歳以上では、平均を上回って相対的に高い。

重要度は、すべての属性において平均を大きく上回り、北小学校区の低さが目立っている。性別では大きく差はなく、年齢別では、20～40 歳代において高い。

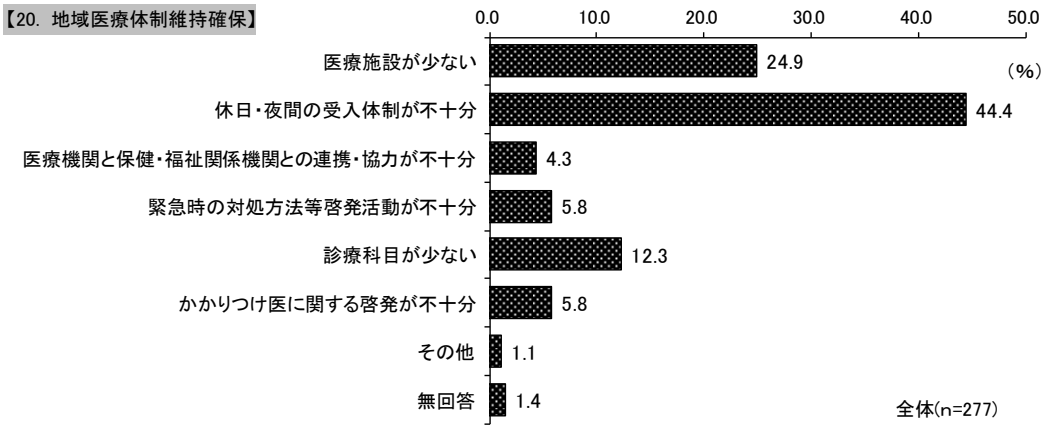


（２）不満の理由

不満の理由としては、「休日・夜間の受入体制が不十分」が 44.4%と最も高く、次いで「医療施設が少ない」（24.9%）、「診療科目が少ない」（12.3%）の順となっている。

小学校区別では、南、西、新入小学校区で「休日・夜間の受入体制が不十分」、中泉小学校区で「診療科目が少ない」、東、上頓野小学校区で「医療施設が少ない」、また南小学校区でも「医療施設が少ない」などが他に比べ高くなっている。

性別では、女性で「医療施設が少ない」「診療科目が少ない」が高い。年齢別では、20歳代、40 歳代で「休日・夜間の受入体制が不十分」、30 歳代で「医療施設が少ない」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		医療施設が少ない	休日・夜間の受入体制が不十分	医療機関と保健・福祉関係機関との連携・協力が不十分	緊急時の対処方法等啓発活動が不十分	診療科目が少ない	かかりつけ医に関する啓発が不十分	その他	無回答
全体(n=277)		24.9	44.4	4.3	5.8	12.3	5.8	1.1	1.4
小学校区別	南小学校区(n=12)	33.3	50.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=19)	10.5	47.4	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	5.3
	西小学校区(n=18)	27.8	55.6	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=27)	37.0	40.7	0.0	3.7	7.4	11.1	0.0	0.0
	新入小学校区(n=28)	25.0	50.0	3.6	3.6	17.9	0.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=50)	22.0	42.0	8.0	6.0	14.0	6.0	2.0	0.0
	上頓野小学校区(n=35)	34.3	37.1	0.0	0.0	14.3	11.4	2.9	0.0
	下境小学校区(n=23)	26.1	43.5	8.7	4.3	8.7	4.3	0.0	4.3
	福地小学校区(n=9)	22.2	44.4	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=7)	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
	植木小学校区(n=31)	22.6	48.4	3.2	3.2	16.1	6.5	0.0	0.0
性別	男性(n=111)	20.7	47.7	7.2	7.2	9.0	0.0	2.7	0.9
	女性(n=164)	28.0	41.5	2.4	4.9	14.6	6.7	0.0	1.8
年齢別	20歳代(n=23)	30.4	56.5	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0
	30歳代(n=36)	38.9	27.8	2.8	8.3	16.7	5.6	0.0	0.0
	40歳代(n=47)	25.5	61.7	4.3	2.1	4.3	2.1	0.0	0.0
	50歳代(n=49)	36.7	40.8	2.0	2.0	12.2	4.1	0.0	2.0
	60～64歳(n=36)	22.2	47.2	0.0	8.3	5.6	8.3	2.8	5.6
	65歳以上(n=83)	12.0	37.3	9.6	9.6	19.3	8.4	2.4	1.2

21. 障がい者福祉の充実

施策内容	・市民への意識啓発。障がい者の就業支援。医療・教育・福祉サービスの充実及び拡充。		
主な事業	・地域生活支援事業 ・障がい者相談支援事業　等		
満足度評価	-0.01　（38施策中　20　位）	重要度評価	1.41　（38施策中　14　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

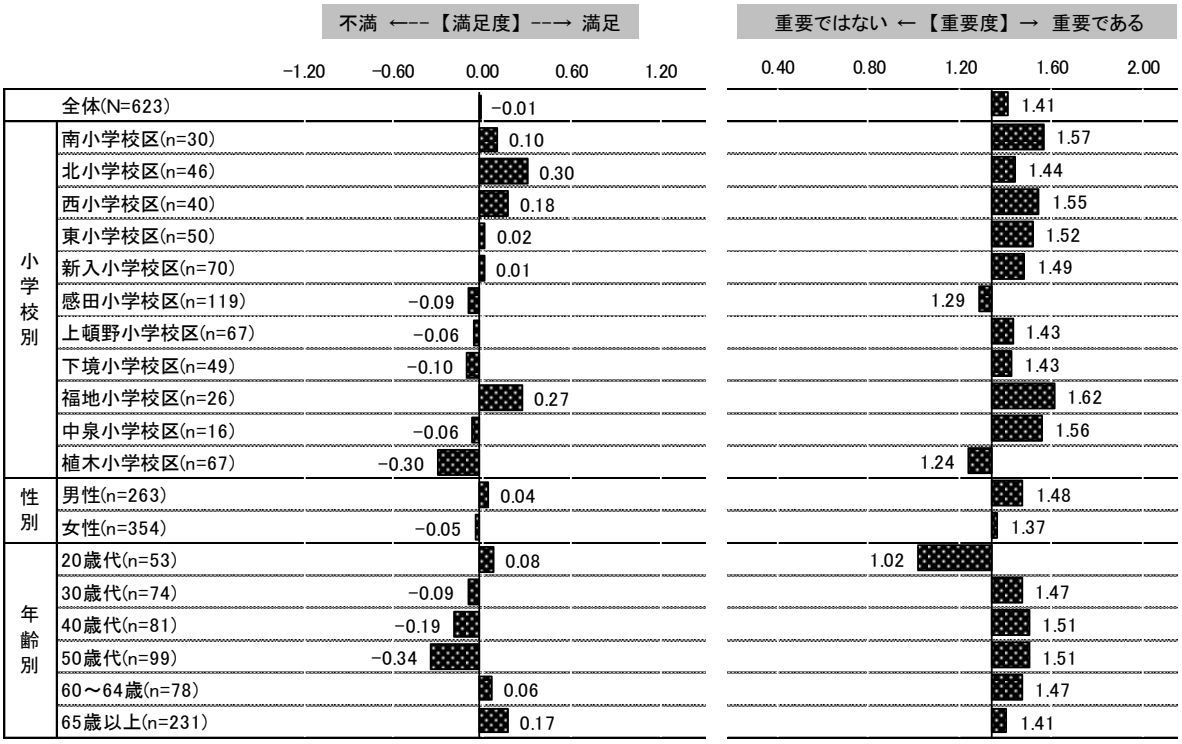
満足度評価	−0.01（37 施策中 18 位）	重要度評価	1.44（37 施策中 13 位）
散布図象限（全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。

満足度は、北、福地小学校区などで平均を上回るが、植木小学校区などでは低い。性別では女性でやや低く、年齢別では、50 歳代で最も低くなっている。

重要度は、ほとんどの属性において平均を上回っているが、特に、感田、植木小学校区で低くなっている。また、性別では男性が高く、年齢別では 20 歳代が最も低い。

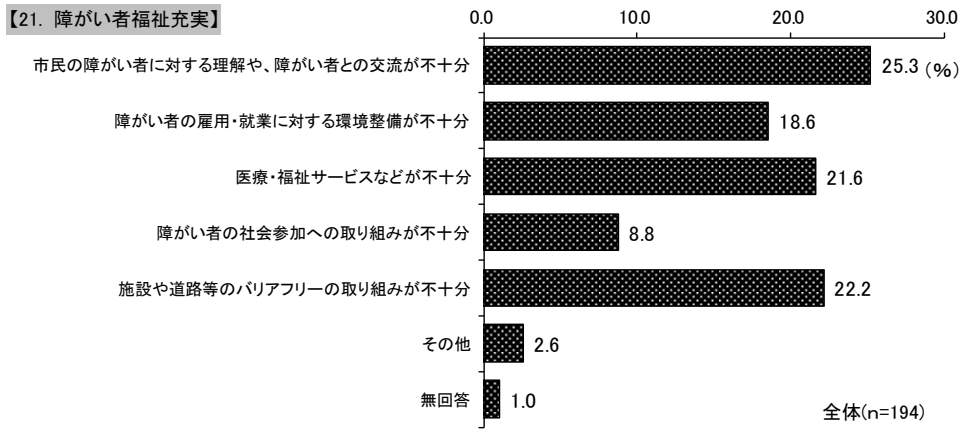


（２）不満の理由

不満の理由としては、「市民の障がい者に対する理解や、障がい者との交流が不十分」が25.3％と最も高く、次いで「施設や道路等のバリアフリーの取り組みが不十分」（22.2％）、「医療・福祉サービスなどが不十分」（21.6％）の順となっている。

小学校区別では、南、上頓野小学校区などで「障がい者の雇用・就業に対する環境整備が不十分」、下境小学校区で「施設や道路等のバリアフリーの取り組みが不十分」、新入、中泉小学校区で「市民の障がい者に対する理解や障がい者との交流が不十分」、感田小学校区で「障がい者の社会参加への取り組みが不十分」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、60歳以上で「市民の障がい者に対する理解や、障がい者との交流が不十分」、30歳代で「医療・福祉サービスなどが不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		市民の障がい者に対する理解や、障がい者との交流が不十分	障がい者の雇用・就業に対する環境整備が不十分	医療・福祉サービスなどが不十分	障がい者の社会参加への取り組みが不十分	施設や道路等のバリアフリーの取り組みが不十分	その他	無回答
全体(n=194)		25.3	18.6	21.6	8.8	22.2	2.6	1.0
小学校区別	南小学校区(n=7)	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0
	北小学校区(n=14)	28.6	7.1	21.4	7.1	28.6	7.1	0.0
	西小学校区(n=11)	27.3	9.1	36.4	0.0	27.3	0.0	0.0
	東小学校区(n=15)	13.3	20.0	20.0	13.3	26.7	6.7	0.0
	新入小学校区(n=22)	45.5	9.1	9.1	13.6	18.2	0.0	4.5
	感田小学校区(n=34)	8.8	23.5	26.5	20.6	17.6	2.9	0.0
	上頓野小学校区(n=22)	22.7	36.4	22.7	0.0	13.6	4.5	0.0
	下境小学校区(n=16)	37.5	6.3	12.5	12.5	31.3	0.0	0.0
	福地小学校区(n=6)	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	植木小学校区(n=27)	29.6	25.9	14.8	3.7	25.9	0.0	0.0
性別	男性(n=81)	22.2	21.0	23.5	8.6	22.2	2.5	0.0
	女性(n=110)	26.4	16.4	20.9	9.1	22.7	2.7	1.8
年齢別	20歳代(n=14)	7.1	14.3	21.4	7.1	42.9	7.1	0.0
	30歳代(n=23)	21.7	21.7	30.4	4.3	17.4	4.3	0.0
	40歳代(n=28)	21.4	25.0	28.6	0.0	25.0	0.0	0.0
	50歳代(n=43)	14.0	20.9	14.0	20.9	23.3	4.7	2.3
	60～64歳(n=23)	39.1	8.7	26.1	8.7	17.4	0.0	0.0
	65歳以上(n=60)	33.3	16.7	20.0	6.7	20.0	1.7	1.7

22. 高齢者福祉の充実

施策内容	・介護と連携した福祉及び介護サービス基盤の充実とサービス事業者の質的向上。高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進。		
主な事業	・生きがい活動支援通所事業 ・元気サロン事業　等		
満足度評価	0.05　（38施策中　18　位）	重要度評価	1.39　（38施策中　17　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

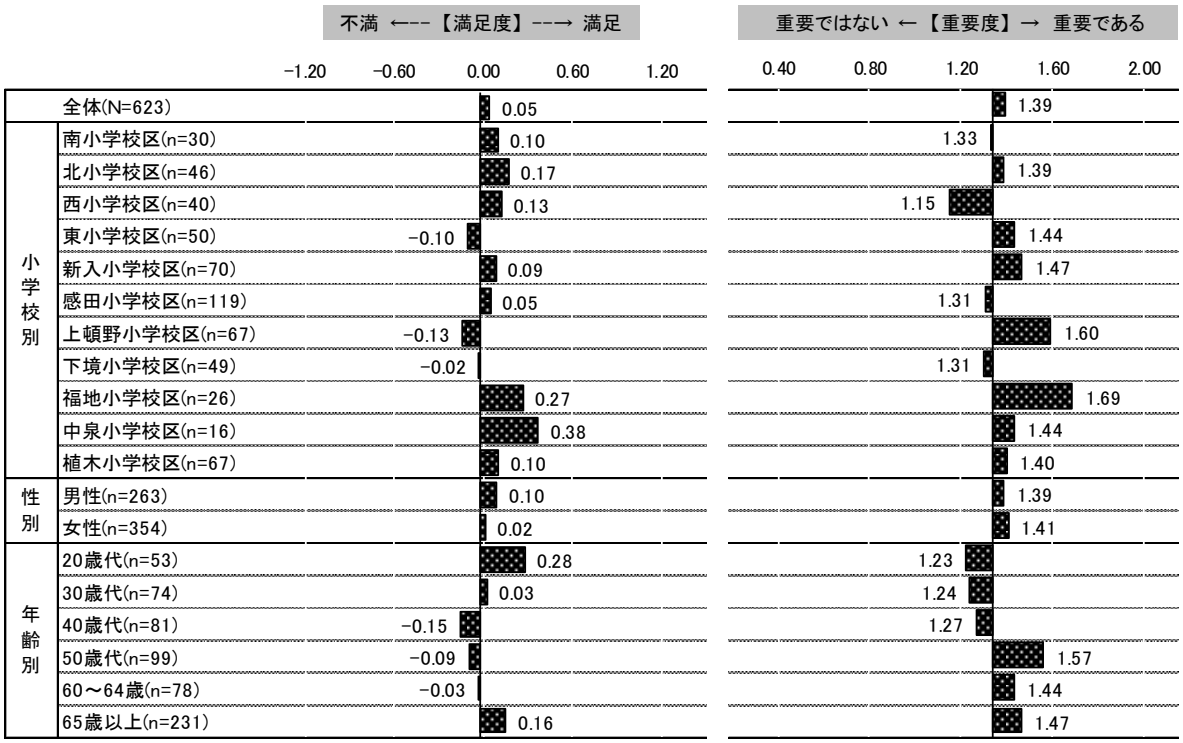
満足度評価	0.05（37 施策中 13 位）	重要度評価	1.47（37 施策中 12 位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置するが、前回調査より、重要度の評価がやや低くなっている。

満足度は、福地、中泉小学校区で平均を大きく上回り、年齢別では 20 歳代が高くなっている。

重要度は、上頓野、福地小学校区などで高く、西小学校区などで相対的に低くなっている。年齢別では、50 歳代が最も高く、若い年齢層ほど相対的に低くなる傾向に見られる。

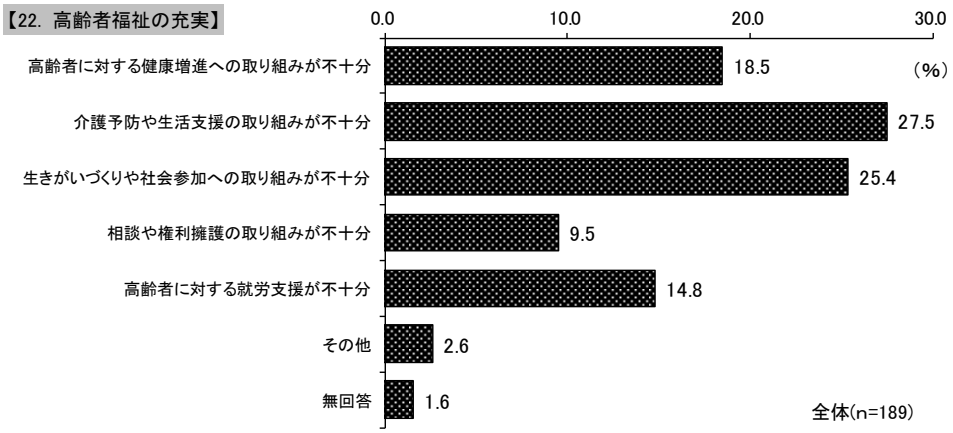


（２）不満の理由

不満の理由としては、「介護予防や生活支援の取り組みが不十分」が 27.5％と最も高く、次いで、「生きがいづくりや社会参加への取り組みが不十分」（25.4％）、「高齢者に対する健康増進への取り組みが不十分」（18.5％）の順となっている。

小学校区別では、西、上頓野小学校区で「高齢者に対する健康増進への取り組みが不十分」、中泉小学校区で「介護予防や生活支援の取り組みが不十分」、北、福地小学校区で「生きがいづくりや社会参加への取り組みが不十分」などが他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、60 歳代前半で「介護予防や生活支援の取り組みが不十分」、30～50 歳代で「高齢者に対する健康増進への取組みが不十分」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		高齢者に対する健康増進への取り組みが不十分	介護予防や生活支援の取り組みが不十分	生きがいづくりや社会参加への取り組みが不十分	相談や権利擁護の取り組みが不十分	高齢者に対する就労支援が不十分	その他	無回答
全体(n=189)		18.5	27.5	25.4	9.5	14.8	2.6	1.6
小学校区別	南小学校区(n=9)	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=14)	7.1	14.3	35.7	21.4	21.4	0.0	0.0
	西小学校区(n=11)	27.3	9.1	27.3	0.0	27.3	9.1	0.0
	東小学校区(n=17)	17.6	35.3	11.8	11.8	17.6	5.9	0.0
	新入小学校区(n=22)	18.2	22.7	31.8	4.5	13.6	9.1	0.0
	感田小学校区(n=32)	21.9	25.0	25.0	15.6	12.5	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=26)	26.9	34.6	26.9	3.8	7.7	0.0	0.0
	下境小学校区(n=13)	15.4	23.1	23.1	15.4	15.4	0.0	7.7
	福地小学校区(n=9)	22.2	33.3	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=5)	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=17)	17.6	35.3	23.5	0.0	23.5	0.0	0.0
性別	男性(n=77)	15.6	31.2	26.0	7.8	16.9	2.6	0.0
	女性(n=110)	20.9	25.5	23.6	10.9	13.6	2.7	2.7
年齢別	20歳代(n=8)	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	30歳代(n=16)	25.0	37.5	6.3	0.0	18.8	6.3	6.3
	40歳代(n=22)	22.7	27.3	22.7	9.1	9.1	4.5	4.5
	50歳代(n=36)	27.8	27.8	16.7	8.3	19.4	0.0	0.0
	60～64歳(n=26)	7.7	42.3	26.9	3.8	11.5	7.7	0.0
	65歳以上(n=79)	16.5	19.0	31.6	15.2	15.2	1.3	1.3

23. 社会福祉と公的医療保険制度の充実

施策内容	・生活困窮者の自立支援。公的医療保険制度の充実。		
主な事業	・生活保護扶助事業 ・国民健康保険事業　等		
満足度評価	-0.29　（38施策中　30　位）	重要度評価	1.36　（38施策中　19　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

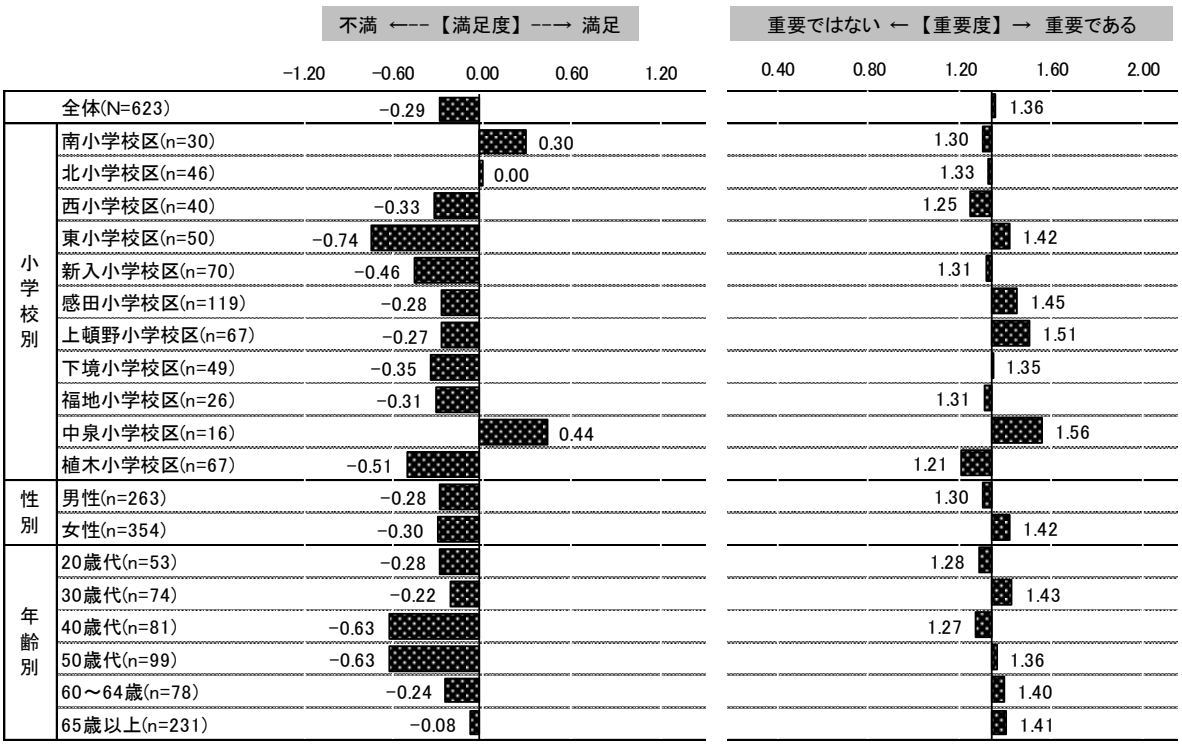
満足度評価	−0.19（37 施策中 29 位）	重要度評価	1.12（37 施策中 27 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と異なり、満足度の評価が低く、重要度の評価が高く、重点化・見直しの領域（A）となっている。

満足度は、全体的にほぼ平均を下回り、北、中泉小学校区などで相対的に高くなっている。また、年齢別では 40～50 歳代が特に低くなっている。

重要度は、中泉小学校区で最も高く、西、植木小学校区で相対的に低くなっている。性別では女性、年齢別では 30 歳代が高くなっている。

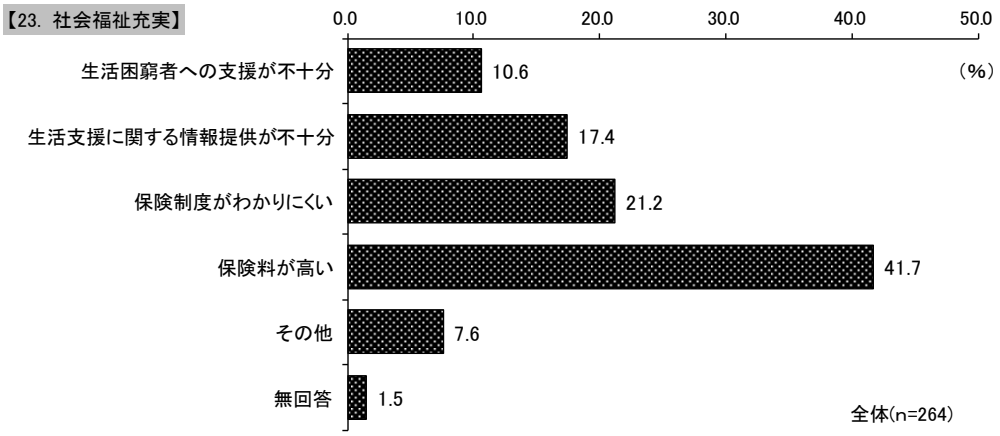


（２）不満の理由

不満の理由としては、「保険料が高い」が 41.7%と最も高く、次いで「保険制度がわかりにくい」(21.2%)、「生活支援に関する情報提供が不十分」(17.4%) の順となっている。

小学校区別では、中泉、植木小学校区で「保険料が高い」、福地小学校区で「保険制度がわかりにくい」、下境小学校区で「生活支援に関する情報提供が不十分」、また、中泉小学校区でも「保険制度がわかりにくい」などが他に比べ高くなっている。

性別では、女性で「保険料が高い」がやや男性を上回っている。年齢別では、60 歳以上で「保険料が高い」、20 歳代、40 歳代で「保険制度がわかりにくい」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		生活困窮者への支援が不十分	生活支援に関する情報提供が不十分	保険制度がわかりにくい	保険料が高い	その他	無回答
全体(n=264)		10.6	17.4	21.2	41.7	7.6	1.5
小学校区別	南小学校区(n=7)	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0
	北小学校区(n=16)	6.3	18.8	25.0	37.5	0.0	12.5
	西小学校区(n=15)	13.3	0.0	13.3	46.7	26.7	0.0
	東小学校区(n=28)	14.3	21.4	14.3	32.1	17.9	0.0
	新入小学校区(n=38)	10.5	15.8	23.7	47.4	2.6	0.0
	感田小学校区(n=47)	4.3	19.1	25.5	42.6	8.5	0.0
	上頓野小学校区(n=30)	10.0	23.3	13.3	46.7	6.7	0.0
	下境小学校区(n=23)	13.0	26.1	4.3	47.8	4.3	4.3
	福地小学校区(n=11)	9.1	9.1	54.5	18.2	9.1	0.0
	中泉小学校区(n=4)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=29)	10.3	17.2	17.2	51.7	3.4	0.0
性別	男性(n=114)	11.4	21.1	23.7	34.2	7.9	1.8
	女性(n=148)	9.5	14.2	19.6	48.0	7.4	1.4
年齢別	20歳代(n=22)	13.6	13.6	27.3	40.9	4.5	0.0
	30歳代(n=25)	16.0	24.0	16.0	28.0	16.0	0.0
	40歳代(n=38)	13.2	23.7	26.3	26.3	10.5	0.0
	50歳代(n=52)	9.6	17.3	21.2	42.3	5.8	3.8
	60～64歳(n=35)	11.4	14.3	17.1	48.6	5.7	2.9
	65歳以上(n=90)	6.7	14.4	21.1	50.0	6.7	1.1

24. 各種相談業務の充実

施策内容	・関係機関と連携した相談業務の実施。		
主な事業	・消費生活相談、労働相談 ・無料法律相談　等		
満足度評価	0.15　（38施策中　9　位）	重要度評価	1.05　（38施策中　31　位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	0.04（37 施策中 15 位）	重要度評価	0.88（37 施策中 31 位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

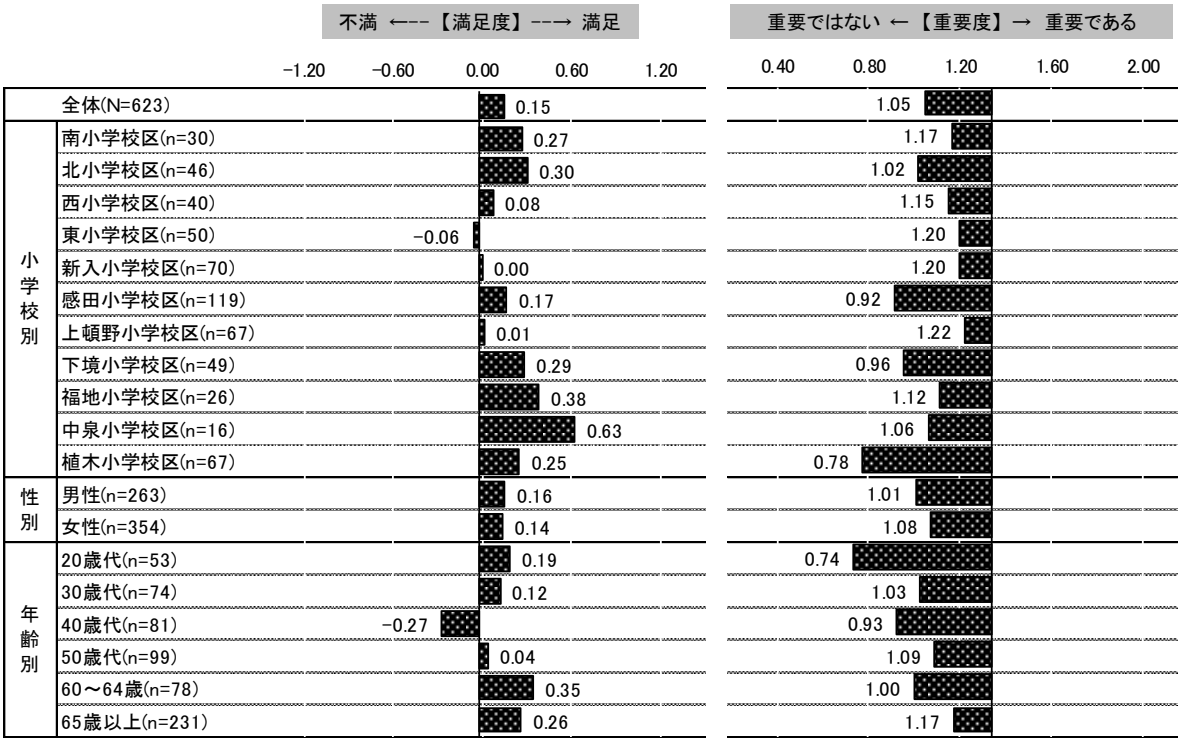
（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度ともに高くなっている。

満足度は、ほとんどの属性において平均を上回っているが、東小学校区が平均をやや下回り、年齢別では、40 歳代が最も低い。

重要度は、全体的に平均を下回り、特に、感田、植木小学校区などで低くなっている。年齢別では、20 歳代で最も低くなっている。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。

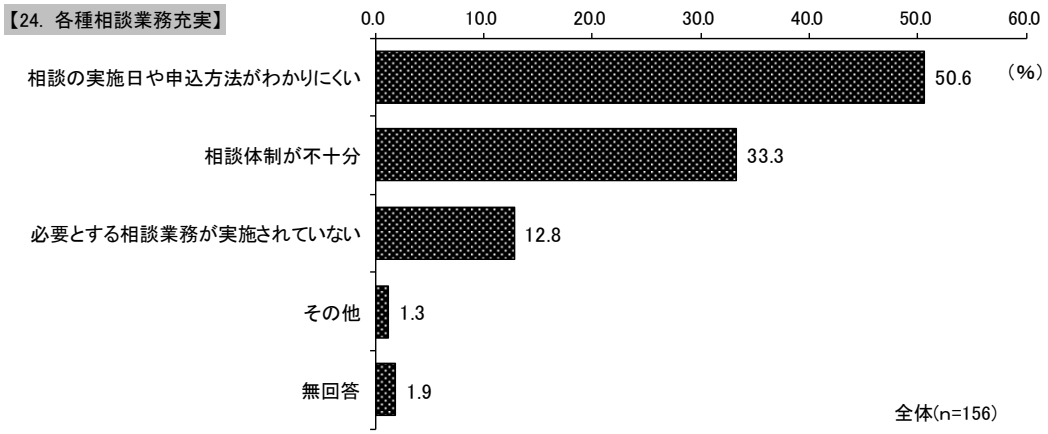


（２）不満の理由

不満の理由としては、「相談の実施日や申込方法がわかりにくい」が 50.6%と半数を占め、次いで「相談体制が不十分」（33.3%）の順となっている。

小学校区別では、南、福地小学校区などで「相談体制が不十分」、北、下境小学校区などで「相談の実施日や申込方法がわかりにくい」、中泉小学校区で「必要とする相談業務が実施されていない」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、50 歳代で「相談の実施日や申込方法がわかりにくい」、30 歳代で「必要とする相談業務が実施されていない」、60 歳以上で「相談体制が不十分」などが他の年齢層に比べ高くなっている。



		相談の実施日や申込方法がわかりにくい	相談体制が不十分	必要とする相談業務が実施されていない	その他	無回答
全体(n=156)		50.6	33.3	12.8	1.3	1.9
小学校区別	南小学校区(n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=12)	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0
	西小学校区(n=12)	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	東小学校区(n=15)	33.3	40.0	26.7	0.0	0.0
	新入小学校区(n=25)	52.0	48.0	0.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=27)	55.6	25.9	11.1	7.4	0.0
	上頓野小学校区(n=17)	52.9	29.4	17.6	0.0	0.0
	下境小学校区(n=8)	62.5	12.5	12.5	0.0	12.5
	福地小学校区(n=4)	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=14)	50.0	35.7	14.3	0.0	0.0
性別	男性(n=71)	45.1	36.6	14.1	2.8	1.4
	女性(n=84)	54.8	31.0	11.9	0.0	2.4
年齢別	20歳代(n=11)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=16)	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	40歳代(n=29)	51.7	27.6	13.8	3.4	3.4
	50歳代(n=27)	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0
	60～64歳(n=15)	46.7	40.0	0.0	6.7	6.7
	65歳以上(n=57)	43.9	38.6	15.8	0.0	1.8

25. 地域における子育て環境の充実

施策内容	・地域の子育てネットワークづくりの推進と子育て相談事業の充実。		
主な事業	・子育て相談、子育て広場事業 ・ファミリーサポートセンター事業　等		
満足度評価	0.13　（38施策中　12　位）	重要度評価	1.40　（38施策中　15　位）
散布図象限 （全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	0.04（37 施策中 15 位）	重要度評価	1.22（37 施策中 21 位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

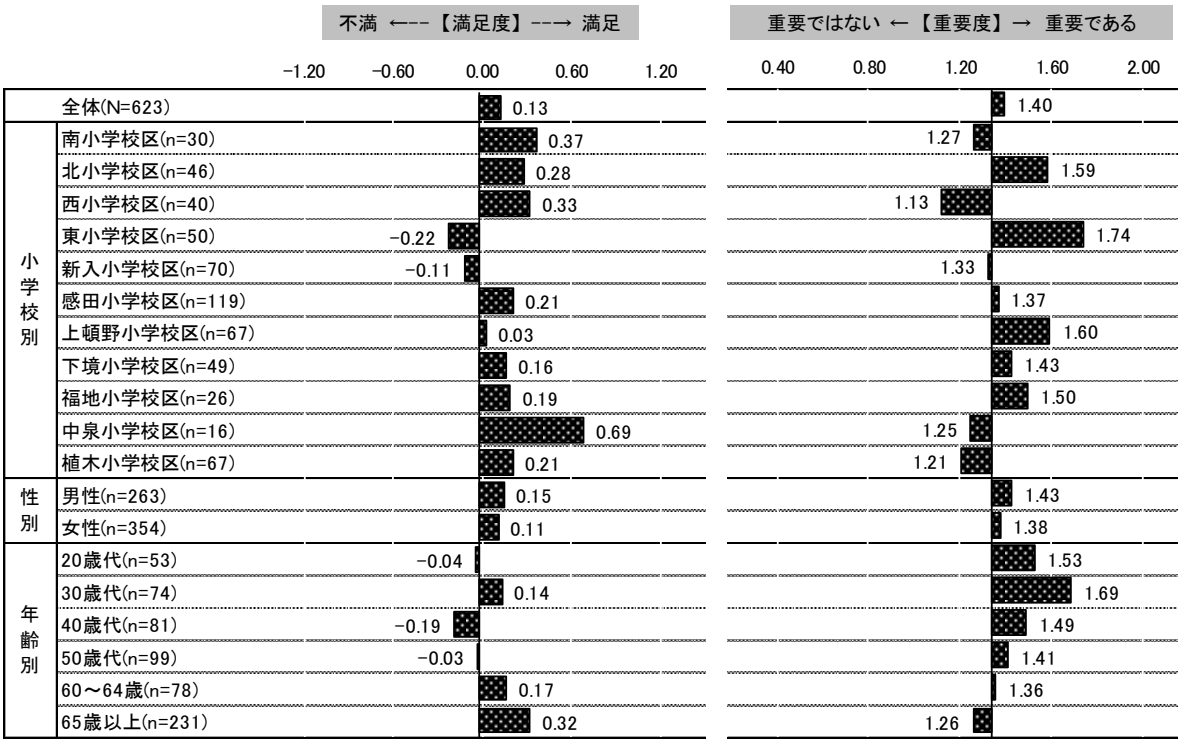
（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と異なり、満足度、重要度ともに中位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。

満足度は、中泉小学校区で最も高く、東、新入小学校区が相対的に低くなっている。年齢別では 65 歳以上が高く、40 歳代で低くなっている。

重要度は、東、上頓野小学校区などで高く、西、植木小学校区などで低くなっている。また、年齢別では 30 歳代では高いが、年齢層が高くなるほど低くなる傾向がある。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。



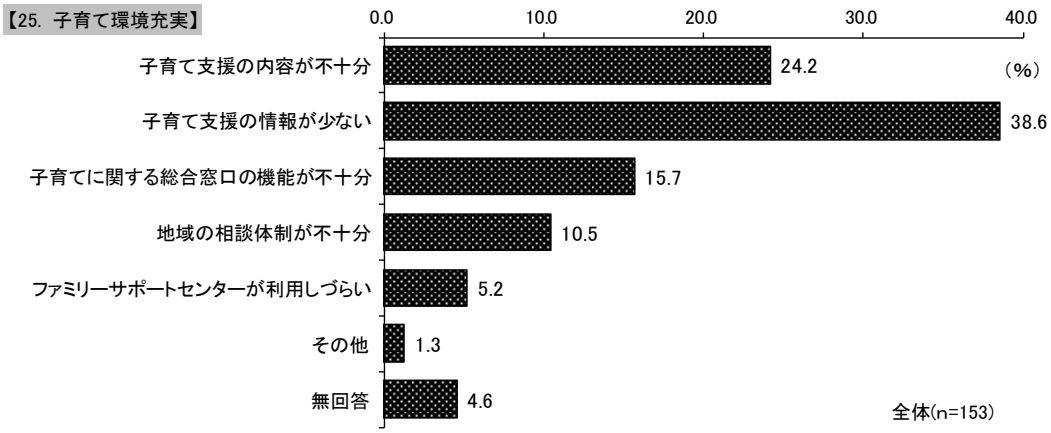
（２）不満の理由

不満の理由としては、「子育て支援の情報が少ない」が 38.6%と最も高く、次いで「子育て支援の内容が不十分」(24.2%)、「子育てに関する総合窓口の機能が不十分」(15.7%)の順となっている。

小学校区別では、新入、植木小学校区などで「子育て支援の内容が不十分」、北、中泉小学校区などで「子育て支援の情報が少ない」、東小学校区で「子育てに関する総合窓口の機能が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「子育て支援の内容が不十分」、20～30 歳代、60 歳代前半などで「子育て支援の情報が少ない」が他の年齢層に比べ高くなっている。

また、30 歳代では「ファミリーサポートセンターが利用しづらい」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		子育て支援の内容が不十分	子育て支援の情報が少ない	子育てに関する総合窓口の機能が不十分	地域の相談体制が不十分	ファミリーサポートセンターが利用しづらい	その他	無回答
全体(n=153)		24.2	38.6	15.7	10.5	5.2	1.3	4.6
小学校区別	南小学校区(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	北小学校区(n=9)	11.1	66.7	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=6)	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7
	東小学校区(n=21)	9.5	33.3	42.9	9.5	0.0	0.0	4.8
	新入小学校区(n=23)	47.8	30.4	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=27)	22.2	40.7	7.4	7.4	14.8	3.7	3.7
	上頓野小学校区(n=17)	23.5	41.2	17.6	11.8	0.0	5.9	0.0
	下境小学校区(n=13)	23.1	46.2	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7
	福地小学校区(n=6)	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
	中泉小学校区(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=14)	42.9	21.4	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=64)	17.2	42.2	18.8	10.9	4.7	1.6	4.7
	女性(n=88)	29.5	36.4	13.6	9.1	5.7	1.1	4.5
年齢別	20歳代(n=13)	38.5	46.2	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=26)	7.7	53.8	15.4	3.8	19.2	0.0	0.0
	40歳代(n=28)	21.4	39.3	17.9	14.3	3.6	0.0	3.6
	50歳代(n=28)	35.7	25.0	10.7	17.9	3.6	3.6	3.6
	60～64歳(n=18)	22.2	50.0	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6
	65歳以上(n=39)	25.6	30.8	17.9	12.8	2.6	0.0	10.3

26. 子育てにおける公的支援の充実

施策内容	・ひとり親家庭等への経済的支援と相談、学童保育の充実。乳幼児の健康診査、療育相談などの充実。		
主な事業	・児童手当扶助事務 ・乳幼児健康診査　等		
満足度評価	0.19　（38施策中　8　位）	重要度評価	1.42　（38施策中　13　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

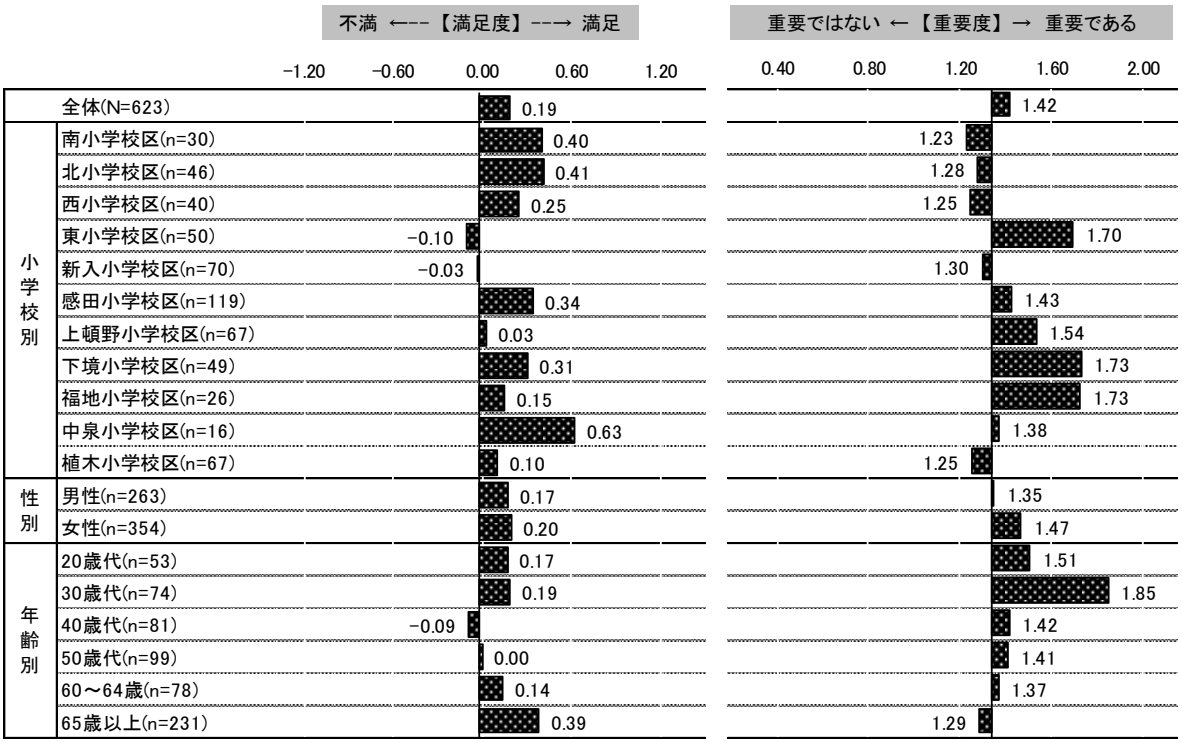
満足度評価	0.13（37 施策中８位）	重要度評価	1.32（37 施策中 18 位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。前回調査より、満足度、重要度ともに高くなっている。

満足度は、全体的にほぼ平均を上回り、中泉小学校区が最も高くなっているが、東、新入小学校区が相対的に低い。年齢別では 40 歳代が低くなっている。

重要度は、東、下境、福地小学校区などで高く、性別では女性、年齢別では、30 歳代が高くなっている。

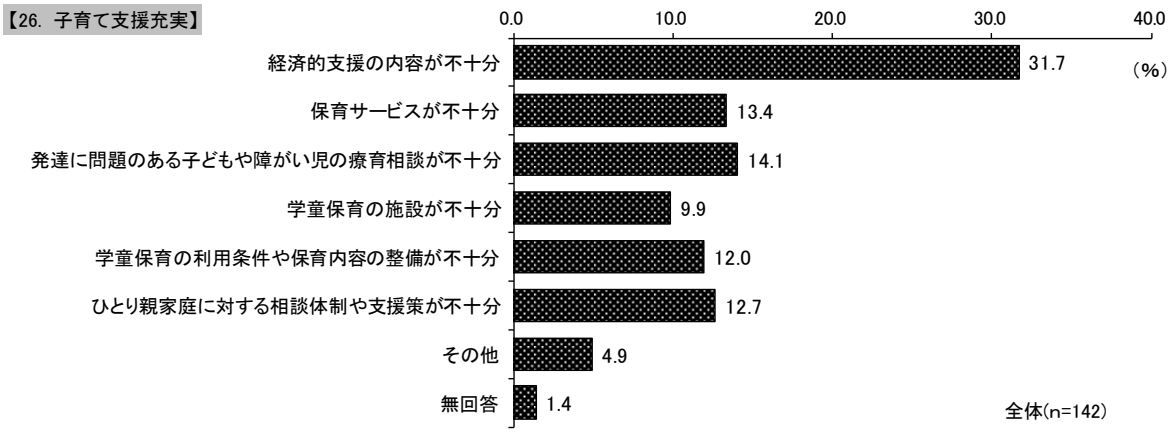


（２）不満の理由

不満の理由としては、「経済的支援の内容が不十分」31.7%が最も高く、次いで「発達に問題のある子どもや障がい児の療育相談が不十分」（14.1%）、「保育サービスが不十分」（13.4%）の順となっている。

小学校区別では、新入小学校区で「経済的支援の内容が不十分」、中泉小学校区では「発達に問題のある子どもや障がい児の療育相談が不十分」「学童保育の施設が不十分」、南小学校区で「保育サービスが不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、30 歳代で「経済的支援の内容が不十分」、50 歳代で「保育サービスが不十分」「発達に問題のある子どもや障がい児の療育相談が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		経済的支援の内容が不十分	保育サービスが不十分	発達に問題のある子どもや障がい児の療育相談が不十分	学童保育の施設が不十分	学童保育の利用条件や保育内容の整備が不十分	ひとり親家庭に対する相談体制や支援策が不十分	その他	無回答
全体(n=142)		31.7	13.4	14.1	9.9	12.0	12.7	4.9	1.4
小学校区別	南小学校区(n=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=7)	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	西小学校区(n=6)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	東小学校区(n=16)	43.8	6.3	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0
	新入小学校区(n=20)	45.0	5.0	15.0	20.0	10.0	5.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=24)	29.2	12.5	8.3	8.3	12.5	20.8	4.2	4.2
	上頓野小学校区(n=20)	25.0	20.0	20.0	0.0	10.0	15.0	10.0	0.0
	下境小学校区(n=12)	33.3	16.7	16.7	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3
	福地小学校区(n=9)	22.2	33.3	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=15)	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
性別	男性(n=62)	27.4	12.9	11.3	12.9	11.3	0.0	6.5	3.2
	女性(n=79)	34.2	13.9	16.5	7.6	12.7	11.4	3.8	0.0
年齢別	20歳代(n=13)	30.8	15.4	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0
	30歳代(n=22)	40.9	13.6	13.6	4.5	13.6	4.5	9.1	0.0
	40歳代(n=27)	37.0	7.4	14.8	11.1	11.1	14.8	3.7	0.0
	50歳代(n=28)	21.4	17.9	21.4	14.3	10.7	10.7	3.6	0.0
	60～64歳(n=18)	38.9	16.7	0.0	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6
	65歳以上(n=33)	24.2	12.1	15.2	6.1	9.1	24.2	6.1	3.0

27. 知・徳・体を育む教育の充実

施策内容	・幼児教育、学力の向上、感性を育む教育、体力の向上。		
主な事業	・14才チャレンジウィーク（職場体験活動） ・小学校における35人学級の実施 ・図書室ボランティアの配置　等		
満足度評価	0.12　（38施策中　13　位）	重要度評価	1.44　（38施策中　12　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

満足度評価	0.06（37 施策中 12 位）	重要度評価	1.39（37 施策中 14 位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

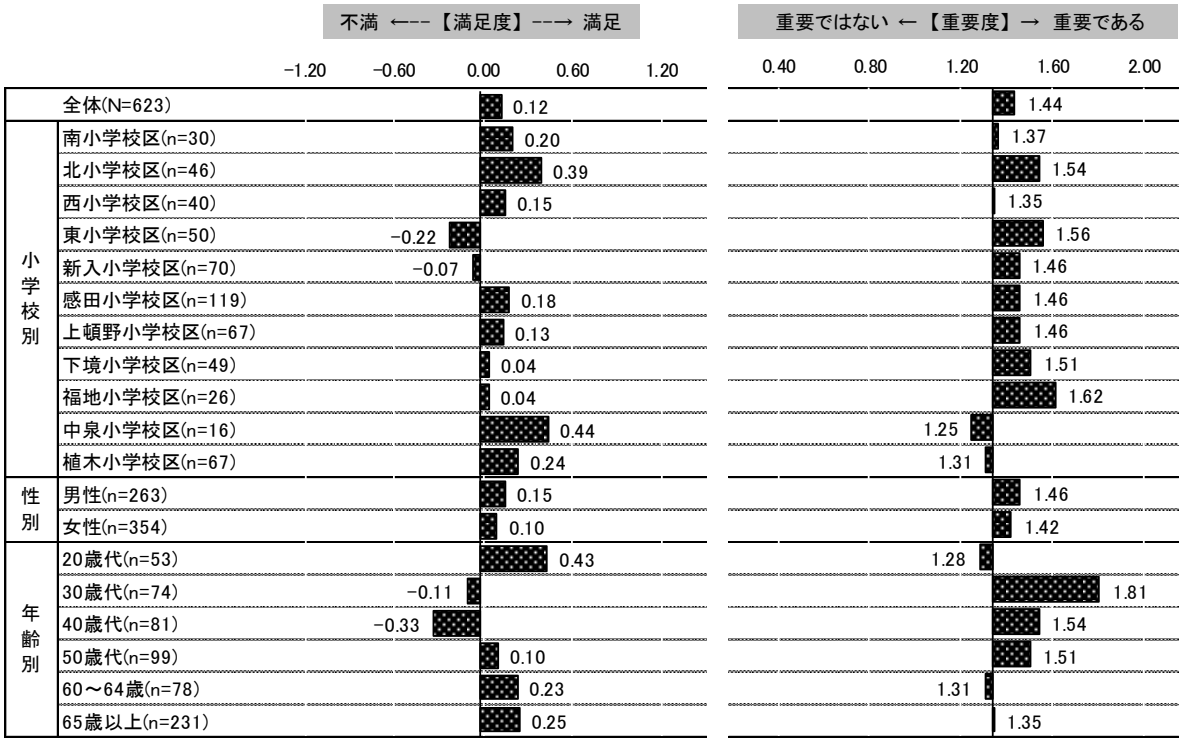
（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに高位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。前回調査より、満足度、重要度ともに高くなっている。

満足度は、北、中泉小学校区で高くなっている。年齢別では、20 歳代や 60 歳以上では平均を上回るが、30～40 歳代で低くなっている。

重要度は、中泉、植木小学校区で低く、年齢別では、30 歳代が最も高くなっている。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。

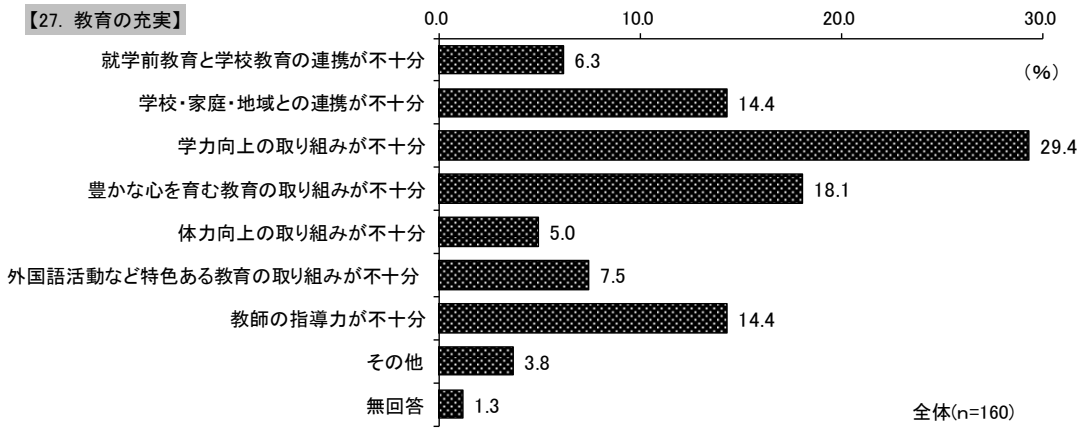


（２）不満の理由

不満の理由としては、「学力向上の取り組みが不十分」が 29.4％と最も高く、次いで「豊かな心を育む教育の取り組みが不十分」（18.1％）、「学校・家庭・地域との連携が不十分」（14.4％）、並んで「教師の指導力が不十分」（14.4％）の順となっている。

小学校区別では、下境小学校区で「学力向上の取り組みが不十分」、中泉小学校区で「就学前教育と学校教育の連携が不十分」「体力向上の取り組みが不十分」、福地小学校区で「学校・家庭・地域との連携が不十分」「豊かな心を育む教育の取り組みが不十分」、西小学校区で「教師の指導力が不十分」などの割合が他に比べ高く、地域差がみられる。

年齢別では、20 歳代、40 歳代で「学力向上の取り組みが不十分」、60 歳代前半で「豊かな心を育む教育の取り組みが不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		就学前教育と学校教育の連携が不十分	学校・家庭・地域との連携が不十分	学力向上の取り組みが不十分	豊かな心を育む教育の取り組みが不十分	体力向上の取り組みが不十分	外国語活動など特色ある教育の取り組みが不十分	教師の指導力が不十分	その他	無回答
全体(n=160)		6.3	14.4	29.4	18.1	5.0	7.5	14.4	3.8	1.3
小学校区別	南小学校区(n=7)	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	北小学校区(n=10)	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	西小学校区(n=10)	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=15)	0.0	6.7	33.3	26.7	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0
	新入小学校区(n=24)	20.8	12.5	25.0	20.8	0.0	4.2	16.7	0.0	0.0
	感田小学校区(n=28)	3.6	17.9	32.1	14.3	7.1	7.1	14.3	0.0	3.6
	上頓野小学校区(n=17)	0.0	5.9	11.8	29.4	5.9	17.6	23.5	5.9	0.0
	下境小学校区(n=13)	7.7	0.0	53.8	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0
	福地小学校区(n=9)	11.1	44.4	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=4)	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=16)	0.0	18.8	50.0	25.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
性別	男性(n=65)	6.2	20.0	29.2	20.0	1.5	3.1	15.4	3.1	1.5
	女性(n=95)	6.3	10.5	29.5	16.8	7.4	10.5	13.7	4.2	1.1
年齢別	20歳代(n=8)	0.0	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=25)	4.0	4.0	24.0	8.0	16.0	20.0	16.0	8.0	0.0
	40歳代(n=35)	2.9	14.3	42.9	8.6	11.4	2.9	17.1	0.0	0.0
	50歳代(n=27)	14.8	7.4	22.2	22.2	0.0	7.4	18.5	7.4	0.0
	60～64歳(n=18)	5.6	16.7	16.7	44.4	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
	65歳以上(n=47)	6.4	21.3	29.8	14.9	0.0	6.4	14.9	2.1	4.3

28. 教育環境の充実・強化

施策内容	・特別な教育的配慮が必要な子どもへの支援の充実。教育施設の計画的な耐震化及び適正な学校規模や配置の推進。		
主な事業	・特別支援教育にかかる支援員の配置 ・小中学校校舎耐震化事業　等		
満足度評価	0.08　（38施策中　15　位）	重要度評価	1.39　（38施策中　18　位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

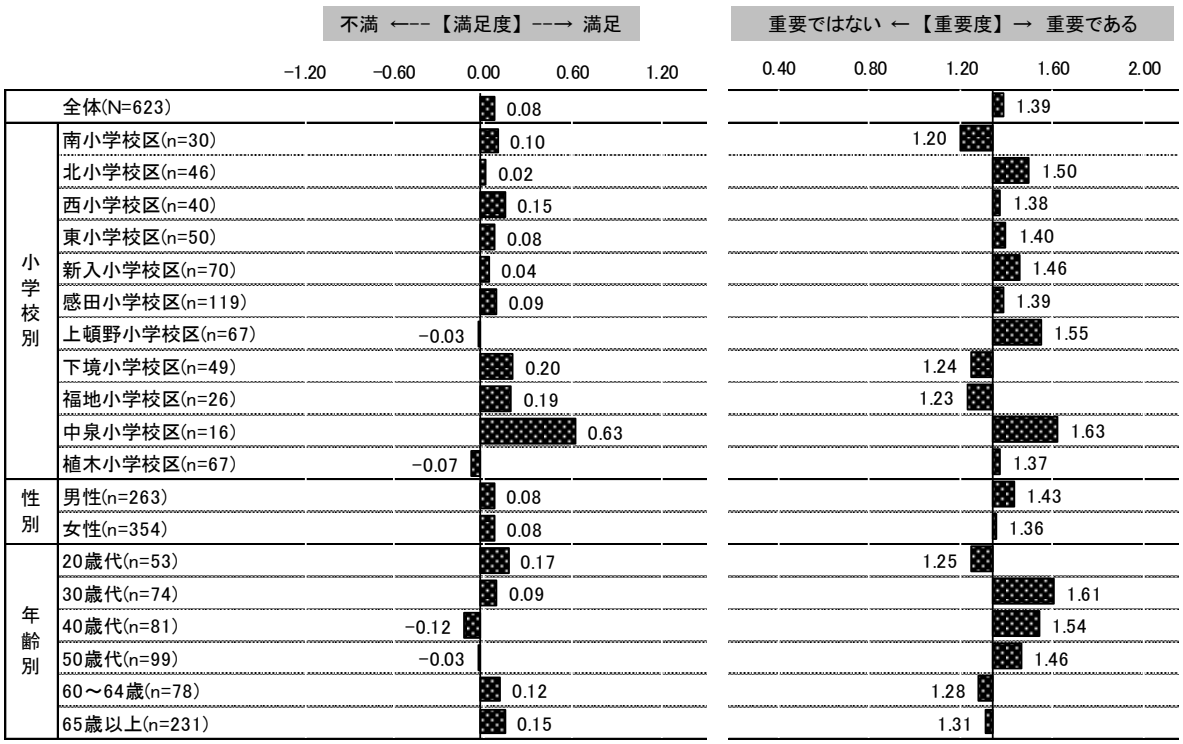
満足度評価	0.05（37 施策中 13 位）	重要度評価	1.39（37 施策中 14 位）
散布図象限（全体）	B	重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに中位にあり、現状の水準を維持していくことが必要な領域（B）に位置する。前回調査より、満足度の評価がやや高くなっている。

満足度は、全体的に平均をほぼ上回り、中泉小学校区で最も高く、年齢別では、20 歳代、65 歳以上で高くなっている。

重要度は、上頓野、中泉小学校区などで特に高く、下境、福地小学校区などで相対的に低い。性別では男性、年齢別では、30 歳代で高くなっている。

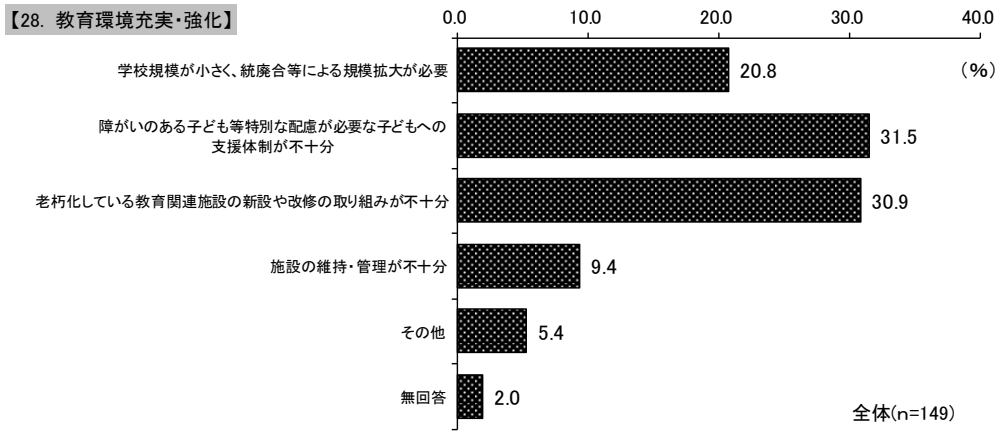


（２）不満の理由

不満の理由としては､｢障がいのある子ども等特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が不十分」が 31.5%と最も高く、ほぼ並んで「老朽化している教育関連施設の新設や改修の取り組みが不十分」（30.9%)、「学校規模が小さく、統廃合等による規模拡大が必要」（20.8%）の順となっている。

小学校区別では、下境小学校区で「老朽化している教育関連施設の新設や改修の取り組みが不十分」、西小学校区で「学校規模が小さく、統廃合等による規模拡大が必要」、中泉小学校区で「障がいのある子ども等特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では､20 歳代で｢老朽化している教育関連施設の新設や改修の取り組みが不十分」、30～50 歳代で「障がいのある子ども等特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が不十分」、60 歳以上で「学校規模が小さく、統廃合等による規模拡大が必要」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		学校規模が小さく、統廃合等による規模拡大が必要	障がいのある子ども等特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が不十分	老朽化している教育関連施設の新設や改修の取り組みが不十分	施設の維持・管理が不十分	その他	無回答
全体(n=149)		20.8	31.5	30.9	9.4	5.4	2.0
小学校区別	南小学校区(n=7)	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0
	北小学校区(n=13)	30.8	15.4	38.5	7.7	7.7	0.0
	西小学校区(n=7)	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=11)	9.1	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0
	新入小学校区(n=17)	23.5	41.2	23.5	5.9	5.9	0.0
	感田小学校区(n=28)	14.3	21.4	35.7	17.9	3.6	7.1
	上頓野小学校区(n=18)	22.2	44.4	16.7	5.6	11.1	0.0
	下境小学校区(n=9)	22.2	22.2	55.6	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=6)	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=22)	22.7	45.5	27.3	4.5	0.0	0.0
性別	男性(n=64)	25.0	26.6	29.7	10.9	4.7	3.1
	女性(n=84)	17.9	34.5	32.1	8.3	6.0	1.2
年齢別	20歳代(n=10)	20.0	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0
	30歳代(n=18)	5.6	38.9	33.3	16.7	5.6	0.0
	40歳代(n=28)	21.4	35.7	32.1	7.1	0.0	3.6
	50歳代(n=27)	14.8	33.3	33.3	11.1	7.4	0.0
	60～64歳(n=17)	29.4	17.6	23.5	11.8	17.6	0.0
	65歳以上(n=48)	27.1	31.3	27.1	6.3	4.2	4.2

29. 学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成

施策内容	・地域と連携した青少年の健全育成活動の推進と青少年を取り巻く社会環境の改善。		
主な事業	・青少年健全育成事業 ・成人式　等		
満足度評価	-0.08　（38施策中　23　位）	重要度評価	1.20　（38施策中　28　位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

満足度評価	−0.04（37 施策中 21 位）	重要度評価	1.14（37 施策中 26 位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

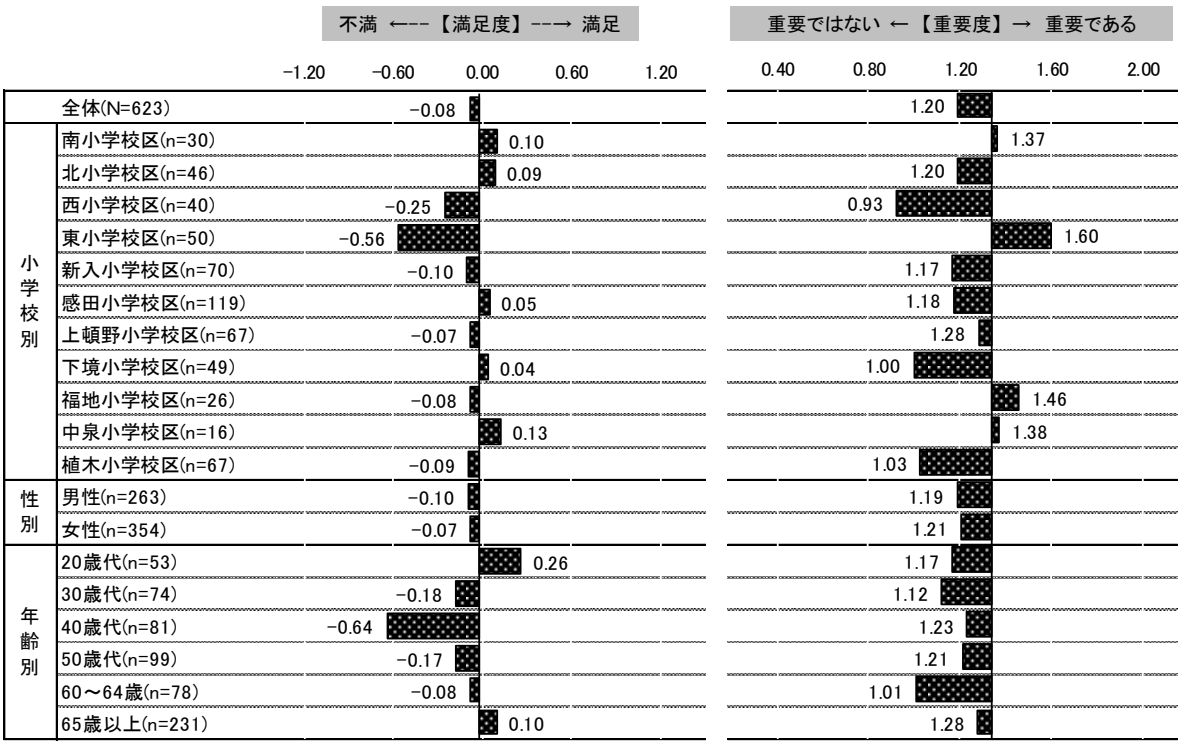
（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置するが、前回調査より、満足度はやや低く、重要度はやや高くなっている。

満足度は、小学校区別では東小学校区が、年齢別では 40 歳代が最も低くなっている。20 歳代、65 歳以上では平均を上回ってやや高くなっている。

重要度は、西、下境、植木小学校区などで、他に比べ低くなっているが、東小学校区で相対的に高くなっている。また、年齢別では全体的に平均を下回っている。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。

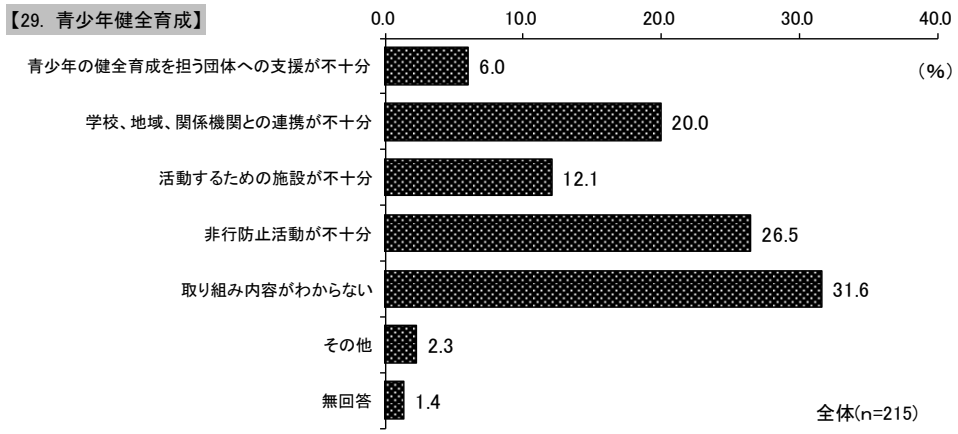


（２）不満の理由

不満の理由としては、「取り組み内容がわからない」が 31.6%と最も高く、次いで「非行防止活動が不十分」（26.5%）、「学校、地域、関係機関との連携が不十分」（20.0%）の順となっている。

小学校区別では、北小学校区で「取り組み内容がわからない」、西小学校区で「非行防止活動が不十分」、中泉、福地小学校区で「学校、地域、関係機関との連携が不十分」、また、中泉小学校区は「取り組み内容がわからない」も他に比べ高くなっている。

年齢別では、20～30 歳代で「非行防止活動が不十分」、30～50 歳代で「取り組み内容がわからない」、60 歳代前半で「学校、地域、関係機関との連携が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		青少年の健全育成を担う団体への支援が不十分	学校、地域、関係機関との連携が不十分	活動するための施設が不十分	非行防止活動が不十分	取り組み内容がわからない	その他	無回答
全体(n=215)		6.0	20.0	12.1	26.5	31.6	2.3	1.4
小学校区別	南小学校区(n=9)	11.1	0.0	11.1	33.3	44.4	0.0	0.0
	北小学校区(n=17)	5.9	11.8	5.9	23.5	52.9	0.0	0.0
	西小学校区(n=16)	0.0	6.3	12.5	43.8	37.5	0.0	0.0
	東小学校区(n=25)	4.0	28.0	8.0	32.0	28.0	0.0	0.0
	新入小学校区(n=24)	4.2	20.8	20.8	29.2	20.8	4.2	0.0
	感田小学校区(n=35)	0.0	31.4	11.4	17.1	31.4	5.7	2.9
	上頓野小学校区(n=23)	8.7	17.4	21.7	17.4	30.4	4.3	0.0
	下境小学校区(n=15)	13.3	6.7	6.7	33.3	40.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=10)	0.0	40.0	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=19)	21.1	21.1	15.8	26.3	15.8	0.0	0.0
性別	男性(n=95)	6.3	21.1	7.4	29.5	31.6	3.2	1.1
	女性(n=118)	5.9	18.6	15.3	24.6	32.2	1.7	1.7
年齢別	20歳代(n=10)	0.0	10.0	0.0	60.0	30.0	0.0	0.0
	30歳代(n=26)	3.8	15.4	3.8	38.5	38.5	0.0	0.0
	40歳代(n=47)	6.4	19.1	8.5	25.5	38.3	2.1	0.0
	50歳代(n=36)	5.6	19.4	19.4	16.7	36.1	2.8	0.0
	60～64歳(n=24)	4.2	29.2	16.7	20.8	25.0	4.2	0.0
	65歳以上(n=70)	8.6	20.0	12.9	25.7	25.7	2.9	4.3

30. 生涯学習の推進

施策内容	・公民館等の講座の充実と市民活動団体の育成支援。 学習の成果を活かすため、学校や高齢者施設等との交流の拡充。		
主な事業	・趣味の講座 ・ふれあい交流事業　等		
満足度評価	0.14　（38施策中　10　位）	重要度評価	0.95　（38施策中　33　位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

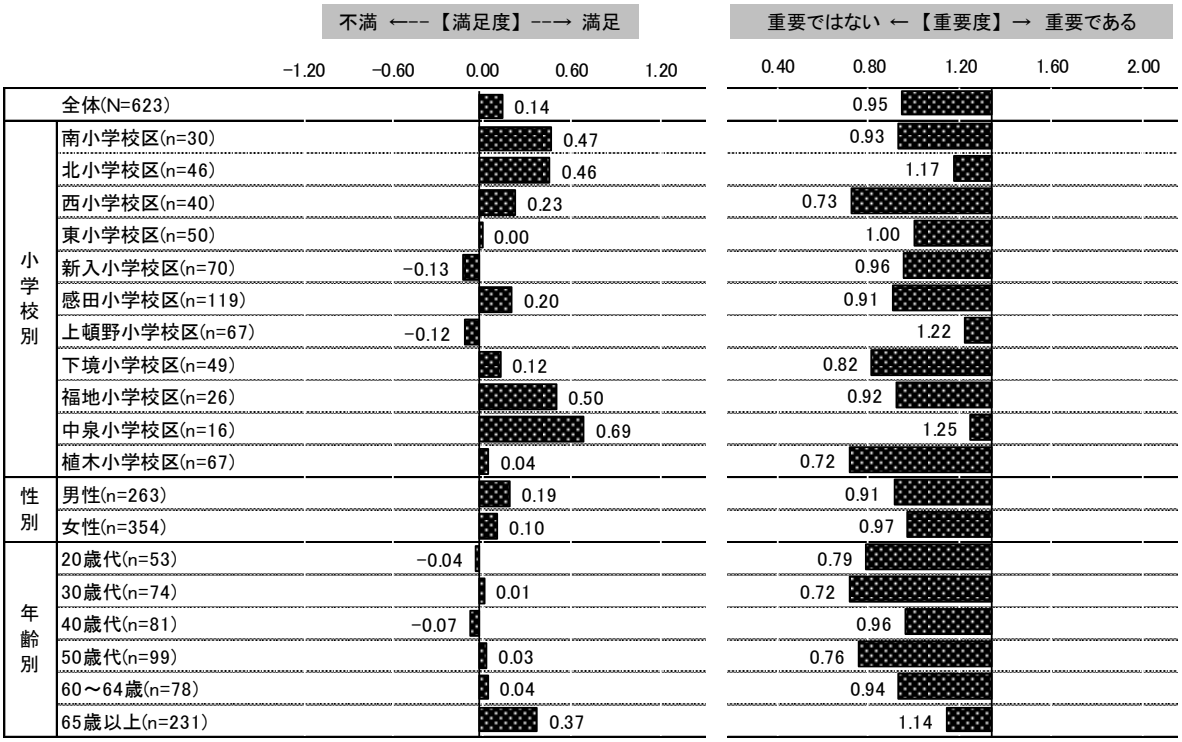
満足度評価	0.20（37 施策中６位）	重要度評価	0.86（37 施策中 32 位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度がやや低く、重要度がやや高くなっている。

満足度は、全体的に平均をほぼ上回り、中泉小学校区などで特に高く、年齢別では、65 歳以上などで高くなっている。

重要度は、すべての属性において平均を下回っている。特に、西、植木小学校区で低く、年齢別では 30 歳代、50 歳代で低くなっている。

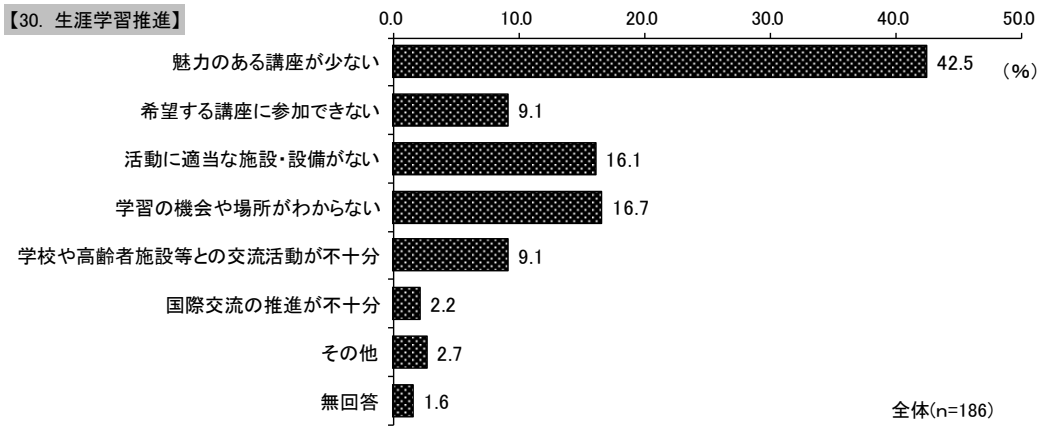


（２）不満の理由

不満の理由としては、「魅力のある講座が少ない」が 42.5%と最も高く、次いで「学習の機会や場所がわからない」（16.7%）、ほぼ並んで「活動に適当な施設・設備がない」（16.1%）の順となっている。

小学校区別では、南、福地小学校区などで「魅力のある講座が少ない」、上頓野小学校区で「学習の機会や場所がわからない」、中泉、植木小学校区で「活動に適当な施設・設備がない」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20～30 歳代で「学習の機会や場所がわからない」、30～40 歳代、60 歳代前半で「魅力のある講座が少ない」、40～50 歳代で「活動に適当な施設・設備がない」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		魅力のある講座が少ない	希望する講座に参加できない	活動に適当な施設・設備がない	学習の機会や場所がわからない	学校や高齢者施設等との交流活動が不十分	国際交流の推進が不十分	その他	無回答
全体(n=186)		42.5	9.1	16.1	16.7	9.1	2.2	2.7	1.6
小学校区別	南小学校区(n=4)	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=10)	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=10)	50.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	東小学校区(n=20)	60.0	0.0	20.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	新入小学校区(n=33)	33.3	15.2	18.2	18.2	12.1	0.0	3.0	0.0
	感田小学校区(n=30)	40.0	6.7	10.0	16.7	16.7	6.7	3.3	0.0
	上頓野小学校区(n=27)	33.3	11.1	7.4	25.9	11.1	3.7	7.4	0.0
	下境小学校区(n=14)	42.9	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=19)	36.8	5.3	31.6	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=78)	34.6	6.4	20.5	19.2	10.3	0.0	3.8	1.3
	女性(n=107)	48.6	11.2	12.1	15.0	8.4	0.9	1.9	1.9
年齢別	20歳代(n=16)	31.3	12.5	18.8	31.3	0.0	0.0	0.0	6.3
	30歳代(n=19)	52.6	0.0	5.3	31.6	5.3	5.3	0.0	0.0
	40歳代(n=28)	50.0	10.7	21.4	7.1	3.6	3.6	3.6	0.0
	50歳代(n=31)	35.5	12.9	22.6	12.9	9.7	3.2	3.2	0.0
	60～64歳(n=27)	51.9	3.7	14.8	18.5	7.4	0.0	3.7	0.0
	65歳以上(n=64)	39.1	10.9	12.5	14.1	15.6	1.6	3.1	3.1

31. 文化の振興

施策内容	・文化活動への参加機会の充実、文化団体の育成支援。文化遺産や文化財の保存・整備の推進。			
主な事業	・市民文化祭 ・埋蔵文化財試掘、確認調査　等			
満足度評価	0.14　（38施策中　10　位）		重要度評価	0.78　（38施策中　38　位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

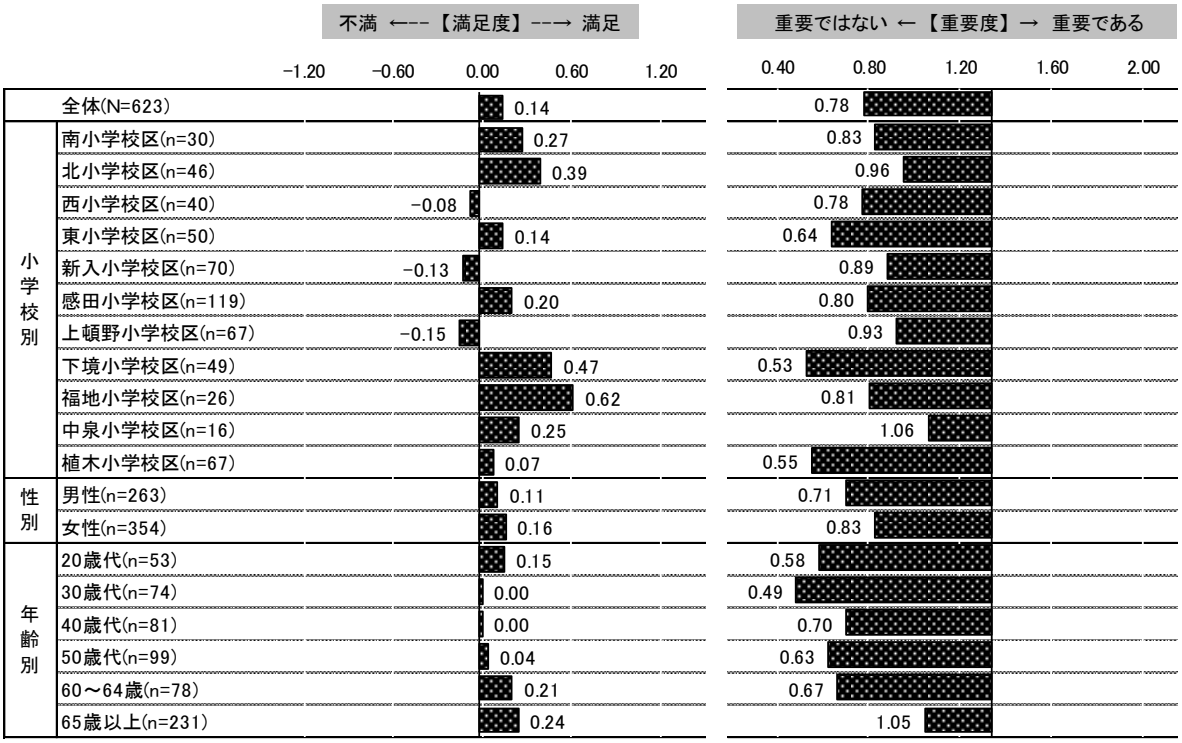
満足度評価	0.19（37 施策中 7 位）	重要度評価	0.62（37 施策中 37 位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度評価がやや低く、重要度評価がやや高くなっている。

満足度は、全体的に平均をほぼ上回り、福地小学校区が最も高くなっているが、新入、上頓野小学校区などが相対的に低くなっている。

重要度は、すべての属性において平均を大きく下回り、特に、下境、植木小学校区などで低くなっている。性別では男性、年齢別では 30 歳代が特に低くなっている。

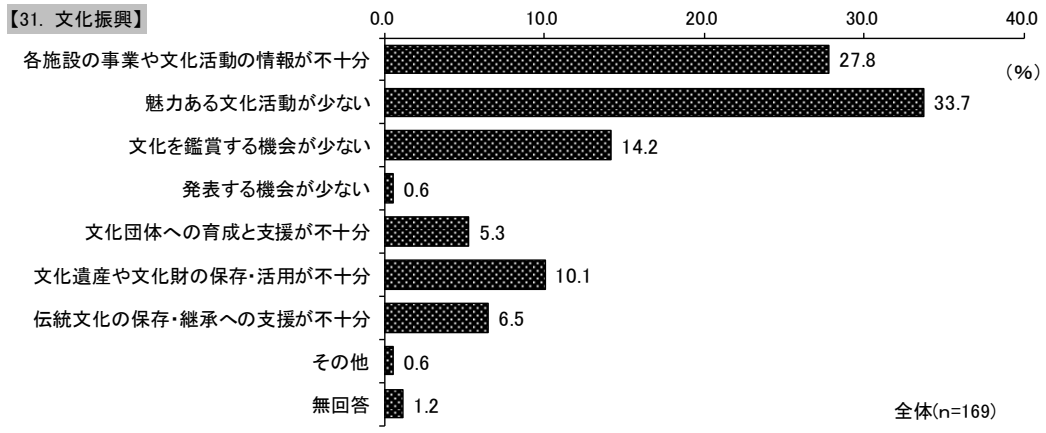


（２）不満の理由

不満の理由としては、「魅力ある文化活動が少ない」が 33.7%と最も高く、次いで「各施設の事業や文化活動の情報が不十分」(27.8%)、「文化を鑑賞する機会が少ない」(14.2%)の順となっている。

小学校区別では、南、福地小学校区で「魅力ある文化活動が少ない」、北小学校区で「文化を鑑賞する機会が少ない」、西、下境小学校区で「各施設の事業や文化活動の情報が不十分」、中泉小学校区で「文化遺産や文化財の保存・活用が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「魅力ある文化活動が少ない」、30 歳代、50～60 歳代前半で「各施設の事業や文化活動の情報が不十分」、30 歳代で「文化を鑑賞する機会が少ない」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		各施設の事業や文化活動の情報が不十分	魅力ある文化活動が少ない	文化を鑑賞する機会が少ない	発表する機会が少ない	文化団体への育成と支援が不十分	文化遺産や文化財の保存・活用が不十分	伝統文化の保存・継承への支援が不十分	その他	無回答
全体(n=169)		27.8	33.7	14.2	0.6	5.3	10.1	6.5	0.6	1.2
小学校区別	南小学校区(n=6)	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=11)	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0
	西小学校区(n=13)	38.5	7.7	7.7	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=16)	18.8	43.8	25.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
	新入小学校区(n=29)	24.1	48.3	10.3	0.0	10.3	3.4	3.4	0.0	0.0
	感田小学校区(n=27)	37.0	33.3	11.1	0.0	7.4	3.7	7.4	0.0	0.0
	上頓野小学校区(n=25)	32.0	24.0	16.0	0.0	4.0	12.0	8.0	4.0	0.0
	下境小学校区(n=7)	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=17)	17.6	35.3	17.6	5.9	0.0	0.0	17.6	0.0	5.9
性別	男性(n=76)	27.6	26.3	13.2	1.3	7.9	11.8	9.2	1.3	1.3
	女性(n=92)	27.2	40.2	15.2	0.0	3.3	8.7	4.3	0.0	1.1
年齢別	20歳代(n=12)	25.0	50.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
	30歳代(n=19)	31.6	21.1	21.1	0.0	0.0	15.8	10.5	0.0	0.0
	40歳代(n=23)	21.7	26.1	17.4	0.0	8.7	17.4	4.3	0.0	4.3
	50歳代(n=28)	42.9	35.7	3.6	0.0	0.0	10.7	7.1	0.0	0.0
	60～64歳(n=21)	42.9	28.6	9.5	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0	0.0
	65歳以上(n=65)	16.9	38.5	20.0	0.0	7.7	9.2	4.6	1.5	1.5

32. スポーツ・レクリエーションの振興

施策内容	・年齢や体力に応じた各種スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実。 スポーツ指導者の育成。			
主な事業	・スポーツ推進委員設置事業 ・スポーツ少年団補助金　等			
満足度評価	0.06　（38施策中　16　位）		重要度評価	0.90　（38施策中　35　位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

満足度評価	0.04（37 施策中 15 位）	重要度評価	0.65（37 施策中 36 位）
散布図象限 （全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

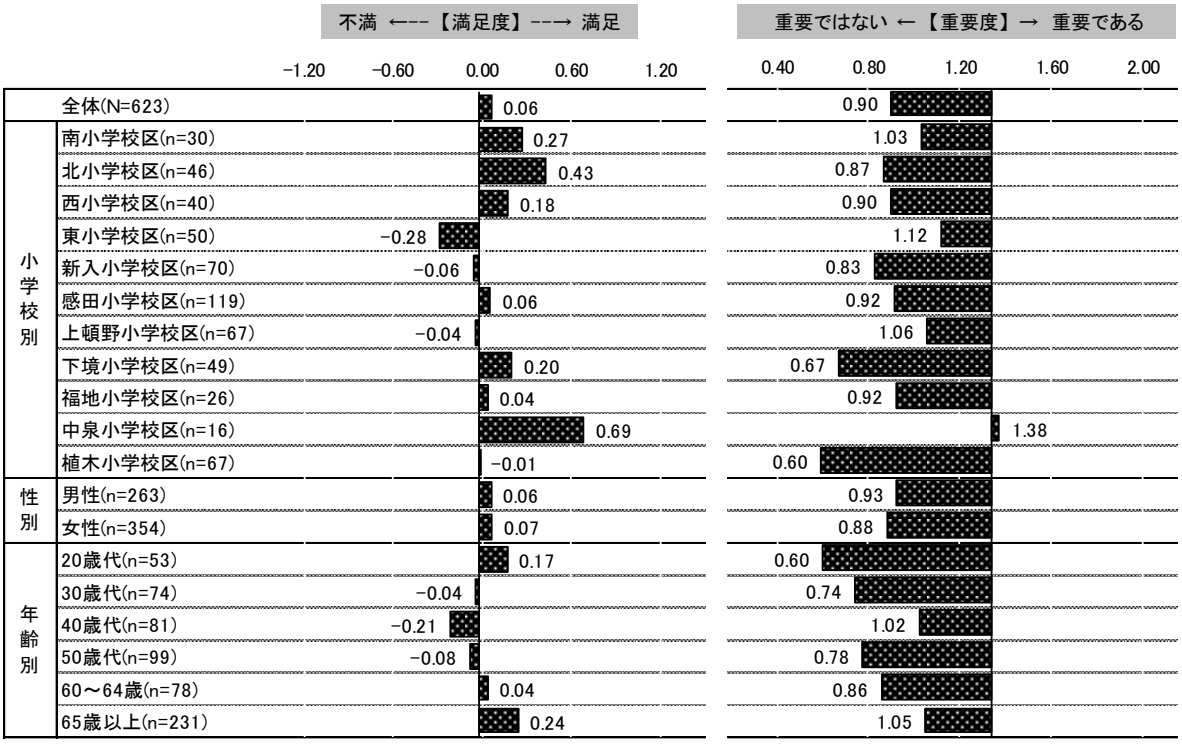
（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度ともにやや高くなっている。

満足度は、北、中泉小学校区などで高く、東小学校区で低くなっている。年齢別では、65 歳以上が高く、40 歳代が相対的に低くなっている。

重要度は、中泉小学校区を除いて全体的に平均を下回り、特に、下境、植木小学校区などで低い。また、年齢別では 20 歳代が最も低くなっている。

性別では、満足度、重要度ともに大きな差は見られない。

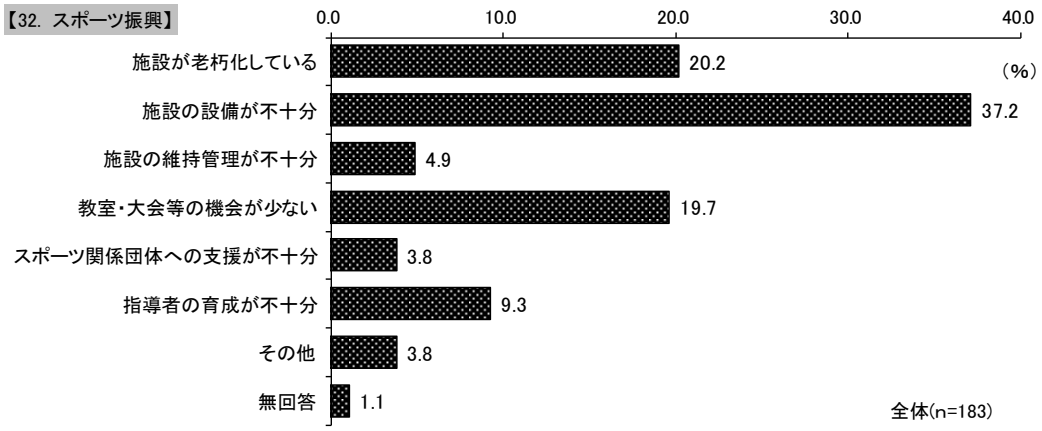


（２）不満の理由

不満の理由としては、「施設の設備が不十分」が 37.2%と最も高く、次いで「施設が老朽化している」(20.2%)、ほぼ並んで「教室・大会等の機会が少ない」(19.7%) の順となっている。

小学校区別では、感田、福地小学校区で「施設の設備が不十分」、中泉小学校区で「施設が老朽化している」「教室・大会等の機会が少ない」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代、40～50 歳代で「施設が老朽化している」、60 歳代前半で「施設の設備が不十分」「教室・大会等の機会が少ない」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		施設が老朽化している	施設の設備が不十分	施設の維持管理が不十分	教室・大会等の機会が少ない	スポーツ関係団体への支援が不十分	指導者の育成が不十分	その他	無回答
全体(n=183)		20.2	37.2	4.9	19.7	3.8	9.3	3.8	1.1
小学校区別	南小学校区(n=8)	25.0	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=10)	20.0	20.0	10.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=11)	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
	東小学校区(n=25)	20.0	28.0	4.0	32.0	4.0	8.0	4.0	0.0
	新入小学校区(n=23)	21.7	39.1	4.3	21.7	0.0	13.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=33)	18.2	48.5	3.0	12.1	3.0	12.1	0.0	3.0
	上頓野小学校区(n=21)	23.8	33.3	4.8	14.3	9.5	9.5	0.0	4.8
	下境小学校区(n=13)	23.1	38.5	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0
	福地小学校区(n=6)	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=21)	14.3	33.3	4.8	28.6	4.8	4.8	9.5	0.0
性別	男性(n=85)	17.6	40.0	8.2	17.6	3.5	0.0	2.4	2.4
	女性(n=96)	22.9	34.4	2.1	21.9	3.1	10.4	5.2	0.0
年齢別	20歳代(n=13)	30.8	30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0
	30歳代(n=23)	21.7	30.4	8.7	13.0	0.0	13.0	13.0	0.0
	40歳代(n=32)	31.3	37.5	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0
	50歳代(n=35)	31.4	28.6	0.0	20.0	11.4	5.7	2.9	0.0
	60～64歳(n=23)	0.0	60.9	0.0	34.8	0.0	4.3	0.0	0.0
	65歳以上(n=55)	12.7	36.4	9.1	18.2	1.8	14.5	3.6	3.6

33. 人権尊重の教育・啓発の推進

施策内容	・市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向けた人権教育、啓発事業の推進。			
主な事業	・啓発パンフレットの配布 ・人権週間啓発活動の実施　等			
満足度評価	0.23　（38施策中　5　位）		重要度評価	0.95　（38施策中　34　位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

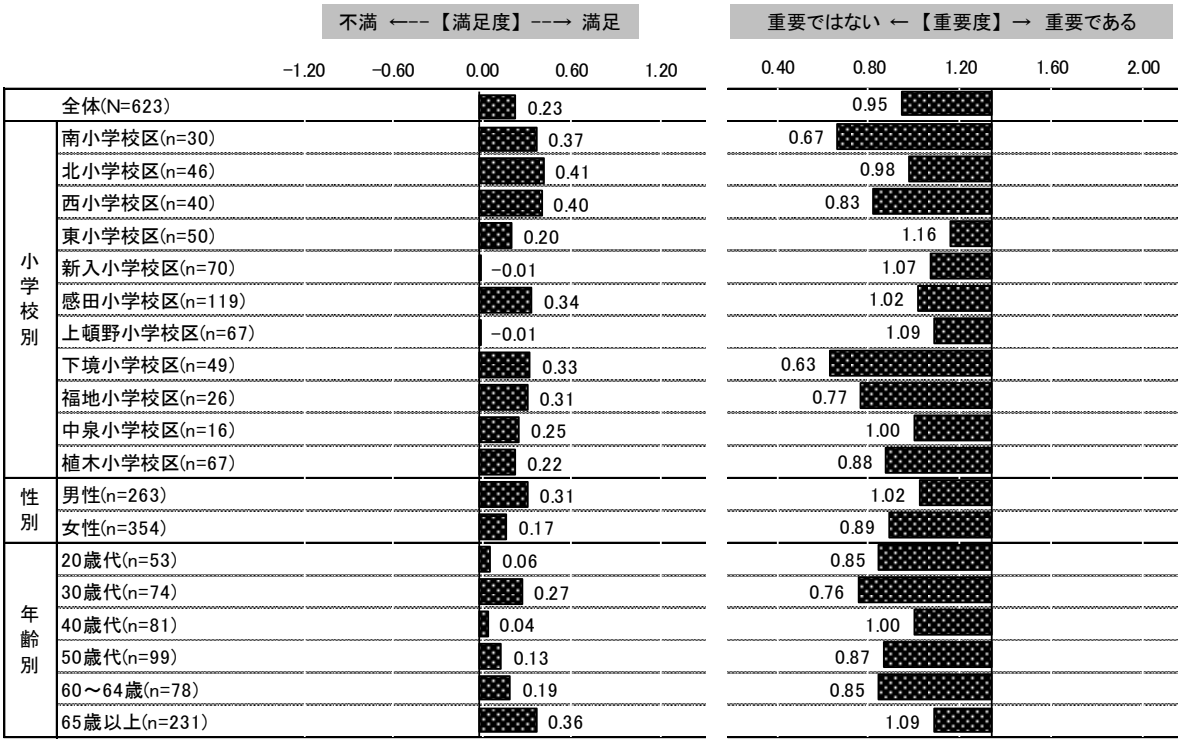
満足度評価	0.08（37 施策中 11 位）	重要度評価	0.67（37 施策中 35 位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度ともに高くなっている。

満足度は、全体的に平均を上回っているが、新入、上頓野小学校区が他に比べ低くなっている。

重要度は、全体的に平均を下回り、特に、南、下境小学校区が低くなっている。性別では女性、年齢別では 30 歳代が低くなっている

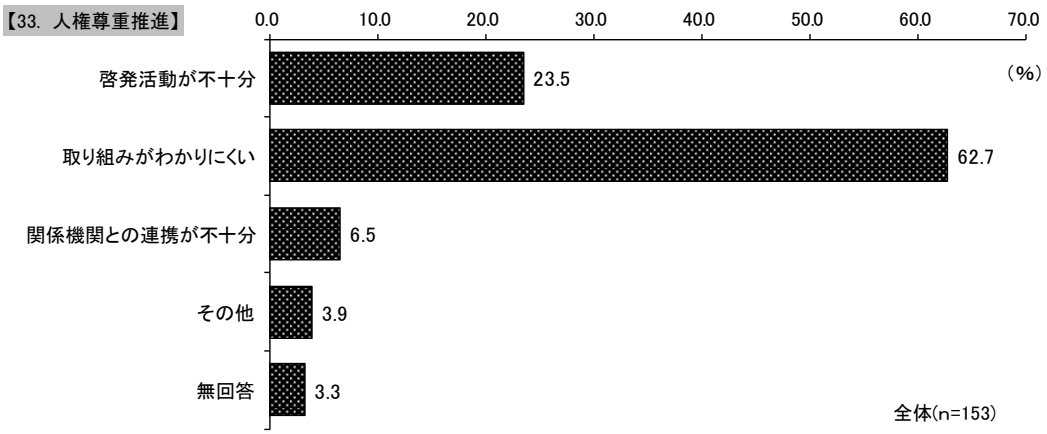


（２）不満の理由

不満の理由としては、「取り組みがわかりにくい」が 62.7%と突出し、次いで「啓発活動が不十分」(23.5%）の順となっている。

小学校区別では、南、東、下境小学校区などで「取り組みがわかりにくい」、中泉小学校区で「啓発活動が不十分」、福地小学校区で「関係機関との連携が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20～30 歳代、60 歳代前半で「取り組みがわかりにくい」、30 歳代で「関係機関との連携が不十分」、40 歳代で「啓発活動が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		啓発活動が不十分	取り組みがわかりにくい	関係機関との連携が不十分	その他	無回答
全体(n=153)		23.5	62.7	6.5	3.9	3.3
小学校区別	南小学校区(n=4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	北小学校区(n=12)	25.0	58.3	8.3	8.3	0.0
	西小学校区(n=7)	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3
	東小学校区(n=13)	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0
	新入小学校区(n=24)	20.8	66.7	8.3	0.0	4.2
	感田小学校区(n=26)	23.1	65.4	7.7	0.0	3.8
	上頓野小学校区(n=21)	19.0	66.7	4.8	9.5	0.0
	下境小学校区(n=11)	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0
	福地小学校区(n=6)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=5)	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=13)	38.5	53.8	7.7	0.0	0.0
性別	男性(n=61)	31.1	55.7	4.9	4.9	3.3
	女性(n=91)	17.6	68.1	7.7	3.3	3.3
年齢別	20歳代(n=15)	13.3	86.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=15)	20.0	66.7	13.3	0.0	0.0
	40歳代(n=21)	42.9	42.9	9.5	4.8	0.0
	50歳代(n=29)	24.1	62.1	6.9	6.9	0.0
	60～64歳(n=19)	15.8	68.4	0.0	5.3	10.5
	65歳以上(n=53)	20.8	62.3	7.5	3.8	5.7

34. 男女共同参画社会の推進

施策内容	・男女が共同して社会を支えていくための意識啓発や教育・生活環境づくりの推進。女性相談の充実。			
主な事業	・各種講座等啓発事業 ・団体の活動支援や交流支援　等			
満足度評価	0.22　（38施策中　6　位）	重要度評価	0.85　（38施策中　36　位）	
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

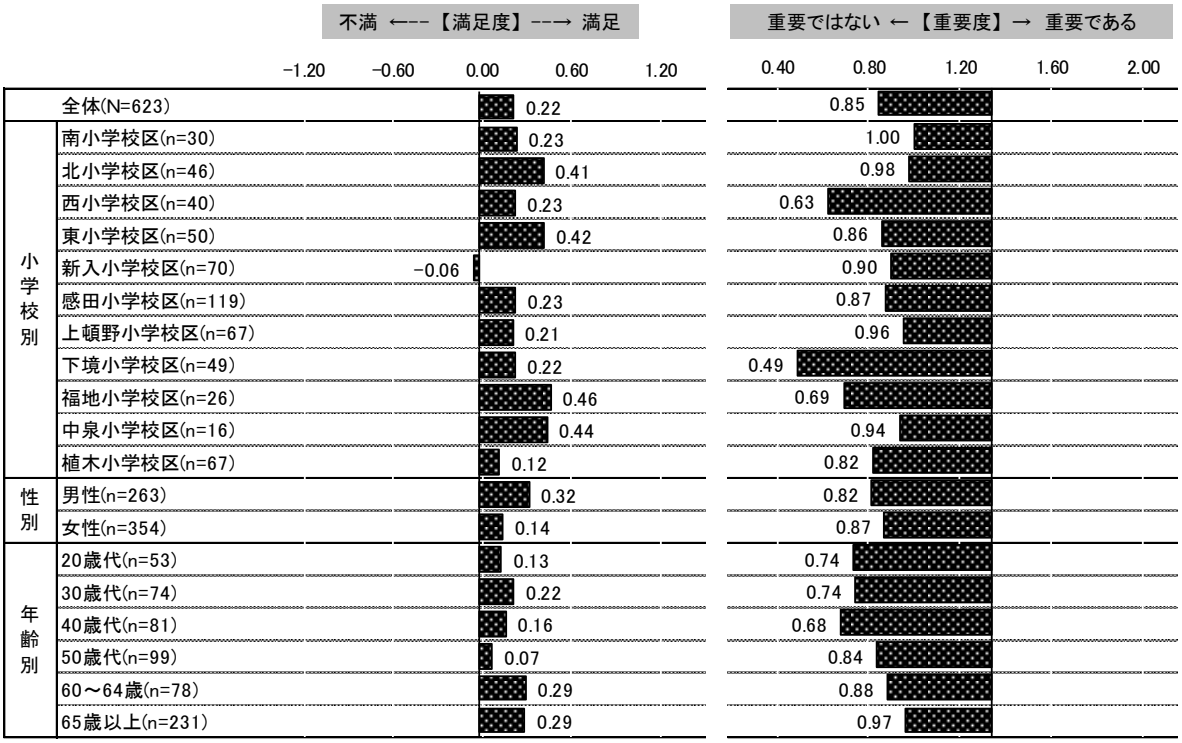
満足度評価	0.10（37 施策中 10 位）	重要度評価	0.71（37 施策中 34 位）
散布図象限（全体）	C	重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度は高いが、重要度は低く、現状維持・見直しの領域（C）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度ともに高くなっている。

満足度は、新入小学校区を除いて全体的に平均を上回り、特に、小学校区では、福地、中泉小学校区、性別では男性、年齢別では 60 歳以上が高くなっている。

重要度は、全体的に平均を下回っているが、特に、下境小学校区、年齢別では 40 歳代が低くなっている。性別では大きな差は見られない。

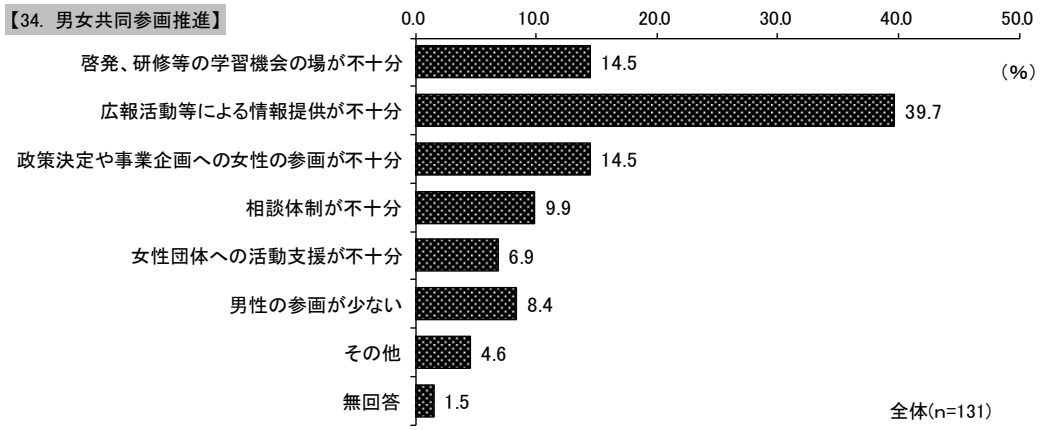


（２）不満の理由

不満の理由としては、「広報活動等による情報提供が不十分」が 39.7％と突出している。次いで「啓発、研修等の学習機会の場が不十分」（14.5％）、並んで「政策決定や事業企画への女性の参画が不十分」（14.5％）の順となっている。

小学校区別では、福地、中泉小学校区で「広報活動等による情報提供が不十分」、北小学校区で「政策決定や事業企画への女性の参画が不十分」、新入小学校区で「啓発、研修等の学習機会の場が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、30 歳代、60 歳代前半で「広報活動等による情報提供が不十分」、50 歳代で「政策決定や事業企画への女性の参画が不十分」「啓発、研修等の学習機会の場が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		啓発、研修等の学習機会の場が不十分	広報活動等による情報提供が不十分	政策決定や事業企画への女性の参画が不十分	相談体制が不十分	女性団体への活動支援が不十分	男性の参画が少ない	その他	無回答
全体(n=131)		14.5	39.7	14.5	9.9	6.9	8.4	4.6	1.5
小学校区別	南小学校区(n=5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	北小学校区(n=9)	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	西小学校区(n=7)	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	東小学校区(n=9)	11.1	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	新入小学校区(n=25)	24.0	44.0	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0	0.0
	感田小学校区(n=22)	4.5	36.4	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	4.5
	上頓野小学校区(n=13)	7.7	38.5	0.0	23.1	7.7	15.4	7.7	0.0
	下境小学校区(n=11)	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0
	福地小学校区(n=6)	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=14)	14.3	57.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=47)	14.9	31.9	12.8	10.6	8.5	0.0	6.4	2.1
	女性(n=83)	14.5	44.6	15.7	9.6	4.8	6.0	3.6	1.2
年齢別	20歳代(n=12)	0.0	33.3	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0
	30歳代(n=14)	21.4	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0
	40歳代(n=14)	7.1	42.9	21.4	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0
	50歳代(n=26)	23.1	42.3	23.1	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0
	60～64歳(n=15)	20.0	53.3	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	65歳以上(n=49)	12.2	30.6	14.3	16.3	6.1	12.2	4.1	4.1

35. 時代をリードし成長する工業

施策内容	・企業誘致の推進。直鞍産業振興センターと連携した地場企業の技術開発支援や自動車産業等新分野への進出支援。		
主な事業	・産業振興事業 ・企業誘致事業　等		
満足度評価	-0.30　（38施策中　32　位）	重要度評価	1.33　（38施策中　22　位）
散布図象限（全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

【参考資料／前回調査結果(平成 24 年 9 月実施)】

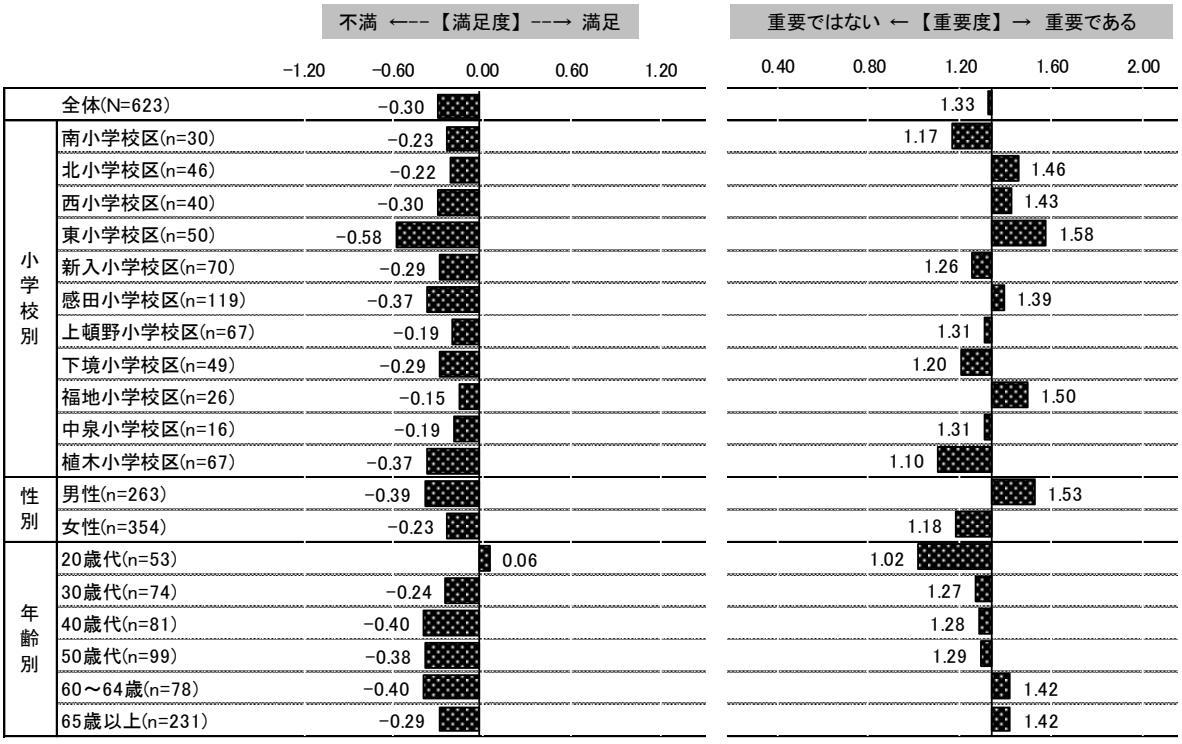
満足度評価	−0.24（37 施策中 31 位）	重要度評価	1.36（37 施策中 17 位）
散布図象限（全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

前回調査と異なり、満足度、重要度ともにやや低くなり、改善・見直しの領域（D）に位置する。、

満足度は、20 歳代を除いて全体的に平均を下回り、東小学校区で特に低くなっている。性別では男性でやや低く、年齢別では 40 歳以上の年齢層で低くなっている。

重要度は、東、福地小学校区などでは高いが、植木小学校区などでは低くなっている。性別では男性で高く、年齢別では、年齢が上がるほど高くなる傾向にある。

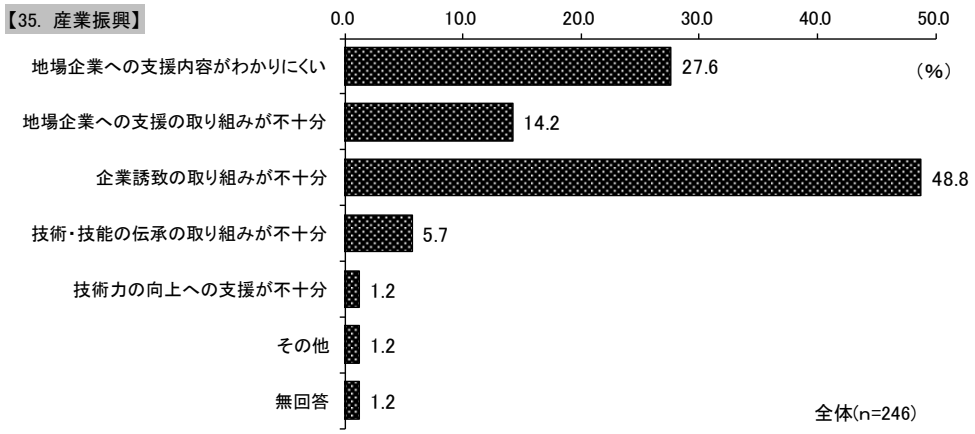


（２）不満の理由

不満の理由としては、「企業誘致の取り組みが不十分」が 48.8％と最も高く、次いで「地場企業への支援内容がわかりにくい」（27.6％）の順となっている。

小学校区別では、西、下境小学校区で「地場企業への支援内容がわかりにくい」、東小学校区で「地場企業への支援の取り組みが不十分」、南、北、中泉小学校区で「企業誘致の取り組みが不十分」、また、中泉小学校区でも「地場企業への支援の取り組みが不十分」が他に比べ高くなっている。

性別では、男性において「企業誘致の取り組みが不十分」の割合が高い。年齢別では、40 歳代、65 歳以上で「企業誘致の取り組みが不十分」、20～40 歳代で「地場企業への支援内容がわかりにくい」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		地場企業への支援内容がわかりにくい	地場企業への支援の取り組みが不十分	企業誘致の取り組みが不十分	技術・技能の伝承の取り組みが不十分	技術力の向上への支援が不十分	その他	無回答
全体(n=246)		27.6	14.2	48.8	5.7	1.2	1.2	1.2
小学校区別	南小学校区(n=12)	16.7	0.0	58.3	16.7	0.0	8.3	0.0
	北小学校区(n=19)	15.8	21.1	63.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=16)	37.5	18.8	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
	東小学校区(n=26)	15.4	34.6	38.5	7.7	0.0	0.0	3.8
	新入小学校区(n=28)	28.6	10.7	50.0	3.6	3.6	3.6	0.0
	感田小学校区(n=49)	30.6	10.2	53.1	0.0	4.1	0.0	2.0
	上頓野小学校区(n=23)	26.1	4.3	43.5	17.4	0.0	4.3	4.3
	下境小学校区(n=19)	36.8	0.0	57.9	5.3	0.0	0.0	0.0
	福地小学校区(n=11)	18.2	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=6)	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=25)	32.0	16.0	44.0	8.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=121)	22.3	11.6	57.0	5.0	2.5	0.8	0.8
	女性(n=123)	32.5	17.1	40.7	6.5	0.0	1.6	1.6
年齢別	20歳代(n=14)	35.7	21.4	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=23)	34.8	13.0	43.5	4.3	4.3	0.0	0.0
	40歳代(n=32)	31.3	12.5	53.1	3.1	0.0	0.0	0.0
	50歳代(n=44)	22.7	22.7	40.9	9.1	0.0	4.5	0.0
	60～64歳(n=33)	24.2	24.2	36.4	6.1	0.0	3.0	6.1
	65歳以上(n=97)	25.8	7.2	58.8	5.2	2.1	0.0	1.0

36. 市民の暮らしの担い手となる商業とサービス産業

施策内容	・空店舗を活用した中心市街地商店街の活性化推進。医療と商業の連携。			
主な事業	・中心市街地商店街等商業活性化事業 ・ビストロ直方運営支援事業　等			
満足度評価	-0.75　（38施策中　38　位）		重要度評価	1.34　（38施策中　21　位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

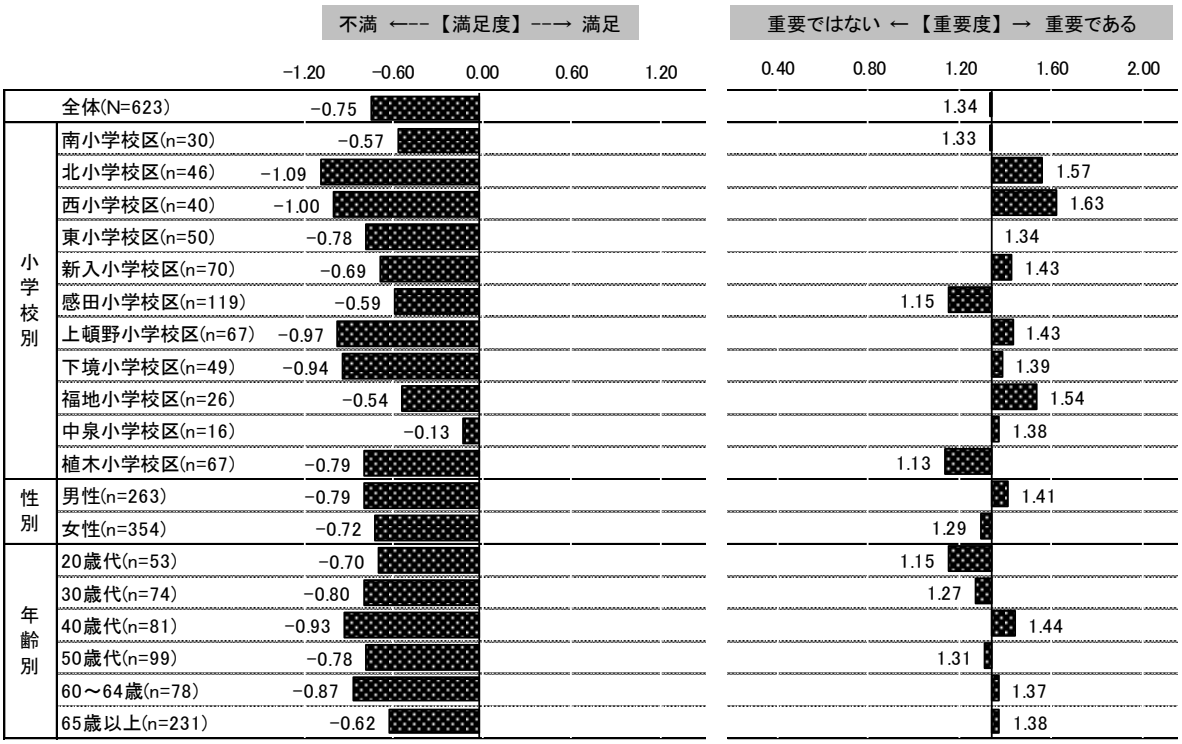
満足度評価	−0.59（37 施策中 37 位）	重要度評価	1.37（37 施策中 16 位）
散布図象限 （全体）	A	重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、重点化・見直しの領域（A）に位置するが、前回調査より、満足度、重要度ともにやや低くなっている。

満足度は、全体的に平均を下回っているが、北小学校区で最も低く、中泉小学校区では他に比べて高くなっている。性別、年齢別では大きく差はみられない。

重要度は、北、西、福地小学校区などで特に高くなっている。また、年齢別では 40 歳代で高くなっている。

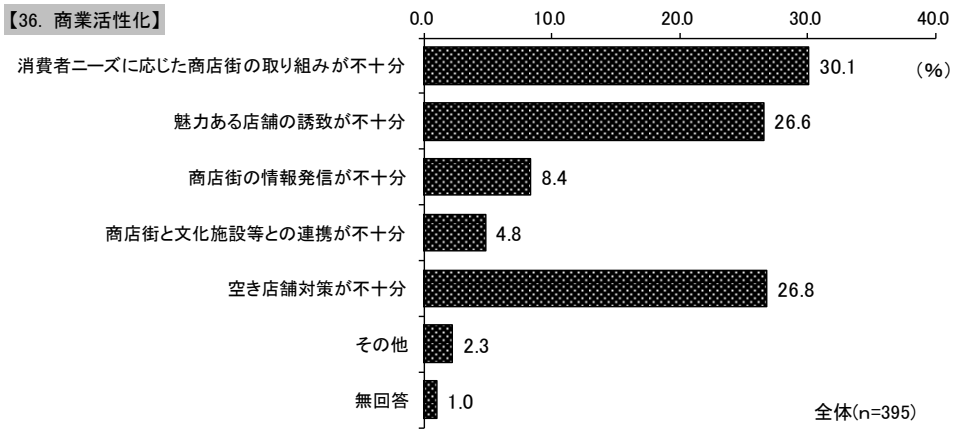


（２）不満の理由

不満の理由としては、「消費者ニーズに応じた商店街の取り組みが不十分」が 30.1%と最も高く、次いで「空き店舗対策が不十分」(26.8%)、ほぼ並んで「魅力ある店舗の誘致が不十分」(26.6%)、の順となっている。

小学校区別では、上頓野、植木小学校区で「空き店舗対策が不十分」、南、北小学校区で「魅力ある店舗の誘致が不十分」、西小学校区で「消費者ニーズに応じた商店街の取り組みが不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「魅力ある店舗の誘致が不十分」、30 歳代で「空き店舗対策が不十分」、60 歳代以上で「消費者ニーズに応じた商店街の取り組みが不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		消費者ニーズに応じた商店街の取り組みが不十分	魅力ある店舗の誘致が不十分	商店街の情報発信が不十分	商店街と文化施設等との連携が不十分	空き店舗対策が不十分	その他	無回答
全体(n=395)		30.1	26.6	8.4	4.8	26.8	2.3	1.0
小学校区別	南小学校区(n=20)	25.0	45.0	5.0	0.0	20.0	5.0	0.0
	北小学校区(n=37)	29.7	35.1	8.1	2.7	24.3	0.0	0.0
	西小学校区(n=27)	40.7	22.2	3.7	3.7	25.9	3.7	0.0
	東小学校区(n=37)	27.0	24.3	8.1	5.4	32.4	2.7	0.0
	新入小学校区(n=44)	34.1	31.8	4.5	9.1	20.5	0.0	0.0
	感田小学校区(n=66)	28.8	24.2	13.6	10.6	15.2	7.6	0.0
	上頓野小学校区(n=46)	37.0	13.0	13.0	2.2	34.8	0.0	0.0
	下境小学校区(n=35)	31.4	22.9	8.6	0.0	34.3	0.0	2.9
	福地小学校区(n=15)	20.0	26.7	6.7	6.7	33.3	0.0	6.7
	中泉小学校区(n=9)	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1
	植木小学校区(n=40)	22.5	32.5	7.5	2.5	35.0	0.0	0.0
性別	男性(n=168)	32.7	22.6	11.9	7.1	20.8	3.6	1.2
	女性(n=223)	28.7	29.1	5.8	2.7	31.4	1.3	0.9
年齢別	20歳代(n=29)	13.8	41.4	13.8	3.4	27.6	0.0	0.0
	30歳代(n=41)	24.4	29.3	7.3	0.0	36.6	2.4	0.0
	40歳代(n=59)	32.2	30.5	6.8	3.4	22.0	5.1	0.0
	50歳代(n=65)	27.7	20.0	9.2	9.2	30.8	3.1	0.0
	60～64歳(n=57)	35.1	31.6	3.5	7.0	19.3	1.8	1.8
	65歳以上(n=139)	33.8	21.6	10.1	3.6	27.3	1.4	2.2

37. 未来に夢を持つ農業

施策内容	・認定農業者等担い手の育成支援。農産物の六次産業化及び消費拡大の推進。堆肥を利用した減農薬栽培の推進。			
主な事業	・農産物ブランド化推進事業 ・地域営農組織の機能強化事業　等			
満足度評価	-0.23　（38施策中　28　位）		重要度評価	1.22　（38施策中　27　位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

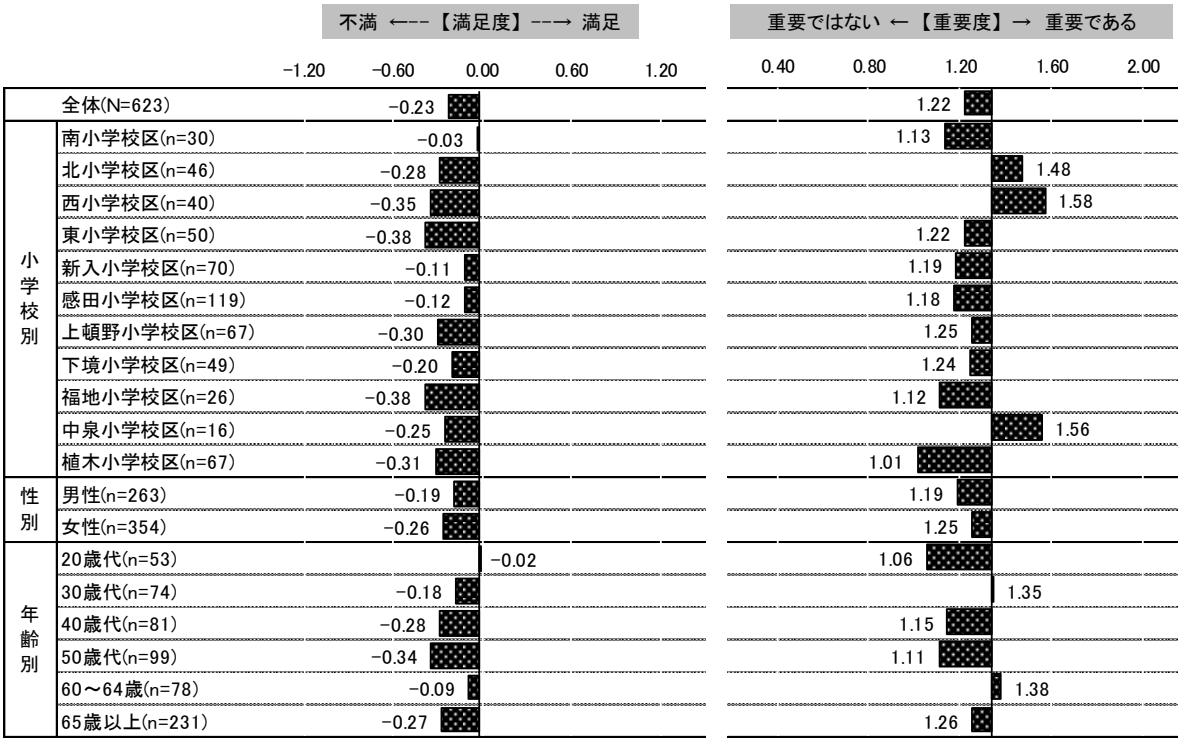
満足度評価	−0.16（37 施策中 28 位）	重要度評価	1.23（37 施策中 20 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）	

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置し、前回調査より満足度、重要度ともにやや低くなっている。

満足度は、全体的に平均を下回り、東、福地小学校区で他に比べて低くなっている。性別では女性がやや低い。年齢別では、20 歳代は平均を上回るが、この他の年齢層は低くなっている。

重要度は、西、中泉小学校区などで高いが、植木小学校区で相対的に低く、小学校区によって差が大きい。年齢別では、60 歳代前半で高く、20 歳代で最も低くなっている。

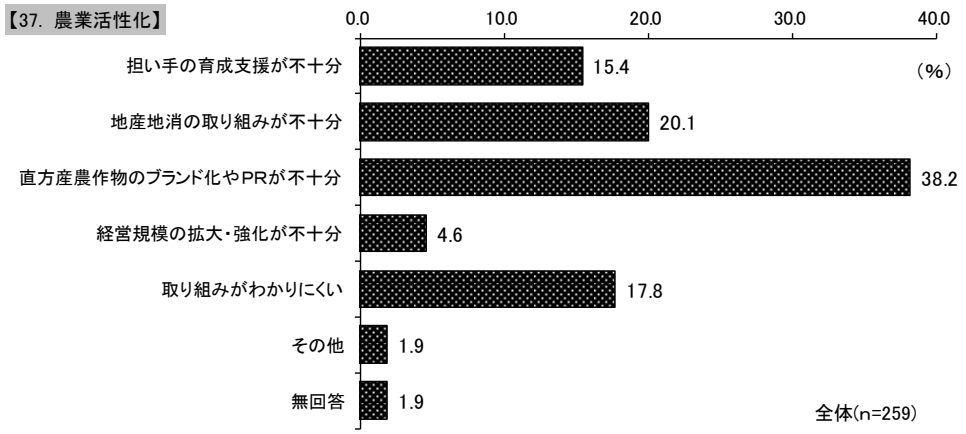


（２）不満の理由

不満の理由としては、「直方産農作物のブランド化やＰＲが不十分」が 38.2％と最も高く、次いで「地産地消の取り組みが不十分」(20.1％)、「取り組みがわかりにくい」(17.8％)、「担い手の育成支援が不十分」（15.4％）の順となっている。

小学校区別では、植木小学校区で「取り組みがわかりにくい」、新入小学校区で「担い手の育成支援が不十分」、南、中泉小学校区で「直方産農作物のブランド化やＰＲが不十分」、福地小学校区で「地産地消の取り組みが不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、30 歳代、65 歳以上で「直方産農作物のブランド化やＰＲが不十分」、60 歳代前半で「地産地消の取り組みが不十分」が他の年齢層と比べ高くなっている。



		担い手の育成支援が不十分	地産地消の取り組みが不十分	直方産農作物のブランド化やPRが不十分	経営規模の拡大・強化が不十分	取り組みがわかりにくい	その他	無回答
全体(n=259)		15.4	20.1	38.2	4.6	17.8	1.9	1.9
小学校区別	南小学校区(n=11)	0.0	9.1	72.7	0.0	18.2	0.0	0.0
	北小学校区(n=24)	25.0	20.8	45.8	0.0	8.3	0.0	0.0
	西小学校区(n=18)	22.2	27.8	22.2	5.6	16.7	0.0	5.6
	東小学校区(n=27)	18.5	14.8	29.6	14.8	22.2	0.0	0.0
	新入小学校区(n=25)	32.0	8.0	40.0	4.0	16.0	0.0	0.0
	感田小学校区(n=43)	4.7	18.6	41.9	9.3	16.3	7.0	2.3
	上頓野小学校区(n=27)	14.8	25.9	44.4	0.0	11.1	3.7	0.0
	下境小学校区(n=21)	23.8	14.3	28.6	0.0	23.8	4.8	4.8
	福地小学校区(n=13)	15.4	38.5	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=9)	11.1	11.1	55.6	0.0	22.2	0.0	0.0
	植木小学校区(n=26)	7.7	23.1	30.8	7.7	30.8	0.0	0.0
性別	男性(n=105)	12.4	19.0	36.2	5.7	21.9	1.9	2.9
	女性(n=153)	17.6	20.9	39.2	3.9	15.0	2.0	1.3
年齢別	20歳代(n=20)	10.0	10.0	35.0	0.0	45.0	0.0	0.0
	30歳代(n=28)	10.7	14.3	46.4	3.6	21.4	3.6	0.0
	40歳代(n=36)	22.2	11.1	30.6	8.3	27.8	0.0	0.0
	50歳代(n=43)	18.6	25.6	34.9	7.0	9.3	4.7	0.0
	60～64歳(n=30)	20.0	30.0	33.3	0.0	13.3	0.0	3.3
	65歳以上(n=101)	12.9	21.8	41.6	5.0	12.9	2.0	4.0

38. 魅力あふれる観光

施策内容	・観光ルートづくりと観光ボランティアの育成。近隣自治体と連携したネットワーク強化。地域資源を活かした観光の推進。			
主な事業	・観光物産振興協会支援事業 ・観光ボランティアガイド育成事業 ・直方レトロ地域づくり支援事業 ・のおがたチューリップフェア、のおがた夏まつり支援事業　等			
満足度評価	-0.29　（38施策中　29　位）		重要度評価	1.26　（38施策中　26　位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）		

【参考資料／前回調査結果（平成 24 年 9 月実施）】

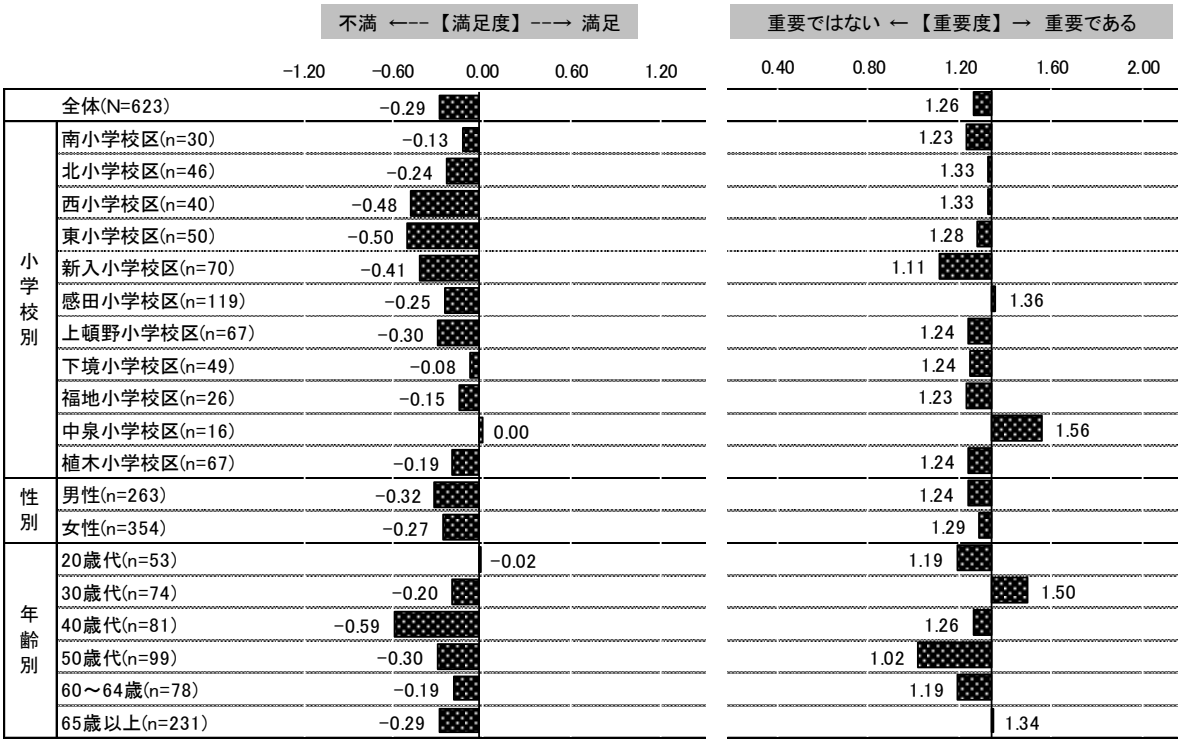
満足度評価	−0.29（37 施策中 33 位）		重要度評価	0.82（37 施策中 33 位）
散布図象限 （全体）	D	重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）		

（１）満足度・重要度の評価傾向

満足度、重要度ともに低位にあり、改善・見直しの領域（D）に位置し、前回調査より、重要度が高くなっている。

満足度は、中泉小学校区、20 歳代を除いて全体的に平均を下回り、西、東小学校区で低くなっている。年齢別では、40 歳代で最も低くなっている。

重要度は、中泉小学校区が最も高く、新入小学校区で相対的に低くなっている。年齢別では、30 歳代が高く、50 歳代が最も低い。

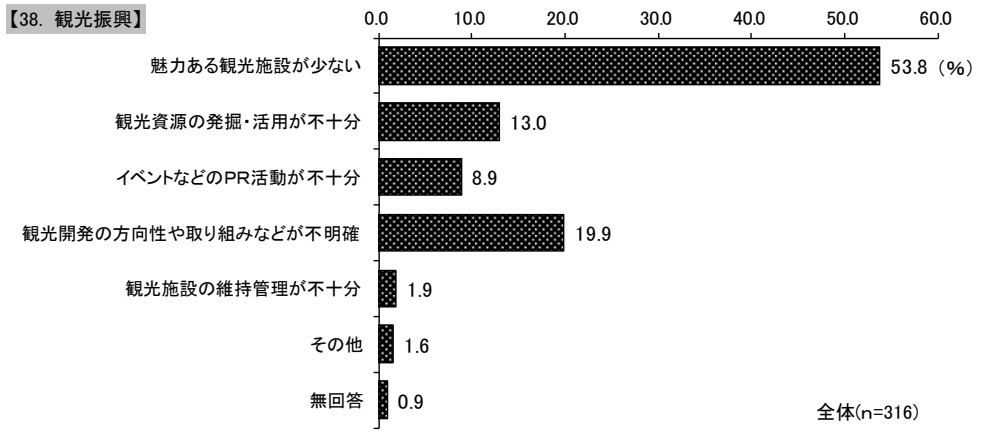


（２）不満の理由

不満の理由としては、「魅力ある観光施設が少ない」が 53.8％と最も高く突出している。次いで「観光開発の方向性や取り組みなどが不明確」（19.9％）、「観光資源の発掘・活用が不十分」（13.0％）の順となっている。

小学校区別では、福地小学校区で「魅力ある観光施設が少ない」、西小学校区で「観光開発の方向性や取り組みなどが不明確」、北小学校区で「観光資源の発掘・活用が不十分」が他に比べ高くなっている。

年齢別では、20 歳代で「魅力ある観光施設が少ない」、30 歳代で「イベントなどのＰＲ活動が不十分」、50 歳代、65 歳以上で「観光資源の発掘・活用が不十分」が他の年齢層に比べ高くなっている。



		魅力ある観光施設が少ない	観光資源の発掘・活用が不十分	イベントなどのＰＲ活動が不十分	観光開発の方向性や取り組みなどが不明確	観光施設の維持管理が不十分	その他	無回答
全体(n=316)		53.8	13.0	8.9	19.9	1.9	1.6	0.9
小学校区別	南小学校区(n=13)	46.2	7.7	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0
	北小学校区(n=23)	52.2	26.1	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0
	西小学校区(n=23)	47.8	13.0	4.3	30.4	0.0	4.3	0.0
	東小学校区(n=30)	56.7	6.7	3.3	26.7	3.3	3.3	0.0
	新入小学校区(n=38)	50.0	13.2	10.5	23.7	2.6	0.0	0.0
	感田小学校区(n=55)	49.1	14.5	12.7	16.4	3.6	3.6	0.0
	上頓野小学校区(n=37)	51.4	16.2	2.7	24.3	2.7	2.7	0.0
	下境小学校区(n=21)	47.6	14.3	14.3	19.0	0.0	0.0	4.8
	福地小学校区(n=13)	84.6	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	中泉小学校区(n=8)	62.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	植木小学校区(n=34)	58.8	14.7	5.9	20.6	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=133)	46.6	14.3	8.3	24.8	3.0	3.0	0.0
	女性(n=181)	59.1	12.2	8.8	16.6	1.1	0.6	1.7
年齢別	20歳代(n=23)	73.9	0.0	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=34)	58.8	8.8	17.6	8.8	5.9	0.0	0.0
	40歳代(n=47)	66.0	6.4	4.3	19.1	0.0	4.3	0.0
	50歳代(n=51)	58.8	17.6	3.9	19.6	0.0	0.0	0.0
	60～64歳(n=38)	55.3	13.2	7.9	15.8	5.3	2.6	0.0
	65歳以上(n=120)	41.7	17.5	8.3	26.7	1.7	1.7	2.5

【６】自由回答の概要（これからのまちづくりに対する考え・意見）

これからの直方市のまちづくりに対する考えや意見等について、自由回答によって尋ねたところ、その概要は以下の通りとなった。

１．回答状況

（１）回答者数及び回答件数

アンケートの有効回答者 623 人のうち、まちづくりに対する考えや意見を自由回答に記入したのは 234 人（37.6%）であった。

この 234 人の回答を内容別に、「行政経営」「財政運営」「情報公開・発信」「地域活性化・産業振興」「まちづくりの方向性・イメージ」「生活環境」「上下水道」「市街地・道路等」「公共交通機関」「各種公共施設」「防犯・防災」「教育・文化・スポーツ」「保健・医療・福祉」「アンケート関連」「その他」の 15 分野に分けて分類（複数の分野について記述している回答は分野ごとに細分化）したところ、延べ 425 件の意見となった。

（２）分野別の回答件数

自由回答の内容を分野別に区分し、その回答件数を示したのが下表である。

最も多かった分野は、「まちづくりの方向性・イメージ」で 65 件（15.3%）である。次いで、「地域活性化・産業振興」が 57 件（13.4%）、「保健・医療・福祉」が 56 件（13.2%）、「行政経営」が 51 件（12.0%）、「市街地・道路等」が 31 件（7.3%）、「財政運営」が 30 件（7.1%）となっている。

分　野	回答件数（件）	回答割合（%）	順位
行政経済	51	12.0	4
財政運営	30	7.1	6
情報公開・発信	12	2.8	12
地域活性化・産業振興	57	13.4	2
まちづくりの方向性・イメージ	65	15.3	1
生活環境	15	3.5	11
上下水道	8	1.9	13
市街地・道路等	31	7.3	5
公共交通機関	19	4.5	10
各種公共施設	22	5.2	8
防犯・防災	5	1.2	14
教育・文化・スポーツ	26	6.1	7
保健・医療・福祉	56	13.2	3
アンケート関連	20	4.7	9
その他	8	1.9	－
合　計（延べ）	425	100.0	－

２．分野別回答内容

（１）行政経営

当分野の記述件数は延べ 51 件、全体の 12.0％を占め、15 分野の中では４番目に多い。

この分野の意見で最も多いのが、「職員の教育と能力の向上」に関するもので、２番目に多い「窓口サービスの向上」とあわせて、職員が市民に接するときの態度などに関する意見が多くみられる。

次いで、「行政努力」について、行政のあり方に不満を持ち、行政に期待できないといった意見が多くみられる。

また、当分野では、行政のあり方や市職員への厳しい意見も多くなっているが、その一方で、市民が市政に関心をもち、市政に参加できるよう、市民意識を高める必要もある、という指摘もなされている。

順位	（１）行政経営	回答件数（件）
1	職員の教育と能力の向上	15
2	窓口サービスの向上	13
3	行政努力	11
4	市民意識・ニーズの把握と理解	7
5	市民意識の高揚と参加の場と機会の提供・充実	3
6	市民活動・ボランティア活動・自治活動への理解と支援	2
	合計	51

（１）－１　「職員の教育と能力の向上」に関する具体的意見

「市役所の掃除が行き届いていない」「市外の人に自慢できるような市役所にしてほしい」「対応、対策のスピードが遅い」「職員が本気になれば市は変わると思う」など、市役所職員の業務に対する不満が寄せられた。

（１）－２　「窓口サービスの向上」に関する具体的意見

「他県の市役所は親切な対応が多かった」「困った時に迅速な回答や相談に乗ってくれる所であってほしい」など、窓口対応に対する不満とともに「市役所の時間外延長を利用しやすい様にしてほしい」など現在のサービスの見直しを求める意見があった。

（１）－３　「行政努力」に関する具体的意見

「優秀な若い人材を登用し市の活性化を図ることが大切なのではないか」「その場その場の流れに任せる事なく長期の計画をもって進めてほしい」など市役所の活性化や長期的視点に立った施策の推進を求める意見があった。

（１）－４　「市民意識・ニーズの把握と理解」に関する具体的意見

「困ったときにはいつでもスムーズなサポートが受けられるような地域の体制づくりをしてほしい」「コミュニティの中は様々な人がいるので、弱者に優しい市政を望む」など地域コミュニティとの連携に対する意見が多く寄せられた。

（１）－５　「市民意識の高揚と参加の場と機会の提供・充実」に関する具体的意見

「地方の力量が試される時代であるため、市政に市民の声を反映してほしい」「既に活動中の人以外の方々の参加の機会を増やしてほしい」「支援が必要な方自らが参画できる場を作ってほしい」など意見や参画の場を多様化する必要性や「自らが住む地域の隣同士、自治会内に自分のこととして活動することの大切さを広げていく必要がある」など市民自らが意識を持つことが大切である意見が寄せられた。

（１）－６　「市民活動・ボランティア活動・自治活動への理解と支援」に関する具体的意見

「北九州市のように各校区に市民センターがほしい」といった施設整備に関する要望とともに「ゴミや除草等、市民自ら美化運動する仕組みが必要」など地域活動を支援する必要性に対する意見が寄せられた。

（２）財政運営

当分野の記述件数は延べ 30 件、全体の 7.1%を占めている。

この分野では、税金、国民健康保険料等が高いという不満の意見が最も多くなっている。また、厳しい財政状況の中で、「職員・議員の人数、人件費の削減」と「公共事業の適正化」を求める意見も多くみられる。

順位	（２）財政運営	回答件数（件）
1	税金、国民健康保険料などへの不満	11
2	職員・議員の人数、人件費の削減	10
3	公共事業の適正化	6
4	行財政改革の徹底	1
5	無駄な経費の削減	1
6	財政内容の情報公開	1
	合計	30

（２）－１　「税金、国民健康保険料などへの不満」に関する具体的意見

「税金の使い方を考えてほしい」「長年年金を払ってきたのに将来が不安」「国保税を下げてほしい」など税制度に対する不満が多数寄せられた。

（２）－２　「職員・議員の人数、人件費の削減」に関する具体的意見

「市職員、議員の人数を減らして財政難をそこから改善してほしい」「市議会議員は今の人数が必要なのか」「公務員の給料の適正化が必要」など財政の適正化のための人員削減や給料の適正化に対する意見が寄せられた。

（２）－３　「公共事業の適正化」に関する具体的意見

「水道料金が高い」「下水道の負担金が高い」など不満の声とともに「将来を見据えた戦略的な予算配分」などを求める声が寄せられた。

（２）－４　「行財政改革の徹底」に関する具体的意見

「子や孫の世代になるべく負の遺産（借金）を残さないように、財政健全化を計ってほしい」という意見があった。

（２）－５　「無駄な経費の削減」に関する具体的意見

「財源は仕分けをし、大切に使ってほしい」「市議や、市民の代表などによる施策の仕分け作業をしてはどうか」という意見があった。

（２）－６　「財政内容の情報公開」に関する具体的意見

「財政状況の公開と、適正化に向けた一層の努力をお願いしたい」という意見があった。

（３）情報公開・発信

当分野の記述件数は延べ 12 件、全体の 2.8%を占めている。

この分野では、「情報提供手段（市報以外）の拡充・充実」が多くなっている。

市の実施しているサービスや施策内容が、現状の情報発信手段では市民に十分に伝わっていない、といった意見が目立っている。

順位	（３）情報公開	回答件数（件）
1	情報発信手段（市報以外）の拡充・充実	11
2	市報の配布方法や内容の見直し・充実希望	1
	合計	12

（３）－１　「情報発信手段（市報以外）の拡充・充実」に関する具体的意見

「単身アパート住まいで、市政だよりや自治会等の配布紙面等の回覧がなく、情報を得る機会がない」「福岡市など他市との情報提供の差があると感じている」「インターネットだけでなく詳しく直方市の取組みがわかるものを市民に配布してほしい」「小さな子どもが使う洋服などをシェアしあう制度があることを全く知らなかった」など情報が行き届いていないことに不満の声が寄せられている。

（３）－２　「市報の配布方法や内容の見直し・充実希望」に関する具体的意見

「月に２回も市報が配られるのにＰＲ不足のものが多い」という市報の内容の充実を求める意見があった。

（４）地域活性化・産業振興

当分野の記述件数は延べ 57 件、全体の 13.4％を占め、15 分野の中では２番目に多く、市民が地域活性化を重視している傾向がうかがえる。

この分野では、「地元商店街整備・活性化」に関する意見が圧倒的に多く、地元商店街を中心として地場産業の活性化対策を求める市民の声が強くなっている。

また、「企業誘致・雇用拡大」に関する意見が多く、働く場所の増加・雇用の拡大により、人口増加につながる対策が求められている。

順位	（４）地域活性化・産業振興	回答件数（件）
1	地元商店街整備・活性化	23
2	企業誘致・雇用拡大対策	10
3	大型商業施設、その他商業施設の誘致・整備	7
4	直方駅前の活性化	6
5	観光強化	5
6	活性化ビジョンの明確化	4
7	農業の活性化	2
	合計	57

（４）－１　「地元商店街整備・活性化」に関する具体的意見

「古町商店街の活性化に力を入れてほしい」「駅前商店街の活気をとりもどしたい」「中心市街地に全く魅力がない」「直方駅を中心とし、商店街に活気を取りもどして、明るいにぎやかな、まちづくりを行ってほしい」「もっと空き店舗を上手く活用してほしい」など商店街の活性化に対する要望やアイデアに関する意見が多数寄せられた。

（４）－２　「企業誘致・雇用拡大対策」に関する具体的意見

「企業誘致に積極的な姿勢が見られない」「働く場所を作り、定住人口の増加に努めてほしい」「企業誘致による税収の増加と雇用の拡大に力を入れてほしい」など雇用創出に繋がる企業誘致を求める声が多数寄せられた。

（４）－３　「大型商業施設、その他商業施設の誘致・整備」に関する具体的意見

「ショッピングセンターがほしい」「直方駅前にコンビニを設置してほしい」「大型商業施設をもっと誘致してほしい」など購買機会の増加や利便性向上を求める意見が寄せられた。

（４）－４　「直方駅前の活性化」に関する具体的意見

「直方駅周辺が新しく整備され、線路沿いの景観もきれいになっている」といった肯定的な意見のほか、「駅近くを訪れた人がそのまま楽しめる”流れ”が出来る事を望みたい」「駅が整備されたので、商店街を小規模にして、駅のまわりに住宅、マンションを建て、その付近に公共施設や病院などを集めて建てた方が発展するのではないか」など駅を中心としたまちづくりを求める声が寄せられた。

（４）－５　「観光強化」に関する具体的意見

「観光施設へのルート案内や標識が汚れて風化し見づらくなっている」という施設維持管理を求める声のほか、「駅の中にもっと観光ポスター等を貼ってアピールしたらいいのではないか」「歴史遺産の発掘と観光資源化への模索が出来ないか」など観光客へのアピールや新たな観光資源の発掘に関する声が寄せられた。

（４）－６　「活性化ビジョンの明確化」に関する具体的意見

「直方市の特徴を活かした活動で活性化してほしい」「自然エネルギーを活かした活性化策を検討してほしい」など活性化方策に関する意見が寄せられた。

（４）－７　「農業の活性化」に関する具体的意見

「農業後継者がいないことが農業振興の大きな課題である」「特産品となる農産物の開発を積極的にしてほしい」など農業振興に関する意見が寄せられた。

（５）まちづくりの方向性・イメージ

当分野の記述件数は延べ 65 件、全体の 15.3%を占め、15 分野の中では最も多くなっている。

この分野では、「特色・魅力あるまちづくり」に関する意見が最も多く、その内容としては、特色や魅力が十分あるものの、それを活かしきれていない、という意見が多くみられる。

また、人口の減少傾向を意識して、「若者が住みたくなるまちづくり」というイメージが多くなっているが、市民のまちづくりに対するイメージは様々であり、特に集中しているイメージはみられない。但し、意見を記述した多くの人は、直方市に対する愛着が感じられる内容となっている。

順位	（５）まちづくりの方向性・イメージ	回答件数（件）
1	特色・魅力あるまちづくり	14
2	若者が住みたくなるまちづくり	13
3	高齢者・障がい者・子どもが暮らしやすいまちづくり	9
4	安心して暮らせるまちづくり	9
5	住みやすいまちづくり	9
6	元気あるまちづくり	7
7	自然を活かしたまちづくり	4
	合計	65

（５）－１　「特色・魅力あるまちづくり」に関する具体的意見

「黒田の支藩としての歴史遺産や文化財を活用してほしい」「街にあまり手が加えられず、歴史的過程の中で街が形成されたことを活かしてほしい」「歴史と特徴のある人間味のあるよい街だから、すでにある直方のよいものを伸ばすことがよいと思う」など既存の地域資源を活かしたまちづくりを求める意見が多数寄せられた。

（５）－２　「若者が住みたくなるまちづくり」に関する具体的意見

「若者がやる気一杯で働ける場（農業、商業、工業）が増える事を願っている」「ベッドタウンとしての環境は守ってほしい」「結婚、子育てに不安なく過ごす事が出来る様にしてほしい」「子育てしやすいまちづくりをしてほしい」など、雇用と子育てに安心できるまちづくりを求める声が寄せられた。

（５）－３　「高齢者・障がい者・子どもが暮らしやすいまちづくり」に関する具体的意見

「高齢になっても安心して元気に生活出来る様なまちづくりを希望する」「お年寄り、障がいを持った方など、みんなが便利に、住みやすいまちにしてほしい」といった意見とともに、「地域のコミュニケーションを活かし、高齢者から子供まで関われる機会の創出」といった地域コミュニティを活かしたまちづくりに関する意見も寄せられた。

（５）－４　「安心して暮らせるまちづくり」に関する具体的意見

「犯罪０のまちづくり（＝安心の住みやすいまち）を推進してほしい」「直方に住む全ての人たちが安心して生活できる環境を整えてほしい」「道徳教育を徹底してほしい」など、防犯や道徳教育による安心して暮らせるまちづくりを求める声が寄せられた。

（５）－５　「住みやすいまちづくり」に関する具体的意見

「ここに住みたいと思えるような魅力のあるまちであってほしい」「住みやすいまちづくりは、生活していくうえでの不安解消だと思う」など、住みやすいまちづくりを求める声が寄せられた。

（５）－６　「元気あるまちづくり」に関する具体的意見

「大分の一村一品運動や農業、漁業等地元の特産色を育てている所のように、将来に向けて活気のあるまちづくりを望む」など産業振興による活気あるまちづくりを望む声のほか、「街の中心がさびれてしまっているのは寂しい」など中心市街地の活性化による元気あるまちづくりを望む声が寄せられた。

（５）－７　「自然を活かしたまちづくり」に関する具体的意見

「今以上に緑、自然を破壊されない様強く望む」「福智山の緑と遠賀川の水の景観は他の市に無く、これを活かすべきだ」「自然とうまく融合した文化施設を造ってほしい」「遠賀川河川敷の活用法を検討してほしい」など豊かな自然を活かしたまちづくりや施設整備における自然との調和に関する意見が寄せられた。

（６）生活環境

当分野の記述件数は延べ 15 件、全体の 3.5%を占めている。

この分野では、「ゴミ処理対策」に関する意見が最も多く、その内容としては、資源ごみ（リサイクル）の収集回数への不満が目立っている。

順位	（６）生活環境	回答件数（件）
1	ごみ処理対策	10
2	公営住宅・空き家の整備	3
3	生活しやすい環境の整備	2
	合計	15

（６）－１　「ごみ処理対策」に関する具体的意見

「資源ゴミの処理は、１ヶ月に１回では少ないと思う」「ごみ袋の値段が高い」「プラスチックを持ち込む所を土曜日もあけてほしい」などごみ処理の運用面に関する意見が多数寄せられた。

（６）－２　「公営住宅・空き家の整備」に関する具体的意見

「空き家、空き地対策に力を入れてほしい」「市営住宅等の住宅整備に力を入れ、入居者を増やしてほしい」などの公営住宅・空き家の整備に対する意見が寄せられた。

（６）－３　「生活しやすい環境の整備」に関する具体的意見

「車・バイクの騒音がひどい」など住環境の整備に対する意見があった。

（７）上下水道

当分野の記述件数は延べ 8 件、全体の 1.9%を占めている。

この分野では、感田地区や上頓野地区、福地地区などの回答から「下水道の整備」があがり、早期の対応が求められている。

また、「上水道の整備」は「水質が良くない」という内容の意見となっている。

順位	（７）上下水道	回答件数（件）
1	下水道の整備	7
2	上水道の整備	1
	合計	8

（７）－１　「下水道の整備」に関する具体的意見

「公共下水道の整備が遅れている」など整備進捗に対する不満の声とともに「市営住宅のトイレを水洗トイレにしてほしい」という意見も寄せられた。

（７）－２　「上水道の整備」に関する具体的意見

「水質を改善してほしい」という意見があった。

（８）市街地・道路等

当分野の記述件数は延べ 31 件、全体の 7.3%を占め、15 分野の中では５番目に多くなっている。

この分野では、「道路整備」「街路灯整備」に関することが多く、内容としては、「歩道の整備（歩道脇の雑草）」や「街路灯が少ないことで、町が全体的に暗い」という意見が目立っている。

順位	（８）市街地・道路等	回答件数（件）
1	道路整備	14
2	街路灯整備	9
3	直方駅前の駐車場・駐輪場整備	4
4	各種施設の駐車場整備	2
5	市役所の駐車場整備	1
6	その他	1
	合計	31

（８）－１　「道路整備」に関する具体的意見

「歩道と道路の境がない場所がとても多く、子どもや老人には危険が多すぎる」「サイクリング道路、生活道路としての自転車レーンの充実を希望する」など歩道や自転車道の整備に関する意見とともに「年間を通して道路の草刈りをしてほしい」という維持管理に関する意見も寄せられた。

（８）－２　「街路灯整備」に関する具体的意見

「全体的に街灯が少ない」「街灯がなく、夜まっくらになる道があり、とても危険である」「夜、ジョギングやウォーキングをする際、照明がある、安全なロードがあると良い」など街路灯整備に関する意見が多数寄せられた。

（８）－３　「直方駅前の駐車場・駐輪場整備」に関する具体的意見

「直方駅前で迎えに来る車が多いときは、駐車して待つ所が無い」「車を一時的に停車する場所が少なくて、いつも車が混みあっている」など施設の拡充を求める声とともに、「直方駅前の路上駐車を取り締まってほしい」という意見もあった。

（８）－４　「各種施設の駐車場整備」に関する具体的意見

「古い団地では駐車スペースが少ないため駐車違反が多い」「図書館は駐車場代がかかり利用しづらい」など住宅地や公共施設の駐車場に対する要望が寄せられた。

（８）－５　「市役所の駐車場整備」に関する具体的意見

「市役所の駐車場は、杖の方やチャイルドシートの方が車から降りるのに大変苦労しているのを見かける」という駐車枡の大きさに関する意見があった。

（８）－６　「その他」に関する具体的意見

「私有地の方の管理不足のため雑草が歩道まで伸びて、通行人の邪魔になる」という民地の管理を促す意見があった。

（９）公共交通機関

当分野の記述件数は延べ 19 件、全体の 4.5%を占めている。

この分野では、「交通が不便」「バス路線・本数の整備」が多くなっている。

「交通が不便」では、特に感田地区や福地地区からの意見が多く、交通手段を持たない市民にとって、バスはなくてはならない交通機関となっていることがうかがえる。

順位	（９）公共交通機関	回答件数（件）
1	交通が不便	7
2	バス路線・本数の整備	5
3	学生、高齢者のためのバス便整備	4
4	ＪＲと筑豊電鉄の接続	2
5	バス停の整備	1
	合計	19

（９）－１　「交通が不便」に関する具体的意見

「福地小地区は交通の便が悪い」「直方から福岡・北九州への通勤、通学が出来る交通網の充実」「終電で直方駅に着いた際、帰る手段がタクシーしかなかった」「バスと電車の乗り換えの連結をもっと良くしてほしい」など公共交通機関の利便性向上を求める意見が多数寄せられた。

（９）－２　「バス路線・本数の整備」に関する具体的意見

「バスの本数が少なくて不便」「バスの運行回数が少ない地域はコミュニティバスか小型バスを運行してほしい」などバスの利便性向上を求める意見が多数寄せられた。

（９）－３　「学生、高齢者のためのバス便整備」に関する具体的意見

「感田地区にコミュニティータクシーやコミュニティバス等が必要だと思う」「老人用の生活用バス路線の充実」「スクールバスの運行」など学生、高齢者のためのバス便整備を求める意見が寄せられた。

（９）－４　「ＪＲと筑豊電鉄の接続」に関する具体的意見

「筑豊電鉄の直方駅とＪＲ直方駅が離れていて不便」「筑豊電鉄の直方駅（ＪＲ）までの延伸を実現してほしい」という意見が寄せられた。

（10）各種公共施設

当分野の記述件数は延べ 22 件、全体の 5.2%を占めている。

この分野への内容の多くは、「公園整備」に関するものであり、子どもから高齢者まで市民が憩える場としての公園や施設の整備が強く要望されている。

順位	（１０）各種公共施設	回答件数（件）
1	公園整備	6
2	遊具のある（遊べる）公園	6
3	運動公園（施設）・総合公園	3
4	市民プール	2
5	子どもから高齢者まで集える施設	2
6	遊具施設・レクリエーション施設	1
7	その他	2
	合計	22

（１０）－１　「公園整備」に関する具体的意見

「児童公園の砂場の衛生面の充実」「遊具が古い」「雑草が生え放題」「日よけがない」「ベンチがぼろぼろ」など維持管理に関する意見のほか、「地域に中規模の整備のいき届いた公園がほしい」など公園の配置に対する要望も寄せられた。

（１０）－２　「遊具のある（遊べる）公園」に関する具体的意見

「小さい公園はたくさんあるが、小さい子どもが遊べる広い公園が少ない」「小さい子が安心して遊べる公園や遊具がない」など小さい子どもが安心して遊べる公園を求める声が多数寄せられた。

（１０）－３　「運動公園（施設）・総合公園」に関する具体的意見

「スポーツ等をする公園等が少ない」「学生（高校生）のスポーツ大会を誘致できる施設をつくってほしい」など運動公園の整備に関する意見が寄せられた。

（１０）－４　「市民プール」に関する具体的意見

「市民プールが無い」「屋内プールの設置を希望する」という市民プール整備に関する意見が寄せられた。

（１０）－５　「子どもから高齢者まで集える施設」に関する具体的意見

「須崎町公園がもっと広くなり、親子で遊べる、老人が憩える公園となってほしい」「身近な地域の公園に子ども達や高齢者が集えるベンチや花壇をたくさん作ってほしい」という子どもから高齢者まで集える公園の整備に関する意見があった。

（１０）－６　「遊具施設・レクリエーション施設」に関する具体的意見

「雨の日でも遊べる場所を作ってほしい」という意見があった。

（１０）－７　「その他」に関する具体的意見

「経済的に負担のない（少ない）そして便利な公共施設を増やしてもらいたい」という効率的な公共施設の整備に関する意見があった。

（11）防犯・防災

当分野の記述件数は延べ5件、全体の1.2%を占めている。

この分野では、市街地・道路等の分野でも街路灯が少ないことで、町が全体的に暗いという意見が多かったが、ここでも街路灯が少ないことで夜間の犯罪を心配する声があがり、「街路灯の設置による防犯」に早期の対応が求められている。

また、「避難場所情報」の提供を求める声があがっている。

順位	（１１）防犯・防災	回答件数（件）
1	防犯対策	4
2	避難場所情報	1
	合計	5

（１１）－１　「防犯対策」に関する具体的意見

「警察の巡回を増やしてほしい」「警察と連携して防犯に取り組んでほしい」「防犯カメラの設置」など防犯対策に関する意見が寄せられた。

（１１）－２　「避難場所情報」に関する具体的意見

「台風等の自然災害の時はどこに避難したらいいか分からない」という意見があった。

（12）教育・文化・スポーツ

当分野の記述件数は延べ 26 件、全体の 6.1%を占めている。

この分野では、「学校教育の充実」に関することが多くあげられているが、学力向上などの具体的な分野というよりも、全体的な学校教育のレベルアップを図ってほしい、といった意見が目立っている。

また、文化活動を活かした講座やサークル活動、教室などを増やしてほしいという意見も多くみられる。

順位	（１２）教育・文化・スポーツ	回答件数（件）
1	学校教育の充実	16
2	体験型講座等の充実	7
3	その他	3
	合計	26

（１２）－１　「学校教育の充実」に関する具体的意見

「小、中、高の学力の向上を望む」「特別支援学校の充実を図ってほしい」「給食費、教材費を無料にしてほしい」など学校教育の充実に関する意見が多数寄せられた。

（１２）－２　「体験型講座等の充実」に関する具体的意見

「大人も子どもも興味を持つような体験型講座等を検討してほしい」など体験型講座等の充実に関する意見が多数寄せられた。。

（１２）－３　「その他」に関する具体的意見

「宗像市の子育て、教育の支援制度が魅力的だと思った」「文化に対する取り組みが不足している」「市民の知性や教養が低ければ、能力の高い人は市内を出てしまう」「大人が教育を受けられる仕組みが必要」など文化振興や生涯学習支援への取り組みに関する意見が寄せられた。

（13）保健・医療・福祉

当分野の記述件数は延べ 56 件、全体の 13.2%を占め、15 分野の中では３番目に多くなっている。

この分野では、「子育て支援」に関する意見が多くなっているが、その内容をみると、一時保育などの具体的なサービスの充実を求める意見よりも、全体的に子育てがしやすい環境を求める意見が目立っている。

「医療機関の充実」では産婦人科や小児科の増設を求める意見が多く、その他には、救急医療施設の充実を求める声なども目立っている。

順位	（１３）保健・医療・福祉	回答件数（件）
1	子育て支援の充実	16
2	医療機関の充実	13
3	高齢者施策の充実	10
4	子どもの健康診査・医療の充実	8
5	障がい者・生活困窮者・母子家庭対策の充実	6
6	保育施策・施設の充実	1
7	その他	2
	合計	56

（１３）－１　「子育て支援の充実」に関する具体的意見

「子どもを育てる為に利用できるサービスや施設が増えれば良い」「出産前の母親学級などを市で開催してもらいたい」「医療制度自己負担金無料の年齢の引きあげや出産の支援など、医療や子育ての面でもっと充実してほしい」「医療費を中学生まで無料もしくは一定料金にしてほしい」など子育て支援の充実に関する意見が多数寄せられた。

（１３）－２　「医療機関の充実」に関する具体的意見

「産婦人科が少なくて不便」「病院の診療科が少ない」「市内に２４時間体制の総合病院が必要」など医療機関の充実に関する意見が多数寄せられた。

（１３）－３　「高齢者施策の充実」に関する具体的意見

「特別養護老人ホームを増やしてほしい」「国民年金保険で入所可能な施設がほしい」「高齢者に対する入浴施設がほしい」「高齢者が会話や相談が気がるに出来る様な施設がほしい」など高齢者施策の充実に関する意見が多数寄せられた。

（１３）－４　「子どもの健康診査・医療の充実」に関する具体的意見

「総合病院の中に小児科を作ってほしい」「小児の夜間病院がなく不便」「子どものインフルエンザ予防接種の費用負担を少なくしてほしい」など子どもの健康診査・医療の充実に関する意見が多数寄せられた。

（１３）－５　「障がい者・生活困窮者・母子家庭対策の充実」に関する具体的意見

「障がい者のリハビリ施設を作ってほしい」「病気等で親を亡くした子どもや家庭への支援をしてほしい」「子育て、障がい者（児）福祉、ひとり親家庭、生活困きゅう者に対する事業を充実してほしい」など障がい者・生活困窮者・母子家庭対策の充実に関する意見が寄せられた。

（１３）－６　「保育施策・施設の充実」に関する具体的意見

「子ども、親が安全で安心できる保育を充実してほしい」という意見があった。

（１３）－７　「その他」に関する具体的意見

「トレーニング、健康相談、風呂等が併設され、安い料金で利用できる健康作りに役立つ施設がほしい」「医療費が軽減出来るシステムを確立してほしい」「駅前に大きな病院を建てるより診療科で差別化をはかる方が良かった」などの意見が寄せられた。

（14）アンケート関連

当分野の記述件数は延べ 20 件、全体の 4.7%を占めている。

この分野では、「行政の取組み状況がわからないので答えにくい」、「アンケートが難しい・答えにくい」、「アンケートの有効活用策が不明」等の意見が多くなっている。

また、その他の意見で、他の市と比較できるデータの添付を希望する声や、アンケートで住民の幅広い意見を検討することに好感を持つ声などがあがっている。

順位	（１４）アンケート関連	回答件数（件）
1	行政の取組み状況が分からないので答えにくい	8
2	アンケートが難しい・答えにくい	4
3	アンケートの有効活用策が不明	2
4	アンケートの目的が不明確	1
5	その他	5
	合計	20

（15）その他

その他の回答としては、以下の様な意見があった。

・我家の住んでいる所は災害もなく気持ちの良い所です。このまま過ごせたらと思っています。年を重ねて楽しい一生だったらと思える市にして下さい。（女性 65 歳以上）
・直方は自然環境に恵まれていると思う。市役所から観る福智山の風景は私の心が一番いやされる時。今のところ大きな災害も無く生活していますが、何時我身に災難が起こるかもしれません。日々気を引き締めて、過ごしたいと思います。（女性 65 歳以上）
・単身で民間アパートに住んでいます。子どもはいません。これから年もとっていくので地域のコミュニケーションが大事になってくると思います。（女性 60～64 歳）

直方市のまちづくりのための市民意識調査

～アンケート調査ご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃から本市の行政運営に、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

直方市では、平成 23 年１月から平成 32 年度末を計画期間とする「第５次直方市総合計画」に掲げた基本構想を実現するために様々な取り組みを行っています。基本構想実現のためには、計画に基づき実施している施策等の評価を行い、必要に応じて事業の見直しや改善を行わなければなりません。施策等を評価する際は、行政が実施する評価と併せて、市民の皆様の暮らしの実感として、施策の効果が現れているかどうかという視点が大切になります。そのため、市内に居住される市民の皆様の施策に対する満足度やまちづくりに対するご意見等をお伺いする「市民意識調査」を実施いたします。

ここで折る

なお、この調査にあたりましては、満 20 歳以上の市民の中から 2,000 人の方を無作為に選ばせていただきました。

アンケートの結果につきましては、統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。

お忙しいこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 26 年９月

直方市長 向 野 敏 昭

ご記入にあたってのお願い

１．設問は、封筒のあて名のご本人の方が、お答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方がご記入ください。なお、この調査には住所、氏名を記入する必要はございません。
２．黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
３．設問には、回答としてあてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（○印１つ）（○印いくつでも）など回答数を指定していますので、それに従ってご回答ください。
４．設問によっては、該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただくものがありますので、その説明に従いご記入ください。
５．ご不明な点、調査に関するお問い合わせなどは、下記までお願いいたします。

ここで折る

調査のお問い合わせ先

直方市　総合政策部　政策推進課　担当：坂田、後藤
〒822－8501　福岡県直方市殿町７番１号
ＴＥＬ　（０９４９）２５－２２１２
ＦＡＸ　（０９４９）２２－５１０７

記入していただいた本調査票は、本ページ左の印で三つ折にし、１０月３日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。

第１章　市の施策の満足度・重要度、問題点や課題についておたずねします。

以下の表は、直方市のまちづくりの指針である「第５次直方市総合計画」に基づき、現在、市役所が取り組んでいる各施策の体系を示しています。

これらの取組みそれぞれについて、満足度や重要度、問題点や課題についてお伺いします。

- Ⅰ-1．市民主体の地域づくり
  - 1．市民主体の地域づくりの促進
  - 2．地域づくりを推進する人材の発掘と育成
- Ⅰ-2．市民に開かれた行政運営
  - 3．市民参加の推進
  - 4．効率的な行政運営の推進
  - 5．窓口サービスにおける市民サービスの向上
  - 6．健全な財政運営の推進
- Ⅱ-1．自然と都市が調和し快適に暮らせるまち
  - 7．自然と都市が調和し快適に暮らすまちを目指した秩序ある土地利用の推進
  - 8．中心市街地整備と賑わい創出
  - 9．公園の適正な配置と管理
  - 10．良好な住環境の確保
  - 11．交通網の充実
  - 12．安全・良好な水道水の安定供給
  - 13．下水道の整備
- Ⅱ-2．自然と人が共生するまち
  - 14．環境保全の推進
  - 15．循環型社会の推進
- Ⅱ-3．安全・安心なまち
  - 16．災害対策の推進
  - 17．消防・救急の充実
  - 18．交通安全・防犯対策の推進
- Ⅲ-1．すこやかで安心して暮らせるまち
  - 19．保健事業の充実
  - 20．地域医療体制の維持と確保
- Ⅲ-2．ささえあう地域福祉社会
  - 21．障がい者福祉の充実
  - 22．高齢者福祉の充実
  - 23．社会福祉と公的医療保険制度の充実
  - 24．各種相談業務の充実

Ⅲ-3．安心して子育てできるまち

25．地域における子育て環境の充実

26．子育てにおける公的支援の充実

Ⅲ-4．生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成

27．知・徳・体を育む教育の充実

28．教育環境の充実・強化

29．学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成

Ⅲ-5．生きがいと豊かな感性を育むまち

30．生涯学習の推進

31．文化の振興

32．スポーツ・レクリエーションの振興

Ⅲ-6．人権尊重社会の実現

33．人権尊重の教育・啓発の推進

Ⅲ-7．男女共同参画社会の実現

34．男女共同参画社会の推進

Ⅳ．未来へつなぎ活力を創造するまち

35．時代をリードし成長する工業

36．市民の暮らしの担い手となる商業とサービス産業

37．未来に夢を持つ農業

38．魅力あふれる観光

次ページからの問１～問38は、市の取り組みに対する評価をお聞きします。それぞれの設問ごとに、

Ａ：満足度（あなたが、その取り組みに対してどのくらい満足しているか）

Ｂ：重要度（あなたが、その取り組みをどのくらい重要と考えているか）

について、お気持ち・お考えに最も近いものに**１つずつ○**をつけてください。

また、満足度で、
「非常に不満」
「不満」
「どちらかといえば不満」
に○をつけた方は、
［Ｃ：不満な理由］
について、**最も理由となるものを１つ選んで○**をつけてください。

記入例

問１．緑化の推進

「緑地協定や地区計画などによる緑化の促進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・協定締結支援の勉強会及び情報発信事業
・地区計画によるまちづくり講座の開催　等

記入場所→	A：満足度 満足←――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	**4**	5	6	7	1	**2**	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．道路などの緑化が不十分
2．街路樹の維持管理が不十分
3．緑化に対する啓発が不十分
4．その他（　　）

Ⅰ-1．「市民主体の地域づくり」について

問1．市民主体の地域づくりの促進

「市民と行政との協働のしくみづくり」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・自治会等の活動支援
・民生委員・児童委員協議会事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．地域づくりは、行政が全て行うべき
2．自治会等基礎的コミュニティへの支援が不十分
3．協働のしくみづくりが不十分
4．その他（　　）

問2．地域づくりを推進する人材の発掘と育成

「ボランティア団体間のネットワークづくり」、「地域づくりに関する講座」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・市民活動事業（縁（ゆかり）ネット情報発信等）事業
・市表彰事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．ボランティア団体間のネットワークの機能が不十分
2．地域づくりの講座等が充実していない
3．情報の提供が不十分
4．市民やＮＰＯへの行政の支援が不十分
5．その他（　　）

Ⅰ-2.「市民に開かれた行政運営」について

問３. 市民参加の推進

「施政方針や財政状況等の行政情報の発信」、「出前講座やパブリックコメント（市民意見の公募）等を通じた市民ニーズの把握」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・市報発行、ホームページ作成事業
・ふれあい市長室
・出前講座　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．情報の提供が不十分
2．市民参加への関わり方がわかりにくい
3．市民ニーズの把握の仕方が不十分
4．協働・参画の機会が少ない
5．市民委員の公募枠が不十分
6．その他（　　）

問４. 効率的な行政運営の推進

「市民の視点に立った市民サービス」、「計画・実施・評価・改善のサイクルによる計画行政の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・行政評価関係事業
・人事評価制度の運用　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．全体的に市民サービスが向上していない
2．計画行政の成果がわかりにくい
3．民間活力の導入が不十分
4．事務の効率化を目指した自治体間の広域連携が不十分
5．その他（　　）

Ⅰ-2.「市民に開かれた行政運営」について

問５. 窓口サービスにおける市民サービスの向上

「窓口開庁時間の延長、職員応対等市民サービスの向上」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・案内窓口における職員応対の向上
・窓口延長事業（毎週木曜日１９時まで）　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．延長日、延長時間、延長窓口数が不十分
2．木曜窓口延長の周知が不十分
3．窓口における待ち時間が長い
4．申請書類が複雑
5．職員の応対が悪い
6．障がい者、外国籍市民などへの配慮が不十分
7．その他（　　）

問６. 健全な財政運営の推進

「健全な財政運営の推進」、「自主財源の確保の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・行財政改革の推進
・市税徴収事務
・各種収納金の収納率向上　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．事業の優先順位が不明瞭
2．市税の徴収等が不十分
3．公共料金や手数料の適正化による歳入増の取組みが不十分
4．補助金や公共工事の見直しによる歳出の削減が不十分
5．職員数の削減や合理化が不十分
6．職員給与の適正化が不十分
7．その他（　　）

Ⅱ-1．「自然と都市が調和し快適に暮らせるまち」について

問７．自然と都市が調和し快適に暮らすまちを目指した秩序ある土地利用の推進

「集約型都市構造※への転換及び自然と調和した良好な都市環境づくり」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・都市計画マスタープラン見直し事業
・国土利用計画関連業務　等

※集約型都市構造とは、銀行、病院等の都市機能の集積を促進する地域とその他の地域を公共交通ネットワークで密接に連携させたものです。

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．農地の保全が不十分
2．山林の保全が不十分
3．無秩序な開発が進められている
4．集約型都市構造への転換が不十分
5．自然保護と開発との調和がとれていない
6．その他（　　）

問８．中心市街地整備と賑わい創出

「ＪＲ直方駅前地区の整備と中心市街地の賑わいの創出」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・須崎町土地区画整理事業
・都市機能の中心市街地への集積促進（病院の駅前誘致）　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．中心市街地の取り組みは必要ない
2．中心市街地の取り組みが不十分
3．民間事業者等による中心市街地の土地の活用が不十分
4．事業内容がわかりにくい
5．費用対効果が不明確
6．その他（　　）

Ⅱ-1．「自然と都市が調和し快適に暮らせるまち」について

問９．公園の適正な配置と管理

「安全で安心な公園整備と適正配置の推進」、「地域ボランティアによる維持管理」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・中央公園整備事業
・公園維持管理業務　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．公園が近くにない
2．公園が狭い
3．公園の遊具等の設置が不十分
4．公園の維持管理が不十分
5．自由に遊べる大規模な公園がない
6．地域ボランティアが育っていない
7．その他（　　）

問 10．良好な住環境の確保

「良好な住環境の確保の推進」、「市営住宅の計画的建替えの推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・住宅リフォーム事業
・市営住宅建替え　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．住宅取得に関する行政からの補助メニューがない
2．住宅リフォーム事業の補助額が少ない
3．市営住宅の物件数が少ない
4．その他（　　）

Ⅱ-1．「自然と都市が調和し快適に暮らせるまち」について

問 11．交通網の充実

「ＪＲ直方駅周辺地域の交通結節点機能の強化」、「幹線道路や生活道路の整備の促進」、「新設道路等のバリアフリー化の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・ＪＲ直方駅前地区の交通結節点改善事業
・道路整備、維持事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．バスの路線数やルートの設置が不十分
2．バスの運行本数が不十分
3．公共交通機関の乗り継ぎが不便
4．コミュニティバスが利用しづらい
5．道路網の整備が不十分
6．歩道の設置が不十分
7．道路の修繕・維持管理が不十分
8．施設や道路のバリアフリーへの対応が不十分
9．その他（　　）

問 12．安全・良好な水道水の安定供給

「浄水場や配水管等の計画的な整備」、「合理的な業務運営」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・配水管更新、維持管理事業
・浄水事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．水質に不満がある
2．水源確保の取り組みが不十分
3．配水管の更新が不十分
4．水道料金が高い
5．合理的な業務運営の取り組みが不十分
6．その他（　　）

Ⅱ-1．「自然と都市が調和し快適に暮らせるまち」について

問 13. 下水道の整備

「公共下水道の整備と下水道へのつなぎこみの促進」、「農業集落排水事業と合併処理浄化槽の促進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものをそれぞれ１つずつ選んで、番号に○をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・公共下水道整備事業
・合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．公共下水道の利用できる区域が少ない
2．下水道負担金が高い
3．下水道へのつなぎこみに対する補助が不十分
4．合併処理浄化槽に対する補助が不十分
5．その他（　　）

Ⅱ-2．「自然と人が共生するまち」について

問 14. 環境保全の推進

「里地里山の保全と自然エネルギー等の活用の推進」、「遠賀川等の自然環境の活用及び環境教育の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものをそれぞれ１つずつ選んで、番号に○をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・里地里山の保全事業
・環境基本計画の推進　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．遠賀川河川敷公園の整備が不十分
2．親水公園の取り組みが不十分
3．里地・里山の保全が不十分
4．公共施設における自然エネルギーの活用が不十分
5．自然エネルギー活用に対する個人住宅への補助制度が不十分
6．不法投棄防止に対する啓発活動が不十分
7．その他（　　）

Ⅱ-2.「自然と人が共生するまち」について

問 15. 循環型社会の推進

「ゴミの減量化の推進」、「資源リサイクル」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○を**つけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・資源リサイクル推進
　（地域資源回収、拠点回収）事業
・生ゴミ処理容器購入費補助金事業
・子育て用品リユース事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．分別の種類が少ない
2．分別の種類が多い
3．分別がわかりにくい
4．減量化の取り組みが不十分
5．情報提供や啓発活動が不十分
6．拠点回収場所が不足している
7．その他（　　）

Ⅱ-3.「安全・安心なまち」について

問 16. 災害対策の推進

「自主防災組織の設立支援」、「緊急時の情報手段の拡充」、「防災のための河川改修」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・防災体制整備事業
・コミュニティ無線設置事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．防災に対する市民への啓発活動が不十分
2．浸水地域に対する整備が不十分
3．自主防災組織設立への支援が不十分
4．災害時の情報発信が不十分
5．高齢者や障がい者などへの災害時の対応が不十分
6．その他（　　）

Ⅱ-3.「安全・安心なまち」について

問 17. 消防・救急の充実

「職員の能力向上と消防団との連携による組織力の強化」、「的確な救急救命活動の推進」、「防火安全対策の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・救急車適正利用に向けた啓発事業
・応急手当、救急安心カード促進事業
　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．全般的な災害対応等、消防体制が不十分
2．適正かつ的確な救急活動等、救急体制が不十分
3．応急手当等の救急講習の啓発活動が不十分
4．火災予防対策の啓発活動が不十分
5．消防団との連携が不十分
6．その他（　　）

問 18. 交通安全・防犯対策の推進

「交通安全意識の啓発、地域の防犯活動の支援」「交通安全施設等の計画的整備の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・防犯灯設置事業
・交通安全対策事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．交通安全施設の設置が不十分
2．交通安全や防犯の啓発活動が不十分
3．地域での取り組みが不十分
4．学校、家庭、地域の連携が不十分
5．その他（　　）

Ⅲ-1．「すこやかで安心して暮らせるまち」について

問 19．保健事業の充実

「健康づくりに対する啓発と健康づくり組織への支援」、「検(健)診受診率と予防接種の接種率の向上」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・健康診査（基本健診）、がん検診事業
・健康教育事業
・高齢者インフルエンザ予防接種事業
　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．地域の健康づくり組織の活動が不十分
2．各種検(健)診の内容・場所・回数等が不十分
3．教室や相談・検(健)診等の実施日や申込方法がわかりにくい
4．母子保健や成人保健の事業内容が不十分
5．相談体制が不十分
6．啓発活動が不十分
7．その他（　　）

問 20．地域医療体制の維持と確保

「医療機関との連携による地域医療及び救急医療体制の維持」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・休日等急患センター運営事業
・救急医療施設等運営事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．医療施設が少ない
2．休日・夜間の受入体制が不十分
3．医療機関と保健・福祉関係機関との連携・協力が不十分
4．緊急時の対処方法等啓発活動が不十分
5．診療科目が少ない
6．かかりつけ医に関する啓発が不十分
7．その他（　　）

Ⅲ-2.「ささえあう地域福祉社会」について

問21. 障がい者福祉の充実

「市民への意識啓発」、「障がい者の就業支援」、「医療・教育・福祉サービスの充実及び拡充」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・地域生活支援事業
・障がい者相談支援事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．市民の障がい者に対する理解や、障がい者との交流が不十分
2．障がい者の雇用・就業に対する環境整備が不十分
3．医療・福祉サービスなどが不十分
4．障がい者の社会参加への取り組みが不十分
5．施設や道路等のバリアフリーの取り組みが不十分
6．その他（　　）

問22. 高齢者福祉の充実

「介護と連携した福祉及び介護サービス基盤の充実とサービス事業者の質的向上」、「高齢者の社会参加の促進と生きがいづくり」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・生きがい活動支援通所事業
・元気サロン事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．高齢者に対する健康増進への取り組みが不十分
2．介護予防や生活支援の取り組みが不十分
3．生きがいづくりや社会参加への取り組みが不十分
4．相談や権利擁護の取り組みが不十分
5．高齢者に対する就労支援が不十分
6．その他（　　）

Ⅲ-2.「ささえあう地域福祉社会」について

問 23. 社会福祉と公的医療保険制度の充実

「生活困窮者の自立支援」、「公的医療保険制度の充実」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・生活保護扶助事業
・国民健康保険事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．生活困窮者への支援が不十分
2．生活支援に関する情報提供が不十分
3．保険制度がわかりにくい
4．保険料が高い
5．その他（　　）

問 24. 各種相談業務の充実

「関係機関と連携した相談業務の実施」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・消費生活相談、労働相談、無料法律相談　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．相談の実施日や申込方法がわかりにくい
2．相談体制が不十分
3．必要とする相談業務が実施されていない
4．その他（　　）

Ⅲ-3.「安心して子育てできるまち」について

問 25. 地域における子育て環境の充実

「地域の子育てネットワークづくりの推進と子育て相談事業の充実」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・子育て相談、子育て広場事業
・ファミリーサポートセンター事業
　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．子育て支援の内容が不十分
2．子育て支援の情報が少ない
3．子育てに関する総合窓口の機能が不十分
4．地域の相談体制が不十分
5．ファミリーサポートセンターが利用しづらい
6．その他（　　）

問 26. 子育てにおける公的支援の充実

「ひとり親家庭等への経済的支援と相談、学童保育の充実」、「乳幼児の健康診査、療育相談などの充実」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・児童手当扶助事務
・乳幼児健康診査　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．経済的支援の内容が不十分
2．保育サービスが不十分
3．発達に問題のある子どもや障がい児の療育相談が不十分
4．学童保育の施設が不十分
5．学童保育の利用条件や保育内容の整備が不十分
6．ひとり親家庭に対する相談体制や支援策が不十分
7．その他（　　）

Ⅲ-4.「生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成」について

問 27. 知・徳・体を育む教育の充実

「幼児教育、学力の向上、感性を育む教育、体力の向上」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・14 才チャレンジウィーク
（職場体験活動）
・小学校における 35 人学級の実施
・図書室ボランティアの配置　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．就学前教育と学校教育の連携が不十分
2．学校・家庭・地域との連携が不十分
3．学力向上の取り組みが不十分
4．豊かな心を育む教育の取り組みが不十分
5．体力向上の取り組みが不十分
6．外国語活動など特色ある教育の取り組みが不十分
7．教師の指導力が不十分
8．その他（　　）

問 28. 教育環境の充実・強化

「特別な教育的配慮が必要な子どもへの支援の充実」、「教育施設の計画的な耐震化及び適正な学校規模や配置の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・特別支援教育にかかる支援員の配置
・小中学校校舎耐震化事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．学校規模が小さく、統廃合等による規模拡大が必要
2．障がいのある子ども等特別な配慮が必要な子どもへの支援体制が不十分
3．老朽化している教育関連施設の新設や改修の取り組みが不十分
4．施設の維持・管理が不十分
5．その他（　　）

Ⅲ-4.「生きる力を育む教育の充実と青少年の健全育成」について

問 29. 学校・家庭・地域が連携した青少年の健全育成

「地域と連携した青少年の健全育成活動の推進と青少年を取り巻く社会環境の改善」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・青少年健全育成事業
・成人式　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．青少年の健全育成を担う団体への支援が不十分
2．学校、地域、関係機関との連携が不十分
3．活動するための施設が不十分
4．非行防止活動が不十分
5．取り組み内容がわからない
6．その他（　　）

Ⅲ-5.「生きがいと豊かな感性を育むまち」について

問 30. 生涯学習の推進

「公民館等の講座の充実と市民活動団体の育成支援」、「学習の成果を活かすための学校や高齢者施設等との交流の拡充」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・趣味の講座
・ふれあい交流事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．魅力のある講座が少ない
2．希望する講座に参加できない
3．活動に適当な施設・設備がない
4．学習の機会や場所がわからない
5．学校や高齢者施設等との交流活動が不十分
6．国際交流の推進が不十分
7．その他（　　）

Ⅲ-5.「生きがいと豊かな感性を育むまち」について

問31．文化の振興

「文化活動への参加機会の充実、文化団体の育成支援」、「文化遺産や文化財の保存・整備の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・市民文化祭
・埋蔵文化財試掘、確認調査　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．各施設の事業や文化活動の情報が不十分
2．魅力ある文化活動が少ない
3．文化を鑑賞する機会が少ない
4．発表する機会が少ない
5．文化団体への育成と支援が不十分
6．文化遺産や文化財の保存・活用が不十分
7．伝統文化の保存・継承への支援が不十分
8．その他（　　）

問32．スポーツ・レクリエーションの振興

「年齢や体力に応じた各種スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実」、「スポーツ指導者の育成」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・スポーツ推進委員設置事業
・スポーツ少年団補助金　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．施設が老朽化している
2．施設の設備が不十分
3．施設の維持管理が不十分
4．教室・大会等の機会が少ない
5．スポーツ関係団体への支援が不十分
6．指導者の育成が不十分
7．その他（　　）

Ⅲ-6.「人権尊重社会の実現」について

問 33. 人権尊重の教育・啓発の推進

「市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向けた人権教育、啓発事業の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・啓発パンフレットの配布
・人権週間啓発活動の実施　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．啓発活動が不十分
2．取り組みがわかりにくい
3．関係機関との連携が不十分
4．その他（　　）

Ⅲ-7.「男女共同参画社会の実現」について

問 34. 男女共同参画社会の推進

「男女が共同して社会を支えていくための意識啓発や教育・生活環境づくりの推進」、「女性相談の充実」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・各種講座等啓発事業
・団体の活動支援や交流支援　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．啓発、研修等の学習機会の場が不十分
2．広報活動等による情報提供が不十分
3．政策決定や事業企画への女性の参画が不十分
4．相談体制が不十分
5．女性団体への活動支援が不十分
6．男性の参画が少ない
7．その他（　　）

Ⅳ.「未来へつなぎ活力を創造するまち」について

問35. 時代をリードし成長する工業

「企業誘致の推進」、「直鞍産業振興センターと連携した地場企業の技術開発支援や自動車産業等新分野への進出支援」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ1つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・産業振興事業
・企業誘致事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．地場企業への支援内容がわかりにくい
2．地場企業への支援の取り組みが不十分
3．企業誘致の取り組みが不十分
4．技術・技能の伝承の取り組みが不十分
5．技術力の向上への支援が不十分
6．その他（　　）

問36. 市民の暮らしの担い手となる商業とサービス産業

「空店舗を活用した中心市街地商店街の活性化推進」、「医療と商業の連携」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ1つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

現在、市が取り組んでいる主な事業

・中心市街地商店街等商業活性化事業
・ビストロ直方運営支援事業　等

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．消費者ニーズに応じた商店街の取り組みが不十分
2．魅力ある店舗の誘致が不十分
3．商店街の情報発信が不十分
4．商店街と文化施設等との連携が不十分
5．空き店舗対策が不十分
6．その他（　　）

Ⅳ.「未来へつなぎ活力を創造するまち」について

問37. 未来に夢を持つ農業

「認定農業者等担い手の育成支援」、「直方産米粉をはじめとする加工品の六次産業化及び農産物の消費拡大の推進」、「堆肥を利用した減農薬栽培の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．担い手の育成支援が不十分
2．地産地消の取り組みが不十分
3．直方産農作物のブランド化やＰＲが不十分
4．経営規模の拡大・強化が不十分
5．取り組みがわかりにくい
6．その他（　　）

現在、市が取り組んでいる主な事業

・農産物ブランド化推進事業
・地域営農組織の機能強化事業　等

問38. 魅力あふれる観光

「観光ルートづくりと観光ボランティアの育成」、「近隣自治体と連携したネットワーク強化」、「地域資源を活かした観光の推進」等の取り組みに対し、満足度及び重要度について、お気持ちに最も近いものを**それぞれ１つずつ選んで、番号に○**をつけてください。

記入場所→	A：満足度 満足←――――→不満							B：重要度 重要度高い←――→重要度低い						
	非常に満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	非常に不満	判断できない	非常に重要である	重要である	少し重要である	あまり重要ではない	重要ではない	全く重要ではない	判断できない
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

満足度で「非常に不満」「不満」「どちらかといえば不満」に○をつけた方は、不満な理由について、最も理由となるものを1つ選んで○をつけてください。

C：不満な理由（問題点や課題と思うこと）

1．魅力ある観光施設が少ない
2．観光資源の発掘・活用が不十分
3．イベントなどのＰＲ活動が不十分
4．観光開発の方向性や取り組みなどが不明確
5．観光施設の維持管理が不十分
6．その他（　　）

現在、市が取り組んでいる主な事業

・観光物産振興協会支援事業
・観光ボランティアガイド育成事業
・直方レトロ地域づくり支援事業
・のおがたチューリップフェア、のおがた夏まつり支援事業　等

次ページからは、直方市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策、あなたご自身（ご回答者）のことについておたずねします。引き続きご回答のほど、お願いいたします。

第２章　直方市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策

以下の問 39～問 40 は、直方市の住みやすさや最も力を入れてほしい行政施策について伺います。回答として当てはまる番号に○をつけてください。

問 39. あなたは、特に事情がない限り、ずっと直方市に住みたいと思いますか。（○印は１つだけ）

１．ぜひ、いつまでも住みたい
２．なるべく住んでいたい　→ 付問１へ
３．できれば移りたい
４．ぜひ、早く移りたい　→ 付問２へ
５．わからない　→ 問 40 へ

付問１（問 39 で１か２に○印をつけた人に）

直方市に住みたい理由を次の中から２つまで選んで○印をつけてください。（○印は２つまで）

１．自然環境に恵まれている	９．通勤や買物などの際の交通が便利
２．治安・防災面で安心	10．文化施設・文化活動等が充実している
３．人間関係・近隣関係がよい	11．まちに愛着がある
４．教育環境に恵まれている	12．中心市街地商店街に魅力がある
５．住宅事情・居住環境がよい	13．郊外の商業施設に魅力がある
６．物価が安い	14．医療が受けやすい
７．公園や広場に恵まれている	15．保健・福祉が充実している
８．働く場所に恵まれている	16．子育て環境が充実している

17．その他（具体的に　　）

付問２（問 39 で３か４に○印をつけた人に）

他の市町村へ移りたい理由を次の中から２つまで選んで○印をつけてください。（○印は２つまで）

１．自然環境に魅力が乏しい	９．通勤や買物などの際の交通が不便
２．治安・防災面で不安	10．文化施設・文化活動等が乏しい
３．人間関係・近隣関係が悪い	11．まちに愛着がない
４．教育環境に恵まれていない	12．中心市街地商店街の魅力が乏しい
５．住宅事情・居住環境が悪い	13．郊外の商業施設の魅力が乏しい
６．物価が高い	14．医療が受けにくい
７．公園や広場に恵まれていない	15．保健・福祉が充実していない
８．働く場所がない	16．子育て環境が充実していない

17．その他（具体的に　　）

問40. あなたは、直方市の行政施策のうち、どのような分野に力を入れて欲しいとお考えですか。
最も力を入れてほしいと思われる順番に3つ選んで、下記「記入欄」に番号を記入してください。

1．保健・医療	18. 道路整備
2．高齢者福祉（介護など）	19. 公共下水道の整備
3．子育て支援	20. 交通安全対策
4．ひとり親・生活困窮者対策	21. 公共交通対策
5．障がい者福祉	22. 防犯対策
6．健康づくり	23. 防災対策
7．学校教育	24. 消防・救急体制の充実
8．生涯学習（社会教育）	25. 住宅整備
9．文化の振興	26. 地球温暖化対策
10. スポーツ・レクリエーションの振興	27. 自然環境の保全
11. 人権尊重社会の推進	28. 景観対策
12. 農林業振興	29. ゴミ・廃棄物処理対策
13. 商業振興	30. ボランティア支援
14. 工業振興	31. 地域コミュニティ活動の推進
15. サービス産業の振興	32. 市民と行政との協働
16. 観光振興	33. 中心市街地の活性化
17. 企業誘致	34. 行財政改革の推進

35. その他（具体的に　　）

記入欄

最も希望	
2番目に希望	
3番目に希望	

第３章　あなたご自身（ご回答者）のことについておたずねします。

以下の問 41～問 58 は、あなたご自身（ご回答者）のことについて伺います。回答として当てはまる番号に○をつけてください。

問 41. あなたの性別をお答えください。（○印１つ）

１．男性	２．女性

問 42. あなたの年齢をお答えください。（○印１つ）

１．20～29 歳	３．40～49 歳	５．60～64 歳
２．30～39 歳	４．50～59 歳	６．65 歳以上

問 43. あなたの職業をお答えください。（○印１つ）

１．農業（またはその家族従事者）
２．商業、サービス業、工業、建設業の自営（またはその家族従事者）
３．専門的職業（医師、弁護士、僧侶、税理士、会計士、教師など、またはその家族従事者）
４．会社・団体の役員
５．民間の事務職、販売（店員・外交員など）、技術職（技術整備士、研究員・看護師など）
６．公務員、公共企業体、公社の職員
７．民間の技能・労務職（工員、大工、美容師、運転手など）
８．日雇、パートやアルバイト
９．家事専業の主婦
10．学生
11．無職
12．その他（　　）

問 44. あなたの家族構成をお答えください。（○印１つ）

１．単身世帯→ 問 46 へお進みください
２．夫婦のみの世帯
３．親子２世代世帯
４．親・子・孫の３世代世帯
５．その他（　　）

問 45. （問 44 で２～５と回答した方に）ご家族の中に、次に当てはまる方がいらっしゃいますか。（○印いくつでも）

１．小学校入学前の子どもがいる	４．介護を必要とする家族がいる
２．小・中学生の子どもがいる	５．介護を必要としない 65 歳以上の家族がいる
３．高校・大学生の子どもがいる	

問 46. あなたの現在お住まいの小学校区はどこですか。（○印１つ）

１．南小学校区	５．新入小学校区	９．福地小学校区
２．北小学校区	６．感田小学校区	10．中泉小学校区
３．西小学校区	７．上頓野小学校区	11．植木小学校区
４．東小学校区	８．下境小学校区	

問47. あなたの通勤（または通学）場所（勤め先や学校など）はどこですか。（○印１つ）

１．直方市内	５．北九州市
２．宮若市・鞍手郡	６．福岡市
３．飯塚市	７．その他（市町村名　　）
４．その他の筑豊地域	８．働いていない（通学していない）

問48. あなたは、直方市にどれくらい居住されていますか。（○印１つ）

１．１年未満	４．５年以上10年未満
２．１年以上３年未満	５．10年以上20年未満
３．３年以上５年未満	６．20年以上

つづいて、あなたご自身（ご回答者）の健康づくりに関して伺います。回答として当てはまる番号に○をつけてください。

問49. あなたは、日頃から、健康づくりのために、なるべく体を動かしたり、食事に気を配っていますか。（○印１つ）

１．はい　　２．いいえ　　３．どちらともいえない

問50. あなたは、病気等になった際に、身近なところで受診できたり、休日や夜間に受診できたりするなど直方市内の医療体制が整っていると思いますか。（○印１つ）

１．はい　　２．いいえ　　３．どちらともいえない

問51. あなたは、直方市で行っている健診（特定健診・がん健診）を知っていますか。（○印１つ）

１．受診したことがある　　２．知っているが、受診したことはない　　３．知らない

問52. あなたは、日頃、健康に関連した情報を集めていますか。また、集めた情報を健康づくりに活かしていますか。（○印１つ）

１．健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしており、半年以上実行を継続している。
２．健康情報を積極的に集め、得た健康情報を自分の健康づくりに活かしているが、実行し始めて、まだ半年以内である。
３．健康情報を積極的に集めてはいるが、得た健康情報を自分の健康づくりに活かせてはいない。
４．健康情報を積極的に集めてはいないが、今後、健康情報を集めようと考えている。
５．健康情報を積極的に集めてはいないし、これから先も集めるつもりはない。

問53. あなたは、ご自分やご家族の健康について、相談できるかかりつけ医を持っていますか。（○印１つ）

１．持っている　　２．持っていない

※かかりつけ医とは、主に地域の診療所や医院で、日頃からあなたの健康問題を把握し、日常のありふれた病気の相談や初期症状の治療に応じ、健康な生活が過ごせるように援助してくれる医師のことです。

問 54. あなたは、直方市が子育てしやすいまちと思いますか。（○印１つ）

１．思う	２．思わない	３．わからない

問 55. あなたは、文化活動（講座・教室の受講、文化サークル、個人の文化的な活動など）に参加されていますか。（○印１つ）

１．よく参加している	３．どちらかといえば、あまり参加しない
２．どちらかといえば、よく参加している	４．ほとんど参加していない

問 56. あなたは、スポーツやレクリエーション活動（運動教室、スポーツサークル、地域サークルや友人とのスポーツ活動・個人のスポーツ活動、地域等のレクリエーション活動など）に参加されていますか。（○印１つ）

１．よく参加している	３．どちらかといえば、あまり参加しない
２．どちらかといえば、よく参加している	４．ほとんど参加していない

問 57. あなたの家での、インターネットの利用環境はどうなっていますか。
※あなた自身がお使いでなくても同居のご家族が利用している場合は「利用できる」と回答してください。（○印１つ）

１．パソコンと携帯電話の両方で利用できる	３．携帯電話のみで利用ができる
２．パソコンのみで利用できる	４．利用できない

問 58. これからの直方市のまちづくりに対するお考えやご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

◆設問は以上です。お忙しいところ本調査にご協力いただき、ありがとうございました。

◆もう一度、記入もれや記入間違いがないかお確かめのうえ、同封している「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、お近くの郵便ポストにご投函ください。

◆恐れ入りますが、１０月３日（金）までに、ご投函いただきますようお願い申し上げます。